保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

ご転居あるいはご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で 24時間 365日 お応えします

新製品などの商品選び、お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日・8:00～20:00受付）

※電話受付：365日・24時間受け付けます。 ※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

ホームページに最新の商品情報やサービス・サポート情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。
http：//www.toshiba.co.jp/product/tv/
※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間……お買い上げの日から１年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

部品について

- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後８年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理をご依頼されるときは～出張修理

- 299ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは主電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は ▼

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	東芝地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	26L400V または 32L400V
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

保証期間が過ぎているとき ▼

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

便利メモ お買い上げ店名	TEL（　　）　―

長年ご使用の液晶テレビの点検をぜひ！！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか
- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

● ご使用中止 ●
このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

電気容量やコンセント形状は、製品に合ったものをご使用ください。

廃棄時にご注意ねがいます

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
本機の蛍光灯の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

※詳しくは、８ページの「安全上のご注意」をご覧ください。

株式会社 東芝 CTV事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦１－１－１

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

YC/Y 23552157

TOSHIBA

（地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー内蔵）

東芝地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ取扱説明書

形名 **26L400V**
32L400V

本編

- このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

ヒント
基本操作は、「操作早わかり」（→28～29ページ）をご覧ください。
インターネット機能の操作については、「インターネット編」（別冊）をご覧ください。

第3章
他の機器をつないで楽しむ

もくじ つづき

第4章
お好みやご使用状態に合わせた設定

第5章
最初の設置・接続・設定

第6章 その他

本機の特長

アンダースピーカーでコーナーにもすっきり設置

●従来置いていた場所にもピッタリ。スタイリッシュなパールシルバーは、さまざまなインテリアにマッチします。

インターネットブラウザ搭載

●ブロードバンド環境があれば、インターネットがお茶の間で楽しめます。(別途契約が必要です。)
※インターネット機能の操作および、使用条件などについては「インターネット編」(別冊)をご覧ください。

26/32V型ハイビジョン液晶パネルを搭載

地上デジタル放送受信

●地上デジタル放送対応のUHFアンテナを使用することで、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。
地上デジタル放送は、2006年末までに順次放送が開始される予定です。
地上デジタル放送について、詳しくは19ページをご覧ください。

※地上デジタル放送で本機が受信できるのは、ご家庭のテレビで受信する固定受信サービスと車などでの受信を考えた移動体受信サービスです。
携帯電話などで受信できる部分受信サービスについては、受信できません。(→19ページ)
また、地上デジタル音声放送は受信できません。(→35ページの手順**2**を参照)

BSデジタル、110度CSデジタル放送受信

●BS・110度CSデジタル用アンテナのご使用によって、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をお楽しみいただけます。

「"face"デジタルプラットフォーム」で、高画質化を実現

●デジタル処理システム「"face"デジタルプラットフォーム」に、新たに魔方陣アルゴリズムを採用した「液晶バックエンドプロセッサー」を搭載しました。

デジタルならではのリアルサウンド！

●BBEサウンドの採用で、ライブ感にあふれた雰囲気や微妙な音のニュアンスをお楽しみいただけます。(→177ページ)

カンタン操作、簡単選局！

●番組表(→38ページ)や番組チェック(→42ページ)、お気に入り(→44ページ)、ジャンル検索(→46ページ)などによって、デジタル放送をカンタン操作で選局できます。
●付属のビデオコントロールケーブルとテレビ画面に表示される番組表を使うことで、デジタル放送番組の録画予約もカンタンに行うことができます。(→85、148ページ)

SDメモリカード、スマートメディア™、i.LINK(アイリンク)など、デジタルメディアに対応

●デジタルカメラで撮影し、「SDメモリカード」、「スマートメディア™」、「メモリースティック」、「マルチメディアカード(MMC)」に記録した画像をテレビ画面でご覧になれます。(→80ページ)
●D-VHSビデオなどとi.LINK接続することで、デジタル放送番組の録画予約がカンタンに行えます。(→85ページ)

将来も安心のネットワーク対応「Ether(イーサ)端子」搭載

●ネットワークソフトウェアダウンロードサービス(サーバからのダウンロード→292ページ)
●Ether端子付きの当社HDD&DVDビデオレコーダーで地上デジタル、BSデジタルが簡単録画(→131ページ)

第1章 ご使用の前に

安全上のご注意

商品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠ 警告	"取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷[＊1]を負うことが想定されること"を示します。
⚠ 注意	"取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[＊2]を負うことが想定されるか、または物的損害[＊3]の発生が想定されること"を示します。

＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

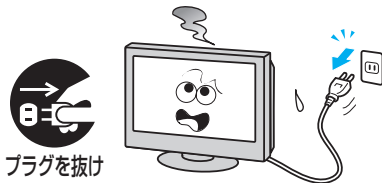
【図記号の例】

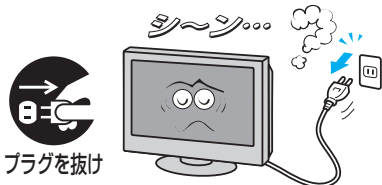
図記号	図記号の意味
⃠ 禁　止	"⃠"は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	"●"は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
⚠ 高圧注意	"△"は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 左の図は高圧注意の例を示します。

⚠ 警告

異常や故障のとき

■ **煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ **画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く**

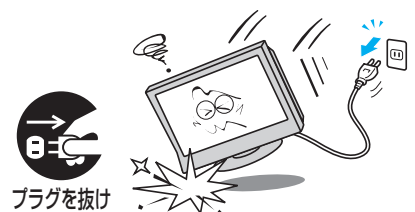
そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

⚠警告

異常や故障のとき つづき

■内部に水や異物がはいったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したときは、主電源スイッチを切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードや電源プラグが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置されるとき

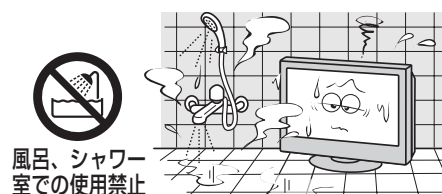
■本機は主電源コンセントから電源プラグが抜き易いように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間ご使用にならないときなどに役立ちます。

■スタンドを交換するときは、本機専用の設置スタンドを使用する

専用の設置スタンドを使用して設置しないと、テレビが転倒し、けがの原因となります。
本機専用の設置スタンドについては、319ページの別売品リストをご参照のうえ、お買い求めの販売店にご相談ください。

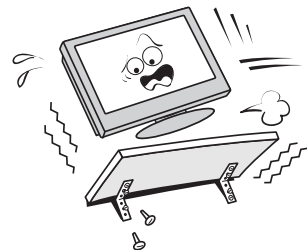
■屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。

安全上のご注意 つづき

⚠警告

設置されるとき つづき

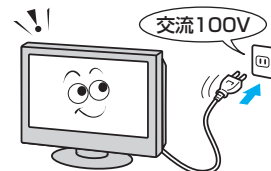
■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

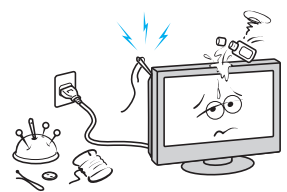
テレビが落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台をご使用になるときは、その取扱説明書もよくお読みください。

■ 振動のある場所に置かない

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

- 交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

指　示

■ 上にものを置かない

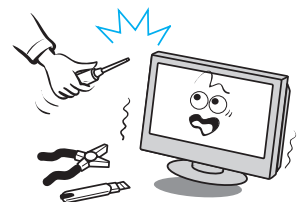
- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ 壁に取り付けてご覧になる場合、壁掛け工事は、お買い上げの販売店に依頼する

工事が不完全だと、けがの原因となります。
別売の壁取り付け金具をご使用ください。詳しくは別売品リストページをご覧ください。（→ 319 ページ）

指　示

ご使用になるとき

■ 修理・改造・分解はしない

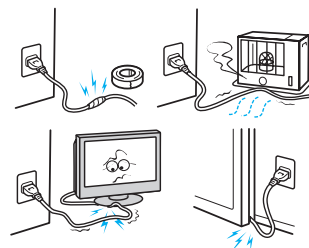
内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

⚠警告

ご使用になるとき　つづき

■電源コード・電源プラグは、

- 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない
- 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない

火災・感電の原因となります。

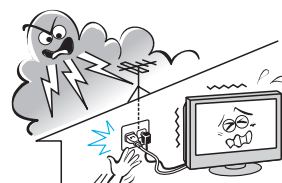
禁　止

■異物を入れない

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

異物挿入禁止

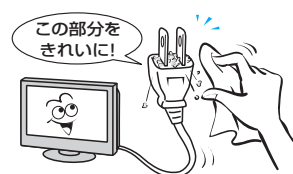
■雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線・電話機コードに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

お手入れについて

■電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きゴミやほこりをとる

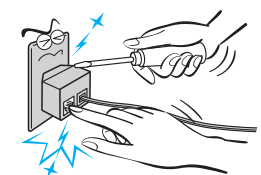
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

指　示

⚠注意

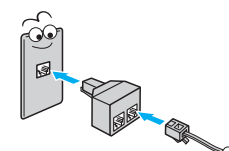
モジュラー分配器を使うとき

■モジュラー分配器、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしない

電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに強い衝撃電流が流れますので、感電の原因になることがあります。

禁　止

■正しく接続する

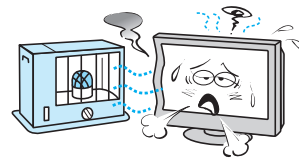
正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

指　示

安全上のご注意 つづき

⚠注 意

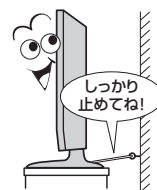
設置されるとき

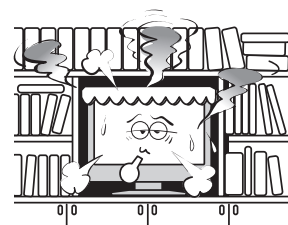
■温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、発熱や感電の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形、破損、その他部品の劣化や破損により感電の原因となることがあります。

■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、発熱や感電の原因となることがあります。

■転倒防止の処置を行う

転倒防止の処置を行わないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。
- 転倒防止のしかたは 188 ページをご覧ください。

■通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 壁に押しつけないでください。(10cm 以上の間隔をあける)
- 押し入れや本箱など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

■移動したり持ち運ぶ場合は、

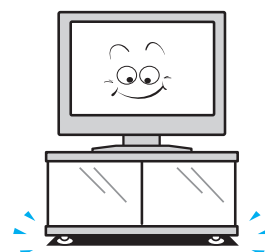
- **離れた場所に移動するときは電源プラグ・アンテナ線・機器間との接続線および電話機コードや転倒防止をはずす**
  はずさないまま移動すると電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒して、けがの原因となることがあります。

- **開梱や持ち運びは2人以上で立てた状態で行う**
  表示パネル面を上向き、または下向きにして運ばない

- **車(キャスター)付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、テレビ台の受け皿を取り除いて、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
  テレビを支えながら、テレビ台を押さないと、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないようにていねいに扱う**

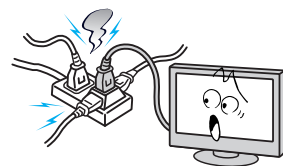
指 示

■車(キャスター)付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。

⚠注意

設置されるとき　つづき

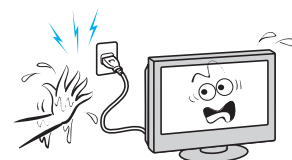
■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

ご使用になるとき

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

■テレビやテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない

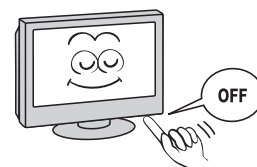
落ちたり、倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

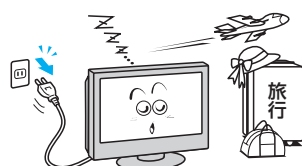
■テレビ台をご使用のときは

- **テレビがはみ出したり、片寄った載せかたをしない**
- **テレビ台のトビラを開けたままにしない**

倒れたり、破損したり、また指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■本機の主電源を切るには、主電源スイッチを確実に押し上げ指を離す

- 「電源入／待機」表示ランプが消灯し、リモコンの電源ボタンでは電源入／切操作はできなくなります。
  （リモコンで操作するには、主電源スイッチをもう一度押して「電源入／待機」表示ランプを点灯させてください。）
- リモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機の主電源は切れておりません。
- 本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意 つづき

⚠注意

ご使用になるとき つづき

■ **ヘッドホーンやイヤホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎない**

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁　止

■ **リモコンに使用している乾電池は**

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

■ **液晶テレビの画面をたたいたり衝撃を加えない**

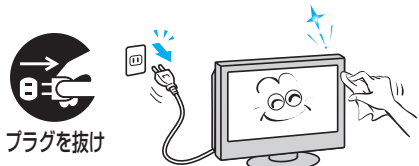
ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて、液晶（液体）が漏れたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。本機以外の器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

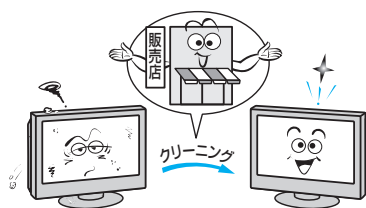
禁　止

お手入れについて

■ **お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行う**

感電の原因となることがあります。

- お手入れのしかたは 189 ページをご覧ください。

■ **1年に一度くらいは内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください**

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- ご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。（番組情報を取得するためです。）
- 液晶テレビではテレビゲームをお楽しみいただけますが、原理上、光線銃などを使い画面を標的にするゲームで、使用できない場合があります。
  また、DVD、ゲーム、カラオケなどの映像や音声に若干の遅れが生じます。

大切な録画・録音について

- ビデオに録画・録音する際は、事前に試し録画・録音を行い、正しくできることを確かめておいてください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組については、録画をすることはできません。また、著作権保護のため一回だけ録画を許された番組（コピーワンスプログラム）については、録画した番組をさらにコピーすることはできません。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての設定内容を初期化する場合」（→286ページ）を行い、暗証番号や個人情報（データ放送でのお客様のポイント数など）なども含めて、初期化することをおすすめします。
- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
  本機の内部で使用している蛍光灯の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

著作権について

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、「SDメモリカード」、「マルチメディアカード」、「スマートメディア™」、「メモリースティック」に記録された画像などは、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

- 本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。
  この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他一部の観賞用の使用に制限されています。
  分解したり、改造することも禁じられています。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- **何らかの原因によって、「SDメモリカード」、「マルチメディアカード」、「スマートメディア™」、「メモリースティック」が故障・破壊した場合、それらメモリカードの補償、記録（録画・録音など）されていた内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。**
- 何らかの原因によって、録画／録音機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器やソフトウェアなどとの組み合わせによる誤動作や動作不能などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービス等で本機のメモリーに記憶されたお客様の登録情報やポイント情報等の一部あるいは全てが変化したり消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 設置スタンド（別売品）の取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 据付不備によって発生した損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。

必ずお読みください

毎日２時間以上、本機の電源を待機状態（リモコンで電源を切った状態）にしてください

－番組情報取得のためです－

- デジタル放送の場合、番組についての情報（番組名や放送時間など）が放送電波の中にはいって送られてきます。
  テレビはその番組情報を取得して、番組表表示やジャンル検索、予約などに使用します。
  そのため、番組情報の取得ができていないときには、番組表が正しく表示されないといったことが起きます。
  番組情報の取得は電源待機時に行われます。
  （本体の主電源スイッチで電源を「切」にした場合や電源プラグを抜いている場合、および番組情報取得設定を「取得しない」に設定している場合（→182ページ）には、番組情報は一切取得できません。）

  ［詳しい説明］
  電源が「入」のときにも番組情報の取得は行われますが、今ご覧のデジタル放送以外の放送については、番組情報を取得できない場合があります。（デジタル放送の種類や本機のそのときのモードによって、取得できる内容は異なります。）
  また、本体の主電源スイッチで電源を「切」にした場合や電源プラグを抜いている場合、および番組情報取得設定を「取得しない」に設定している場合（→182ページ）には、番組情報は取得できません。

- 以上から、番組情報を取得するために、番組情報取得設定を「取得する」（→182ページ）にして毎日2時間以上、リモコンの電源ボタンで本機の電源を待機状態にしておくことをおすすめします。（電源待機の間に本機は自動的に番組情報を取得します。）

お客様登録をしてください

- ダウンロードのお知らせをお送りすることなどを目的としたお客様登録をお願いしています。
  同梱の「お客様登録のお願い」をご覧の上インターネットでお客様登録をしてください。
  「お客様登録のお願い」のハガキでもお客様登録が行えます。

お問い合わせ先について

- 受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。

付属のB-CAS（ビーキャス）カードについて

- B-CASカードは、常に本体に挿入しておいてください。（→190ページ）
  ※B-CASカードは、デジタル放送の有料放送の受信や、著作権保護（コピー制御）された無料の民間放送の受信に必要となります。
  B-CASカードの登録や取扱いの詳細は、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。
- カードを紛失したり、盗難にあった場合や、破損したり、よごれた場合には、（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ（カードが貼ってある台紙を参照）にご連絡ください。

デジタル放送の録画について

- 地上／BSデジタルテレビ放送局では、著作権保護のために2004年4月から電波に「1回だけ録画可能」のコピー制御信号を加えて放送します。
  これによって、デジタル録画機器に録画した番組を他のデジタル録画機器にダビングすることはできなくなります。
  詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。

この取扱説明書について

- この取扱説明書に記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
- 受信画面の図などに記載されている番組名などは架空のものです。
- 記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
- 特にデジタル放送に関連した部分で、専門的な用語が使われている場合があります。
それらの用語については、312ページをご覧ください。
- 画面に表示されるアイコン(絵文字)については、「アイコン一覧」(→298ページ)をご覧ください。
- この取扱説明書では、以下の略語を使用しています。

略語	意味
デジタル放送	地上デジタル放送、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送
地上A、地上アナログ	地上アナログ放送
地上D、地上デジタル	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
110度CS、CS	110度CSデジタル放送
メモリカード	「SDメモリカード」、「マルチメディアカード」、「スマートメディア™」、「メモリースティック」
MMC	「マルチメディアカード」

ソフトウェアのバージョンアップについて

- お買上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。
本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアをバージョンアップさせることができます。(お買上げ時は、「する」の状態に設定されています。)
ソフトウェアのバージョンアップや自動ダウンロードについては、288ページをご覧ください。

インターネットで情報を・・・

- ホームページに最新の商品情報やサービス･サポート情報、その他のお知らせなどを掲載しておりますので、ご参照ください。

■ http://www.toshiba.co.jp/product/tv/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご参照ください。

- また、東芝総合ホームページ(TOSHIBA TOP PAGE)からもさまざまな情報を提供しております。

デジタル放送（地上D、BSデジタル、110度CSデジタル）について

● デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載して放送されています。
● デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができますので（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC方式）、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに5.1チャンネルステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の特長

● デジタルハイビジョン放送を中心に、4種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送（従来のBS放送と同じレベルの画質）
放送フォーマット	1125i(1080i)放送	750p(720p)放送	525p(480p)放送	525i(480i)放送
走査線の数	1125本(有効1080本)	750本(有効720本)	525本(有効480本)	525本(有効480本)
走査の方式	インターレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

● デジタルハイビジョン放送1番組と通常放送3番組程度を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。
※本機はすべての放送フォーマットをデジタル処理によって、液晶パネルの画素数に合わせて表示します。

ラジオ放送の特長

● ラジオ放送は、BSデジタルおよび110度CSデジタル放送で行われています。
地上デジタル放送では行われていません。（ラジオ放送とは別の音声放送は行われています。→詳しくは、35ページ）
● 静止画や動画を使ったデータつきのラジオ放送もあります。

データ放送の特長

● テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送（番組連動データ放送）と、番組とは無関係の独立したデータ放送（独立データ放送）の2種類があります。
● 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使いかたができます。
● 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がご覧になれます。
※本機はepサービスに対応していません。
（epサービスは、イーピー株式会社が提供する事前蓄積用データ放送サービスです。）

■ 地上デジタル放送について

●地上デジタル(テレビジョン)放送とは？
地上波のUHF帯を使用したデジタル放送のことです。
(この取扱説明書では、「地上デジタル放送」と略して記載しています。)
現在行われているアナログ方式の地上放送(以後「地上アナログ放送」と記載します)は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

●地上デジタル放送の特長
これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。

(1) デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
(→前ページ「テレビ放送の特長」を参照)

(2) CD並みの高音質放送(MPEG-2 AAC方式)

(3) ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明

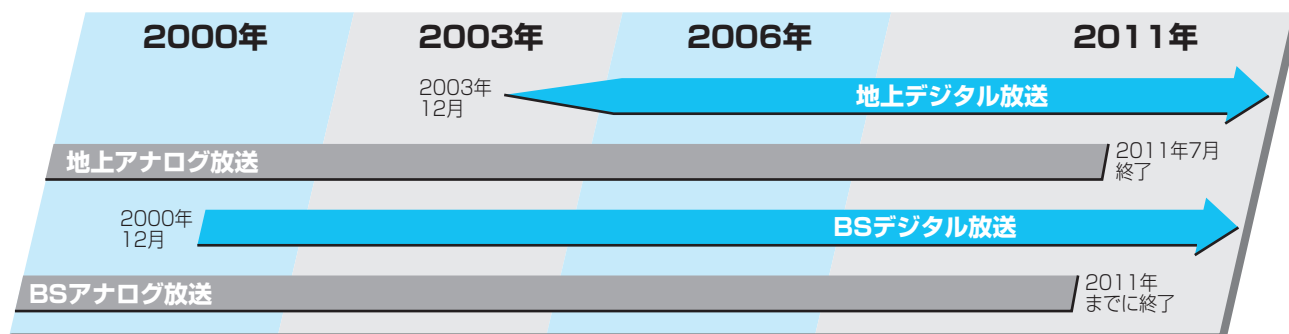
(4) データ放送や双方向通信サービス
通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。
また、電話回線等を使った双方向通信サービスによる、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。

(5) 移動体受信・部分受信サービス
車や電車などでの移動体受信サービスや携帯電話などで受信できる部分受信サービスも予定されています。
※本機は移動体受信サービスは受信できますが、部分受信サービスは受信できません。

●BSデジタルや110度CSデジタル放送との違いは？
BSデジタルや110度CSデジタル放送の場合 …… 衛星を使った放送であり、放送エリアは日本全国なので、日本中どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。
地上デジタル放送の場合 …………………………… 放送は各地域の放送局から送信されます。地域に密着した放送・番組が多く提供される予定です。

●地上デジタル放送を受信するには
本機のほかに、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。
(ほかに、混合器や分波器が必要な場合もあります。)
必要となる機器の目安については、194ページをご覧ください。

■ アナログ放送からデジタル放送への移行について

●デジタル放送への移行スケジュール
● 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

準備（接続・設定）早わかり

●以下の手順に従って、準備をしてください。

お客様登録をする （→16ページ）

付属品を確認する （→21ページ）

リモコンに乾電池を入れる （→25ページ）

テレビの設置、接続、設定をする （→188～213ページ）

・内容は、以下のとおりです。

・テレビの設置をする	→	188～189ページ
・B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する＊	→	190～191ページ
・「アンテナ線の接続と設定」をする	→	192～199ページ
・「電話回線の接続」をする＊	→	200～202ページ
・「Ether（イーサ）端子の接続」をする＊	→	203～204ページ
・「はじめての設定」をする＊	→	205～213ページ

●ビデオなどをつなぐ場合は126～165ページをご覧ください。

B-CAS（ビーキャス）カードの登録をする＊ (B-CASカードに添付されている説明紙を参照)

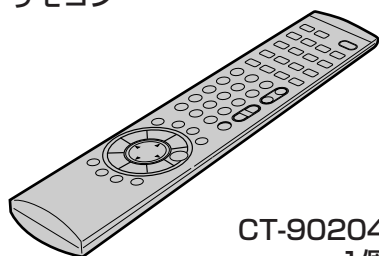
受信契約をする (付属のBS・110度CSデジタル放送受信契約申込書を参照)

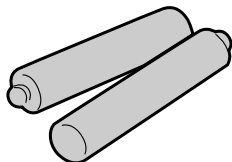
● B-CASカードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」を受信契約申込書に必ず貼ってください。

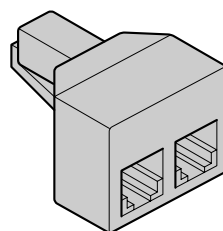
● ＊印付きの項目は、デジタル放送をご覧になるとき必要になる場合があります。

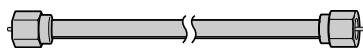
付属品

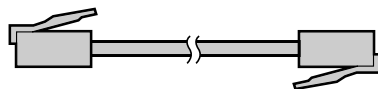
● 本機には以下の付属品があります。お確かめください。

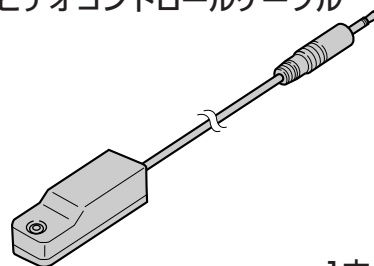
リモコン

CT-90204
1個

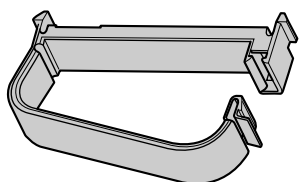
単四形乾電池（R03）

2個

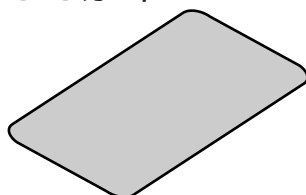
モジュラー分配器

1個

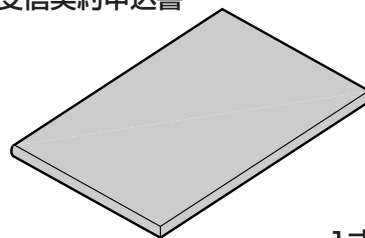
同軸ケーブル

1本

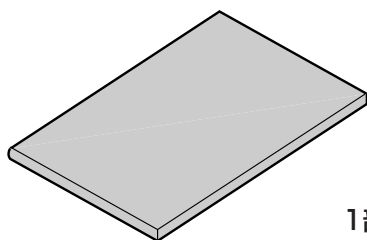
電話機コード

1本

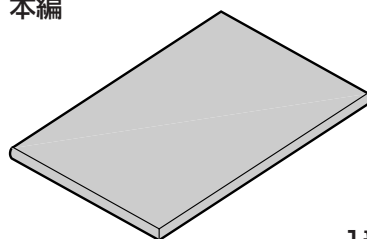
ビデオコントロールケーブル

1本

コードクランパー

取り付けは、315 ページをご覧ください。
1個

ビーキャス
B-CAS カード

B-CAS カードは説明紙に付いています。
1枚

BS・110 度 CS デジタル放送受信契約申込書

1式

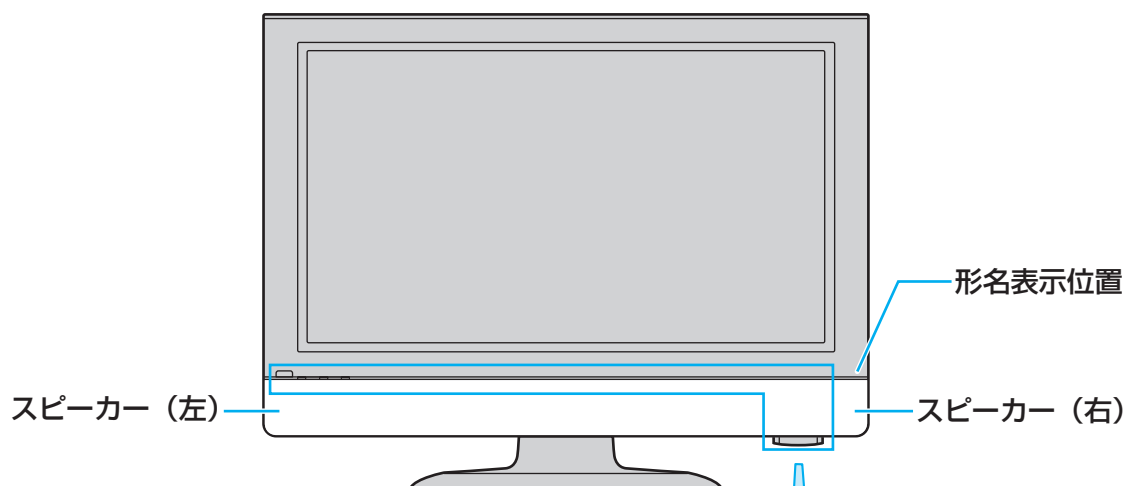
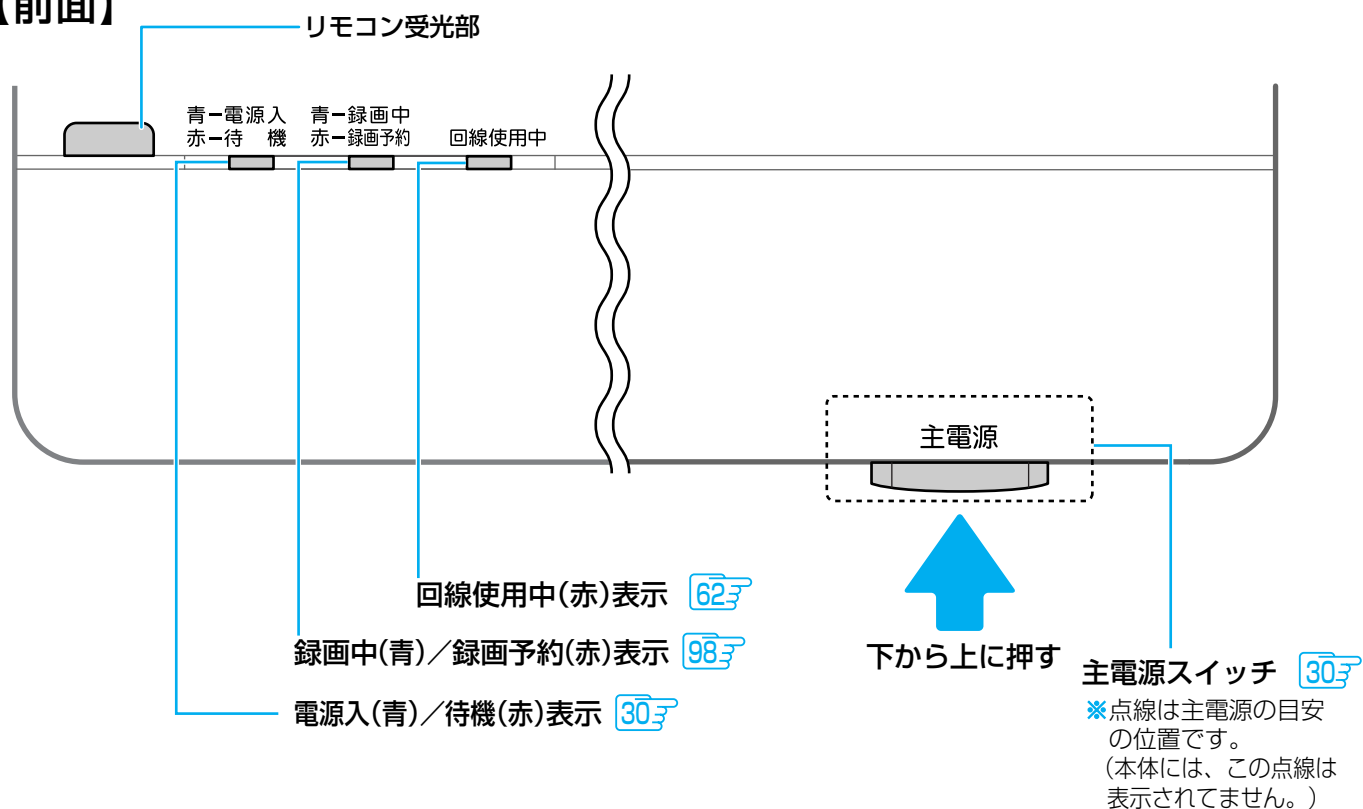
取扱説明書（別冊）インターネット編

1部

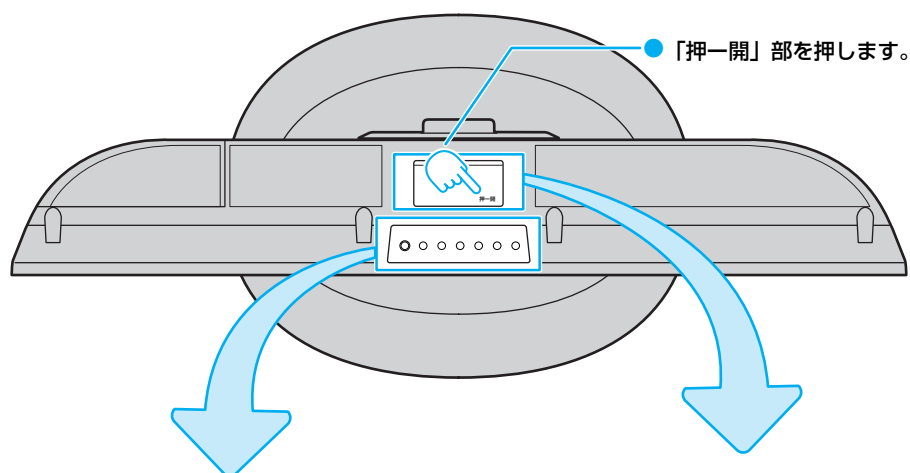
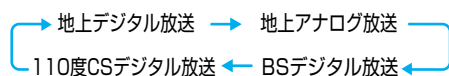
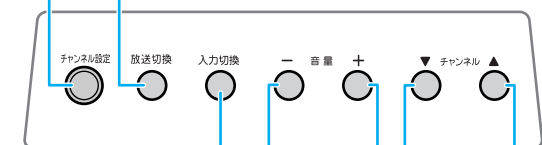
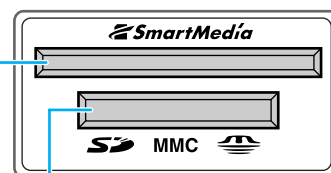
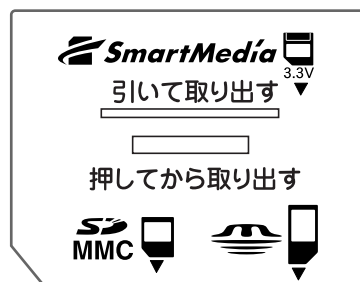
取扱説明書（本書）本編

1部

各部のなまえ

● イラストは、見やすくするために誇張や省略などがされており、実際とは多少異なります。

前面(表示灯)

● 詳しくは☞内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)

※文字位置や配列などは実際とは多少異なります。

上面

● 詳しくは[☞]内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています。）

※背面端子の説明は127～128ページをご覧ください。

各部のなまえ つづき

● イラストは、見やすくするために誇張や省略などがされており、実際とは多少異なります。

リモコン

● 詳しくは☞内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています。）

リモコン発光部

i. LINK 151☞
● i. LINK接続した機器を操作するときに使います。

入力切換 76☞ 130☞
● ビデオ入力モードにするときに使います。

ダイレクト選局 32☞ 33☞ 34☞
● チャンネル選局に使います。

地上専用ダイレクト選局（文字入力） 32☞ 33☞ 112☞
● 地上放送のチャンネルを直接選びます。文字、数字、記号の入力にも使用します。
● ＊、0、＃を入力するときは、⑩/＊、⑪/0、⑫/＃ボタンを押します。（「あ」などの文字は、文字入力のときに使います。）

3桁番号入力 36☞
● デジタル放送の3桁チャンネル番号を指定して選ぶときに使います。

メディア（削除） 35☞ 118☞
● デジタル放送の放送メディア（テレビ、ラジオ、データ）を順に切り換えます。（「削除」は、入力した文字を削除するときに使います。）

ⓓ（ディー） 63☞
● データ放送を楽しむときに使用します。

クイック 124☞
● 便利な機能をクイックメニューとして表示します。そのときのテレビのモードによっては選択できない項目があります。

画面表示 51☞
● 現在受信しているチャンネルや番組などの情報が表示されます。

番組説明 51☞
● 番組についての情報や説明が見られます。

二画面 77☞
● 二画面表示にするときに使います。

メニュー 41☞
● 設定や便利な機能を使うことができます。

カラーボタン 38☞ 39☞
● 番組情報取得やデータ放送などで使います。

電源 30☞
● 電源を入/待機に切り換えます。

放送切換
● 放送の種類を切り換えます。
- ・地上D…地上デジタル放送に切り換えます。
- ・BS……BSデジタル放送に切り換えます。
- ・CS……110度CSデジタル放送に切り換えます。
- ・地上A…地上アナログ放送に切り換えます。

チャンネル ∧・∨ 35☞
● チャンネルを順に選びます。

音量＋・－ 31☞
● テレビの音量を調整します。

静止（文字） 61☞ 112☞
● 見ている映像を静止画にするときに使います。（「文字」は、文字入力モードを切り換えるときなどに使います。）

消音 51☞
● テレビの音を一時消すことができます。もう一度押すと音が出ます。

戻る
● 設定の途中で前の画面に戻ることができます。

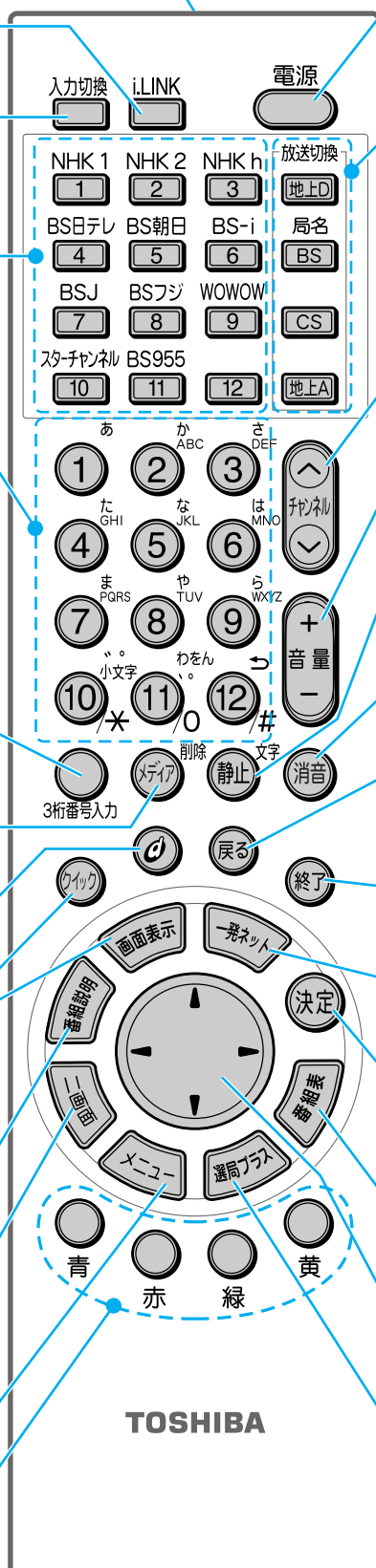
終了
● メニュー表示などを消して、通常画面に戻ります。

一発ネット
● インターネットを見るときに使います。（詳しくは別冊「インターネット編」をご覧ください。）

決定
● 選んでいる番組や項目を決定します。また、文字入力のときには、文字の確定や入力終了などで使います。

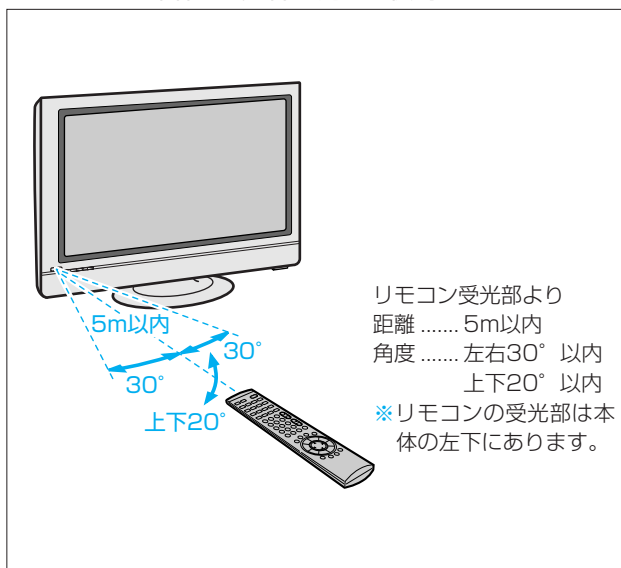
番組表 38☞
● 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の番組表をテレビ画面に表示します。

カーソル ▲･▼･◀･▶
● 項目や番組などを選びます。

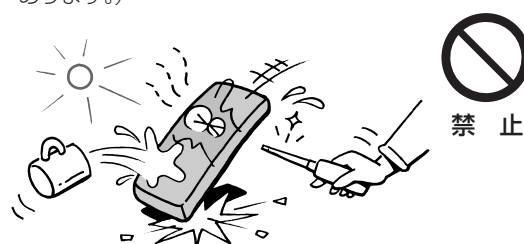
選局プラス 42☞ 44☞ 46☞ 48☞
● 番組チェック、お気に入り、ジャンル検索、チャンネル一覧などの機能を使うときに使用します。

リモコンの準備

リモコンの使用範囲

● リモコンは本体の受光部に向けて使用してください。

リモコン受光部より
距離 5m以内
角度 .... 左右30° 以内
上下20° 以内
※リモコンの受光部は本体の左下にあります。

お願い **リモコンについて**

● 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えないでください。
● 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
● 分解しないでください。
● 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
● リモコン受光部に強い光を当てないでください。
（強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。）

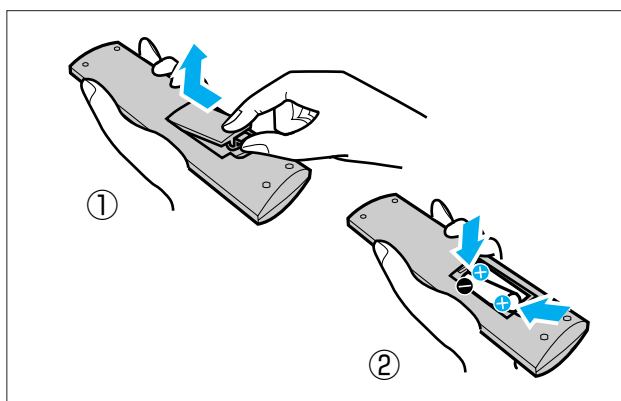
禁 止

乾電池の入れかた

⚠ 注意

■ リモコンに使用している乾電池は

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

● 単四形乾電池R03またはLR03を2個ご使用ください。

■ カバーをはずし、乾電池を入れる

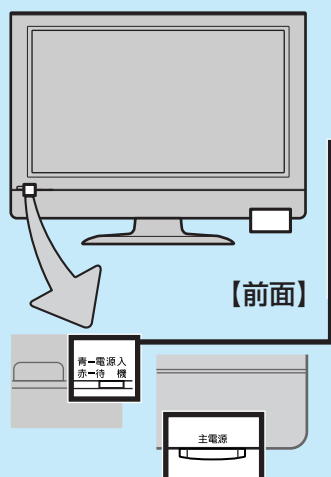
● カバーをはずすには、カバー下の［△］部分を矢印方向に押しながら、すくい上げるようにします。
● 極性表示⊕と⊖を間違えないように入れます。
● カバーを閉めるときは、カバー上部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまで押し込みます。

お願い **乾電池について**

● 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったら2個とも新しい乾電池と交換してください。

第2章 テレビの操作をする

操作早わかり

- ここでは、基本の操作だけを記載しています。
- 各機能について、詳しくは（　）内の参照ページをご覧ください。
- お買い上げ後は、最初に「準備（接続・設定）早わかり」（→20ページ）を行ってください。

●電源を入れるには（詳しくは30ページ）

●電源表示ランプが消えているとき

- 本体の主電源スイッチをカチッと音がするまで押す

●電源表示ランプが赤色に点灯しているとき

- リモコンの電源ボタンを押す

・はじめて電源を入れた際には「自動ダウンロードについて」が表示されます。
画面の説明を読んだあと、決定ボタンを押してください。
（「自動ダウンロード」については、288ページを参照）

●番組を選ぶ

チャンネルを直接選ぶ（詳しくは32、33、34ページ）

●地上アナログ放送（従来の地上放送）を見るとき

- 地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）を押す

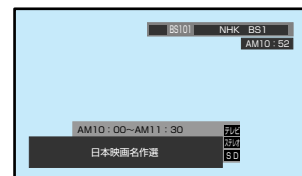
●地上デジタル放送を見るとき

① [地上D]ボタンを押す
② ダイレクト選局ボタン（[1]～[12]）を押す

（例）BSデジタル放送の場合

●BS、110度CSデジタル放送を見るとき

① [BS]または[CS]ボタンを押す
② ダイレクト選局ボタン（[1]～[12]）を押す

・上記の操作は、地上アナログ、地上デジタル放送については「デュアルポジション設定」（→246ページ）がお買上げ時の状態の場合です。

チャンネルを順番に選ぶ（詳しくは35ページ）

①以下の操作で放送の種類を選ぶ

- 地上アナログ放送 ⇒ [地上A] ボタンを押す
- 地上デジタル放送 ⇒ [地上D] ボタンを押す
- BSデジタル放送 ⇒ [BS] ボタンを押す
- 110度CSデジタル放送 ⇒ [CS] ボタンを押す

②[[地上D]、[BS]、[CS] ボタンのいずれかを押した場合]

メディアボタン（メディア）を押し、放送メディアを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

テレビ放送 → ラジオ放送（BS、110度CSのみ）→ データ放送（→テレビ放送に戻る）

③チャンネルボタン ∧・∨でチャンネルを選ぶ

●こんなこともできます!!

番組表から番組を選ぶ (詳しくは38ページ)

今、選んでいる番組です。

①以下の操作で放送の種類を選ぶ
- 地上デジタル放送 ⇒ 地上D ボタンを押す
- BSデジタル放送 ⇒ BS ボタンを押す
- 110度CSデジタル放送 ⇒ CS ボタンを押す

②番組表ボタン(番組表)を押す
- 選んだ放送の番組表が表示されます。

③カーソルボタン▲·▼·◄·►で番組を選び、決定ボタン(決定)を押す
- 現在放送中の番組を選んだ場合は、選んだ番組が選局されます。
- 今後放送となる番組を選んだ場合は、予約設定へと進みます。(→86ページ)

デジタル放送の番組を予約する (詳しくは85ページ)

- 本機の予約動作に連動してビデオをコントロールし録画予約をカンタンに行うことができます。

データ放送を楽しむ (詳しくは62ページ)

- 番組を見ながらいろいろな情報をチェックしたり、双方向通信サービスなどが利用できます。

便利な選局の方法

- 3桁チャンネル番号を指定して選ぶ(→36ページ)
  - ・見たい放送の3桁チャンネル番号を指定して選びます。
- 番組チェックで選ぶ(→42ページ)
  - ・今放送されている番組のリストから選局できます。
- お気に入りのチャンネルを選ぶ(→44ページ)
  - ・あらかじめ登録したお気に入りのチャンネルを選局できます。
- ジャンルを指定して番組を選ぶ(→46ページ)
  - ・映画、スポーツなどのジャンルを指定して番組を選ぶことができます。
- チャンネル一覧で選ぶ(→48ページ)
  - ・見たい放送のチャンネル一覧からチャンネルを選ぶことができます。

インターネットを楽しむ (インターネット編(別冊))

- インターネット機能を使用し、インターネットを見ることができます。

●こんなことがしたいとき

番組についての情報が見たいとき (詳しくは51ページ)

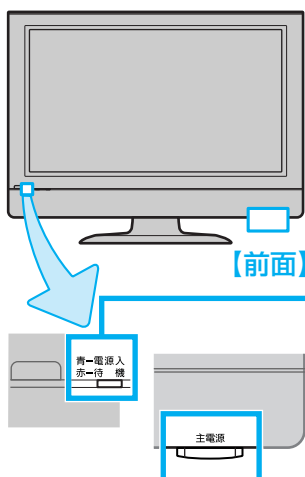
- 番組を受信しているときに、画面表示ボタン(画面表示)を押す
  - ・番組についての情報が表示されます。
  - ・表示は数秒後に消えます。
- 番組を受信しているときに、番組説明ボタン(番組説明)を押す
  - ・現在視聴中の番組についての説明が表示されます。

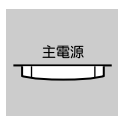
操作の途中で通常の画面に戻りたいとき

- 選局や設定の途中などで、通常の画面に戻りたい場合は、終了ボタン(終了)を押す

はじめに…

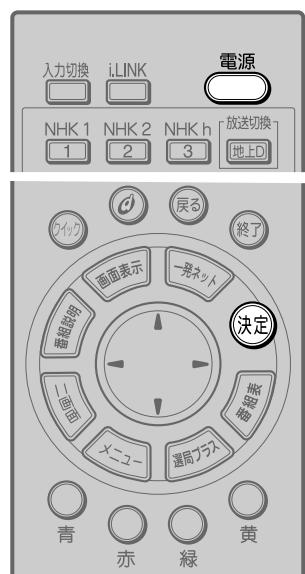
電源を入れるには

● 最初の設置・接続・電源を入れたあとの設定については 188～213ページをご覧ください。

表示ランプが消えているとき(主電源切のとき)

● 本体の主電源スイッチをカチッと音がするまで押す

- 「電源入(青)/待機(赤)」表示が青色に点灯します。
- 電源がはいり、映像が出ます。
  (電源を入れてから映像が出るまでしばらく時間がかかります。)

表示ランプが赤色に点灯しているとき(待機状態のとき)

● リモコンの電源ボタンを押す

- 「電源入(青)/待機(赤)」表示が青色になります。
- 電源がはいり、映像が出ます。
  (電源を入れてから映像が出るまでしばらく時間がかかります。)

■はじめて電源を入れたとき

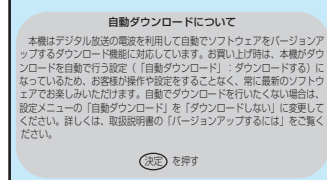
- お買上げ後、はじめて電源を入れたときだけ「自動ダウンロードについて」(右画面)が表示されます。「自動ダウンロード」については288ページをご覧ください。

自動ダウンロードについて

本機はデジタル放送の電波を利用して自動でソフトウェアをバージョンアップするダウンロード機能に対応しています。お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定(「自動ダウンロード」:ダウンロードする)になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新のソフトウェアでお楽しみいただけます。自動でダウンロードを行いたくない場合は、設定メニューの「自動ダウンロード」を「ダウンロードしない」に変更してください。詳しくは、取扱説明書の「バージョンアップするには」をご覧ください。

(決定) を押す

● 確認後、表示を消すには、決定ボタンを押す

- 本体の入力切換ボタンでも表示を消すことができます。

はじめに…

電源を切るには

■以下の場合、自動的に電源が切れ、待機状態になります。

- 「省エネ設定」をしている場合 (→181ページ)
  ※お買上げ時の状態については181ページの表をご覧ください。
- オフタイマーを設定している場合 (→110ページ)

待機状態にするには

● リモコンの電源ボタンを押す

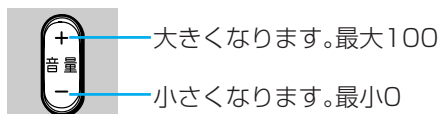
- 「電源入(青)/待機(赤)」表示が赤色になります。

電源を切るには

● 主電源スイッチを確実に押し上げてから指を離す

- 「電源入(青)/待機(赤)」表示が消えます。

音量を調整するには

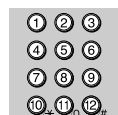
● 音量ボタン＋・－を押して、音量を調整する

お知らせ

- 本体上面部の音量ボタン＋・－（→23ページ）でも同じ操作ができます。
- イヤホーン（副画面）端子にイヤホーンを接続して、スピーカーとイヤホーンの両方で聞くことができます。イヤホーンの音量は、クイックメニューの「親切イヤホーン音量」（→59ページ）で調整してください。

ダイレクト選局ボタンで選ぶ

地上アナログ放送(従来の地上放送)を選局するとき

お買上げ時(地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)が地上アナログ用に設定されているとき)

● 地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）を押してチャンネルを選ぶ

● 地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)には、お買上げ時にはVHF1～12チャンネルが設定されています。

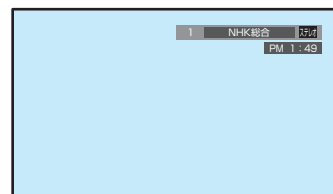
■地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）が地上デジタル用に設定されているとき

● 「デュアルポジション設定(地上A⇔地上D切換)」を「地上A」から「地上D」に変更した場合です。
［今後地上デジタル放送が主流となったときにこのように変更すると、地上デジタル放送を簡単に選局できて便利です。(詳しくは246ページ参照)］

1 地上 A ボタンを押す

● ダイレクト選局ボタン(1～12)で地上アナログ放送を選局できる状態になります。

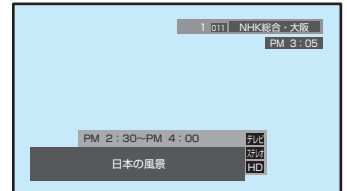
2 ダイレクト選局ボタン（1～12）を押してチャンネルを選ぶ

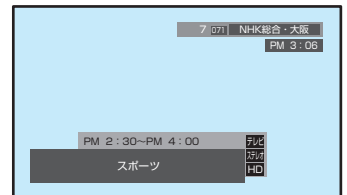
3 NHK教育 ステレオ
PM 1:49

- 地上アナログ放送では、番組名は表示されません。
- 設定を変更したり、未使用のリモコンボタンに新たにCATV（ケーブルテレビ）などお住まいの地域で受信できるチャンネルを追加する場合は、手動チャンネル設定の「地上アナログ放送の場合」（→222ページ）を行ってください。
- 地上Aボタンを押したときには、地上アナログ放送で最後に選局していたチャンネルになります。

地上デジタル放送を選局するとき

お買上げ時(地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)が地上アナログ用に設定されているとき)

1 地上Ｄボタンを押す

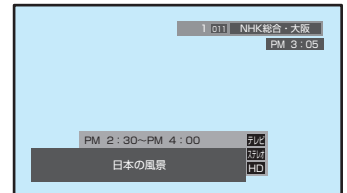
● ダイレクト選局ボタン(1～12)で地上デジタル放送を選局できる状態になります。

2 ダイレクト選局ボタン（1～12）を押してチャンネルを選ぶ

● ダイレクト選局ボタンに設定されている内容については、下の「お知らせ1」をご覧ください。

■地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）が地上デジタル用に設定されているとき

●「デュアルポジション設定(地上A⇔地上D切換)」を「地上A」から「地上D」に変更した場合です。

［今後地上デジタル放送が主流となったときにこのように変更すると、地上デジタル放送を簡単に選局できて便利です。(変更の方法については246ページ参照)］

● 地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）を押してチャンネルを選ぶ

● 地上専用ダイレクト選局ボタンに設定されている内容については、下の「お知らせ1」をご覧ください。

お知らせ1 **■ダイレクト選局ボタンや地上専用ダイレクト選局ボタンに設定されている内容について（地上デジタル放送の場合）**

- 「はじめての設定」（→205ページ）や「チャンネル設定」（→214ページ）で設定した内容となっています。
- 設定されている内容は、「チャンネル一覧」で確認できます。（→48ページ）
- 地上専用ダイレクト選局ボタンやダイレクト選局ボタンに放送メディアが設定されている場合（→225ページ手順**5**）は、それらのボタンを押すごとに、設定されている放送局のメディアについて、チャンネルが順に選局されます。具体的な操作方法については、BSデジタル放送の場合を参考にしてください。（→34ページの「お知らせ」）
- 地上デジタル放送の場合、新たに開局したチャンネルを追加設定する場合は、「再スキャン」（→220ページ）機能をご使用ください。（新たに開局した場合だけでなく、中継局が新設、変更された場合も同様です。）

お知らせ2 **■その他**

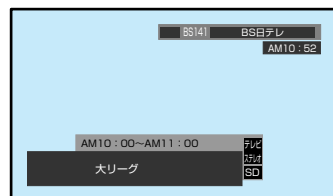
- 録画予約や一発録画実行中のときなど、チャンネルを変えることができない場合があります。
- 「初期スキャン」（→217ページ）を行わないと地上デジタル放送の選局はできません。
- 「自動スキャン」（→49ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。
  受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。

ダイレクト選局ボタンで選ぶ つづき

BS、110度CSデジタル放送を選局するとき

1 BS、またはCSボタンを押して、放送の種類を選ぶ

● BSデジタル放送 → BSボタンを押す
● 110度CSデジタル放送 → CSボタンを押す

2 ダイレクト選局ボタン（1～12）を押してチャンネルを選ぶ

● ダイレクト選局ボタンに設定されているチャンネルの内容

- 「チャンネル設定」（→214ページ）で設定した内容となっています。
- 設定されている内容は、BS、110度CSデジタル放送については「チャンネル一覧」（→48ページ）の画面で確認できます。
- 設定を変更する場合は、手動チャンネル設定の「BSデジタル放送の場合」（→226ページ）「110度CSデジタル放送の場合」（→228ページ）を行ってください。
- お買上げ時の設定内容は、下表のとおりです。（放送名は変更される場合があります。）

※お買上げ時に設定されている内容

● 手順1でBSボタンを押したとき

リモコンのボタン	放送	チャンネル	放送の種類
1（NHK1）	NHK BS1	101	BSデジタル放送
2（NHK2）	NHK BS2	102	
3（NHKh）	NHKハイビジョン	103	
4（BS日テレ）	BS日テレ	BSテレビのチャンネル	
5（BS朝日）	BS朝日		
6（BS-i）	BS-i		
7（BSJ）	BSジャパン		
8（BSフジ）	BSフジ		
9（WOWOW）	WOWOW		
10（スターチャンネル）	スターチャンネル		
11（BS955）	BS955	BSデータのチャンネル	
12	――	――	

● 手順1でCSボタンを押したとき

リモコンのボタン	放送	チャンネル	放送の種類
1（NHK1）	CSプロモーションCH	001	110度CSデジタル放送
2（NHK2）	CSプロモーションCH	100	

＊ 他のボタンには設定されていません。

お知らせ

- BSデジタル放送の場合で、ダイレクト選局ボタンに放送メディアが登録されている場合（→227ページ手順5）は、ボタンを押すごとに、設定されている放送局のメディアについて、チャンネルが順に選局されます。
  例）9（WOWOW）の場合
  ・9ボタンを押すごとに191→192→193と選局できます。
- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。（→購入のしかたは71ページ）
- 録画予約や一発録画の実行中のときなど、チャンネルを変えることができない場合があります。

チャンネルボタン∧·∨で選ぶ

1 以下のように放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

- 地上アナログ放送 → 地上Aボタンを押す
- 地上デジタル放送 → 地上Dボタンを押す
- BSデジタル放送 → BSボタンを押す
- 110度CSデジタル放送 → CSボタンを押す

2 ［地上D、BS、CSボタンのどれかを押した場合］メディアボタンを押して、放送メディアを選ぶ

- 押すごとに、次のように切り換わります。

テレビ放送 → ラジオ放送（BS、110度CSのみ）→ データ放送

※地上デジタルについては、ラジオ放送はありません。
音声放送としては、地上デジタル音声放送が、地上デジタルテレビ放送とは別の団体で規格化されています。
本機はこの放送には対応していません。
※テレビ放送、ラジオ放送、データ放送については、18ページをご覧ください。

3 チャンネルボタン∧·∨でチャンネルを選ぶ

地上アナログ放送を選んだとき

- リモコンのダイレクト選局ボタンに設定されているチャンネルが順次切り換わります。
CATVチャンネルを設定している場合はCATVチャンネルも順次切り換わります。

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を選んだとき

- 手順2で選んだ放送メディアの受信可能なすべてのチャンネルを選ぶことができます。

お知らせ

- スキップ設定されたチャンネルは選局できません。
- デジタル放送で一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。
- テレビ本体のチャンネルボタン▲·▼では、テレビ放送のチャンネルだけが選局できます。
- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。（→購入のしかたは71ページ）
- 録画予約や一発録画実行中には、チャンネルを変えることができない場合があります。
- 110度CSデジタルの各放送メディア内では放送の種類に区別なく選局できます。
- 「自動スキャン」（→49ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。

■地上デジタル放送の場合

- **枝番について**
  - ・BSデジタル、110度CSデジタル放送でのチャンネルの番号は、3桁チャンネル番号です。
  - ・地上デジタル放送の場合のチャンネル番号は、リモコンの番号（1～12）ですが、これとは別に3桁チャンネル番号があります。

  ［チャンネル番号（1～12）は放送局を指定し、3桁チャンネル番号は、その放送局が行っている個々のチャンネルを指定します。］

  - ・この地上デジタル放送の3桁チャンネル番号は、域内放送（→312ページ）の中では重複することはありません。
  しかし、域外放送（→312ページ）も受信している場合には、3桁チャンネル番号が重複する場合があります。その場合は、3桁チャンネル番号の次に付く、枝番と呼ばれる1桁の番号で区別して選局します。
  （通常選局する際には枝番は表示されません。枝番は「チャンネル一覧」（→48ページ）で確認できます。）

- **チャンネルボタン∧·∨で選局するときのチャンネルの順番について**
  - ・域内放送（→312ページ）のみを受信している場合は、3桁チャンネル番号の順番になります。
  - ・域外放送（→312ページ）も受信している場合には、3桁チャンネル番号の順番にならない場合があります。（このときの順番は、放送の運用規定の順番になっています。）

（地上デジタル放送を選局したときの画面）

3桁チャンネル番号を指定して選ぶ（地上D、BS、110度CSの場合）

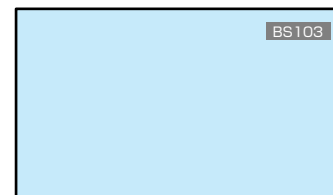
1 以下のように放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

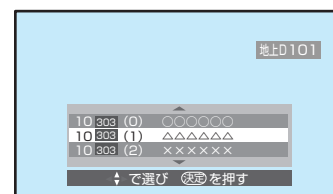
- 地上デジタル放送 → 地上Dボタンを押す
- BSデジタル放送 → BSボタンを押す
- 110度CSデジタル放送 → CSボタンを押す

2 3桁番号入力ボタンを押し、続けて数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

- たとえば、ＢＳチャンネルを選んでいる状態でBS103チャンネルを選ぶ場合

  ◯ ① ⑪/0 ③ と押す
  3桁番号入力

- 地上デジタル、110度CSチャンネルも同様に選べます。
- 存在しないチャンネルは選べません。

右図のように放送一覧が表示された場合

- 地上デジタル放送の場合、同じ3桁チャンネル番号で異なる放送局の放送がある場合があります。その場合には右図のように放送一覧が表示されます。カーソルボタン▲·▼でご覧になりたい放送を選んで決定ボタンを押してください。
  （左図リモコンの数字ボタンで枝番（右画面のカッコ内の数字）を指定して選ぶこともできます）

見たいチャンネルの3桁の番号がはっきりとわからないとき

- ⁎ボタンを使って、次のように選ぶことができます。
- 例1：BSデジタル放送を選んでいる状態で、300番台のBSチャンネルを見たいとき

  ◯ ③ ⑩/⁎ と押す
  3桁番号入力

  →300番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

- 例2：BSデジタル放送を選んでいる状態で、450番台のBSチャンネルを見たいとき

  ◯ ④ ⑤ ⑩/⁎ と押す
  3桁番号入力

  →450番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

- 地上デジタル、110度CSチャンネルも同様に選ぶことができます。

■**本機の出荷後、新たに追加されたり変更された110度CSのチャンネルを選局する場合**

- お買上げ直後や「設定の初期化」（→285ページ）を行ったあとなどには、36ページの操作では選局できない場合があります。
  その場合には、次の操作を行ってください。
  ①**放送切換（CS）ボタンで110度CSデジタル放送を選ぶ**
  ②**チャンネルボタン∧・∨を押して、受信したい放送の種類のチャンネル（どのチャンネルでも構いません）を選んでしばらく待つ**
  ・手順②の操作でチャンネルを受信した後は、36ページに記載されている方法で選局できるようになります。

■**36ページ手順1で放送の種類を選ぶとき**

- 3桁番号入力ボタンを使って選ぶこともできます。
  3桁番号入力ボタンを押すごとに、放送の種類が順次切り換わります。
- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。（→購入のしかたは71ページ）
- 録画予約や一発録画のときなど、チャンネルを変えることができない場合があります。
- 今選んでいる放送と同じ種類の放送を選ぶ場合は、36ページの手順**1**の操作は不要です。

■**地上デジタル放送を選局する場合**

- 「自動スキャン」（→49ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。

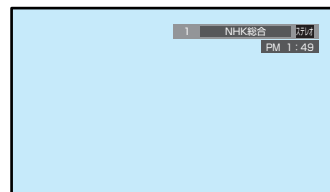
番組表で選ぶ（地上D、BS、110度CSの場合）

● テレビ画面に、地上デジタル放送、BS デジタル放送および 110 度 CS デジタル放送の番組表を表示させて、番組を選ぶことができます。お買上げ直後は、番組内容の表示に時間がかかります。

● **最新の番組表を表示させるために、毎日２時間以上、本機の電源を待機状態にして、番組情報を取得しておくことをおすすめします。（詳しくは 16 ページ）**

番組の選びかた

1 以下のように放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

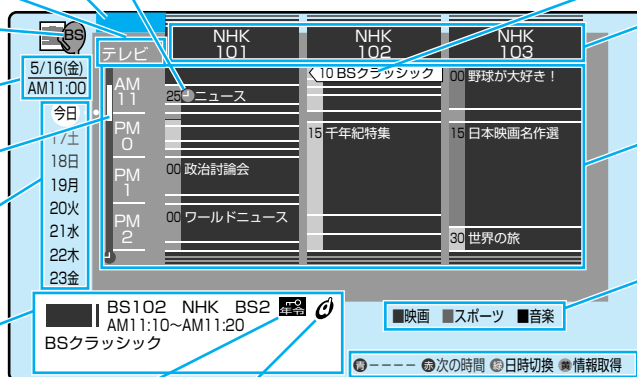
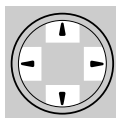
- 地上デジタル放送 → 地上Dボタンを押す
- BSデジタル放送 → BSボタンを押す
- 110度CSデジタル放送 → CSボタンを押す

2 番組表ボタンを押す

- 選んだ放送の番組表が表示されます。
  表示されるチャンネルの順番については、40ページの「お知らせ2」をご覧ください。
  ※電源を「入」にした直後や、ネットワーク（地上デジタルの各チャンネル、BSデジタル、110度CSデジタル）を変えた直後は番組が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送の番組表に切り換えるには

- **地上D、BSまたはCSボタンを押す**

番組表の内容を更新するには

- **番組表画面の右下に「黄 情報取得」が表示されているときに、黄ボタンを押す**
  - 今、カーソルで選んでいるチャンネルのネットワークについて番組情報を取得して、番組表の内容を更新します。詳しくは、40ページの「お知らせ1」をご覧ください。
    （番組表の更新には、時間がかかる場合があります。「黄 情報取得」が表示されていないときには更新の必要はありません。）
  - 番組情報取得中に、もう一度黄ボタンを押すと、番組情報取得を中止します。
    情報取得中は、映像、音声が出力されない場合があります。

3 カーソルボタン▲·▼·◄·► で番組を選ぶ

- カーソルボタン ◄·► でチャンネルを選べます。
- カーソルボタン▲·▼ で先の(次の)時間帯に進むことや、前の時間帯に戻ることができます。(現在の日時よりも前の時間帯には戻れません。)
- 番組表に表示されるチャンネルの順番については、次ページの「お知らせ2」をご覧ください。

指定した3桁チャンネル番号の番組表を見たいとき

- **3桁番号入力ボタンを押し、続けて数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ**
  - ・たとえば、BSデジタル放送を選んでいる状態で、BS181チャンネルの番組表を見たい場合… ◯(3桁番号入力) ①⑧① と押す。
  - ※枝番のあるチャンネルの場合は、チャンネルリストが表示されますので、画面の指示に従ってチャンネルを選んでください。

先の(次の)時間の番組表を見たいとき

- **赤ボタンを押す**
  - ・先の(次の)時間帯の番組表が表示されます。

前の時間の番組表を見たいとき

- **青ボタンを押す**
  - ・前の時間帯の番組表が表示されます。
  (現在の日時よりも前の時間帯には戻れません。)

指定した日時の番組表を見たいとき

- **緑ボタンを押す**
  - ・右の画面が表示されます。以下の操作で設定してください。

日時切換
今日 | 深夜 AM0～ | 朝 AM5～ | 昼 PM0～ | 夜 PM6～
▲▼で日付 ◄►で時間帯を選び 決定を押す

①カーソルボタン▲·▼ で日付を選ぶ
- 放送メディアがテレビのときは7日後まで、それ以外のときには2日後まで選ぶことができます。

②カーソルボタン ◄·► で時間帯を選び、決定ボタンを押す
- 深夜AM0～
- 朝　AM5～
- 昼　PM0～
- 夜　PM6～

（上記のいずれも）選んだ時間帯の番組表が表示されます。

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - ・放送メディアについては、35ページの手順**2**をご覧ください。

番組についての説明を見たいとき(詳しくは51ページ)

①番組説明ボタンを押す
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

4 決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

今後放送となる番組を選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定をしてください。(86ページの手順**2**以降の操作)
  予約設定が終わると番組表画面に戻ります。予約した番組には◕が表示されます。
  番組表表示を終了するには、終了ボタンを押してください。
- 予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。(→97ページの手順**4**)

[次のページにつづく]

番組表で選ぶ（地上D、BS、110度CSの場合）つづき

番組の選びかた つづき

お知らせ1 ■38ページ手順2の「番組表の内容を更新するには」の詳しい説明

- 番組表画面の右下に「黄 情報取得」が表示されているときに黄ボタンを押すと、今カーソルで選んでいるチャンネルのネットワーク（→313ページ）について番組情報を取得して、番組表の内容を更新します。
  （他のネットワークについては番組情報は取得されず、番組表も更新されません。）
  具体的には以下のようになります。
  ・BSデジタルの場合　：BSデジタル放送全体の番組情報を取得し、番組表の内容を更新します。
  ・110度CSデジタルの場合：110度CSデジタル放送の中で、カーソルで選んでいる方の放送について番組情報を取得し、番組表の内容を更新します。
  ・地上デジタルの場合　：カーソルで選んでいる番組の放送局について情報を取得し、番組表の内容を更新します。

  ※上記で、放送の種類によって取得できる内容が異なっているのは、放送の方式が異なるためです。
  （番組情報がネットワークごとに送られているので、このような番組情報の取得のしかたになっています。）

お知らせ2 ■番組表に表示されるチャンネルの順番について

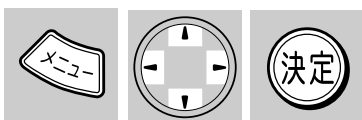
- BS、110度CSデジタル放送の場合：3桁チャンネル番号の順番に表示されます。
- 地上デジタル放送の場合：最初に域内（→312ページ）の放送が放送の運用規定の順番に従って表示され、次に域外（→312ページ）の放送が同様にして表示されます。
  （3桁チャンネル番号順には表示されない場合があります。）
  域内放送が表示される順番については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧表」（→242～245ページ）の「番組表表示の並び順」をご覧ください。
  「自動スキャン」（→49ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。

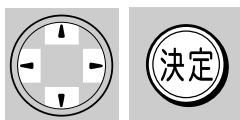
お知らせ3 ■その他

- データ放送を実行しているときは、番組表に切り換わらない場合があります。その場合は、データ放送を終了してから操作してください。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなど、番組表ボタンがはたらかないモードがあります。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは、番組表に表示されません。
- 番組表データのないチャンネルの場合は表示されません。
- 番組表で表示できるのは、最大7日後までですが、チャンネルや放送メディアによって異なる場合があります。
- 番組情報取得中に、番組説明を表示したり、日時切換をしたり番組指定予約を選んだり、放送や放送メディアを切り換えると、番組情報取得を中止します。
- 番組が予告なく変更されたために、番組表の内容が実際の番組と異なってしまう場合があります。
- 移動体受信サービス（→19ページ）については、数番組しか表示されない場合があります。

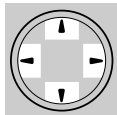
色分け表示するジャンルを変更するには

- 番組表で色分け表示されているジャンルを変更したい場合は以下の操作をしてください。
- お買上げ時は次のように設定されています。
  - ・赤…映画
  - ・緑…スポーツ
  - ・橙…音楽

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「番組表色分け設定」を選んで、決定ボタンを押す

- ジャンル色分け設定画面になります。

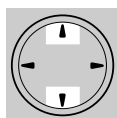
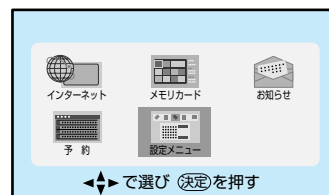
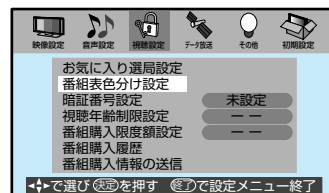
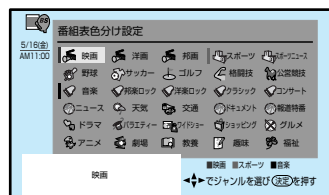
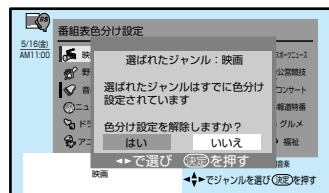
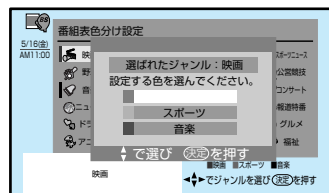
3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で登録したいジャンルを選び、決定ボタンを押す

- 未登録のジャンルの中から選んでください。

ジャンルの色分け表示を取り消したい場合

①色分け表示を取り消したいジャンル(登録済みのもの)を選び、決定ボタンを押す
- 右のメッセージが表示されます。

②カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す
- 選んだジャンルの色分け表示が取り消されます。

③設定メニューに戻るには、戻るボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で設定する色を選び、決定ボタンを押す

- 選んだ色が設定されます。
- すでに他のジャンルが設定されている色を選んだ場合、選んだジャンルに入れ換わります。

他のジャンルを登録するときは、手順3、4を繰り返す

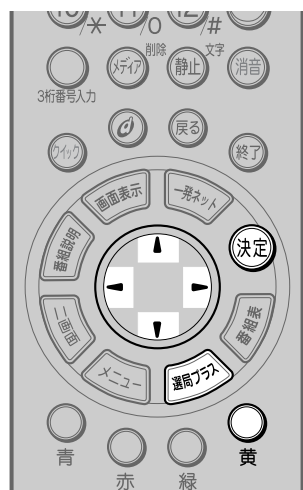
5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

- 次に番組表ボタンを押したときから、登録内容が番組表に反映されます。

- 同じジャンルを複数の色に登録することはできません。
- 各色に設定できるジャンルはそれぞれ一つです。
- 設定した色分けは、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のそれぞれの番組表に反映されます。

番組チェックで選ぶ（地上D、BS、110度CSの場合）

● 今放送されている番組のリストを表示して選局できます。次に放送される番組のリストで予約したり、放送局名リストから選局することもできます。

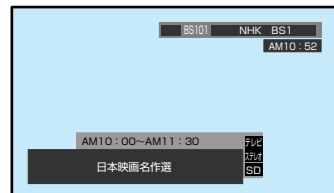
● **最新のリストを表示させるために、毎日2時間以上、本機の電源を待機状態にして番組情報を取得しておくことをおすすめします。**（詳しくは 16ページ）

お知らせ

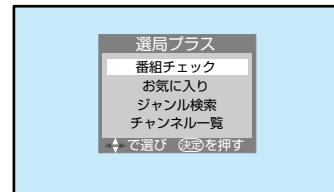
- 手順4で番組情報取得中に番組説明を表示したり、番組指定予約に進んだり、放送や放送メディアを切り換えると、番組情報取得を中止します。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは番組のリストおよび放送局名リストには表示されません。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、「今の番組」と「次の番組」表示が、現在時刻表示と合わなくなるときがあります。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなど、番組チェックボタンがはたらかないモードがあります。

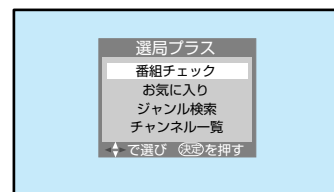
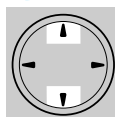
■地上デジタル放送の場合
- 「自動スキャン」（→49ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。

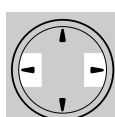
番組の選びかた

1 以下のように放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

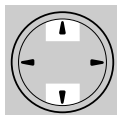
● 地上デジタル放送 → 地上Dボタンを押す
● BSデジタル放送 → BSボタンを押す
● 110度CSデジタル放送 → CSボタンを押す

2 選局プラスボタンを押す

● 選局プラスメニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼で「番組チェック」を選び、決定ボタンを押す

● 放送の種類および放送メディアは、直前に視聴していたデジタル放送になります。
たとえば、BSデジタル放送のテレビを見ていた場合は、BSチャンネルのテレビの一覧が表示されます。

4 カーソルボタン◄·► でリストの種類を選ぶ

● 今の番組、次の番組、放送局名のいずれかのリストを選びます。

リストの内容を更新するには

● **画面下部に、「黄で情報取得」が表示されているときに、黄ボタンを押す**
- 今、リストに表示されているチャンネルのネットワークについて番組情報を取得して、リストの内容を更新します。
詳しくは、40ページの「お知らせ1」で、「番組表」を「リスト」に読み替えてご覧ください。（リストの更新には、時間がかかる場合があります。画面下部「黄で情報取得」が表示されていないときには更新の必要はありません。）
- 番組情報取得中に、もう一度黄ボタンを押すと番組情報取得を中止します。
情報取得中は、映像、音声が出力されない場合があります。

5 カーソルボタン▲･▼で番組（またはチャンネル）を選ぶ

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を切り換えたいとき

- **地上D、BSまたはCSボタンを押す**

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - ・放送メディアについては、35ページの手順**2**をご覧ください。

番組についての説明を見たいとき（詳しくは51ページ）

①番組説明ボタンを押す
- 番組についての説明が見られます。
  ※放送局名リストでは番組説明ボタンははたらきません。

②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

6 決定ボタンを押す

今の番組または放送局名リストで選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

次の番組リストで選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定を行ってください。（86ページの手順**2**以降の操作）
  予約設定が終ると次番組リストに戻り、予約アイコン◕（右図）が表示されます。
- すでに予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認／取り消しの画面になります。（→97ページ手順**4**）

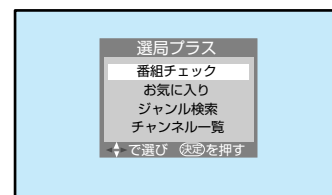
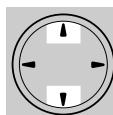
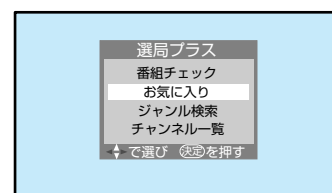
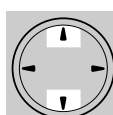
テレビの操作をする

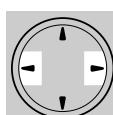
お気に入りで選ぶ（地上D、BS、110度CSの場合）

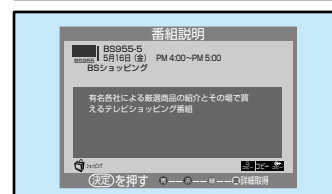
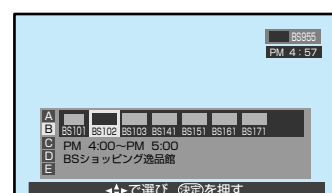
選びかた

● お買上げ時には、下の表の内容が設定されています。
チャンネルを追加、変更することもできます。(→次ページ)

1 選局プラスボタンを押す

● 選局プラスメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「お気に入り」を選び、決定ボタンを押す

● 画面の下部にお気に入りチャンネルリストが表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼でグループを選ぶ

● A·B·C·D·Eの五つのグループのどれかを選びます。

4 カーソルボタン◄·►でチャンネルを選ぶ

番組についての説明を見たいとき(詳しくは51ページ)

①番組説明ボタンを押す
● 選んでいる番組の説明を見ることができます。
②お気に入りチャンネルリストに戻るには、決定ボタンを押す

5 決定ボタンを押す

● お気に入り画面を終了して、通常画面に戻ります。

■お買上げ時に設定されている内容

	1	2	3	4	5	6	7	8
A	メディアサーブ (BS955ch)	日本BS放送 (BS999ch)	メガポート放送 (BS900ch)	日本データ放送 (BS940ch)	DCI放送 (BS933ch)	日本メディアーク (BS963ch)	ウェザーニューズ (BS910ch)	―
B	―	―	―	―	―	―	―	―
C	―	―	―	―	―	―	―	―
D	―	―	―	―	―	―	―	―
E	―	―	―	―	―	―	―	―

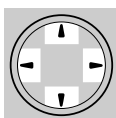
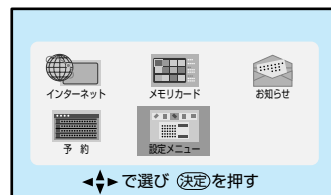
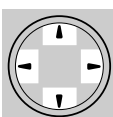
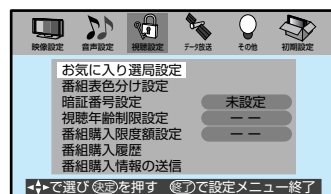
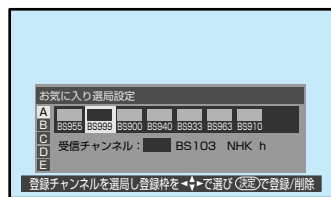
お知らせ

● i.LINK操作中、録画予約、一発録画のときなど、お気に入り選局ができない場合があります。
● チャンネル設定の初期化や初期スキャン、再スキャン、自動スキャンなどの結果、チャンネルがなくなったときには「－－－」が表示されます。（選局はできません。）
その場合は、次ページの操作で登録し直してください。

■地上デジタル放送の場合
● 「自動スキャン」（→49ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などにより、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。

登録のしかた

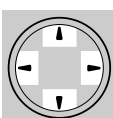
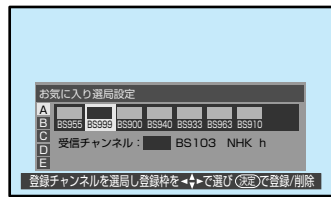
- 最大5グループに8チャンネルずつ合計40のお気に入りチャンネルを登録できます。
- 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送のチャンネルを混合で登録することができます。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「お気に入り選局設定」を選んで、決定ボタンを押す

- 「お気に入り選局設定」画面が表示されます。

3 チャンネルボタン∧·∨を押して登録したいチャンネルを選ぶ

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を切り換えたいとき

- 地上D、BSまたはCSボタンを押す

放送メディアを変えたいとき

- メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ
  - ・放送メディアの詳細については35ページの手順**2**をご覧ください。

4 カーソルボタン▲·▼でグループを選び、カーソルボタン◀·▶で登録する場所を選ぶ

- グループは、A·B·C·D·Eの五つの中から選びます。

5 決定ボタンを押す

すでに他のチャンネルが登録されている場所を選んだとき

- 登録されていたチャンネルが削除され未登録になります。もう一度決定ボタンを押すと新たに選んだチャンネルが登録されます。

未登録の場所を選んだとき

- 登録されます。

いくつものチャンネルを登録するときは、手順 3 〜 5 を繰り返す

6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

お知らせ

- 同じグループ内に同じチャンネルを複数登録することはできません。

ジャンルを指定して選ぶ（地上D、BS、110度CSの場合）

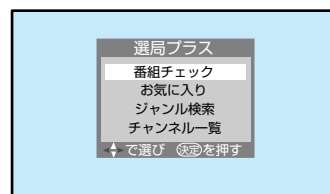
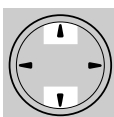
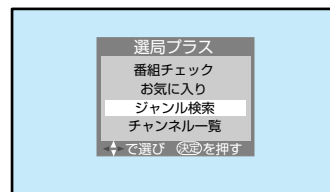
番組の選びかた

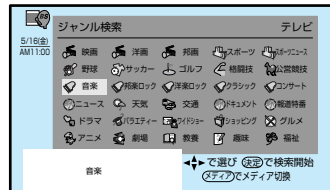
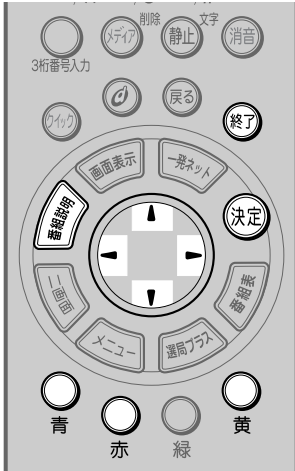
- 映画、スポーツなどのジャンルを指定して、番組を探したり、選局することができます。
- ジャンル検索は、視聴している地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のいずれかについて行います。
- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をまとめて検索範囲にすることはできません。
- **最新の番組情報でジャンル検索を行うために、毎日2時間以上、本機の電源を待機状態にして、番組情報を取得しておくことをおすすめします。（詳しくは16ページ）**

はじめに

ジャンル検索したい放送のチャンネルを選局してください。
- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のチャンネル（どのチャンネルでも構いません）を選局してください。

1 選局プラスボタンを押す

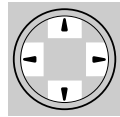
- 選局プラスメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「ジャンル検索」を選び、決定ボタンを押す

- ジャンル検索画面になります。

ジャンル検索する放送メディアを切り換えるとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - ・放送メディアについては35ページの手順2をご覧ください。

- ジャンル検索ができるのは最大7日後までですが、チャンネルによって異なります。ジャンルについての情報が送られていない番組については検索されません。

お知らせ

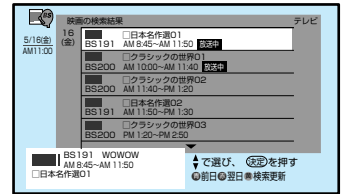
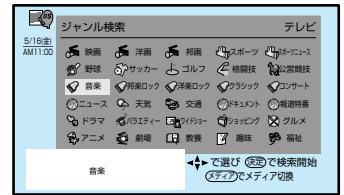
- お買い上げ時、または長時間本体の主電源を「切」の状態にしていたときは、次に電源を「入」にした直後、および番組情報取得設定を「取得しない」から「取得する」（→182ページ）にした直後は、検索される番組が少ないことがあります。また、放送の種類（地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送）を変えた直後も、検索される番組が少ないことがあります。これは、本機に記憶されている番組情報の量が少ないためです。
  番組情報を取得して検索結果を更新するには、手順3の「ジャンル検索結果を更新するとき」をご覧ください。
- 録画予約、一発録画実行中など、ジャンル検索ができない場合があります。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは検索されません。

■地上デジタル放送の場合

- 「自動スキャン」（→49ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。

3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でジャンルを選び、決定ボタンを押す

- ジャンル検索が始まり、今日の検索結果が表示されます。

ジャンル検索結果を切り換えるとき

- 赤ボタンを押すと翌日の検索結果に切り換わります。
- 青ボタンを押すと前日の検索結果に切り換わります。（今日より前には戻れません。）

他の放送についてジャンル検索をしたいとき

- **地上D、BSまたはCSボタンを押して、放送の種類を選ぶ**
  ・ 選んだ放送について、ジャンル検索が行われます。

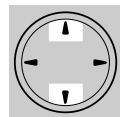
ジャンル検索結果を更新するとき

①黄ボタンを押す
- 確認画面が表示されます。

②更新を行う場合は、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す
- ジャンル検索の更新を行います。
  更新には、時間がかかります。
  特に時間がかかるのは地上デジタル放送の場合で、40分程度かかる場合もあります。
  更新中は、映像や音声が出ない場合があります。
  更新を途中で中止したい場合は、黄ボタンをもう一度押してください。
- 更新をしない場合は、確認画面でカーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押してください。

番組についての説明を見るには（詳しくは51ページ）

①番組説明ボタンを押す
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で選局、または予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

今後放送となる番組を選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定をしてください。（86ページの手順2以降の操作）
  予約設定が終わると検索結果の画面に戻り、予約アイコン◕（右図）が追加されます。
- すでに予約している番組を選んでいるときは、予約内容確認/取り消しの画面になります。（→97ページ手順4）

◕ 予約アイコン

表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼で先に進めます。

ジャンル検索を終了したい場合

- **通常画面に戻るには終了ボタンを押す**

チャンネル一覧で選ぶ（地上D、BS、110度CSの場合）

● チャンネル一覧には、「地上デジタルチャンネル一覧」、「BSデジタルチャンネル一覧」、「110度CSデジタルチャンネル一覧」の三つの種類があります。

チャンネルの選びかた

1 以下のように放送切換ボタンを押して、放送の種類を選ぶ

- 地上デジタル放送 → 地上Dボタンを押す
- BSデジタル放送 → BSボタンを押す
- 110度CSデジタル放送 → CSボタンを押す

2 選局プラスボタンを押す

- 選局プラスメニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル一覧」を選び、決定ボタンを押す

- 放送の種類および放送メディアは、直前に視聴していたデジタル放送になります。
たとえば、BSデジタル放送のテレビを見ていた場合は、BSチャンネルのテレビの一覧が表示されます。

4 カーソルボタン▲·▼でチャンネルを選ぶ

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を切り換えたいとき

- 地上D、BSまたはCSボタンを押す

放送メディアを変えたいとき

- メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ
  - 放送メディアについては、35ページの手順2をご覧ください。

そのチャンネルが設定されている、リモコンのダイレクト選局ボタンが表示されます。

（例）BSデジタル放送のテレビの場合

▲または▼が表示されている場合は、カーソルボタン▲·▼でページを切り換えることができます。

- 地上デジタル放送のすべてに枝番の表示があり、地上デジタル放送のチャンネル一覧の場合には、3桁チャンネル番号の次に枝番がつきます。（詳しくは35ページ）

枝番表示	内容
（0）	域内の放送
（1）～（9）	域外の放送

チャンネル番号

（例）地上デジタル放送のテレビの場合

設定されているリモコンのボタン

5 決定ボタンを押す

- 選んだチャンネルが選局されます。

お知らせ

- デジタル放送の種類によって、チャンネル一覧表示は異なります。
- 受信可能なチャンネルの一覧を表示します。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データ放送サービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスはチャンネル一覧には表示されません。
- 手順4のときにダイレクト選局ボタン（1～12）を押すと、この設定にはいる前に最後に選局した放送が選局されます。
- 複数のボタンに同じチャンネルが登録されているときは、手順4の画面では小さい番号のボタンが表示されます。

■地上デジタル放送の場合

- 「自動スキャン」（→49ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「チャンネル一覧」（このページの手順3）でご確認ください。

自動スキャンについて

●はじめに

・地上デジタル放送の場合、チャンネル設定は最初は「初期スキャン」(207、217ページ)で行います。
　その後、新たに放送が始まった場合や放送が変更された場合は、「再スキャン」(→220ページ)を行って対応してください。
　この「再スキャン」以外に放送局の変更に対応する機能として、「自動スキャン」があります。

●自動スキャンとは

・自動スキャンは、電源待機時などに自動的にチャンネルのスキャンを行ない、放送局の変更(放送局の開局や中継局の変更など)が見つかったときには、本機のチャンネル設定の内容を自動的に変更して、同時に「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡する機能です。
　※状況によっては、自動スキャン後に再スキャンが必要な場合もあります。詳しくは以下の「自動スキャンで放送局の変更が見つかった場合」をご覧ください。
・お買上げ時には、自動スキャンをするように設定されていますが、チャンネル設定の内容を自動変更させたくない場合には、次ページの操作で、自動スキャンをしないように設定できます。
・**「初期スキャン」(→207、217ページ)が行われていないと、自動スキャンは実行されません。**

お知らせ

● 自動スキャンは、電源待機時に不定期に行われます。したがって、「自動スキャンする」(→50ページ)に設定していても、本機のチャンネル設定が最新になっていない場合があります。特に録画予約の際にはご注意ください。
　※放送局の変更があった場合(もよりの放送局などからそのような情報を得た場合)は、再スキャンをされることをおすすめします。
● 電波が弱い場合には、自動スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

■自動スキャンで放送局の変更が見つかった場合

放送局の変更がありました。

放送局の変更(追加・削除など)がありました。チャンネル一覧で受信チャンネルをご確認ください。ダイレクト選局ボタンの設定を変更する場合は、設定メニューの「再スキャン」や「手動設定」を行ってください。

図1

放送局の変更がありました。

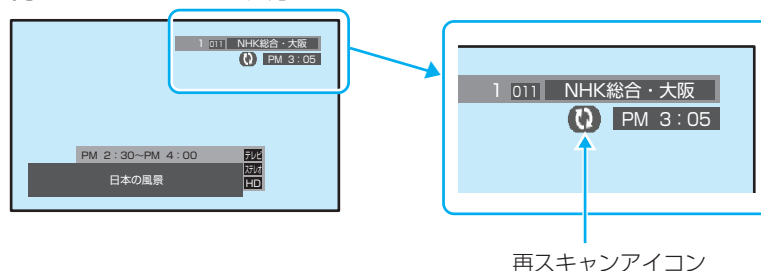
放送局の変更(追加・削除など)がありました。放送局の変更によりデータ放送用のメモリが割り当てられていない放送局がありますので、設定メニューの「再スキャン」を行ってください。

図2

● 本機のチャンネル設定の内容を自動変更し、「本機に関するお知らせ」(左の図1または2)でご連絡します。(「本機に関するお知らせ」については111ページ参照)
● 受信できるチャンネルについては、「チャンネル一覧」(→48ページ)でご確認ください。
　※枝番(→35ページ)のみが変更されている場合もあります。

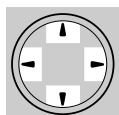
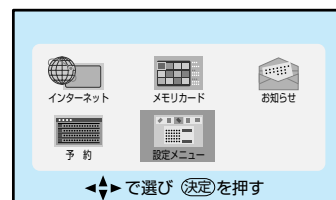
※左の図2の場合
・チャンネル設定の内容は変更しましたが、データ放送用メモリの割当て(→213ページ)については、変更していません。(これは、受信できている放送局の数が、データ放送用メモリを割り当てできる数を超えているためです。)
・このときには、チャンネル選局時などに再スキャンアイコンを表示してお知らせします。(下図参照)
　データ放送用メモリの割当てを変更するには、「再スキャン」(→220ページ)を行ってください。
　(「データ放送用メモリの割当て」は再スキャンの最後に行います。)

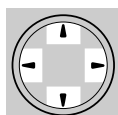
再スキャンアイコン表示

テレビの操作をする

自動スキャンについて つづき

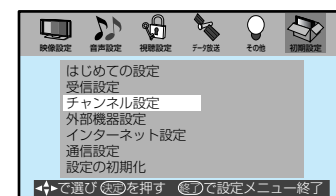
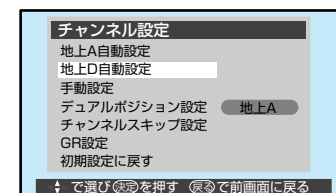
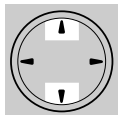
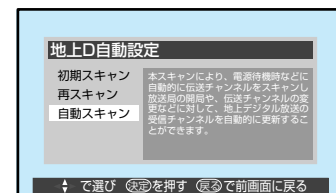
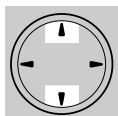
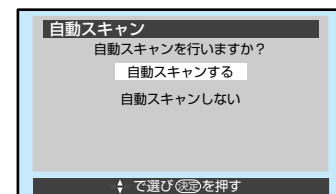
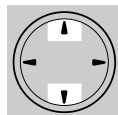
■自動スキャンの設定

- 自動スキャンをする、しないの設定をします。
  お買上げ時には、自動スキャンをするように設定されています。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀･▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲･▼で「チャンネル設定」を選んで、決定ボタンを押す

- 「チャンネル設定」メニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲･▼で「地上Ｄ自動設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル設定
地上A自動設定
地上D自動設定
手動設定
デュアルポジション設定 地上A
チャンネルスキップ設定
GR設定
初期設定に戻す
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

4 カーソルボタン▲･▼で「自動スキャン」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲･▼で「自動スキャンする」または「自動スキャンしない」を選び、決定ボタンを押す

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

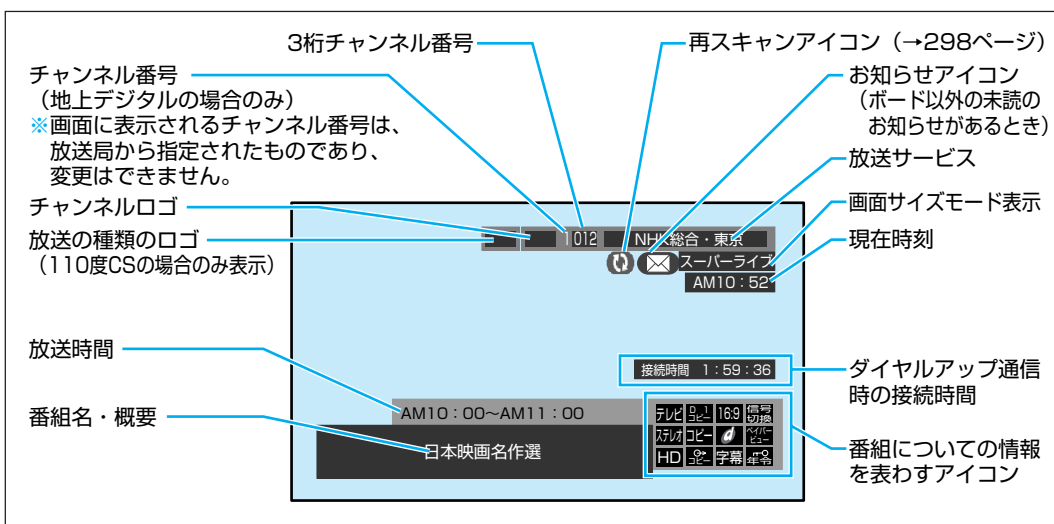
こんなことがしたいとき

番組についての情報を見る(地上D、BS、110度CSの場合)

番組についての情報を見るには

● 画面表示ボタンを押す

・以下のような現在受信しているチャンネルや番組の情報が表示されます。表示は数秒後に消えます。(もう一度、画面表示ボタンを押しても消えます。)

・選局時にも、チャンネルや番組の情報が表示されますが、一部省略された状態で表示されます。

番組についての説明を見るには

①番組説明ボタンを押す

● 現在視聴中の番組について、概要が表示されます。

②[さらに詳しい説明を見るには]

カーソルボタン▼を押す

● 詳細情報が表示されます。

● 詳細情報のデータをまだ取得していない場合は、画面右下に「黄で詳細取得」が表示されます。黄ボタンを押してデータを取得してください。

● 詳細情報取得中は、映像、音声は出力されない場合があります。

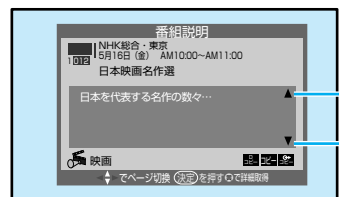
● 詳細情報取得中に、もう一度黄ボタンを押すと、詳細情報の取得を中止します。

● カーソルボタン▲·▼で、ページを切り換えることができます。

③番組説明画面を消すには、決定ボタンを押す

表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼で先に進めます。

■録画や録音が制限されている場合

● 番組によっては、録画や録音が制限される場合があり、その場合は番組情報や番組説明の画面でアイコンを表示してお知らせします。アイコン表示については298ページをご覧ください。B-CASカードが挿入されていない場合などで判定できない場合はアイコンは表示されません。

● デジタル録画が制限されている番組のときは、i.LINK端子に信号が出力されない場合があります。

お知らせ

● 番組情報や番組説明の画面に表示されるアイコンの詳細は、「アイコン一覧」(→298ページ)をご覧ください。

● i.LINKのデジタル信号によっては、番組の情報が表示されない場合があります。

● 番組の情報を表示させたり、番組の詳細情報取得を行っているときは、時間がかかる場合があります。

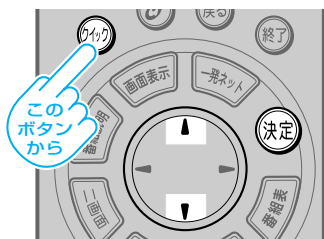
● 番組情報を取得するタイミングによっては、番組情報の表示が、現在時刻表示と合わなくなるときがあります。

音を一時消す

●消音ボタンを押す

● もう一度、消音ボタンを押すと音が出ます。

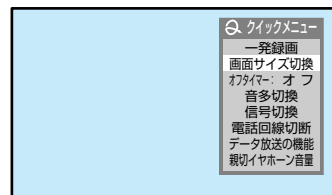
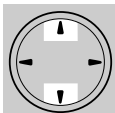
● 音量ボタン+·−の操作でも音が出るようになります。

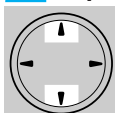
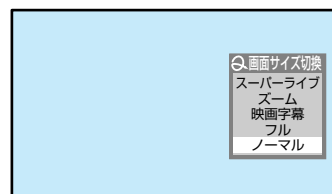
こんなことがしたいとき つづき

お知らせ

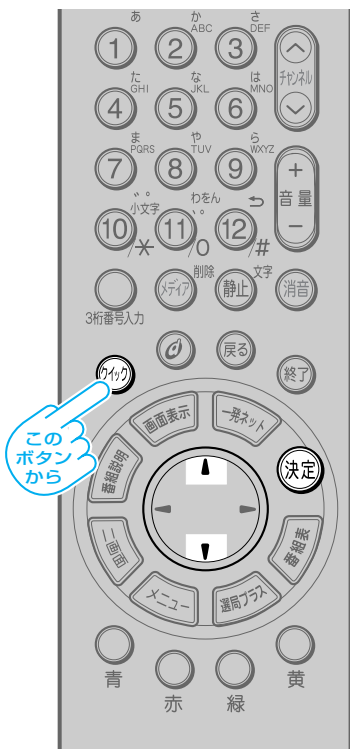
- 営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、喫茶店、ホテルなどで画面の大きさを変えるなどの特殊機能(送られてくる映像の縦横比を変えるなど)を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。
- D4映像入力端子に1125i信号または750p信号を受信したときはフルモードになり画面サイズは切り換えられません。
- S2映像出力端子のあるA/V機器で、S2またはD映像出力端子から本機に接続された場合、フルモードの信号が本機に入力されたときは、テレビ画面サイズがフルモードになり、レターボックス（4：3で上下に黒い帯が表示されるもの）の信号が入力されたときはズームモードの画面になります。そのあとに、お好みの画面サイズに切り換えることもできます。
- S1映像出力端子のあるA/V機器で、S1またはD映像出力端子から本機に接続された場合、フルモードの信号が本機に入力されたときは、テレビ画面サイズがフルモードになります。そのあとに、お好みの画面サイズに切り換えることもできます。
- デジタル放送の場合、番組によっては、いくつかの子画面や選択項目などが画面に表示されて、カーソルボタン▲･▼･◀･▶でそれらを選択できるものがあります。その場合、画面サイズを「スーパーライブ」、「ズーム」、「映画字幕」のいずれかでご覧の際には、選択している部分の枠がずれて表示される場合がありますが、これは故障ではありません。
- 画面サイズ切換のモードによっては、映像の上下や左右が一部欠ける場合があります。
- 画面サイズをノーマルモードに切り換えたときに、画面の左右に出る帯の明るさを設定することができます。「グレーレベルの設定」（→186ページ）をご覧ください。
- 「スーパーライブ」モードのとき、放送内容によっては画面の左右にノイズや黒い帯が出ることがあります。

画面サイズを切り換える

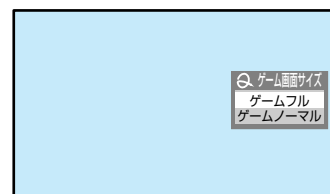
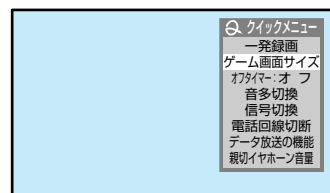
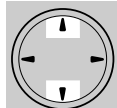
- 画面サイズを切り換えて迫力あるワイド画面が楽しめます。
- 画面サイズ(画面の横と縦の比)が16:9の信号を受信したときは自動的に最適なサイズになり、切り換えることはできません。

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲･▼で「画面サイズ切換」を選び、決定ボタンを押す

「画面サイズ切換」が薄く表示されたときは切り換えられません。

2 カーソルボタン▲･▼でご希望の画面サイズモードを選び、決定ボタンを押す

- カーソルボタン▼(▲は逆回り)を押すごとに以下の順に切り換わります。

- 画面サイズモードについては、以下をご覧ください。

・スーパーライブ	：	通常(4:3)のテレビ番組をワイド画面で楽しむモードです。
・ズーム	：	映画の上下が黒い帯などになっている横長映像(映画など)を楽しむモードです。
・映画字幕	：	字幕がはいった横長映像を表示するモードです。
・フル	：	DVDなどのスクィーズ信号(縦に長い映像の信号)やハイビジョン放送などの画面の横と縦の比が16:9のテレビ番組を、そのままの画面の横と縦の比で表示するモードです。(画面の左右いっぱいに広げて、正常な映像にします。)
・ノーマル	：	通常の映像(4:3の映像)をそのままの横と縦の比で表示します。

ゲーム入力画面のとき（ビデオ入力表示設定で「ゲーム」に設定していたとき（→184ページ））

●以下の操作を行う

①クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「ゲーム画面サイズ」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼でゲーム画面サイズモードを選び、決定ボタンを押す
- カーソルボタン▼（▲は逆回り）を押すごとに以下の順に切り換わります。

こんなことがしたいとき つづき

お知らせ

- 番組によっては、最大二つの言語の字幕が送られます。
- 番組によっては、字幕設定画面上に言語名ではなく、「字幕1」「字幕2」と表示される場合もあります。
- テレビ放送の場合で、字幕と放送画面の文字が重なる場合は、55ページの操作で重ならないようにすることができます。
- 背面の「デジタル放送録画出力」端子からは、字幕が画面表示するように設定されている場合でも、字幕は出力されません。
- 二画面（→77ページ）では、音声の出ている画面の字幕が表示されます。
- 二画面（→77ページ）で表示しているときは、字幕がはみ出すことがあります。
- 字幕表示中、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）では、字幕表示が欠けることがあります。また、番組表やジャンル検索画面を表示した場合、字幕表示は消えます。通常画面に戻ると再び字幕を表示します。
- D4映像入力端子からの信号については字幕表示できません。

字幕を見る

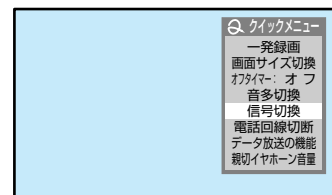
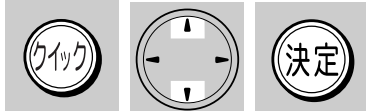
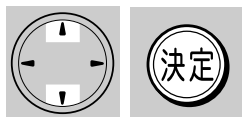
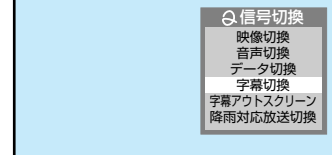
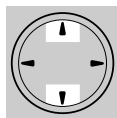
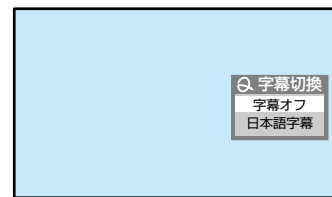
- 字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。
- お買上げ時は、「字幕オフ（字幕を表示しない）」に設定されています。

地上デジタル放送、BSまたは110度CSデジタル放送の場合

1 字幕があることをアイコン（絵文字）で確認する

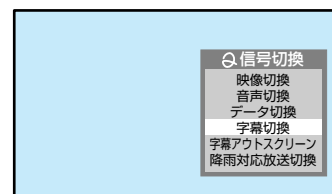
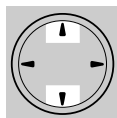
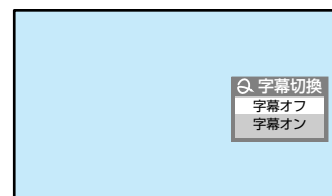
アイコン

- 画面表示ボタンで表示されます。
- 字幕アイコンが薄く表示されている場合、視聴中の番組は字幕放送ではありません。
  ※字幕アイコンが表示されている場合でも、放送信号に字幕データがない場合があります。

2 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「字幕切換」を選び、決定ボタンを押す

- 字幕切換画面が表示されます。

4 カーソルボタン▲·▼で、表示したい字幕を設定する

- 受信する番組によって選べる言語が異なります。
- 字幕を見ないときは「字幕オフ」に設定してください。
- 字幕付きペイ·パー·ビュー番組は、購入後に字幕表示ができます。

5 ［通常画面に戻るには］
決定ボタンを押す

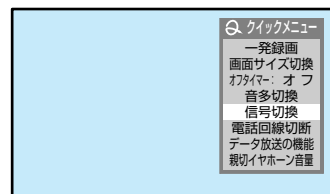
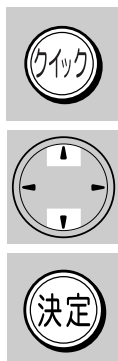
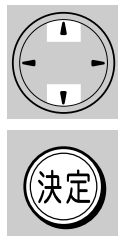
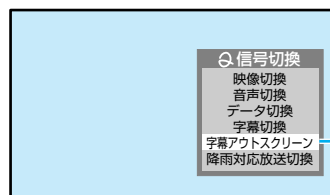
地上アナログ放送の場合

1 上記の手順 2、3 を行う

- 地上アナログ放送の場合は、本機で字幕付き放送かどうかを確認することはできません。

2 カーソルボタン▲·▼で「字幕オフ」または「字幕オン」を選ぶ

- 字幕を見ないときは「字幕オフ」に設定してください。

3 ［通常画面に戻るには］
決定ボタンを押す

■字幕と画面の文字などが重なって見づらいとき

- 画面を通常よりも小さく表示させることによって、字幕と画面表示の重なりを少なくすることができます。(これを字幕アウトスクリーン表示と呼びます。)
  字幕アウトスクリーン表示ができる番組の場合で、字幕が表示されるように設定されているときのみ、このアウトスクリーン表示にすることができます。

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲･▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲･▼で「字幕アウトスクリーン」を選び、決定ボタンを押す

- 画面が縮小して表示され、字幕と画面表示の重なりが少なくなります。
- カーソルボタン▲･▼で画面表示位置を移動できます。

※ 字幕アウトスクリーン表示にできない場合は、薄く表示されます。

3 通常の表示に戻すには、終了ボタンを押す

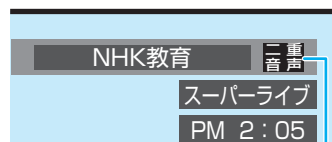
- 次の場合にも通常の表示に戻ります。
  - ・チャンネル、外部入力、放送メディアを変えたとき
  - ・メニューや番組表などを表示したときや、静止画、二画面表示にしたとき
  - ・字幕をオフにしたとき
  - ・電源を「待機」や「切」にしたあと、など

- 字幕アウトスクリーン表示中は、画面サイズを切り換えることはできません。
- 字幕アウトスクリーン表示中は、データ放送に切り換えることはできません。
- 字幕アウトスクリーン表示中は、画面の上部もしくは下部が欠けることがあります。
- 字幕の表示位置によっては、画面と重なることがあります。

こんなことがしたいとき つづき

音声多重放送を聞くには

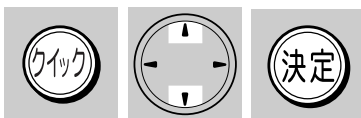
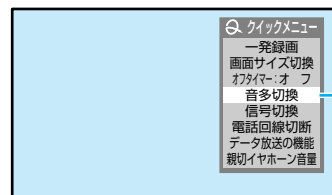
- 二重音声放送の場合、主音声、副音声、主音声＋副音声を切り換えることができます。（この機能のことを音多切換といいます。）
- お買上げ時は「主音声」に設定されています。
- 視聴している番組が二重音声でない場合は、音多切換の操作はできません。
- デジタル放送の場合、音声多重放送のほかに、複数の音声信号のある場合があり、それらで英語放送などが行われる場合もあります。その場合の音声信号の選びかたは57ページをご覧ください。

はじめに 二重音声放送の場合、画面表示ボタンを押したときに画面にアイコンが表示されます。

アイコン

（地上アナログ放送の場合）

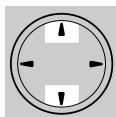
アイコン

（デジタル放送の場合）

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「音多切換」を選び、決定ボタンを押す

- 「音多切換」の画面になります。（次の手順の画面）

※ 二重音声でない場合は、「音多切換」は薄く表示されます

2 カーソルボタン▲·▼で主音声、副音声、主：副を切り換える

- 切り換えるごとに設定されます。

（例：主音声が日本語、副音声が英語の場合）

	主音声		副音声		主音声＋副音声	
画面表示	主音声		副音声		主：副	
スピーカー →	（左）	（右）	（左）	（右）	（左）	（右）
音声出力 →	主音声	主音声	副音声	副音声	主音声	副音声

3 ［通常画面に戻るには］決定ボタンを押す

お知らせ

- 音多切換は、二重音声放送の受信時と、i.LINK入力時（二重音声のある場合）に行えます。（i.LINK入力時でもアナログ地上放送信号の場合には、音多切換はできません。）
- デジタル放送、地上アナログ放送それぞれについて手順2で選んだ二重音声は、最後に設定した状態が保たれます。したがって、選局などの操作を行っても、自動的に最後に設定された状態になります。
- アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約、一発録画を実行中のときなど、デジタル放送の音多切換ができない場合があります。

■光デジタル音声出力について

- 178ページで光デジタル音声出力端子を「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定している場合で、MPEG-2 AAC音声が出力されている場合には、主音声・副音声の切換えは本機ではできません。その場合はMPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。

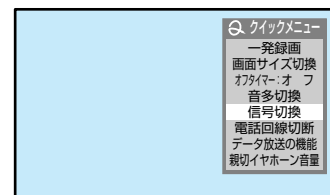
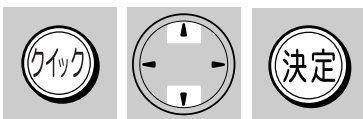
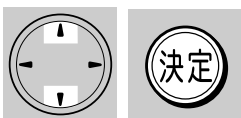
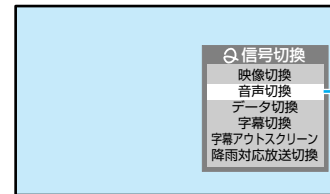
映像、音声、データを切り換える

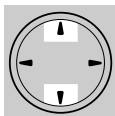
● デジタル放送の場合、一つの番組の中に複数の信号（映像や音声、データ）がある場合があり、お好みに応じて切り換えることができます。

1 複数の信号があることをアイコンで確認する

● 複数の信号がある場合は、画面表示ボタンを押したときに画面にアイコンが表示されます。

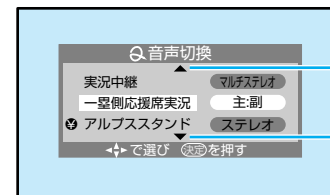
アイコン

2 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲･▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲･▼で切り換えたい項目（「映像切換」「音声切換」「データ切換」のいずれか）を選び、決定ボタンを押す

● 選んだ項目の画面（次の手順の画面）になります。

※ 信号が複数ない場合は、薄く表示されます

4 カーソルボタン▲･▼でお好みの信号を選ぶ

¥が表示されている信号について

● 視聴するためには追加料金が必要です。
● 「選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合」（➞58ページ）の操作を行ってください。

音声切換で二重音声（主:副）を選んだ場合

● スピーカーからの音声を切り換えるには「音声多重放送を聞くには」（➞56ページ）をご覧ください。

（「音声切換」を選んだ場合）
表示の上、下に▲・▼マークがある場合は、カーソルボタン▲･▼で先に進めます。

5 決定ボタンを押す

● 映像、音声、データの切換えは、放送の受信時と、i.LINK入力時に行えます。
● 映像を切り換えると、それに伴って音声が自動的に切り換わる場合もあります。（これをマルチビューサービスといいます。）
● 選局の操作を行うと、手順4で選んだ状態は取り消されます。
● アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約、一発録画を実行中のときなど、信号切換ができない場合があります。

こんなことがしたいとき つづき

映像、音声、データを切り換える つづき

選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合

はじめに

57ページの手順4で追加料金が必要な信号を選んだ場合

- 右の画面が表示されます。視聴するには以下の操作を行ってください。

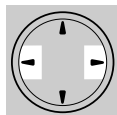
映像切換
実況中継
一塁側応援席実況
アルプススタンド
で選択 決定で決定
この映像は追加料金が必要です。
視聴するには 決定 を押す

1 決定ボタンを押す

- 右の画面になります。

この信号を購入しますか？
一塁側応援席実況
購入料金：￥500
購入する　しない
◄►で選び 決定を押す

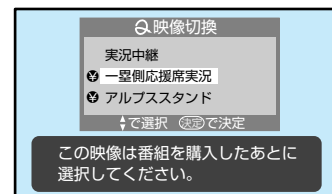
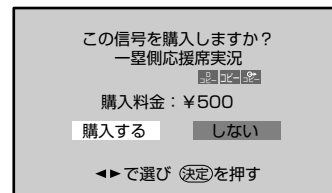
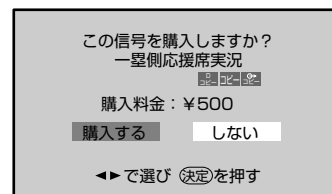
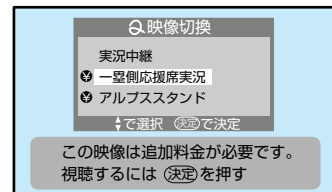
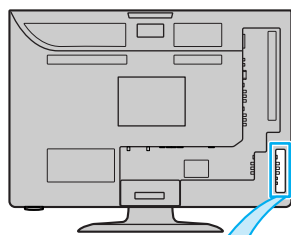
2 カーソルボタン◄·►で「購入する」を選ぶ

この信号を購入しますか？
一塁側応援席実況
購入料金：￥500
購入する　しない
◄►で選び 決定を押す

3 決定ボタンを押す

- 選んだ信号が購入されます。
- 購入金額が、あらかじめ設定してある限度額を超えた場合は、暗証番号の入力画面になります。
  購入する場合は、暗証番号（→276ページ）を数字ボタン0～9（⑪0～⑨）で入力してください。
  購入しない場合は、終了ボタンを押してください。

ペイ・パー・ビュー番組の購入がまだ行われていない場合

- 右のメッセージが表示されます。以下のように、ペイ・パー・ビュー番組の購入を行ってから、ご希望の映像や音声、データを購入してください。
  ①終了ボタンを押す
  - 通常画面に戻ります。

  ②ペイ・パー・ビュー番組を購入する（→71ページ）
  ③「映像切換」または「音声切換」または「データ切換」（→57ページ）の操作をする

■暗証番号について（→276ページ）
- ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

イヤホーンとスピーカーの両方で聞くには

● イヤホーン(副画面)端子を使うと、スピーカーの音を出したままイヤホーンで聞くことができます。
● イヤホーン(副画面)端子の音量調整は、スピーカー音量とは別に調整できます。

【背面】(→128ページ)

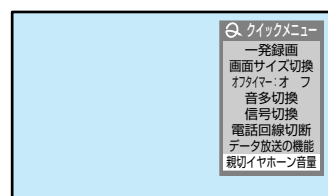
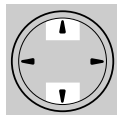
イヤホーン(副画面)端子の音量調整のしかた

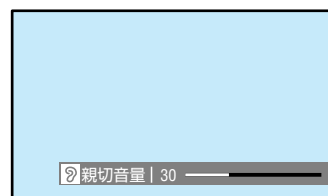
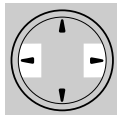
はじめに　イヤホーン(副画面)端子にイヤホーンをつなぐ

■一画面表示のとき

● スピーカーと同じ音声が、イヤホーン(副画面)端子からも出力されます。
・ 次の操作でイヤホーン(副画面)端子からの音量を調整することができます。

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「親切イヤホーン音量」を選び、決定ボタンを押す

● イヤホーン接続時のみ「親切イヤホーン音量」の調整をすることができます。

2 カーソルボタン◀·▶で音量を調整する

● 音量ボタン＋·－でも調整できます。

3 [一画面表示に戻るには]
終了ボタンを押す

こんなことがしたいとき つづき

イヤホーンとスピーカーの両方で聞くには つづき

イヤホーン(副画面)端子の音量調整のしかた つづき

■二画面表示のとき

● 二画面で、イヤホーン(副画面)端子にイヤホーンを接続したとき、スピーカーからは操作画面(♪表示の画面)、イヤホーンからはもう一方の画面の音が出ます。(副画面イヤホーン側の映像は音声に対して若干遅れますが、故障ではありません。)

(操作画面左のとき)

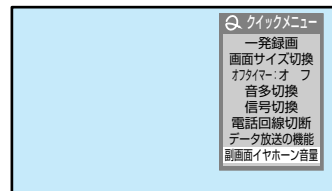
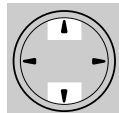
● 左画面のチャンネルを変えることができる
● スピーカーの音声は左画面
● イヤホーンの音声は右画面

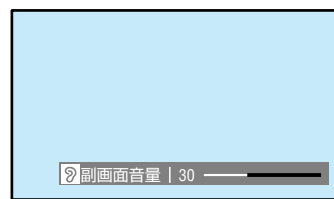
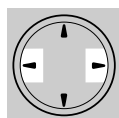
(操作画面右のとき)

● 右画面のチャンネルを変えることができる
● スピーカーの音声は右画面
● イヤホーンの音声は左画面

・以下の操作でイヤホーン(副画面)端子からの音量を調整することができます。

1 **クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「副画面イヤホーン音量」を選び、決定ボタンを押す**

● イヤホーン接続時に「副画面イヤホーン音量」の調整をすることができます。

2 **カーソルボタン◄·►で音量を調整する**

● 音量ボタン＋·－でも調整できます。

3 [二画面表示に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

● 消音ボタンを押しても副画面イヤホーン音声は消えません。
● 副画面イヤホーンには、低音補正、BBEははたらきません。
● スピーカーの音に比べ、副画面イヤホーンの音がやや早く聞こえますが、故障ではありません。

映像を一時静止する

●静止ボタンを押す

- 静止画面になり、動画の子画面が出ます。
- もう一度、静止ボタンを押すと通常の一画面に戻ります。

動画の位置を変えるには

- カーソルボタン▲·▼·◄·►で、動画を右上、左上、左下、右下に移動することができます。

動画

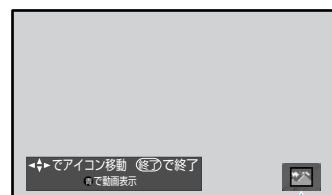
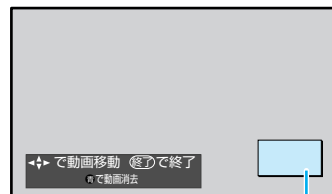
動画を消すには

- **青ボタンを押す**
  - ・動画が消え、アイコンが表示されます。
  - ・カーソルボタン▲·▼·◄·►で、アイコンを右上、左上、左下、右下に移動することができます。
  - ・もう一度、青ボタンを押すと、アイコンの位置に動画が表示されます。

番組についての説明が見たいとき（詳しくは51ページ）

①**番組説明ボタンを押す**

- 動画についての番組の説明を見ることができます。

②**番組説明を消すには、決定ボタンを押す**

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は、静止画にすることはできません。
- i.LINKモード、録画予約、一発録画のときなど静止画にできない場合があります。
- 静止ボタンを押すと、本体背面「デジタル放送録画出力」端子からの出力映像が一瞬静止することがあります。
- 二画面（→77ページ）で静止ボタンを押すと、操作画面（♪表示の画面）が静止画面になります。（二画面表示は終了します。）
- 静止画表示中は字幕は表示されません。
- 静止画表示中は、データ放送の操作はできません。
- 選局操作をすると静止画面を終了して、通常の画面になります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「二画面」を使用されますと、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

データ放送を楽しむ（地上D、BS、110度CSの場合）

データ放送を楽しむ

データ放送の種類

■番組連動データ放送

● デジタル放送の番組に関連したデータ放送
例　・野球放送中に他球場の速報を放送
　　・クイズ番組への参加　など

■独立データ放送

● 番組とは無関係の独立したデータ放送
例　・ショッピング（オンライン通販）
　　・天気予報　など

■双方向通信サービス

● 電話回線などを使用した双方向のサービスです。
番組連動データ放送や独立データ放送で、画面に表示される操作ガイドによって操作を行います。
● 双方向通信サービスに使用される通信方式としては以下の3種類があります。
※使用される通信方式は双方向通信サービスを行う事業者によって異なります。詳しくは、各事業者にお問い合わせください。

(1)電話回線を使用した基本通信
・本機の電話回線接続端子を使った通信です。
・地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送で使用されます。
・接続は「電話回線の接続」（→200ページ）、設定は「電話回線設定」（→209ページ、262ページ）をご覧ください。

(2)イーサネット通信
・本機のEther（イーサ）端子を使用したネットワーク通信です。ADSLやCATVなどによる通信があります。
・地上デジタル放送で使用されます。
・接続は「Ether（イーサ）端子の接続」（→203ページ）、設定は「通信接続設定」（→268ページ）をご覧ください。

(3)ダイヤルアップ通信
・本機の電話回線接続端子を使用したネットワーク通信です。
・地上デジタル放送では、番組（コンテンツ）によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合に使用されます。また、ダイヤルアップ通信を使用する場合は、「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。（お買上げ時は「イーサネット優先」に設定されています。詳しくは269ページ）

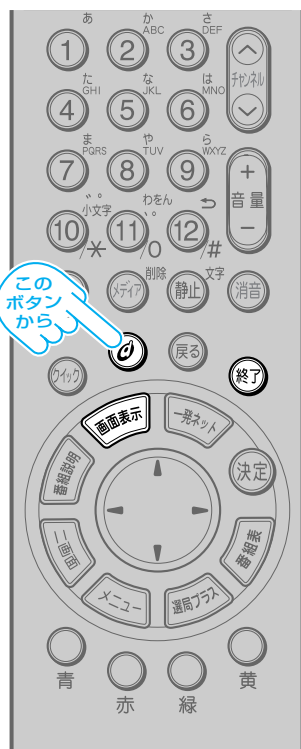
※将来はBSや110度CSデジタル放送でもダイヤルアップ通信やイーサネット通信が使用される可能性があります。

お知らせ1　**■ダイヤルアップ通信、イーサネット通信の場合**

● ダイヤルアップは、放送局からの指示時間で自動的に切断されます。
● ダイヤルアップの接続や切断のときに、メッセージを表示させることができます。（→274ページ）
● ダイヤルアップ通信時に、画面表示ボタンを押すと、接続されている時間を画面に表示します。（→51ページ）
● ダイヤルアップ通信の場合、通信に時間がかかることがあります。

お知らせ2　**■その他**

● 録画予約、一発録画実行中は、データ放送の操作ができない場合があります。
● 電話回線を使用しているときは、本体の「回線使用中」表示（右図）が点灯します。
● 放送サービスによって料金がかかる場合があります。
● 二画面や静止画表示などでは、データ放送は操作できません。

● **データ放送サービスの中で、放送局からの情報を本機に記憶し、更新できる番組などがあります。（例：ゲームのスコアやお客様のポイントなど）
それらの情報の更新は、電源が「待機（赤）」のときに行われる場合もあります。したがって、主電源を切ると正しく情報が更新されない場合があります。主電源を切る場合は、一度電源を「待機（赤）」状態にし、3秒以上たってから主電源を切ってください。**

番組連動データ放送を楽しむ

はじめに

画面表示ボタンを押したときに、画面にアイコン「d」が表示された場合は、以下の操作で番組連動データ放送をお楽しみになれます。

※「d」アイコンが表示されている場合でも、放送信号に番組連動データ放送がない場合があります。

● データ取得中は画面に[マーク]マークが表示されます。データ取得が終了すると表示は消えます。

1 dボタンを押す

● 番組連動データ放送がはじまります。
● 放送によっては、dボタンを押さなくても自動的にデータ放送がはじまる場合もあります。

2 画面に表示される操作指示に従って、操作をする

3 [データ放送を終了するには] 終了ボタンを押す

独立データ放送を楽しむ

1 データ放送の番組を選ぶ

● 選局のしかたは「番組表で選ぶ」(→38ページ)や「番組チェックで選ぶ」(→42ページ)などをご覧ください。
● データ取得中は画面に[マーク]マークが表示されます。データ取得が終了すると表示は消えます。

2 画面に表示される操作指示に従って、操作をする

3 [データ放送を最初から受信し直すには] 終了ボタンを押す

お知らせ

● データ放送受信中は、リモコンや本体の一部のボタンが動作しない場合があります。
● 画面に表示される操作指示で、「dボタン」ではなく、「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。その場合もdボタンを押して操作してください。

データ放送を楽しむ（地上D、BS、110度CSの場合）つづき

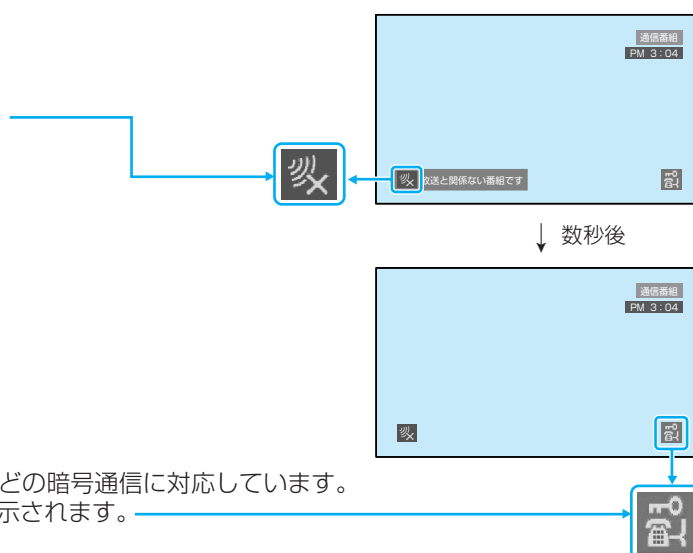
データ放送を楽しむ つづき

独立データ放送を楽しむ つづき

■地上デジタル放送の双方向通信サービスについて

● 地上デジタル放送の双方向通信サービスには、リンク型と非リンク型の二つの種類があります。

・**リンク型サービス**
放送番組に関連した通信サービス。

・**非リンク型サービス（通信番組）**
放送番組とは無関係な通信サービス。
放送の映像・音声などは参照できません。
（右図のようにアイコン等が表示されます）

● 本機はSSL（Secure Sockets Layer）などの暗号通信に対応しています。
そのサービスの際は画面右下にアイコンが表示されます。

お知らせ

● 運用規程どおりでないサービスの場合には、正しく表示されない場合があります。

ブックマーク機能を使う

- ブックマーク機能とは…
  デジタル放送で、現在視聴しているデータ放送やデータ放送に関連したサービスなどを記録しておき、ブックマークのリストからそのサービスを選ぶことができる機能です。

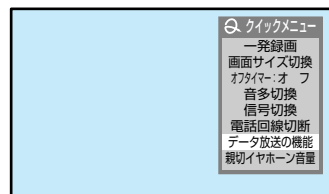
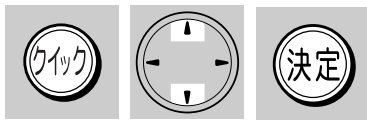
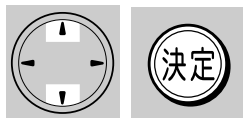
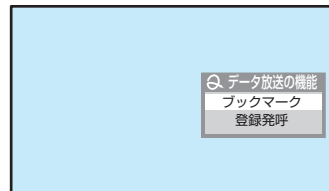
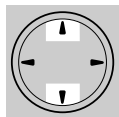
■ブックマーク記録をする

1 画面でブックマーク付きのサービスであることを確認する

- デジタルのデータ放送視聴中で、ブックマークがあることが画面表示でお知らせされているときにブックマーク記録ができます。
  ※お知らせのしかたはデータ放送サービスによって異なります。

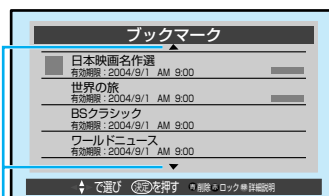
2 画面の操作説明に従って、ブックマーク記録を行う

■ブックマークを選ぶ

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「データ放送の機能」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「ブックマーク」を選び、決定ボタンを押す

- ブックマーク画面が表示されます。
  記録されたブックマークがない場合は、その旨のメッセージが表示されます。
- 有効期限が切れたブックマークがあるときは、削除する旨のメッセージが表示されます。決定ボタンを押すと削除され、手順3に進みます。

3 カーソルボタン▲·▼でブックマークを選ぶ

選んでいるブックマークについての説明を見るには

①緑ボタンを押す
②前画面に戻るには、決定ボタンを押す

ブックマーク画面ではこんなこともできます！

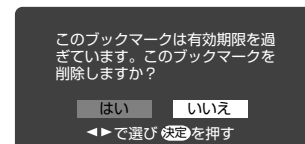
- **ブックマークを削除する**（→66ページ）
- **ブックマークをロックする**（→66ページ）

▲または▼が表示されている場合は、カーソルボタン▲·▼でページを切り換えられます。

4 決定ボタンを押す

- リンク先のチャンネルや通信サービスにジャンプします。リンク先のチャンネルや通信サービスが存在しない場合は、ジャンプすることができません。
  リンク先がない場合はその旨のメッセージが表示されます。

次のメッセージが表示された場合

- ブックマークを削除する場合はカーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押してください。
- ロックされているブックマークは削除できません。（その旨のメッセージが表示されます。）
  ロックを解除したあと（→66ページ）、削除してください。

このブックマークは有効期限を過ぎています。このブックマークを削除しますか？
はい　いいえ
◀▶で選び 決定を押す

お知らせ

- ブックマーク画面表示は、上記のほかにデータ放送の操作で表示できる場合もあります。
  その操作方法については、データ放送画面でご確認ください。
- **通信サービスにジャンプするときは、電話料金がかかる場合があります。**

データ放送を楽しむ（地上D、BS、110度CSの場合）つづき

データ放送を楽しむ　つづき

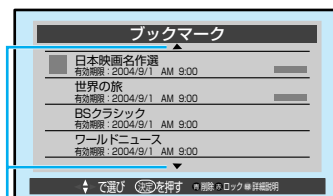
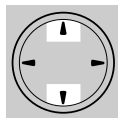
ブックマーク機能を使う　つづき

■ブックマークを削除する

● 指定したブックマークを削除したり、ブックマークすべてをまとめて削除することもできます。

1 65ページの「ブックマークを選ぶ」の手順1～2の操作で、ブックマーク画面にする

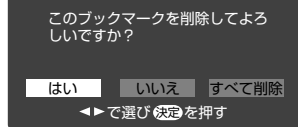
● ロックされているブックマークは削除できませんので、あらかじめロックを解除してください。（→以下の「ロックを解除する」を参照）

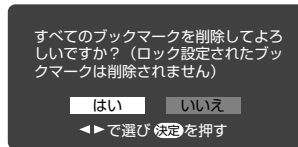
2 ［指定したブックマークのみを削除する場合］
カーソルボタン▲・▼で削除したいブックマークを選ぶ

▲または▼が表示されている場合は、カーソルボタン▲・▼でページを切り換えられます。

3 青ボタンを押す

4 以下の操作で削除する

手順2で指定したブックマークのみを削除する場合

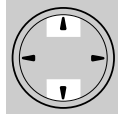
● カーソルボタン◄・►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
ロックされている場合は削除できません。
（その旨のメッセージが表示されます。）
ロックを解除したあと（→以下の「ロックを解除する」を参照）、削除してください。

記録されているブックマークすべてを削除する場合

①カーソルボタン◄・►で「すべて削除」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン◄・►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
●ブックマークがすべて削除されます。
（ロックされているブックマークは削除されません。）

（②の画面）

■ブックマークをロックする（ロックを解除する）

●「ロック」は、記録されているブックマークを削除できなくする機能です。

1 65ページの「ブックマークを選ぶ」の手順1～2の操作で、ブックマーク画面にする

2 カーソルボタン▲・▼でロックをかけたい（またはロックを解除したい）ブックマークを選ぶ

3 赤ボタンを押す

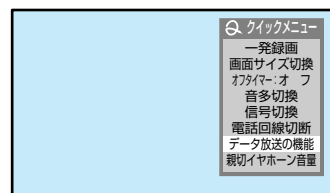
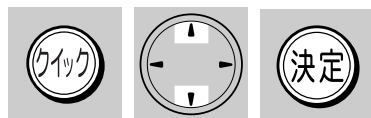
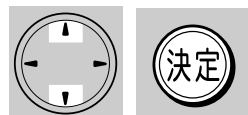
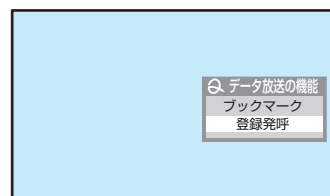
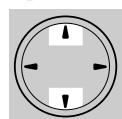
● 赤ボタンを押すごとに、ロック⇔ロック解除と交互に切り換わります。
ロックされると、ロックアイコン🔒が表示されます。

登録発呼機能を使う

登録発呼とは…

- データ放送で、双方向通信機能を使って本機から送信を行う際に、送信する内容を本機に保存しておき、あとで送信する機能です。
  例. アンケートなどの回答を返信する場合で、回線が混み合っていて送信できなかった場合に、本機に保存しておき、あとで送信するなど。
- 登録発呼は、登録発呼一覧から発呼したい項目を選んで行いますが、そのときに発呼する方法と予約発呼する方法があります。（予約発呼する場合、予約の時間は指定できません。）
- 登録発呼は、本機の電源が「入」または「待機」のときのみ行われます。
  （主電源が「切」のときには行われません。）

■登録発呼をする／登録発呼の予約をする

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「データ放送の機能」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「登録発呼」を選び、決定ボタンを押す

- 登録発呼画面が表示されます。
  記録された登録発呼がない場合は、その旨のメッセージが表示されます。
- 有効期限が切れた登録発呼があるときは、削除する旨のメッセージが表示されます。決定ボタンを押すと削除され、手順3に進みます。

3 カーソルボタン▲·▼で登録発呼を選ぶ

選んでいる登録発呼についての説明を見るには

①緑ボタンを押す
- 選択した登録発呼についての詳細が表示されます。
- カーソルボタン▲·▼でページを切り換えることができます。

②詳細説明画面を消すには、決定ボタンを押す

▲または▼が表示されている場合は、カーソルボタン▲·▼でページを切り換えられます。

アイコンが表示されます。
（詳しくは68ページの「お知らせ」をご覧ください。）

登録発呼画面ではこんなこともできます！

- **登録発呼を削除する**　（→69ページ）
- **登録発呼をロックする**（→70ページ）

[次のページにつづく]

お知らせ

- 発呼先のチャンネルが存在しない場合（休止中の場合など）は、チャンネル番号が「－－－」になりますが、発呼は通常どおり行われます。
- **登録発呼するときは、電話料金がかかる場合があります。**

データ放送を楽しむ（地上D、BS、110度CSの場合）つづき

データ放送を楽しむ つづき

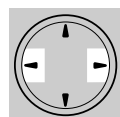
登録発呼機能を使う つづき

■登録発呼をする／登録発呼の予約をする つづき

4 決定ボタンを押す

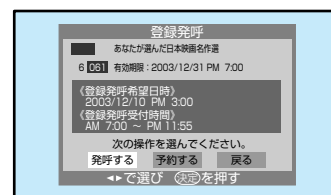
予約済みの登録発呼を選んだ場合

● 70ページの「登録発呼の予約を取り消す」を行ってください。

5 カーソルボタン◄·►で「発呼する」または「予約する」を選び、決定ボタンを押す

「発呼する」を選んだ場合

● すぐに登録発呼を行います。
・通信回線をほかで使用しているときには、発呼はできません。

「予約する」を選んだ場合

● 手順**6**に進んでください。
※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、操作できません。

6 ［手順**5**で「予約する」を選んだ場合］
右のメッセージを読んだ後、決定ボタンを押す

※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、操作できません。

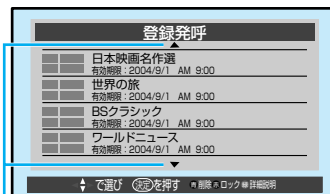
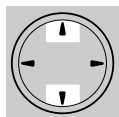
● 予約発呼は、本機の電源が「入」または「待機」のときのみ行われます。主電源が「切」のときには予約発呼できません。
● 登録発呼を「予約する」にした場合、画面にアイコン「 」が表示されます。（→67ページ手順**3**の画面参照）
● 登録発呼を予約設定した後、接続に3回失敗した場合は、画面にアイコン「 」が表示されます。（→67ページ手順**3**の画面参照）
この場合は、登録発呼は行われませんので、再度登録発呼の操作を行ってください。（→67ページ）

■登録発呼を削除する

● 指定した登録発呼を削除したり、登録発呼すべてをまとめて削除することもできます。

1 67ページの手順 1 ～ 2 の操作で、登録発呼画面にする

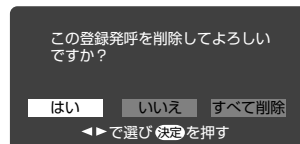
● ロックされている登録発呼は削除できませんので、あらかじめロックを解除してください。(→70ページ)

2 [指定した登録発呼のみを削除する場合]
カーソルボタン▲·▼で削除したい登録発呼を選ぶ

▲または▼が表示されている場合は、カーソルボタン▲·▼でページを切り換えられます。

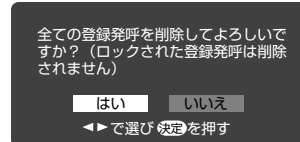
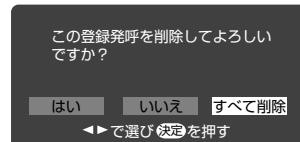
3 青ボタンを押す

4 以下の操作で削除する

手順2で指定した登録発呼のみを削除する場合

● **カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
- ロックされている場合は削除できません。(その旨のメッセージが表示されます。)
  ロックを解除したあと(→70ページ)、削除してください。

記録されている登録発呼すべてを削除する場合

①**カーソルボタン◄·►で「すべて削除」を選び、決定ボタンを押す**
②**カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
- 登録発呼がすべて削除されます。
  (ロックされている登録発呼は削除されません。)

※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、削除できません。

データ放送を楽しむ（地上D、BS、110度CSの場合）つづき

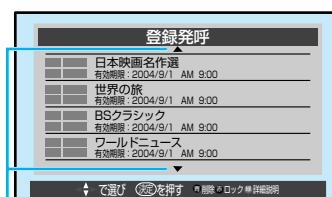
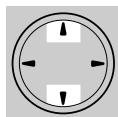
データ放送を楽しむ つづき

登録発呼機能を使う つづき

■登録発呼をロックする（ロックを解除する）

●「ロック」は、登録されている登録発呼を削除できなくする機能です。

1 67ページの手順 1 ～ 2 の操作で、登録発呼画面にする

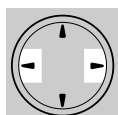
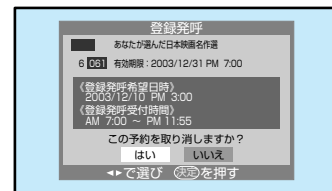
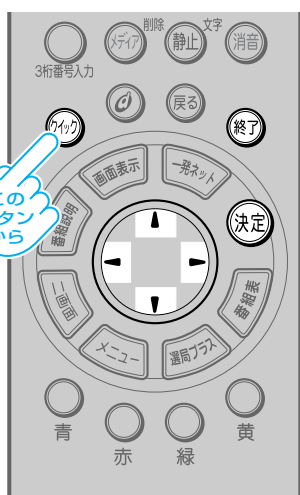
2 カーソルボタン▲･▼でロックをかけたい（またはロックを解除したい）登録発呼を選ぶ

▲または▼が表示されている場合は、カーソルボタン▲･▼でページを切り換えられます。

3 赤ボタンを押す

●赤ボタンを押すごとに、ロック ⇔ ロック解除と交互に切り換わります。
ロックされると、ロックアイコン🔒が表示されます。
※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、ロックできません。

■登録発呼の予約を取り消す

1 67、68ページの手順 1、2、4 で、予約済みの登録発呼を選ぶ

2 カーソルボタン◄･►で「はい」を選び、決定ボタンを押す

●予約されていた登録発呼が取り消されます。
※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、予約の取り消しはできません。

3 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ

●ペイ・パー・ビュー番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。
つまり、見たい番組についてだけ料金を払ってご覧になることができます。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するための準備

- 20ページの「準備（接続・設定）早わかり」がすべて完了していることが必要です。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するには…

- 72ページ「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」の操作で購入してください。

■番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合

- 購入した番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合は基本以外の信号を視聴するために、追加料金が必要な場合があります。
（58ページの操作で視聴したい信号を購入できます。）

■ペイ・パー・ビュー番組の録画について

- ペイ・パー・ビュー番組の録画には、次の3とおりのサービスがあります。
  - ・録画できるもの
  - ・録画できないもの
  - ・追加料金を払えば録画できるもの（録画購入）

※ペイ・パー・ビュー番組によっては、デジタル録画ができない場合があります。

「録画購入」について

- 視聴購入の場合とは、料金が別の場合があります。料金は画面の表示で確認できます。
購入のしかたは、「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」（→72ページ）をご覧ください。

■番組購入後の変更について

- 番組購入後の取消しはできません。
ただし、録画予約したペイ・パー・ビュー番組で、まだ番組が始まっていない場合には、予約取消しができます。（→97ページ）
予約を取り消したペイ・パー・ビュー番組は購入されません。
- 番組購入後は、「視聴購入」、「録画購入」の変更はできません。

■番組購入限度額を設定するには

- ペイ・パー・ビュー番組の1番組ごとの購入限度額を設定できます。
設定のしかたは、「番組購入限度額の設定」（→279ページ）をご覧ください。

■番組購入履歴を見るには

- ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。（→74ページ）

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ つづき

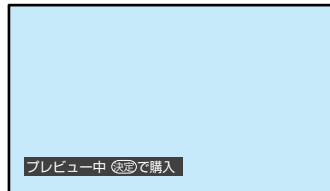
ペイ・パー・ビュー番組を購入する

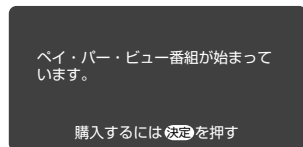
1 ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ

● 次のような画面が表示されます。

プレビュー中の場合

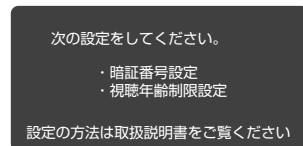
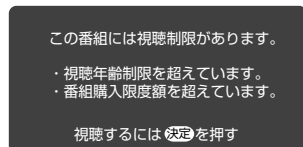
● 右の画面が表示されます。
● 購入する場合は、73ページの手順**2**に進んでください。
（プレビューについては、下の「お知らせ」をご覧ください。）

プレビュー中 決定で購入

番組が始まっている場合

● 右のメッセージが表示されます。
● 購入する場合は、73ページの手順**2**に進んでください。

視聴制限がはたらいている場合

● 右のようなメッセージが表示されます。
● 番組を購入する場合は、以下の操作を行ってください。
①**決定ボタンを押す**
　● 暗証番号入力の画面になります。
②**数字ボタン0～9（⑪/0～⑨）で暗証番号を入力する**
　● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押して1桁目から入力し直してください。
　● 次は、73ページの手順**3**に進んでください。

この番組には視聴制限があります。
・視聴年齢制限を超えています。
・番組購入限度額を超えています。
視聴するには 決定 を押す

暗証番号を入力してください。
■■■■
0～9で入力 ◀でやり直し 戻る で中止

● 右のメッセージが表示されたとき
暗証番号の設定（→276ページ）や、視聴年齢制限の設定（→277ページ）が必要です。

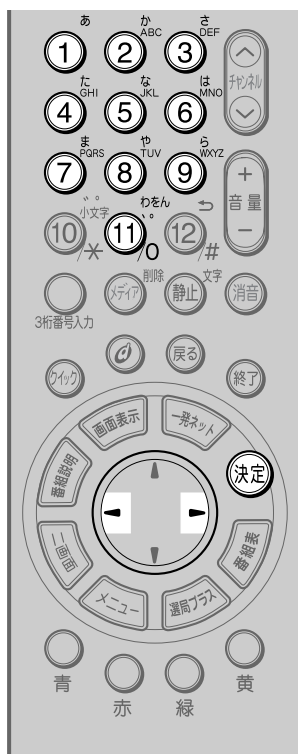
次の設定をしてください。
・暗証番号設定
・視聴年齢制限設定
設定の方法は取扱説明書をご覧ください

メッセージが表示されて、番組購入ができない場合

● 「次の場合には番組を購入できません」（→73ページの「お知らせ」）をご覧ください。

■プレビューについて
● 番組によっては、番組を選んだときに、しばらくの間視聴できる場合があります。これをプレビューといいます。
プレビューは、番組購入の前に番組内容を確認するのに便利です。
（プレビューが終わったあと、チャンネルを変え、もう一度同じ番組を選んでも、プレビューを見ることはできません。）

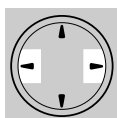
■番組を購入できる時間について
● 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。
その場合、それ以降は購入できませんのでご注意ください。

■暗証番号について（→276ページ）
● ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

2 決定ボタンを押す

右のメッセージが表示された場合

①決定ボタンを押す
● 暗証番号入力の画面になります。
②数字ボタン0～9（⑪0～⑨）で暗証番号を入力する

この番組には視聴制限があります。
・番組購入限度額を超えています。
視聴するには 決定 を押す

3 以下の操作を行う

右の画面が表示されている場合

● **カーソルボタン◄·►で「購入する」を選ぶ**
・購入しない場合は、「しない」を選んでください。

この番組はペイ・パー・ビュー番組です。
購入料金：￥500
購入しますか？
購入する　しない
◄►で選び 決定 を押す

右の画面が表示されている場合

● この場合は、録画するためには視聴とは別の料金が必要です。
カーソルボタン◄·►で、「視聴購入」か「録画購入」を選ぶ
・購入しない場合は、「しない」を選んでください。

この番組はペイ・パー・ビュー番組です。
視聴料金：￥500
録画料金：￥700
購入しますか？
視聴購入　録画購入　しない
◄►で選び 決定 を押す

4 決定ボタンを押す

● 「番組を購入しました。」が表示されます。
これで購入の操作は終了です。

デジタル録画できない番組の場合

● D-VHSビデオやHDDビデオレコーダーがi.LINK登録されていて（→253ページ）、i.LINK端子経由でデジタル録画できない番組（デジタル録画が禁止されている番組）の場合には、右の画面が表示されます。
購入する場合は、カーソルボタン◄·►で「はい」を選んで、決定ボタンを押してください。

この番組はデジタル録画できません。
このまま購入しますか？
はい　いいえ
◄► で選び 決定 を押す

● アナログ録画、デジタル録画については、「一発録画」（→102ページ）をご覧ください。

すでに購入している番組や予約している番組と時間が重なっている場合

● 決定ボタンを押すと、右のメッセージが表示されます。
①**番組を購入する場合は、カーソル◄·►ボタンで「はい」を選ぶ**
・購入しない場合は、「いいえ」を選んでください。
②**決定ボタンを押す**

すでに予約された番組と時間が重なっています。
購入を続けますか？
はい　いいえ
◄►で選び 決定 を押す

お知らせ

■ **以下の場合には番組を購入できません。**（画面にメッセージが表示されます。）
● 契約していない番組の場合
● 番組を購入できる時間が終了している場合
● 電話回線が正しく接続されていないため、購入情報が送信されていない場合
・「番組購入情報の送信」（→121ページ）を行ってください。
・電話回線の接続と設定を確認してください。（→200、209、262ページ）

■ **番組によっては、録画が制限される場合があり、その内容は番組説明画面で確認できます。**（→51ページ）

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ つづき

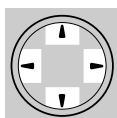
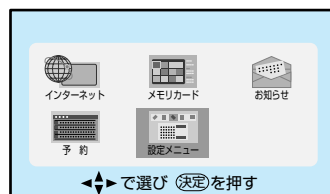
番組購入履歴を見る

● ペイ·パー·ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。

1 メニューボタンを押す

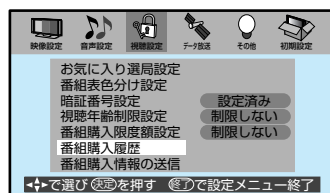
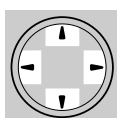
● メニューが表示されます。

インターネット　メモリカード　お知らせ
予約　設定メニュー
◄▲▼► で選び 決定 を押す

2 カーソルボタン▲·▼·◄·► で設定メニューを選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◄·► で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲·▼ で「番組購入履歴」を選んで、決定ボタンを押す

映像設定　音声設定　視聴設定　データ放送　その他　初期設定
お気に入り選局設定
番組表色分け設定
暗証番号設定　設定済み
視聴年齢制限設定　制限しない
番組購入限度額設定　制限しない
番組購入履歴
番組購入情報の送信
◄▲▼► で選び 決定 を押す　終了 で設定メニュー終了

4 番組購入履歴を見る

表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼ でページを変えることができます。

● 購入状況が以下のように表示されます。
- **購入済み**
- **購入エラー**
  録画予約実行時に受信障害、停電、番組が放送されなかったなどの理由で購入されなかった場合に表示されます。
  この場合は購入料金はかかりません。
- **取消**
  録画予約実行前に、取り消された場合に表示されます。

番組購入履歴をすべて削除したい場合

①青ボタンを押す
②カーソルボタン◄·► で「はい」を選ぶ
③決定ボタンを押す
番組購入履歴がすべて削除されます。

5 以下を行う

前画面に戻るには

● 決定ボタンを押す

通常画面に戻るには

● 終了ボタンを押す

- 番組購入履歴には32番組まで表示されます。
- 32番組を超えた場合は、リスト表示された古いものから順番に削除されます。
- 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金（→58ページ）も含みます。

降雨対応放送について

●衛星を利用した放送では、雨や雪などの影響で衛星からの電波が弱まり、放送が受信できなくなる場合があります。
その場合でも、BSや110度CSデジタル放送の場合で、降雨対応放送が行われているときには、以下の操作で放送をご覧になることができます。

降雨対応放送に切り換えるには

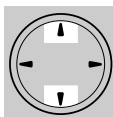
はじめに BS または 110 度 CS デジタル放送を選んでいて、右のメッセージが表示された場合は、以下の操作により、降雨対応放送に切り換えることができます。

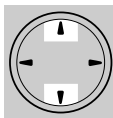
電波の受信状態が良くありません。
クイックメニューから降雨対応放
送に切り換えられます。

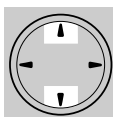
1 クイックボタンを押す

●クイックメニューが表示されます。

クイックメニュー
一発録画
画面サイズ切換
オフタイマー：オフ
音多切換
信号切換
電話回線切断
データ放送の機能
親切イヤホーン音量

2 カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

クイックメニュー
一発録画
画面サイズ切換
オフタイマー：オフ
音多切換
信号切換
電話回線切断
データ放送の機能
親切イヤホーン音量

3 カーソルボタン▲·▼で「降雨対応放送切換」を選び、決定ボタンを押す

※ 降雨対応放送が行われていない番組の場合は、薄く表示されます。

4 カーソルボタン▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ

●選んだ状態に放送が切り換わります。
●通常の放送に戻すには、「通常の放送」を選んでください。

降雨対応放送切換
通常の放送
降雨対応放送

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- 電波が強くなると、降雨対応放送から通常の放送に自動的に戻ります。
- 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などの品位が落ちる場合があります。
- 一発録画や録画予約実行中は、このページの操作で降雨対応放送に切り換えることはできません。（自動的に切り換わることはあります。）

ビデオなどの外部機器を楽しむ

● ビデオなどをテレビの「ビデオ入力」につないだ場合について説明します。
（接続のしかたや詳しい操作方法は、126ページをご覧ください。）

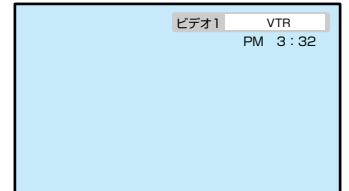
1 見たい機器の電源を入れる

2 入力切換ボタンで「ビデオ入力」を選ぶ

入力切換

● 押すごとに以下のように切り換わります。

ビデオ1 VTR
PM 3：32

地上デジタル・地上アナログ・BS・110度CS → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → ビデオ4 → ビデオ5 → 地上デジタル・地上アナログ・BS・110度CS

3 ビデオなどを操作する

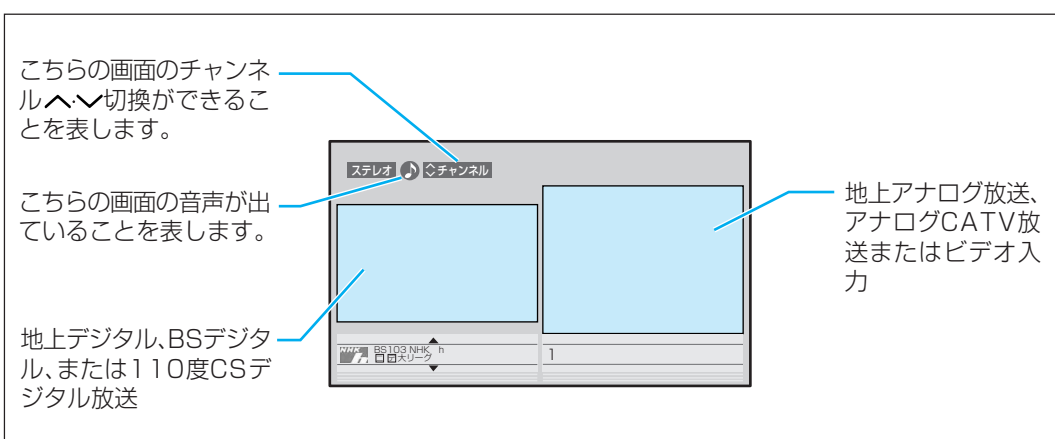
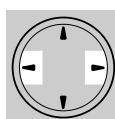
- 手順**2**では、テレビ本体のボタンでも同じ操作ができます。
  本体上面部の入力切換ボタンを押してください。
- 画面右上に表示されている入力表示は、VTR、DVDなどの機器名に変えることができます。（→184ページ）
- ビデオ入力3/ゲームに切り換えたときは、ゲームに適した画質と画面サイズとなるように設定されています。
  ビデオなどをつなぐときは、ビデオ入力3/ゲーム端子を選んだあと、終了ボタンを押してください。
  通常のビデオ入力端子として使えるようになります。
- 常時テレビゲーム機以外の機器をつなぐときは、「ビデオ入力表示の設定」（→184ページ）をゲーム以外にしてご使用ください。

二画面表示を楽しむ

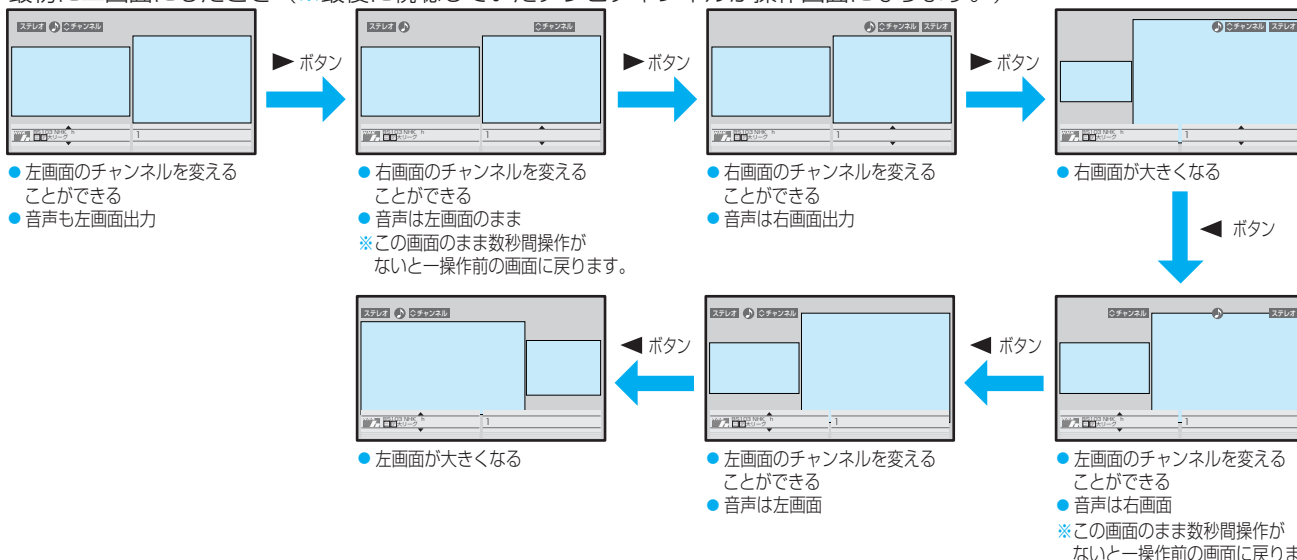
- 左側の画面でデジタル放送のテレビチャンネルを、右側の画面で地上アナログ放送、アナログCATV放送またはビデオ入力を同時に二画面表示にして楽しむことができます。
- 二画面表示のままで、チャンネルを変えることもできます。

二画面表示でチャンネルを切り換えて楽しむ

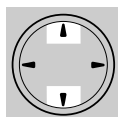
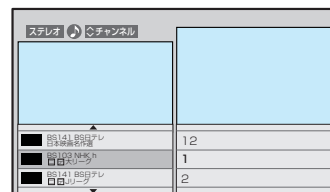
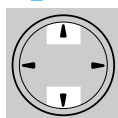
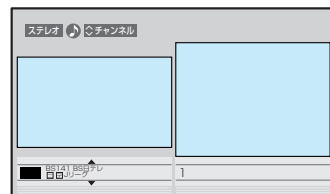
1 二画面ボタンを押す

- もう一度押すと、一画面表示に戻ります。

2 カーソルボタン◀·▶で、操作画面を選ぶ

- 現在選んでいる状態は、上図のチャンネル∧·∨·♪表示で確認できます。
- どちらの画面の音声を出すかを選んだり、片方の画面を大きく表示させることもできます。詳しくは、下図をご覧ください。

例：カーソルボタン（▶または◀）をつづけて押した場合

[次のページにつづく]

二画面表示を楽しむ つづき

二画面表示でチャンネルを切り換えて楽しむ つづき

3 カーソルボタン▲·▼を押す

- チャンネルリストが表示され、数秒後に元に戻ります。

4 カーソルボタン▲·▼でチャンネルを選び、決定ボタンを押す

- ダイレクト選局ボタン（1～12および①～⑫）でも選局できます。
- 入力切換ボタンで右画面をビデオ入力端子に切り換えることもできます。（地上Aボタンを押すと地上アナログ放送に戻ります。）

デジタル放送の場合

- 3桁番号入力ボタンと数字ボタンでも選局できます。
- 放送切換ボタン（地上D／BS／CS）で放送の種類を切り換えることができます。

デジタル放送で番組についての説明を見たいとき（詳しくは51ページ）

①番組説明ボタンを押す
②番組画面を消すには、決定ボタンを押す

5 音量ボタン＋・－でお好みの音量に調整する

- 「♪」が表示されている画面の音量が調整できます。

6 [一画面表示に戻すには] 二画面ボタンを押す

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「二画面」を使用されますと、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。
- 一画面でラジオ放送、データ放送を受信していたときに二画面表示すると、最後に選んでいたテレビチャンネルの映像が表示されます。
- 二画面のときは、ラジオ放送、データ放送を選局できません。
- 二画面のとき、番組の情報の表示は、しばらくすると消えます。画面表示ボタンで、再度表示されます。
- 二画面のとき、入力切換ボタンを押すと右側の画面がビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→ビデオ4→ビデオ5→テレビ放送と切り換わります。
- 二画面で、イヤホーン（副画面）端子にイヤホーンをつないだとき、スピーカーからは操作画面（♪表示の画面）、イヤホーンからはもう一方の画面の音が出ます。（副画面イヤホーン側の映像は音声に対して若干遅れますが、故障ではありません。）
- 二画面で画面表示ボタンを押すと、操作画面の番組情報などを見ることができます。ただし地上アナログ放送は放送局名だけが表示されます。
- 二画面で静止ボタンを押すと、操作画面（♪表示の画面）が静止画面になります。（二画面表示は終了します。）
- 「ヘッドホーン」端子にヘッドホーンをつないだ場合は、操作画面の音（スピーカーの音）が出力されます。
- 左画面で地上アナログ放送やビデオ入力は見られません。また右画面でデジタル放送を見ることはできません。
- i.LINK端子からの映像信号は、二画面では表示されません。

この機能は2004年6月ごろに、ダウンロードによるバージョンアップで対応する予定です。

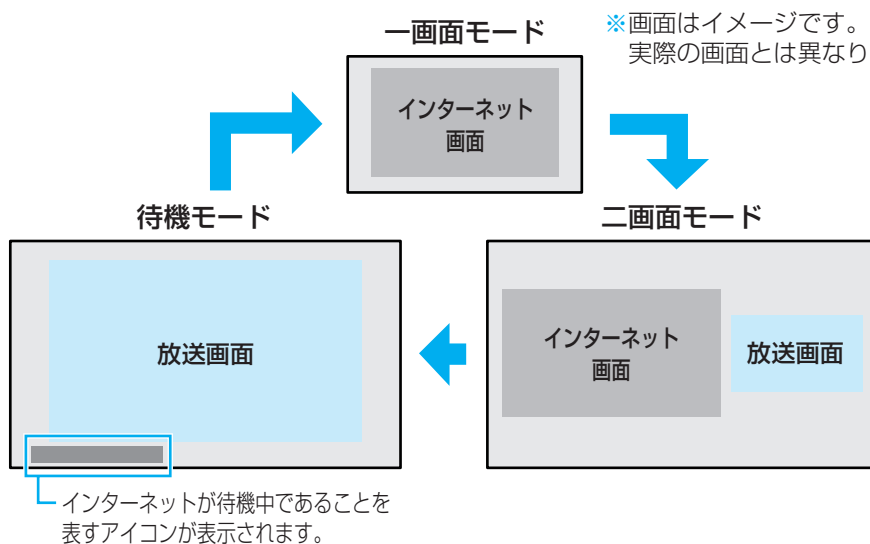
●インターネットの見かたや詳しい説明については、別冊「インターネット編」をお読みください。

インターネットを二画面で見る

1 インターネットを見ているときに、二画面ボタンを押す

- 押すごとに以下のように切り換わります。

一画面モード → 二画面モード → 待機モード

※画面はイメージです。
実際の画面とは異なります。

2 インターネットを終了するには終了ボタンを押す

- 一発ネットボタンを押しても終了します。

お知らせ

- インターネットを待機モードで終了した場合は、次にインターネットを起動したときには、二画面モードで表示します。
- 二画面モード、待機モードでは静止ボタンを使用できません。

デジタルカメラの画像を見る

メモリカード(「SDメモリカード」「マルチメディアカード(MMC)」「スマートメディア™」「メモリースティック」)を使う

- デジタルカメラでメモリカードに記録した画像を再生して、テレビ画面で見ることができます。
- 本機で使えるメモリカードは「SDメモリカード」「MMC(マルチメディアカード:以下「MMC」と略して記載します。)」「スマートメディア™」「メモリースティック」の4種類です。
- 「メモリースティック」については、84ページもよくお読みください。
- 本機で再生できるメモリカードと記録されているファイルの仕様については下表のとおりです。
  下表以外の場合は再生できません。また、下表の場合でもパソコンのアプリケーションを使って加工や編集をしたファイルは再生できないことがあります。
  ファイルの名前に全角文字が含まれる画像も再生できません。
  メモリカード内に全角文字が含まれるファイル名を持つファイルが存在すると、通常のファイルも再生できないことがあります。
  (JPEG圧縮ではないファイル(非圧縮のファイルも含みます)は再生できません。)

※本機で再生できるメモリカードの仕様と静止画ファイルについて

メモリカードの種類	記録媒体	圧縮方式	静止画ファイルフォーマット	互換ルール	画面右上の表示
「SDメモリカード」	8/16/32/64/128/256/512MBに対応	JPEG準拠	Exif ver2.2準拠	DCF ver1.0準拠	SD
「MMC」	16/32/64/128MBに対応				MMC
「スマートメディア™」	3.3V　2/4/8/16/32/64/128MBに対応				
「メモリースティック」	84ページをご覧ください。				

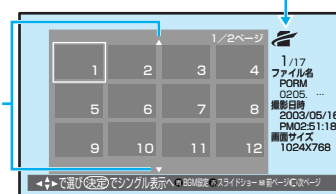
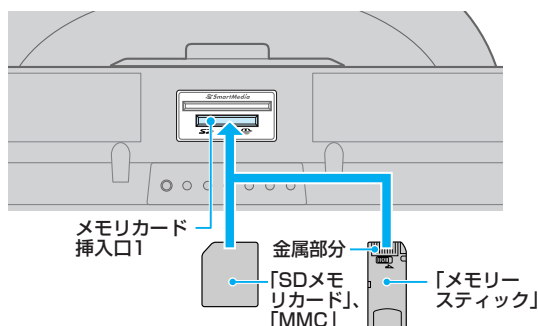
※一つのメモリカードについて本機で再生できる画像(ファイル)数は255枚までです。

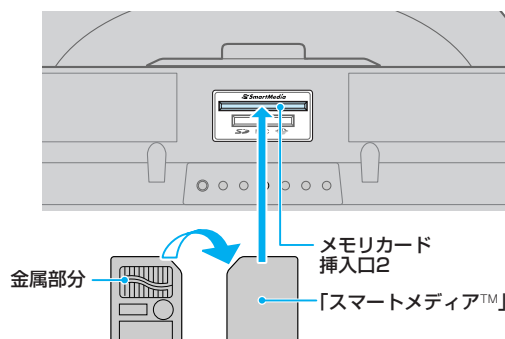
※本機が対応しているメモリカードの規格については、82ページをご覧ください。

1 メモリカードを挿入する

- 数秒たつと、メモリカードに記録した画像が自動的に表示されます。

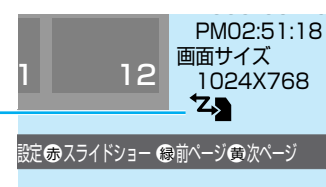
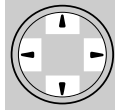
自動的に画像再生されるのは一画面で放送を視聴しているときだけです。
また一画面でもi.LINKモード、録画予約、一発録画のときなどは、画像の再生はできません。

▲または▼が表示されている場合は、リモコンの緑ボタンで前ページ、黄ボタンで次ページに切り換えることができます。

[本体上面部　とびら内]

※ メモリカード挿入口1:
「SDメモリカード」と「MMC」と「メモリースティック」の3種類のメモリカードは同じ挿入口1です。
「メモリースティック」は、金属部分をうしろ側にして挿入口1に差し込んでください。
「SDメモリカード」と「MMC」と「メモリースティック」を取り出すときは、メモリカードを押してから取り出してください。
※ メモリカードのファイルを再生しているときは、メモリカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊される可能性があります。

[本体上面部　とびら内]

※ メモリカード挿入口2:
「スマートメディア™」は、金属部分を手前にして挿入口2に差し込んでください。
「スマートメディア™」を取り出すときは、「スマートメディア™」をそのまま引き抜いてください。
※ メモリカードのファイルを再生しているときは、メモリカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊される可能性があります。

お願い

- メモリカードを差し込むときの上下(表裏)の向きにご注意ください。本体上面部とびら内の各メモリカードのマークに向きを合わせて差し込んでください。
  「スマートメディア™」は、金属部(金色)は表側になります。
- メモリカードの取扱いかたについては、各取扱説明書をご覧ください。

※アクセスをしているときは「アクセス中アイコン」が表示されます。

2 以下の操作で画像を見る

● 画像を一画面で見る場合

● **カーソルボタン▲･▼･◄･►で画像を選び、決定ボタンを押す**
・ 選んだ画像が拡大され、一画面で表示されます。

（例）スマートメディアの一画面表示の場合

次の画像を見たいとき

● **カーソルボタン▲･▼で 画像を選ぶ**

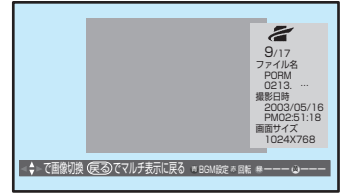
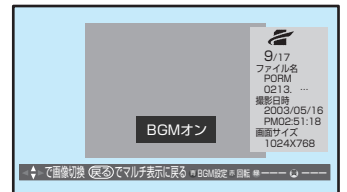
画像を回転させたいとき

● **赤ボタンを押す**
・ 現在選んでいる画像を時計回りに90度回転させることができます。
・ 赤ボタンを押すごとに90度ずつ回転できます。4回押すと元に戻ります。

マルチ表示に戻るには

● **戻るボタンを押す**

BGM（背景音）をオン／オフするには

● **青ボタンを押す**
・ 青ボタンを押すごとに「BGMオン」と「BGMオフ」が交互に切り換わります。

（例）「BGMオン」の場合

● スライドショー表示で見る場合

● **マルチ表示のとき、赤ボタンを押す**
・ スライドショーモードになります。
現在選んでいる画像から自動的に順番に表示されます。

スライドショーを一時止めるには

● **緑ボタンを押す**
・ 再度、緑ボタンを押すと、再開されます。

見たい画像を選ぶには

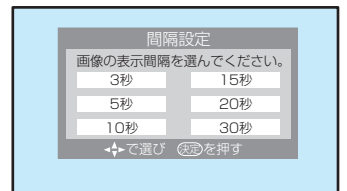
● **カーソルボタン▲･▼で画像を選ぶ**

スライドショーの表示時間の間隔を変えるには

● **黄ボタンを押す**
・ スライドショーは一時中断されて、「間隔設定」画面が表示されます。
※ 表示時間の間隔とは、画像の表示を完了してから次の画像の表示をはじめるまでの間のことです。
・ 以下の操作で設定してください。
① **カーソルボタン▲･▼･◄･►で画像の表示間隔を選ぶ**
・ 3秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒が設定できます。
② **決定ボタンを押す**
・ 「間隔設定」画面は消え、スライドショーに戻ります。

間隔設定
画像の表示間隔を選んでください。

3秒	15秒
5秒	20秒
10秒	30秒

で選び 決定を押す

スライドショー表示を止めて、マルチ表示に戻るには

● **赤ボタンを押す**
・ または戻るボタンを押します。

● 手順**2**で画像以外の表示を消すには、画面表示ボタンを押します。
もう一度画面表示ボタンを押すと、再び表示されます。

3 ［通常画面に戻るには］ 終了ボタンを押す

● もう一度画像を再生したい場合は、82ページの「画像再生モードにしたり、異なるメモリカードの画像を切り換えるには」をご覧ください。

[次のページにつづく]

デジタルカメラの画像を見る つづき

メモリカードを使う つづき

- メモリカードのファイルを再生しているときは、メモリカードを取り出したり、主電源を切ったり、電源プラグを抜かないでください。記録されているデータが破壊される可能性があります。
- メモリカードの金属部（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触れないように注意してください。よごれは乾いた柔らかい布でふいてください。
- 正しく再生されないときは、メモリカードの金属部（金色の部分）をきれいにして挿入してください。
- デジタルカメラで撮影した静止画の取扱いかたについては、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- メモリカードのインデックスエリアには、各メモリカードに付属のインデックスラベルを使用してください。市販のラベルなどは貼らないでください。カードの出し入れの際、故障の原因となります。

お知らせ1

■以下のメッセージが表示されたときは画像を再生できません。

メモリカード共通のメッセージ表示	原因・対処のしかた
「画像データがありません。」	●本機で再生できる画像データがありません。画像データの記録されたメモリカードを使用してください。
「ファイルエラー」	●規格外で画像の読み出しができません。本機で対応しているフォーマット(→80ページの表)の画像を使用してください。
「ファイルがありません。」	●何もファイルがありません。画像データの記録されたメモリカードを使用してください。
「異常なメディアが挿入されました。」	●メモリカードの逆向き挿入や異常、または異物などが挿入されています。上記の「お願い」を参照し、もう一度、本機で対応しているメモリカードを正しく挿入してください。
「フォーマットエラー」	●フォーマットのエラーがありました。本機で対応している静止画のフォーマット(→80ページの表)のメモリカードを使用してください。
「メディアが挿入されていません。」	●「SDメモリカード」、「MMC」、「スマートメディア™」のいずれかのメモリカードを挿入してください。

「メモリースティック」のメッセージ表示	原因・対処のしかた
「メモリースティックエラー」	●壊れている「メモリースティック」が挿入されました。「メモリースティック」を交換してください。
「メモリースティックタイプエラー」	●対応していない種類や容量の「メモリースティック」を挿入しています。本機で対応している「メモリースティック」(→80ページの表)を使用してください。
「メモリースティックがありません。」	●「メモリースティック」を挿入してください。

■ 画像再生モードにしたり、異なるメモリカードの画像に切り換えるには

- 画像再生モードを終了したあとに、もう一度画像を再生したい場合や、一画面以外で放送を視聴しているときは、以下の操作で画像再生モードになります。

  ①メニューボタンを押す(メモリカードが差し込まれている状態で)

  ②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「メモリカード」を選び、決定ボタンを押す

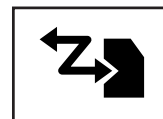
  - メモリカード挿入口1と挿入口2の両方にメモリカードが挿入されているときは、選択画面が表示されます。

    ・カーソルボタン▲·▼で見たいメモリカードを選び、決定ボタンを押す

■ 本機が対応しているメモリカードの規格について

メモリカードの種類	規　格
「SDメモリカード」	SD Memory Card Specifications Part 1 Version 1.01 SD Memory Card Specifications Part 2 Version 1.01
「MMC」	The MultiMediaCard System Specification Version 3.2
「スマートメディア™」	SmartMedia 電気仕様Ver 1.30 SmartMedia 物理フォーマット仕様Ver 1.30 SmartMedia 論理フォーマット仕様Ver 1.20 SmartMedia DOS FAT ファイルシステム運用ガイドライン Ver 1.00
「メモリースティック」	MemoryStickStandard MemoryStick FormatSpecifications ver.1.31

- **「アクセス中アイコン」（右図）が表示されているときは、メモリカードのアクセスを行っています。そのときにはメモリカードを取り出さないでください。記録されているデータが破壊される可能性があります。本機でご使用になったことでデータが破壊された場合の補償はできませんので、大切なデータはバックアップをとることをおすすめします。**
- **メモリカードの画像を表示中は、デジタル放送録画出力用のS1映像出力端子、映像出力端子および音声出力端子からは、信号が出力されません。**
- メモリカードに記録されている容量によっては、記録されているファイルをすべて再生できない場合があります。
- メモリカードの容量やメーカーによっては、使用できない場合があります。
- 画像を拡大して一画面で表示しているときだけでなく、スライドショーやマルチ表示中も、リモコンの青ボタンで「BGM」をオン／オフできますが、その場合は再生画像が止まる場合があります。
- 画像再生中に他のメモリカードを装着した場合は、あとから装着したメモリカードの画像が表示されます。
- ID付き「スマートメディア™」のID機能には対応していません。
- 「マルチメディアカード」：MultiMediaCard™は、独Infineon Technologies AGの商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）にライセンスされています。
- 「スマートメディア™」(SmartMedia™)および SmartMedia™ は（株）東芝の商標です。
- 「メモリースティック」および MEMORY STICK™ は、ソニー株式会社の商標です。

テレビの操作をする

デジタルカメラの画像を見る つづき

「メモリースティック」について

■「メモリースティック」とは？

「メモリースティック」は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。「メモリースティック」対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの一つとしてデータの保存にもお使いいただけます。「メモリースティック」には、標準サイズのものとその小型サイズの「メモリースティック デュオ」があります。「メモリースティック デュオ」をメモリースティック デュオ アダプターに入れると、標準サイズの「メモリースティック」と同じサイズになり、標準サイズの「メモリースティック」対応機器でもお使いいただけます。

■「メモリースティック」の種類

「メモリースティック」には、用途に応じて以下の4種類があります。

- 「メモリースティック PRO」
  「メモリースティック PRO」対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した「メモリースティック」です。
  本機ではご使用いただけません。
- 「メモリースティック」
  著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる「メモリースティック」です。
- 「マジックゲート メモリースティック」
  著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した「メモリースティック」です。
- 「メモリースティック-ROM」
  あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の「メモリースティック」です。データの記録や消去はできません。

■本機が対応している「メモリースティック」の種類と容量

本機が対応している「メモリースティック」の種類	本機が対応している「メモリースティック」の容量
「メモリースティック」 「メモリースティック デュオ」 「マジックゲート メモリースティック」 「マジックゲート メモリースティック デュオ」	16／32／64／128MB

ご注意

- 「メモリースティック PRO」は、本機ではご使用できません。
- マジックゲート機能が必要なデータは、本機では再生できません。
- 「メモリースティック デュオ」、および「マジックゲート メモリースティック デュオ」は、専用のアダプターを装着のうえ、ご使用ください。
- すべての「メモリースティック」の動作を保証するものではありません。

■「メモリースティック デュオ」について

- 「メモリースティック デュオ」を本機でお使いの場合は、必ず「メモリースティック デュオ」をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。
- 「メモリースティック デュオ」をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認ください。
- 「メモリースティック デュオ」をメモリースティック デュオ アダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック デュオ アダプターに「メモリースティック デュオ」が装着されていない状態で、「メモリースティック」対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

■マジックゲートについて

マジックゲートは、「メモリースティック」と機器の両方に搭載されている場合に働く、著作権保護技術です。マジックゲートを搭載した機器と「メモリースティック」の間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認する認証と、データの暗号化を行います。本機はマジックゲートを搭載していないため、マジックゲートが必要なデータの再生はできません。

■ご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。
- 「メモリースティック デュオ」の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- データのアクセス中には「メモリースティック」を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  －読み込み中に「メモリースティック」を取り出したり、本機の電源を切った場合
  －静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- 「メモリースティック デュオ」のメモエリアに書きこむときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  －高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  －直射日光のあたる場所
  －湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

録画予約 / 視聴予約

- 地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合、番組表の画面などで番組を指定して、予約をすることができます。また、日と時間を指定して予約することもできます。
  ビデオなどを連動動作させて、録画予約をすることもできます。詳しくは以下をご覧ください。
- 予約をする際は、「予約についての注意事項」（→ 100 ページ）もご覧ください。
- 録画機器として東芝製 HDD&DVD ビデオレコーダー（東芝 RD シリーズ）を使用する場合
  ・東芝製HDD&DVDビデオレコーダーで、本機との連動予約ができる場合には、本機の録画予約設定だけでビデオレコーダー側の録画予約設定も行うことができます。その場合、連動予約のための接続・設定が必要となります。詳しくは「東芝製HDD&DVD ビデオレコーダーとつなぐとき」（→ 131 ページ）をご覧ください。
  ・この説明書の中では「東芝製 HDD&DVD ビデオレコーダー」を「ビデオレコーダー」、「東芝 RD シリーズ」などと省略して記載している場合があります。
  ・「テレビ de ナビ予約についての注意事項」（→ 101 ページ）もよくお読みください。

録画予約/視聴予約について

■予約の種類

- 予約には、番組指定予約と日時指定予約があります。
  ・番組指定予約…番組表画面などで、番組を指定して予約を行います。通常はこの方法で予約します。（→次ページ）
  ・日時指定予約…日と時間を指定して予約します。放送時間の長い番組の一部だけを予約したいときなどに使います。（→92ページ）
- さらに番組指定予約・日時指定予約のそれぞれについて、録画予約または視聴予約ができます。
  ・録画予約…本機からビデオなどの録画機器をコントロールして、録画予約を行うときに使います。
  ・視聴予約…予約実行時に視聴だけをする場合に使います。

■予約できる番組数

- 視聴予約、録画予約合わせて最大32番組です。

■「録画予約」について

- 録画予約には三つの種類があります。

1 アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合
・付属のビデオコントロールケーブルを使います。
・予約時刻になるとビデオコントロールケーブルの発光部からビデオのリモコン信号を出してビデオをコントロールし、録画を行います。

2 i.LINK端子経由で録画機器（D-VHSビデオなど）にデジタル録画する場合
・i.LINK端子からビデオをコントロールして録画を行います。

3 ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）にテレビdeナビ予約で録画する場合
・詳しくは、131ページをご覧ください。

■「録画予約」をする前の準備

- 「録画予約」を行うには、次の準備が必要です。

1 アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合
①「ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた」（→129ページ）で、本機とビデオを接続する。
②ビデオコントロールケーブルの接続と設置（→148ページ）
③接続されるビデオの機種設定（→259ページ）

- 上記の準備はVHSビデオやHDDビデオレコーダーなどをビデオコントロールケーブルで連動させる場合です。ビデオコントロールケーブルを使わない場合（非連動）は、本機で予約したあと、ビデオなどの録画機器でも予約の設定を行う必要があります。録画機器の取扱説明書もよくお読みください。

2 i.LINK端子経由で録画機器（D-VHSビデオなど）にデジタル録画をする場合
①i.LINK端子付きD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーとのつなぎかた（→149ページ）
②「i.LINK設定」を行う（→253～258ページ）

- 「i.LINKについて」（→164ページ）もご覧ください。
- i.LINK端子からは、本機のメニュー表示などは出力されません。

3 ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）にテレビdeナビ予約で録画する場合
・詳しくは、131ページをご覧ください。

お願い

- **予約実行時にも、必ずB-CASカードは挿入したままにしておいてください。**
- D-VHSビデオを使用する場合でも、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画を行う場合には、上の「1 アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合」の準備を行ってください。接続方法については、「i.LINK端子付きD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーとのつなぎかた」（→149ページ）をご覧ください。

録画予約 / 視聴予約 つづき

予約のしかた(番組を指定して予約する場合)

- 予約の概要や予約をする前の準備については、前ページをご覧ください。

はじめに

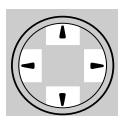
[ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)で「テレビdeナビ予約」をする場合]

ビデオレコーダーの電源を入れる

- ビデオレコーダーは、設定画面などを表示させない、通常の状態にしてください。

1 番組表ボタンを押す

- 番組表が表示されます。

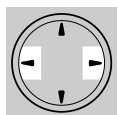
2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で、予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

- 今後放送される番組を選んでください。

■次のメッセージが表示された場合

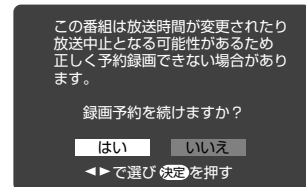
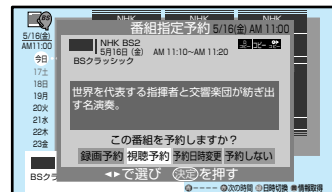
- 「番組購入情報がいっぱいのため、番組予約はできません。」
  - ・決定ボタンを押すと番組表画面に戻ります。
    「番組購入情報の送信」(→121ページ)をしてください。
- 「番組予約ができません。次の設定をしてください。」
  - ・「暗証番号の設定」(→276ページ)、「視聴年齢制限の設定」(→277ページ)をしてください。

■次のメッセージが表示された場合は、96ページをご覧ください。

- 「予約数がいっぱいです。」
- 「すでに購入された番組と時間が重なっています。」
- 「他の予約と時間が重なっています。」
- 「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」

3 カーソルボタン◀·▶で「録画予約」、「視聴予約」のどちらかを選び、決定ボタンを押す

録画予約を選んだ場合

- 手順**4**に進んでください。

- 放送時間の繰上げや放送中止などによって、正しく録画ができない可能性のある番組の場合には右の画面が表示されます。
  録画予約を行う場合には、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選んで決定ボタンを押してください。
  (本機は放送時間の繰上げには対応していません。)
- 録画が禁止されている番組の場合には、録画予約はできません。
  (その場合は、メッセージでお知らせします。)

(放送時間が変更されたり中止になる可能性がある番組の場合)

視聴予約を選んだ場合

- これで予約設定完了です。

予約日時を変更したい場合

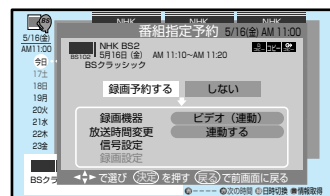
- 予約日を毎日、毎週などにしたり、予約時間を変更することができます。
- 詳しくは、91ページをご覧ください。

お知らせ

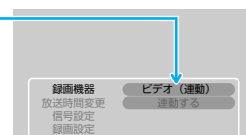
- 独立データ放送は、i.LINK端子経由でデジタル録画する場合以外は録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、i.LINK端子経由でデジタル録画する場合以外は録画できません。
- 番組チェックやジャンル検索で次に放送される番組を選んだ場合にも予約ができます。(→42、46ページ)

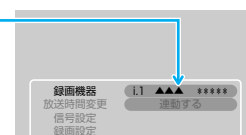
4 設定内容を画面で確認する

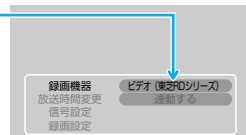
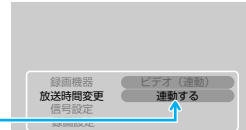
● 確認する内容は以下のとおりです。

※変更が必要な場合は、90ページをご覧ください。

①「録画機器」

アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

- 「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」が表示されていることを確認してください。
- 「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」が表示されていない場合は、90ページの操作で「録画機器」の変更をしてください。
- 「お知らせ1」もご覧ください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

- 録画に使用するi.LINK機器であることを確認してください。
- 使用するi.LINK機器でない場合は、90ページの操作で「録画機器」の変更をしてください。

ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）にテレビdeナビ予約で録画する場合

- 「ビデオ（東芝RDシリーズ）」が表示されていることを確認してください。
- 「ビデオ（東芝RDシリーズ）」が表示されていない場合は、90ページの操作で「録画機器」の変更をしてください。

②「放送時間変更」
（放送時間変更に連動する／連動しないの設定）

③「信号設定」
（i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合は不要です）

- 録画する映像や音声信号の設定です。
- 変更しない場合は、基本の映像、音声信号が録画されます。
- 信号設定については、右上の画面には設定内容が表示されません。
設定内容を確認する場合や変更する場合は、90ページの手順で行ってください。

④「録画設定」

ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）にテレビdeナビ予約で録画する場合のみ

- 以下の手順で「録画設定」の内容を確認し、変更が必要な場合は変更をしてください。

1. カーソルボタン▲·▼で「録画設定」を選び、決定ボタンを押す

2. 設定内容を確認し、設定の変更が必要な場合は以下の操作で変更する

① カーソルボタン▲·▼で変更する項目を選び、決定ボタンを押す

② カーソルボタン▲·▼設定する内容（数値等）を選び、決定ボタンを押す

・設定項目は、以下のとおりです。（詳しくはビデオレコーダーの取扱説明書を参照）

項目	設定できる内容	お知らせ
映像モード（画質）	SP／LP／MN1.4～MN9.2	音声モードでL-PCMを選択しているときは、SP／LP／MN8.2以上は設定できません。
音声モード（音質）	M1／M2／L-PCM	映像モードでSP／LP／MN8.2以上を選択しているときは、L-PCMは設定できません。
記録先	HDD／ＤＶＤ	――
DVD互換	切／入（主音声）／入（副音声）	DVD互換の入/切を設定します。DVD互換を入にする場合で、主音声を記録する場合は「入（主音声）」に設定し、副音声を記録する場合は「入（副音声）」に設定してください。（これはDVD-Videoの規格によるものです。） ・左の「お知らせ2」もよくお読みください。

3. 確認・設定が終わったら、カーソルボタン▲·▼で「録画設定完了」を選び、決定ボタンを押す

お知らせ1

- 「ビデオ機種設定」（→259ページ）でメーカーを設定した場合は「ビデオ（連動）」が表示されます。
- 「該当なし」に設定した場合は「ビデオ（非連動）」が表示されます。

お知らせ2

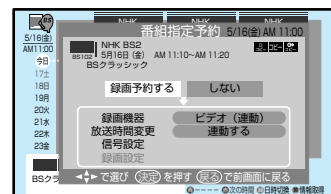
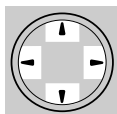
- DVD互換を「入（主音声）」や「入（副音声）」に設定すると、「信号設定」の「二重音声」も「主音声」や「副音声」に自動的に設定されます。
- アナログ方式で録画する場合（VHSやS-VHSなどやテレビdeナビ予約）、二重音声の設定ができます。ただし、二重音声がない場合は、無効となります。

［次のページにつづく］

録画予約 / 視聴予約 つづき

予約のしかた(番組を指定して予約する場合) つづき

5 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「録画予約する」を選び、決定ボタンを押す

- 予約設定はこれで完了です。
  次は手順6を行ってください。

次の画面が表示されたとき

- 番組に視聴制限がはたらいています。
  - 録画予約をする場合は、数字ボタン0～9（⑪0～⑨）で暗証番号を入力する
    - 間違って入力した場合はカーソルボタン◄を押し、もう一度1桁目から入力してください。

- 選んだ番組はペイ·パー·ビュー番組です。
  - 録画予約する場合はカーソルボタン◄·►で「購入する」を選び、決定ボタンを押す
    - 録画するには画面に表示された料金がかかります。
    - 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金（→58ページ）も含みます。

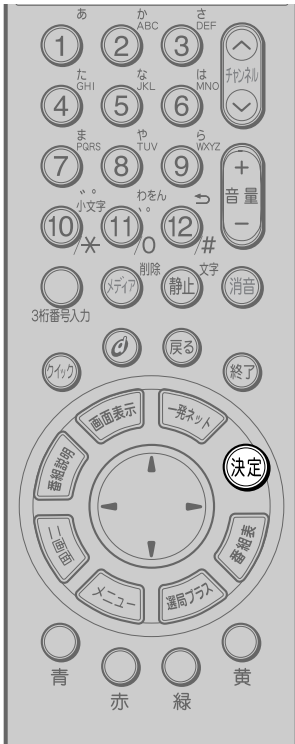
- 選んだ番組の情報量が、指定した機器の処理能力を超えているためデジタル録画予約することはできません。複数のi.LINK機器を登録している場合は、90ページの「録画機器」の変更で、他のi.LINK機器を選択してください。

転送レートを超えているため
録画予約できません。
録画機器を変更してください。
決定を押す

- 「録画機器」に、i.LINK接続されているHDDビデオレコーダーを選んだ場合で、かつ1回だけデジタル録画できる番組を録画した場合は、HDDビデオレコーダーからさらに他の録画機器にデジタル録画はできません。HDDに録画したものをDVDに移動できる録画機器もあります。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。

「この番組はHDDに録画したあと、他の録画機器にデジタル録画できません。」

- i.LINK処理に用いる内部情報が壊れています。お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理の相談をしてください。

「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」

6 以下の準備を行い、決定ボタンを押す

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

- ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合
  ①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する(→148ページ)
  ②録画機器の準備をする
  - ・録画するビデオテープを録画機器に入れる
  - ・録画機器の入力切換を行う(本機が接続されている入力に切り換える)
  - ・録画機器の電源を切(待機)にする

> 予約が完了しました。
> 録画機器の準備を行い、電源が「切」になっていることを確認してください。
> 番組の受信にB－CASカードが必要な場合があります。録画予約開始までにB－CASカードを挿入してください。
> 決定を押す

- ビデオコントロールケーブルを使わない場合
  ・録画機器で予約の設定をしてください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

- D-VHSビデオの場合は右の画面が表示されます。録画するD-VHSテープをビデオに入れてください。

> 予約が完了しました。
> D－VHSのテープを入れて、録画機器の準備をしてください。
> 番組の受信にB－CASカードが必要な場合があります。録画予約開始までにB－CASカードを挿入してください。
> 決定を押す

- HDDビデオレコーダーなどの場合は、右の画面が表示されます。録画予約開始までにHDDの残量と番組の記録数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。(→157ページ)

> 予約が完了しました。
> 録画予約開始までにHDDの残量を確認し、不要な番組を削除してください。
> 番組の受信にB－CASカードが必要な場合があります。録画予約開始までにB－CASカードを挿入してください。
> 決定を押す

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)にテレビdeナビ予約で録画する場合

- DVDに録画する場合は、録画するDVDをビデオレコーダーに入れてください。
- HDDに録画する場合は、録画予約開始までにHDDの残量と番組の記録数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。

- 次のメッセージが表示された場合は、表内の説明をご覧ください。

メッセージ	詳しい説明・対処方法・ほか
東芝RDシリーズの予約と一部重複があります。	録画予約の設定はできましたが、ビデオレコーダーの予約と一部重複しています。ビデオレコーダーの予約内容をご確認ください。
東芝RDシリーズで設定が変更されました。 東芝RDシリーズでご確認ください。	録画予約の設定はできましたが、ビデオレコーダー側で録画設定が変更されています。ビデオレコーダー側で録画設定の内容をご確認ください。
東芝RDシリーズの動作によって登録できません。	ビデオレコーダーの動作との競合により、今は予約登録できません。しばらくしてからやり直してください。
東芝RDシリーズの予約がいっぱいです。	ビデオレコーダー側の予約数がいっぱいのため、予約登録できません。
東芝RDシリーズの予約と重複するため、登録できません。	ビデオレコーダー側の予約と重複しているため、予約登録できません。
指定した時刻情報では予約を登録できません。	指定した時刻で予約設定できるかをビデオレコーダーの取扱説明書でご確認ください。
東芝RDシリーズに時刻が設定されていません。	ビデオレコーダーの現在時刻が設定されていないため、予約登録できません。
東芝RDシリーズに予約を登録できませんでした。	ビデオレコーダーで、以下をご確認ください。 ・電源は、はいっていますか？ ・本機とビデオレコーダーは正しく接続されていますか？(→135ページ) ・ネットワーク設定は正しいですか？(ビデオレコーダーの取扱説明書も参照してください。)

お知らせ

- 独立データ放送は、i.LINK端子経由でデジタル録画する場合以外は録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、i.LINK端子経由でデジタル録画する場合以外は録画できません。

■ i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

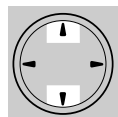
- 録画モードは、番組の情報量によって、自動的に最適な状態に設定されます。
  (機器によっては、録画機器側で設定されている録画モードとなるものがあります。その場合の画質については、録画機器の取扱説明書をご覧ください。)
- 番組によっては、録画できない場合があります。(その内容のメッセージが画面に表示されます。)
- データ放送は、番組情報が送られていない場合デジタル録画予約できない場合があります。

録画予約 / 視聴予約 つづき

予約のしかた（番組を指定して予約する場合）つづき

予約設定内容を変更する場合

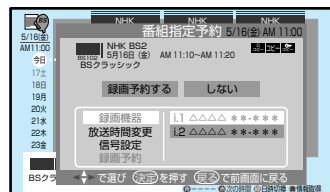
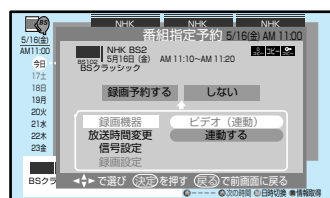
- 87ページの手順**4**の画面で、予約設定の内容を変更する方法について説明します。
- 「録画設定」の変更については、87ページの「録画設定」の項目をご覧ください。

■「録画機器」の変更

①カーソルボタン▲・▼で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲・▼で録画機器のリストから選び、決定ボタンを押す

アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合

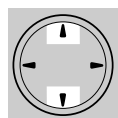
- 「録画機器」を「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」（どちらか表示されているもの）に設定してください。

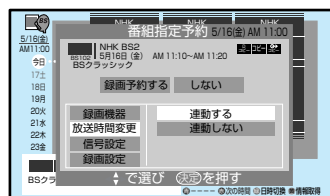
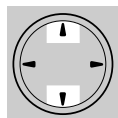
※「ビデオ機種設定」（→259ページ）でメーカーを設定した場合は、「ビデオ（連動）」が表示されます。
「該当なし」にした場合は、「ビデオ（非連動）」が表示されます。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

- 「録画機器」にi.LINK機器を選択してください。（「i.1～i.15」のi.LINK登録した録画可能な機器から選びます。）

ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）にテレビdeナビ予約で録画する場合

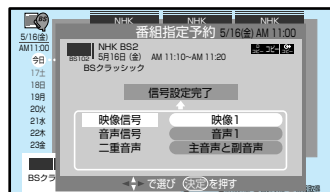
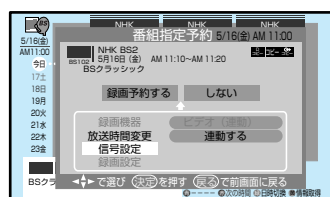
- 「録画機器」を「ビデオ（東芝RDシリーズ）」に設定してください。

■「放送時間変更」（放送時間変更に連動する／連動しないの設定）

①カーソルボタン▲・▼で「放送時間変更」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲・▼で「連動する」または「連動しない」を選び、決定ボタンを押す

■「信号設定」（i.LINK 端子経由で D-VHS ビデオなどにデジタル録画する場合は不要です）

- 録画する映像や音声信号の設定です。
  ①カーソルボタン▲・▼で「信号設定」を選び、決定ボタンを押す
  ②カーソルボタン▲・▼で設定する内容を選び、決定ボタンを押す
  - 設定項目は、以下のとおりです。
    - ・映像信号
    - ・音声信号
    - ・二重音声
  ③カーソルボタン▲・▼で信号を選び、決定ボタンを押す
  - 映像、音声信号については選択できる信号がない場合は設定できません。
  ④カーソルボタン▲・▼で「信号設定完了」を選び、決定ボタンを押す
- 信号の追加購入のしかたは、58ページをご覧ください。

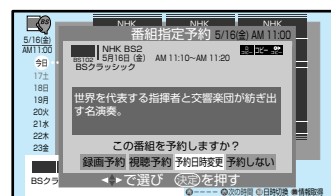
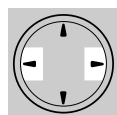
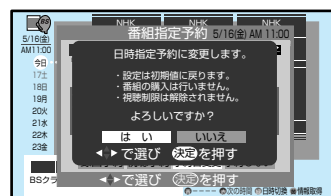
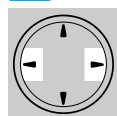
お知らせ

■「放送時間変更」を「連動する」に設定した場合

- 予約番組が時間変更された場合に、自動的に時間に合わせて録画予約を実行します。最大3時間までの番組開始時刻の遅れに対応します。
  （番組開始時刻が早くなった場合には対応していません。）
  選んだ番組がペイ・パー・ビューの場合は自動的に「連動する」の設定になります。
- 「連動する」に設定されていても正常に連動動作しない場合があります。
  （→詳しくは99ページ）

予約日時を変更する場合

● 予約日を毎日、毎週などにしたり、予約時間を変更する方法について説明します。

● 予約時間の変更は次のような場合に便利です。
例：毎日または毎週同じ時間に放送される連続ドラマなどの場合、毎日・毎週などを指定して予約できるので便利です。

1 86ページ手順**3**の画面で、カーソルボタン◀·▶で「予約日時変更」を選び、決定ボタンを押す

2 画面の説明を読んだあと、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

3 93ページ手順 **7** 以降を行う

お知らせ

● 予約日時を変更して予約した場合、以下のようになります。
・ペイ・パー・ビュー番組の購入は行われません。
・視聴制限は解除されません。
・録画予約では放送時間変更の設定はできません。

● アナログ方式で録画する場合（VHSやS-VHSなどやテレビdeナビ予約）、録画予約で二重音声の設定ができます。ただし、二重音声がない場合は、無効となります。

録画予約 / 視聴予約 つづき

予約のしかた(日時を指定して予約する場合)

- 日と時間を指定して予約します。放送時間が長い番組の一部だけを予約したいときなどに使います。
- 毎日、毎週、月～金、月～土などの予約が選べます。
- 日時指定予約は次のような場合に便利です。

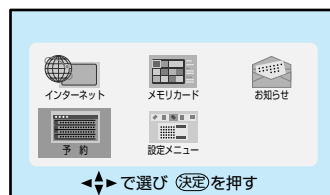
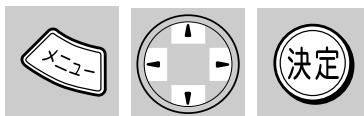
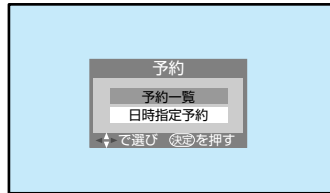
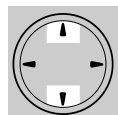
例：複数番組を録画予約する場合で、前の番組の終了時刻とあとの番組の開始時刻が同じ場合
・そのままでは、前の予約番組の終わり部分が少し欠けることとなりますが、あとの番組の予約開始時刻を遅い時刻に変更することにより、前の予約番組を終わりまで録画させることができます。(あとの番組の冒頭部分は、欠けて録画されることになります。)

はじめに

[ビデオレコーダー(東芝 RD シリーズ)で「テレビ de ナビ予約」をする場合]

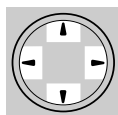
ビデオレコーダーの電源を入れる

- ビデオレコーダーは、設定画面などを表示させない、通常の状態にしてください。

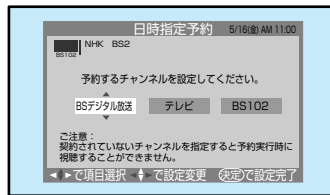
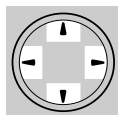
1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「予約」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「日時指定予約」を選び、決定ボタンを押す

右のメッセージが表示された場合

- 96ページをご覧ください。

「予約数がいっぱいです。
他の予約を取り消しますか?」

3 カーソルボタン◀·▶で放送の種類(左端の項目)を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

- カーソルボタン▲·▼を押すごとに下のように切り換わります。

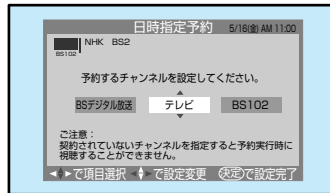
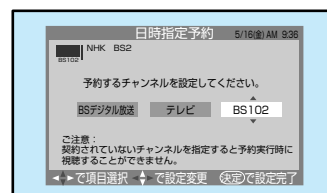
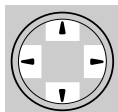
BSデジタル放送 ↔ 110度CS ↔ 地上デジタル放送

※地上デジタル放送の「初期スキャン」(→207、217ページ)が行われていない場合は「地上デジタル放送」には切り換わりません。

4 カーソルボタン◀·▶でメディアタイプ(まん中の項目)を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

- カーソルボタン▲·▼を押すごとに下のように切り換わります。

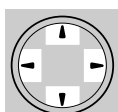
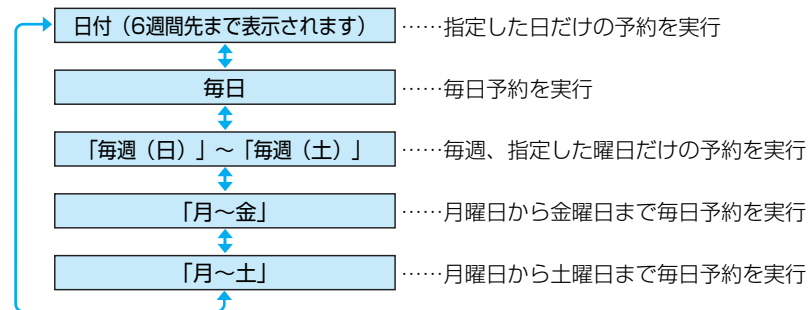
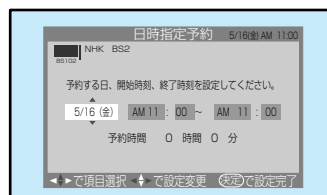
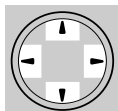
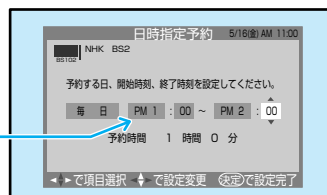
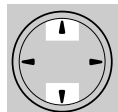
テレビ ↔ ラジオ ↔ データ

※地上デジタル放送の場合、「ラジオ」には切り換わりません。

お知らせ

- 日時指定予約の場合、次のようになります。
  - ・日時指定予約ではペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。
  - ・日時指定予約の録画予約では放送時間変更の設定はできません。
- アナログ方式で録画する場合(VHSやS-VHSなどやテレビdeナビ予約)、録画予約で二重音声の設定ができます。ただし、二重音声がない場合は、無効となります。
- 設定できるチャンネルは、受信可能なチャンネルのみです。
- 現在時刻情報が取得されていないときには、日時指定予約はできません。その場合は、しばらくデジタル放送を視聴する必要があります。

5 カーソルボタン◀·▶でチャンネル番号（右端の項目）を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

6 決定ボタンを押す

- 日時指定画面になります。

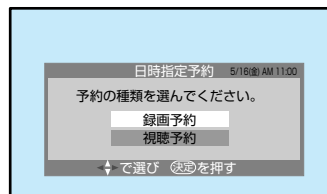
7 カーソルボタン◀·▶で予約日（左端の項目）を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

- カーソルボタン▲·▼を押すことにより、次のように設定できます。

8 カーソルボタン◀·▶で予約開始時刻または終了時刻を選び、カーソルボタン▲·▼で設定して、決定ボタンを押す

- 画面下に予約時間が表示されます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。
- 時刻設定に誤りがある場合は、メッセージが表示されます。決定ボタンを押して、時刻設定をやり直してください。他のメッセージが表示された場合は、96ページをご覧ください。

9 カーソルボタン▲·▼で「録画予約」または「視聴予約」を選び、決定ボタンを押す

視聴予約を選んだ場合

- これで予約設定完了です。

録画予約を選んだ場合

- 手順**10**に進んでください。

［次のページにつづく］

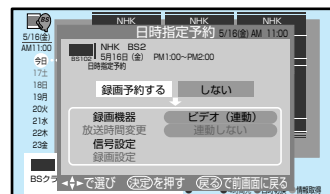
テレビの操作をする

録画予約／視聴予約 つづき

予約のしかた(日時を指定して予約する場合) つづき

10 設定内容を画面で確認する

● 確認する内容は以下のとおりです。

①「録画機器」

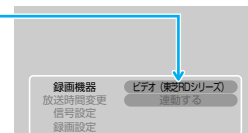
※変更が必要な場合は、90ページをご覧ください。

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

●「ビデオ(連動)」、または「ビデオ(非連動)」が表示されていることを確認してください。
・「ビデオ機種設定」(➝259ページ)でメーカーを設定した場合は「ビデオ(連動)」が表示されます。
「該当なし」に設定した場合には「ビデオ(非連動)」が表示されます。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

● 録画に使用するi.LINK機器であることを確認してください。

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)にテレビdeナビ予約で録画する場合

●「ビデオ(東芝RDシリーズ)」が表示されていることを確認してください。

②「信号設定」(i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合は不要です)

● カーソルボタン▲·▼で「信号設定」を選び、決定ボタンを押す
・「二重音声」の設定内容を確認してください。
変更が必要な場合は、95ページをご覧ください。
・「二重音声」以外の項目は、設定を変更できません。
映像、音声、データなどで複数の信号がある番組の場合は、送信側で指定した基本信号だけが出力されます。

③「録画設定」

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)にテレビdeナビ予約で録画する場合のみ

● 以下の手順で「録画設定」の内容を確認し、変更が必要な場合は変更をしてください。

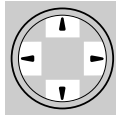
1. **カーソルボタン▲·▼で「録画設定」を選び、決定ボタンを押す**
2. **設定内容を確認し、設定の変更が必要な場合は以下の操作で変更する**
   ① **カーソルボタン▲·▼で変更する項目を選び、決定ボタンを押す**
   ② **カーソルボタン▲·▼で設定する内容(数値等)を選び、決定ボタンを押す**
   ・設定項目は、以下のとおりです。(詳しくはビデオレコーダーの取扱説明書を参照)

項目	設定できる内容	お知らせ
映像モード(画質)	SP／LP／MN1.4〜MN9.2	音声モードでL-PCMを選択しているときは、SP／LP／MN8.2以上は設定できません。
音声モード(音質)	M1／M2／L-PCM	映像モードでSP／LP／MN8.2以上を選択しているときは、L-PCMは設定できません。
記録先	HDD／DVD	――
DVD互換	切／入(主音声)／入(副音声)	DVD互換の入/切を設定します。DVD互換を入にする場合で、主音声を記録する場合は「入(主音声)」に設定し、副音声を記録する場合は「入(副音声)」に設定してください。(これはDVD-Videoの規格によるものです。)・左の「お知らせ」もよくお読みください。

3. **確認・設定が終わったら、カーソルボタン▲·▼で「録画設定完了」を選び、決定ボタンを押す**

お知らせ

- **日時指定予約では放送時間変更、映像信号、音声信号の変更設定はできません。**
- 予約したチャンネル番号が独立データ放送の場合は、録画機器を「ビデオ(連動)／(非連動)」に設定できません。
- 日時指定予約でアナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画予約をした場合、映像、音声、データなどで複数の信号がある番組の場合は、基本信号だけが記録されます。
- 予約実行時の番組が二重音声でない場合「二重音声」で設定した内容は無効になります。「二重音声」の詳細については56ページをご覧ください。
- DVD互換を「入(主音声)」や「入(副音声)」に設定すると、「信号設定」の「二重音声」も「主音声」や「副音声」に自動的に設定されます。
- アナログ方式で録画する場合(VHSやS-VHSなどやテレビdeナビ予約)、二重音声の設定ができます。ただし、二重音声がない場合は、無効となります。

11 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「録画予約する」を選び、決定ボタンを押す

右のメッセージが表示された場合

- i.LINK処理に用いる内部情報が壊れています。お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理の相談をしてください。

「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」

12 以下の準備を行い、決定ボタンを押す

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

- **ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合**
  ①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する(→148ページ)
  ②録画機器の準備をする
  - ・録画するビデオテープを録画機器に入れる
  - ・録画機器の入力切換を行う(本機が接続されている入力に切り換える)
  - ・録画機器の電源を切(待機)にする
- **ビデオコントロールケーブルを使わない場合**
  ・録画機器で予約の設定をしてください。

i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

- D-VHSビデオに録画する場合は、D-VHSテープをビデオに入れてください。
- HDDビデオレコーダーなどの場合は、録画予約開始までにHDDの残量と番組の記録数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。(→157ページ)
  ※HDDビデオレコーダーの場合は、日時指定予約の場合も番組ごとに分かれて録画されます。

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)にテレビdeナビ予約で録画する場合

- 89ページの「ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)にテレビdeナビ予約で録画する場合」をご覧ください。

お知らせ

- 日時指定予約の設定時間は番組表(→38ページ)で時間表示欄に反映されます。

お知らせ

■i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合
- 録画モードは、番組の情報量によって、自動的に最適な状態に設定されます。（機器によっては、録画機器側で設定されている録画モードとなるものがあります。）
- 番組によっては、録画できない場合があります。（その内容のメッセージが画面に表示されます。）

予約設定内容を変更する場合

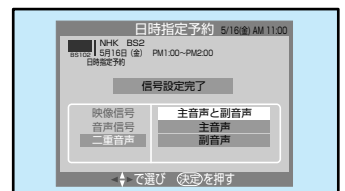
- 94ページの手順**10**の画面で、予約設定の内容を変更する方法について説明します。

■「録画機器」

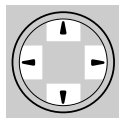
- 「録画機器」の変更方法については90ページをご覧ください。

■「二重音声」(i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合は不要です)

①カーソルボタン▲·▼で「二重音声」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼で「主音声と副音声」、「主音声」、「副音声」のいずれかを選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「信号設定完了」を選び、決定ボタンを押す

- お買上げ時には「主音声と副音声」に設定されています。

録画予約／視聴予約 つづき

予約設定時に次のメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージ表示された場合に、録画を続けるための手順を説明します。

予約数がいっぱいの場合（32番組まで予約できます）

「予約数がいっぱいです。他の予約を取り消しますか？」

①カーソルボタン ◀·▶ で「はい」を選ぶ
- 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す
- 画面は予約一覧になります。他の予約を取り消してください。
  詳しくは次ページの手順**3**をご覧ください。

すでに購入した番組と放送時間が重なる場合

「すでに購入された番組と時間が重なっています。予約を続けますか？」

①カーソルボタン ◀·▶ で「はい」を選ぶ
- 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す

すでに予約した番組と放送時間が重なる場合

「他の予約と時間が重なっています。他の予約を取り消しますか？」

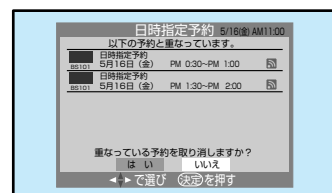
①カーソルボタン ◀·▶ で「はい」を選ぶ
- 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す
- 予約が重複している番組のリストが表示されます。
  - ・予約が重複している番組が五つ以上ある場合は、カーソルボタン▲·▼で番組のリストを切り換えて確認できます。

重複している番組を取り消す場合

- **カーソルボタン ◀·▶ で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
  - ・重複している番組がすべて取り消されます。

重複している番組を取り消さない場合

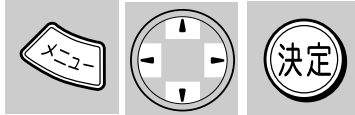
- **カーソルボタン ◀·▶ で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

ダウンロード予約と時間が重なる場合

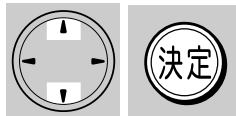
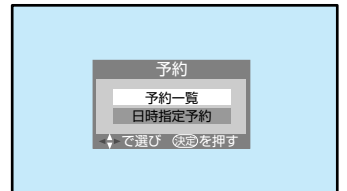
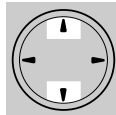
「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。このダウンロード予約を取り消しますか？」

①［ダウンロード予約を取り消す場合］
カーソルボタン ◀·▶ で「はい」を選ぶ
- 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す
- ダウンロードについては、288ページをご覧ください。

予約一覧と予約の取り消し

- 予約した内容を確認したり、予約を取り消すことができます。
  ※ **テレビdeナビ予約(→132ページ)の場合、以下の操作で予約を取り消してもビデオレコーダー側の予約は、取り消されません。予約を取り消す場合はビデオレコーダー側でも予約取り消しの操作を行ってください。**

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「予約」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

- 予約一覧が表示され、予約の状況が確認できます。

3 ［予約の詳しい内容を見たいときや予約を取り消したいとき］カーソルボタン▲·▼で予約番組を選ぶ

番組についての説明を見たいとき(→詳しくは51ページ)

※日時指定予約の場合ははたらきません。

①**番組説明ボタンを押す**
- 番組についての説明が表示されます。

②**説明画面を消すには、決定ボタンを押す**

録画予約に設定した録画機器のアイコンが表示されます。

- : ビデオ（連動）の場合
- : ビデオ（非連動）の場合
- : i.LINK機器の場合
- : ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）にテレビdeナビ予約で録画する場合

4 決定ボタンを押す

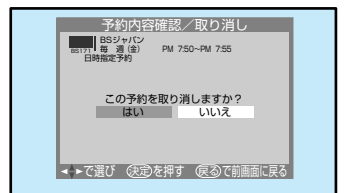
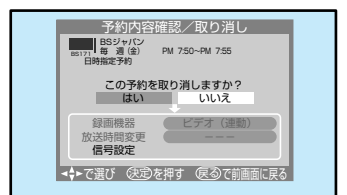
- 予約内容の画面になります。
- 画面は予約の種類によって異なります。

予約を取り消すには

- **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
  - ・予約が取り消され、予約一覧の画面に戻ります。

（例）視聴予約の場合の表示

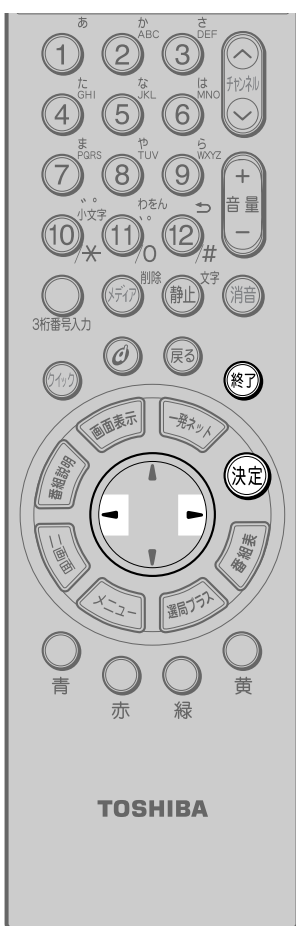
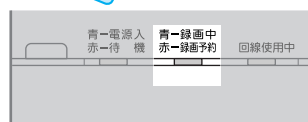
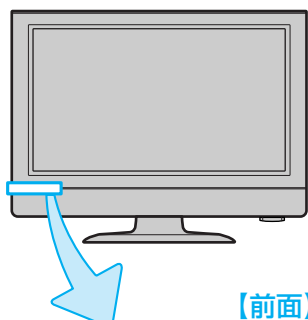
予約一覧の画面に戻るには

- **カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

（例）録画予約の場合の表示

5 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

お知らせ

- 番組表やジャンル検索結果のリストまたは番組チェックの次の番組のリストですでに予約されている番組を選んだ場合も、手順**4**の画面になり、予約内容の確認や予約の取り消しをすることができます。
- 予約時間を過ぎると、予約が実行された場合もそうでない場合（時間変更などで予約が実行されなかったなどの場合）も予約一覧から削除されます。
- 地上デジタル放送で、初期スキャン、再スキャン、自動スキャンを行った結果チャンネルがなくなった場合は、以下のようになります。
  - ・手順**3**でチャンネル番号が「－－－」に表示されます。
  - ・リストが薄く表示されます。
  - ・予約は実行されません。

録画予約 / 視聴予約 つづき

予約の動作について

- テレビを視聴中に予約が動作する場合について説明します。

■予約設定後

- 録画予約の場合は、本体前面の「録画予約（赤）」表示が点灯します。

■予約番組放送開始

- デジタル放送またはi.LINK端子からの信号をご覧の場合には、予約番組の放送開始時刻近くになると、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。
  予約を中止する場合は終了ボタンを押してください。
- 予約番組の放送開始時刻になると自動的にチャンネルが切り換わり、予約した番組が選ばれます。
- 録画予約の場合は、本体前面の「録画中（青）」表示が点灯します。

ペイ・パー・ビュー番組を視聴予約している場合

- 決定ボタンを押すと番組を購入するための画面になります。
  カーソルボタン ◀・▶ で「購入する」を選び、決定ボタンを押してください。

視聴制限がはたらいている番組を視聴予約している場合

- 「この番組には視聴制限があります。」のメッセージが表示されます。
  決定ボタンを押したあと、暗証番号を入力してください。

■予約実行中

- 予約実行中にできる操作は、以下のとおりです。

■視聴予約の場合

・通常どおり操作できます。

■録画予約の場合

・地上アナログ放送やCATV放送の選局はできます。
　それ以外の操作はできないものがあります。

録画予約を中止したい場合

①終了ボタンを押す

- 「録画実行中です。もう一度（終了）を押すと録画を中止します。」が表示されます。

②上記のメッセージが表示されている間に終了ボタンを押す

- 録画予約が中止されます。

録画予約実行中に操作ボタンを押したとき

- 操作可能なボタンを押したときは、押したボタンの動作が実行され、録画予約もそのまま続行されます。
- 操作できないボタンを押したときは、「＊＊＊を録画中です。（終了）を押すと録画を中止します。」が表示されます。

- 録画予約動作中にリモコンで電源の入/待機を切り換えると、録画中の信号にノイズがはいる場合があります。

■予約番組放送終了

- 予約を終了し、通常どおり使用できます。
- 録画予約だった場合は、本体前面の「録画中（青）」表示が消えます。ただし、ほかにも録画予約がある場合は「録画予約（赤）」表示は点灯したままです。

お知らせ

- 予約番組の優先順位や注意事項については、99、100ページをご覧ください。

予約番組の優先順位について

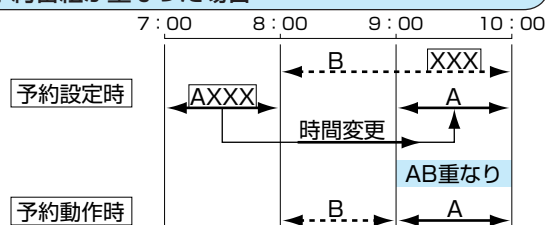
- 予約番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なった場合には、予約番組に優先順位をつけて予約を実行します。
（予約時に「放送時間変更」を「連動する」に設定することによって、ご希望の予約を優先して実行させることができます。）
- 例を用いて予約番組の優先順位について説明します。

←→ :「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組
←---→ :「放送時間変更」を「連動しない」に設定した予約番組とします。 （下図のXXX印は時間変更や予約動作時に取り消されることを示します。）

※日時指定予約は「放送時間変更」を「連動しない」にした場合と同じ動作になります。

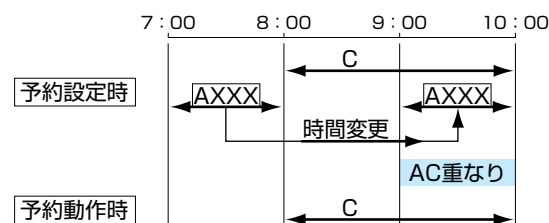
「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した予約番組が重なった場合

- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組が優先されます。

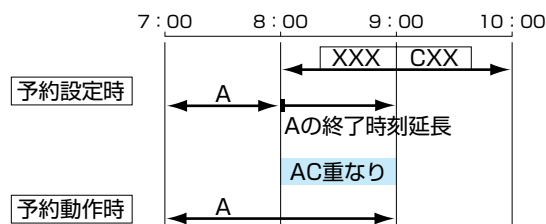
（例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとBの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではA番組は「放送時間の変更に連動する」に設定されているので優先されて予約が実行されます。したがって、予約実行はB番組が8〜9時、A番組が9〜10時となります。）

「放送時間変更」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

開始時刻が変更された場合

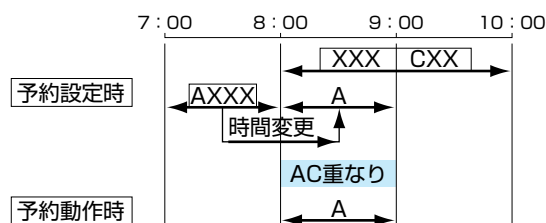
- 開始時刻の早い予約が優先されます。

（例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は9時から10時の間が重なっています。この場合は開始時刻の早いC番組の予約が優先されて動作し、A番組の予約は取り消されます。）

終了時刻が延長された場合

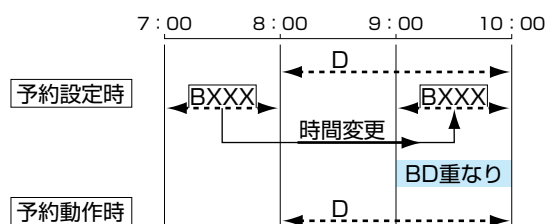
- 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

（例では、A番組の終了時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なります。この場合は先に予約を実行したA番組が優先されて動作します。C番組の予約は取り消されます。）

複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 先に予約設定した番組が優先されます。

（例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なっています。この場合は先に予約設定した番組が優先されて動作し、後に設定した番組の予約は取り消されます。）

「放送時間変更」を「連動しない」に設定した複数の予約番組が重なった場合

- 予約設定時間どおりに予約が実行されます。

（例では、B番組の開始時刻が変更されたため、BとDの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではBとDの番組は「放送時間変更」を「連動しない」に設定されているので予約設定時の時間どおりに予約が実行されます。）

- 上記の優先順位で取り消された予約については、取り消された理由を「本機に関するお知らせ」でご連絡します。
（「お知らせ」については→111ページ）

録画予約 / 視聴予約 つづき

予約についての注意事項

■予約全般について
- ライブラリでのコピー実行中には予約の設定はできません。
- 本機の主電源が「切」の場合は実行されません。
予約実行前に、本機の電源が「入」だった場合、予約終了後も電源は「入」のままです。
- 地上デジタル放送で放送局の変更があったときは、正常に予約を実行できない場合があります。また、「自動スキャンする」(→50ページ)に設定していてもタイミングによって正常に予約を実行できない場合があります。
- 天候・停電・送信側の都合などで、予約を実行できない場合は、「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。

■視聴予約について
- ライブラリでのコピー実行中には視聴予約は実行されません。
- ネットdeナビ予約機能を使って東芝製HDD&DVDビデオレコーダー(→131ページ)から録画を実行しているときは、本機の視聴予約は実行されません。
- 録画予約の「放送時間変更」が「連動する」に設定されている場合で、録画している予約番組の放送時間が予定より延長されたために視聴予約の開始時刻と重なった場合、視聴予約が取り消されます。
- 視聴予約は、本機の電源が「入」のときだけ実行されます。
本機の電源が「切」や「待機」のときには実行されません。
- 一発録画実行中(→102ページ)は、視聴予約の開始時刻になっても録画を継続します。

■録画予約について

<共通事項>
- アナログ方式での録画予約や一発録画を実行しているときのみ、デジタル放送録画出力端子(→127ページ)から映像信号が出るように設定できます。(詳しくは、183ページ)
- 録画予約開始時に、i.LINK端子からの信号を視聴していた場合、i.LINKモードを終了します。
- ライブラリでのコピー実行中のときには、コピーを中止して、録画予約を実行します。
- 録画予約とネットdeナビ予約の録画が重なったときには、ネットdeナビ予約の録画を中止して、本機側の録画予約を実行します。ただし、HDD&DVDビデオレコーダーはそのままでは中止されないため、ビデオレコーダー側でも中止の操作をしてください。
- 録画予約実行前に、本機の電源が「待機」だった場合、録画が開始されても本機の画面には映像や音声は出ません。録画予約終了後は「待機」になります。
- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した予約番組の開始時刻が遅れている場合は「予約番組の開始が遅れています。このままの状態でお待ちください。」とメッセージ表示される場合があります。
- 「放送時間変更」を「連動する」に設定した場合、リレーサービス(番組終了時間以後、別のチャンネルで引き続きその番組の続きを放送するサービス)には自動で対応します。ただし、リレーサービスの情報送信が遅れた場合は、対応できない場合があります。
- 予約番組の「放送時間変更」を「連動する」に設定しても、追従できる開始時刻は最大3時間までです。3時間を超えると予約が取り消されます。また、放送局から時間変更情報が送信されていない場合は、放送時間の変更に対応できません。
- 放送時間の繰上げや放送中止などが起きた場合には、予約は正しく実行されません。
- 前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合は、前の予約で録画された最後の部分が少し欠けます。
- 録画予約実行中は、地上アナログ放送やアナログCATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- 録画予約実行中はご案内チャンネル(→312ページ)に切り換えることはできません。
- 録画予約実行中は緊急警報放送には対応しません。
- 番組の途中で受信障害になったときや非契約の場合、無信号状態で録画が行われます。
- 日時指定予約の場合はペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。
- 録画予約実行中は、データ放送は切り換えられません。
- 本機のデジタル放送録画出力からのアナログ信号をHDDレコーダーなどでデジタル信号に変換して録画した場合、1回の録画しか許可されていない番組の場合には、さらにコピーすることはできません。

<i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画予約をする場合>
- 「i.LINKについて」(→164ページ)も必ずお読みください。
- HDDビデオレコーダーへの録画開始直前は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- i.LINK設定(→257ページ)の「外部機器からの制御」が「なし」になっている場合、i.LINK接続された機器の動作が不安定になる場合があり、録画予約が正しく実行されなくなります。このような場合は「外部機器からの制御」を「あり」に設定してください。
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器を削除するには」(→256ページ)の手順に従い、登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
- 録画予約実行時にテープが走行中(再生中、早送りなど)の場合は録画できません。
- 録画予約実行時にD-VHSビデオなどが他機器からの制御を受けない設定になっているときは、予約は実行されません。
- 録画予約実行時に、i.LINKケーブルを抜き差ししないでください。
- 録画予約実行時に、録画機器側のi.LINK入力設定が他のi.LINK機器になっている場合は、録画できません。
(詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。)

<i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画予約をする場合>つづき
- D-VHSビデオへの録画予約実行中は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- ペイ･パー･ビュー番組をHDDビデオレコーダーに録画予約設定している場合は、録画予約実行時にハードディスクの残量を自動判定して、録画ができないと判断されたときには、番組の購入を行いません。
- 複数のi.LINK機器が接続されている場合、i.LINK機器のi.LINK入力が本機以外に設定されていると録画予約や一発録画ができませんので、ご注意ください。
- HDDビデオレコーダーによっては、i.LINK接続上はD-VHSビデオとみなされる機器があります。
- i.LINK端子経由でデジタル放送を録画予約実行中に、i.LINKモードにした場合、デジタル放送録画出力端子からは、i.LINKモードで視聴中の信号が出力されます。
- 録画予約終了後、D-VHSビデオなどの電源は録画開始直前の状態になります。（追っかけ再生などで、そのi.LINK機器を操作している場合は電源は「入」のままです。）
- 著作権保護のため、一回だけ録画を許された番組をさらにコピーすることはできません。HDDビデオレコーダーなどに録画する際はご注意ください。（HDDにコピーワンスプログラムを録画や録画予約する際には、その旨の確認メッセージが表示されます。）
- HDDビデオレコーダーにデジタル録画した場合、ライブラリに表示される情報（→155ページ）が正しく記録されなかった場合には、ライブラリにそれらの情報は表示されません。
- HDDビデオレコーダーにD-VHSモードで録画した場合は、ハードディスクレコーダーモードでは正しくライブラリ表示できない場合があります。また、ハードディスクレコーダーモードで録画した場合は、D-VHSモードでは正しく表示できない場合があります。（D-VHSモードでリスト表示機能を備えている機器としては、アイ･オー･データ機器のHVR-HD120Sなどがあります。）リスト表示に関しては、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

<ビデオコントロールケーブルを使ってアナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画予約を行う場合>
- ビデオの入力切換を正しく設定し（本機の映像出力をつないでいる入力に切り換える）、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。
- ビデオテープのツメが折れている場合には録画できません。
- 録画予約実行中に、停電した場合（電源プラグを抜き差しした場合）や、主電源が「切」にされた場合
  - 上記の後、本機が電源「入」または「待機」の状態に復帰したときに、予約番組が終了していた場合、その予約が録画予約の場合でも、本機はビデオのコントロールを行いません（ビデオを録画停止や、電源「切」にはコントロールしません）。これは、録画機器で設定されている予約が中止されるのを防ぐためです。したがって、その場合、ビデオが録画状態のままになることがありますので、ご注意ください。
- ビデオ本体で予約設定が行われているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しない場合があります。
- 録画予約実行中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 録画された番組については複数映像、複数音声、二重音声、字幕を切り換えることはできません。

■ペイ･パー･ビュー番組の予約について
- 「放送時間変更」は自動的に「連動する」に設定されます。
- ペイ･パー･ビュー番組は、番組が開始した時点で購入されます。視聴しなくても料金は請求されますのでご注意ください。

■万一、本機の故障や誤動作などによって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容や番組購入料金などの補償についてはご容赦ください。

テレビdeナビ予約についての注意事項

- 「予約についての注意事項」（前のページ）もお読みください。
- テレビdeナビ予約の概要については、「東芝製HDD&DVDビデオレコーダーとつなぐとき」（→131ページ）をご覧ください。
- 録画予約や一発録画の設定は、ビデオレコーダーの電源を「入」の状態で行ってください。
- 予約を削除･変更･中止する場合は、両方の機器でそれぞれその操作を行ってください。
  （ビデオレコーダー側で予約を削除･変更･中止しても、本機側の予約は削除･変更･中止されません。
  また、本機側で予約を削除･中止しても、ビデオレコーダー側の予約は削除･中止されません。）
- 本機側で「放送時間変更」を「連動する」に設定しても、ビデオレコーダー側の予約は放送時間に連動しません。
- ビデオレコーダーで登録できる文字数を超えた番組名や番組説明の場合、登録可能な文字数に切り捨てられます。
- 予約番組の時刻が秒単位の指定の場合、ビデオレコーダーの予約時刻は分単位に変換されます。
- ビデオレコーダーの動作との競合により、ビデオレコーダーへの予約設定が正しくできない場合があります。
  予約設定後は、ビデオレコーダー側でも予約の確認をしてください。
- 日時指定予約の場合、番組名や番組説明は設定されません。
- 日時指定予約で毎日･毎週などの予約を設定した場合、すでにその日の予約開始時刻を過ぎていた場合には、本機はその日の予約は実行しません。
- ビデオレコーダーによっては、本機の録画予約設定や一発録画の設定で設定できる内容に対応していない場合があります。

一発録画
（今視聴している番組を録画する）

● 地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタル放送の場合で、今ご覧になっている番組をビデオに簡単操作で録画させることができます。番組が終了すると録画も自動的に終了します。詳しくは以下をご覧ください。

一発録画について

アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合（→103ページ）

● 付属のビデオコントロールケーブルを使ってビデオをコントロールし、録画を行います。
● 録画予約のときと同じく、次の準備が必要です。
①「ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた」（→129ページ）で、本機とビデオを接続する。
②ビデオコントロールケーブルの接続と設置（→148ページ）
③接続されるビデオの機種設定（→259ページ）

● 上記の③で「該当なし」に設定した場合は、録画の操作（録画開始、停止とも）はビデオ側で行ってください。
● デジタル放送録画出力端子からは、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）や字幕、データ放送は出力されません。

i.LINK端子経由で録画機器（D-VHSビデオなど）にデジタル録画する場合（→104ページ）

● i.LINK端子から録画機器をコントロールしてデジタル録画を行います。
● 録画予約のときと同じく、次の準備が必要です。
①i.LINK端子付きD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーとのつなぎかた（→149ページ）
②「i.LINK設定」を行う（→253～258ページ）

● 「i.LINKについて」（→164ページ）もご覧ください。
● i.LINK端子からは通常、メニュー表示などは出力されません。

● D-VHSビデオを使用する場合でも、アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画を行う場合には、上の「アナログ方式（VHSやS-VHSなど）で録画する場合」の準備を行ってください。接続方法については、「i.LINK端子付きD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーとのつなぎかた」（→149ページ）をご覧ください。

ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）を使用して、連動一発録画をする場合（→106ページ）

● 東芝製HDD&DVDビデオレコーダーで、本機との連動一発録画ができる場合には、本機の一発録画の操作をするだけでビデオレコーダー側の録画操作も行うことができます。その場合、連動一発録画のための接続・設定が必要となります。
詳しくは「東芝製HDD&DVDビデオレコーダーとつなぐとき」（→131ページ）をご覧ください。
・「連動一発録画についての注意事項」（→109ページ）もよくお読みください。

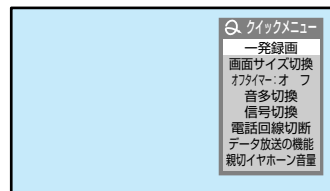
● **一発録画実行時にも、必ずB-CASカードは挿入したままにしておいてください。**

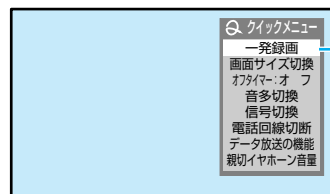
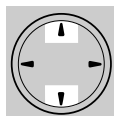
一発録画のしかた

アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画する場合

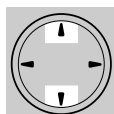
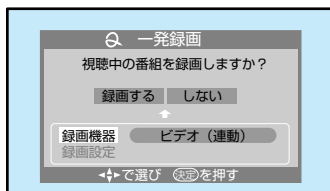
● 一発録画をする前の準備については、前ページをご覧ください。

1 地上デジタル、BSデジタル、または110度CSデジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す

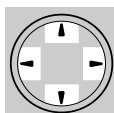
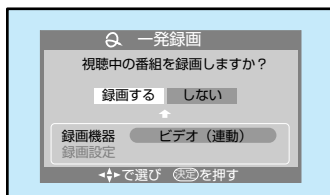
● クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「一発録画」を選び、決定ボタンを押す

● 番組によっては、録画できない場合があります。(その内容のメッセージが画面に表示されます。)

録画できない番組の場合、「一発録画」は薄く表示されます。

3 [「ビデオ(連動)」または「ビデオ(非連動)」が表示されていない場合のみ]
以下の操作で、録画機器を指定する

一発録画
視聴中の番組を録画しますか？
録画する　しない
録画機器　ビデオ（連動）
録画設定
で選び　決定を押す

①カーソルボタン▲·▼で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼で「ビデオ(連動)」、または「ビデオ(非連動)」を選び、決定ボタンを押す
● 「ビデオ機種設定」(→259ページ)でメーカーを設定した場合は「ビデオ(連動)」が表示されます。
● 「該当なし」にした場合は「ビデオ(非連動)」が表示されます。
この場合は、ビデオ側での録画の操作が必要となります。

4 以下の準備をする

①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する。(→148ページ)
②録画機器で、以下の準備をする
● 録画するビデオテープを録画機器に入れる
● 録画機器の入力切換をする(本機が接続されている入力に切り換える)
● 録画機器の電源を切(待機)にする

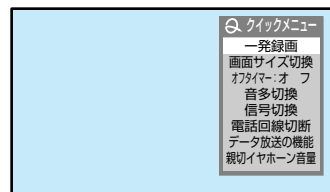
5 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「録画する」を選び、決定ボタンを押す

● 録画が始まります。(本体の「録画中(青)」表示が点灯します。)
● 録画機器によっては、録画が開始されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
● 番組終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源が元の状態(「切」または待機状態)になります。
● ビデオ機種設定(→259ページ)を「該当なし」に設定した場合は、ビデオで録画を開始してから決定ボタンを押してください。
録画の停止も録画機器側で行ってください。

● 独立データ放送は、アナログ方式(VHSやS-VHSなど)では一発録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ方式(VHSやS-VHSなど)では録画できません。

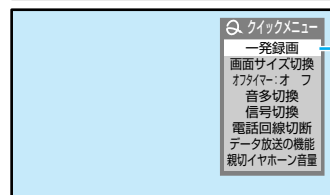
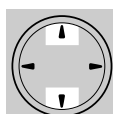
一発録画 つづき
（今視聴している番組を録画する）

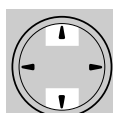
一発録画のしかた つづき

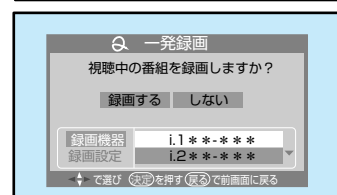
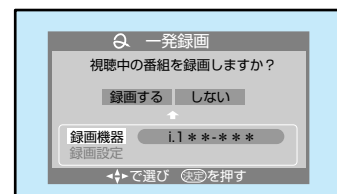
i.LINK端子経由でD-VHSビデオなどにデジタル録画する場合

- 一発録画をする前の準備については、102ページをご覧ください。
- i.LINKについては、164～165ページをご覧ください。

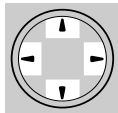
1 地上デジタル、BSデジタル、または110度CSデジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す

- クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲･▼で「一発録画」を選び、決定ボタンを押す

録画できない番組の場合、「一発録画」は薄く表示されます。

3 以下の操作で、録画機器を指定する

①カーソルボタン▲･▼で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲･▼で録画に使用するi.LINK機器に設定し、決定ボタンを押す

4 録画機器の準備をする

- D-VHSビデオの場合は、D-VHSテープをビデオに入れてください。
- HDDビデオレコーダーの場合は、HDDの残量と番組の記録数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。（→157ページ）

5 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定ボタンを押す

- 録画が始まります。（本体の「録画中（青）」表示が点灯します。）
- 番組終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源は、録画開始前の状態になります。（本機での操作で、HDDビデオレコーダーの追っかけ再生などを行っているときには電源は「入」のままです。）

お知らせ

- i.LINKの接続状態が不安定になると電源が録画開始前の状態にならない場合があります。

右のメッセージが表示された場合

- 選んだ番組の情報量が、指定した機器の処理能力を超えているためデジタル録画できません。
複数の録画機器がつながっている場合は、手順**3**で他のi.LINK機器に変更してください。

「転送レートを超えているため録画できません。録画機器を変更してください。」

- 「録画機器」にHDDビデオレコーダーを選んだ場合で、かつ１回だけデジタル録画できる番組を録画した場合は、HDDビデオレコーダーからさらに他の録画機器にデジタル録画はできません。
HDDに録画したものをDVDに移動できる録画機器もあります。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。

「この番組は１回のみ録画できます。そのためHDDに録画したあと、他の録画機器にデジタル録画できません。」

- i.LINK処理に用いる内部情報が壊れています。お買上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理の相談をしてください。

「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」

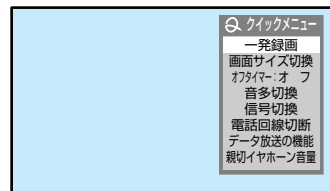
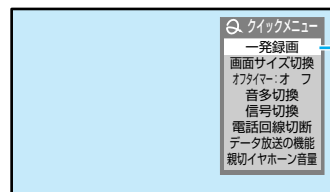
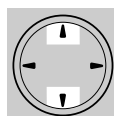
一発録画 つづき
（今視聴している番組を録画する）

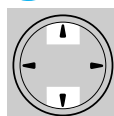
一発録画のしかた つづき

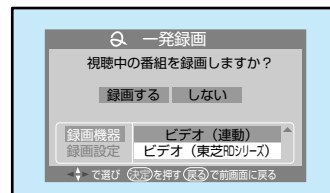
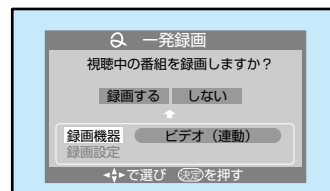
ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を使用して、連動一発録画をする場合

● 一発録画をする前の準備については、102ページをご覧ください。

はじめに ビデオレコーダーの電源を入れる
● ビデオレコーダーは、設定画面などを表示させない、通常の状態にしてください。

1 地上デジタル、BS デジタル、または 110 度 CS デジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す
● クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲･▼で「一発録画」を選び、決定ボタンを押す

録画できない番組の場合、「一発録画」は薄く表示されます。

3 以下の操作で、録画機器を指定する

①カーソルボタン▲･▼で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲･▼で「ビデオ（東芝RDシリーズ）」を選び、決定ボタンを押す

4 以下の手順で「録画設定」の内容を確認し、変更が必要な場合は変更する

1）カーソルボタン▲･▼で「録画設定」を選び、決定ボタンを押す
2）設定内容を確認し、設定の変更が必要な場合は以下の操作で変更する
　①カーソルボタン▲･▼で変更する項目を選び、決定ボタンを押す
　②カーソルボタン▲･▼で設定する内容(数値等)を選び、決定ボタンを押す
　・設定項目は、以下のとおりです。(詳しくはビデオレコーダーの取扱説明書を参照)

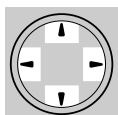
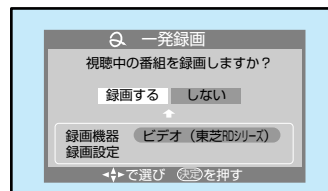
項目	設定できる内容	お知らせ
映像モード(画質)	SP／LP／MN1.4〜MN9.2	音声モードでL-PCMを選択しているときは、SP／LP／MN8.2以上は設定できません。
音声モード(音質)	M1／M2／L-PCM	映像モードでSP／LP／MN8.2以上を選択しているときは、L-PCMは設定できません。
記録先	HDD／DVD	――――
DVD互換	切／入(主音声)／入(副音声)	DVD互換の入/切を設定します。DVD互換を入にする場合で、主音声を記録する場合は「入(主音声)」に設定し、副音声を記録する場合は「入(副音声)」に設定してください。(これはDVD-Videoの規格によるものです。)・左の「お知らせ」もよくお読みください。

3）確認･設定が終わったら、カーソルボタン▲･▼で「録画設定完了」を選び、決定ボタンを押す

● 独立データ放送は、連動一発録画はできません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、アナログ録画はできません。
● DVD互換を「入(主音声)」や「入(副音声)」に設定すると、音多切換(→56ページ)も「主音声」や「副音声」に自動的に切り換わります。

5 ビデオレコーダーの準備をする

- DVDに録画する場合は、録画するDVDをビデオレコーダーに入れてください。
- HDDに録画する場合は、HDDの残量と番組の記録数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。

6 カーソルボタン▲·▼·◄·► で「録画する」を選び、決定ボタンを押す

- 録画が始まります。（本体の「録画中（青）」表示が点灯します。）
- 番組終了時刻になると録画も自動的に終了します。
- 次のメッセージが表示された場合は、表の説明をご覧ください。

メッセージ	詳しい説明・対処方法・ほか
東芝RDシリーズの動作によって登録できません。	ビデオレコーダーの動作との競合により、今は登録できません。しばらくしてからやり直してください。
東芝RDシリーズの予約がいっぱいです。	ビデオレコーダー側の予約数がいっぱいのため、登録できません。
東芝RDシリーズの予約と重複するため、登録できません。	ビデオレコーダー側の予約と重複しているため、登録できません。
指定した時刻情報では録画情報を登録できません。	指定した時刻で予約設定できるかをビデオレコーダーの取扱説明書でご確認ください。
東芝RDシリーズに時刻が設定されていません。	ビデオレコーダーの現在時刻が設定されていないため、登録できません。
東芝RDシリーズに録画情報を登録できませんでした。	ビデオレコーダーで、以下をご確認ください。 ・電源は、はいっていますか？ ・本機とビデオレコーダーは正しく接続されていますか？（→135ページ） ・ネットワーク設定は正しいですか？（ビデオレコーダーの取扱説明書も参照してください。）

一発録画を中止したい場合

※ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）を使用して、連動一発録画をしている場合の中止について

- **以下の操作で本機側で連動一発録画を中止しても、ビデオレコーダー側の録画は中止されません。ビデオレコーダー側でも中止してください。詳しくは、ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。**

1 終了ボタンを押す

- 「録画実行中です。もう一度（終了）を押すと録画を中止します。」が表示されます。

2 上記のメッセージが表示されている間に、もう一度、終了ボタンを押す

- 一発録画が中止されます。

テレビの操作をする

一発録画 つづき
(今視聴している番組を録画する)

一発録画についての注意事項

- 「i.LINKについて」(→164ページ)も必ずお読みください。
- i.LINK端子経由で、デジタル録画をする場合は、録画機器側のi.LINK入力設定が他のi.LINK機器になっていないことを確認してください。(詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。)
- アナログ方式での録画予約や一発録画を実行しているときのみ、デジタル放送録画出力端子(→127ページ)から映像信号が出るように設定できます。(詳しくは、183ページ)
- D-VHSビデオではテープが走行中(再生中、早送り中など)のときには、一発録画はできません。
- HDDビデオレコーダーへの録画開始直前は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- ペイ・パー・ビュー番組の場合は、購入してから一発録画の操作をしてください。(購入しないと一発録画はできません)。また、番組によってはコピー禁止のため録画できない場合がありますので、あらかじめ購入する前に画面表示ボタンで番組情報をご確認ください。
- 番組によってはデジタル録画できない場合があります。
- ビデオ本体で予約設定をしているとき(ビデオが予約待機状態になっているとき)には、正しく動作しない場合があります。
- 停電した場合(電源プラグを抜き差しした場合)や、本機の主電源が「切」にされた場合は、一発録画を中止します。
  このとき、本機は録画機器を録画停止や、電源「切」にはコントロールしません。したがって、その場合、録画機器が録画状態のままとなることがありますのでご注意ください。
- アナログ方式(VHSやS-VHSなど)で録画中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 一発録画実行中は、地上アナログ放送、CATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- 一発録画実行中は、データ放送には切り換えられません。
- 一発録画実行中にリモコンの電源ボタンが押されたとき、電源は待機状態になりますが、録画はそのまま続行されます。また、その状態でリモコンの電源ボタンを押すと電源がはいり録画も続行されます。
- D-VHSビデオへの一発録画実行中は、i.LINK端子からの信号は視聴できません。
- 一発録画実行中に録画予約の開始時刻になると、一発録画は中止されます。
- 一発録画実行中に視聴予約またはダウンロード予約の開始時刻になると、その予約を取り消して「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。
- 一発録画では、番組終了時間が延長された場合、変更時間に合わせて録画します。(連動一発録画はできません。)ただし、番組情報が更新されていないときには、変更時間に合わせて録画されない場合もあります。
- 一発録画では、録画番組がリレー形式(たとえば同一番組を途中で放送チャンネルを変更して継続するなど)の場合、リレー時刻と同時に指定の番組へ自動で切り換えて録画します。(連動一発録画はできません。)
- 一発録画中に受信障害が発生したり、B-CASカードが抜かれたなどの場合でも録画動作は継続されます。
- 一発録画中は、i.LINKケーブルを抜き差しはしないでください。
- i.LINK端子経由でデジタル放送を一発録画中に、i.LINKモードにした場合、デジタル放送録画出力端子からは、i.LINKモードで視聴中の信号が出力されます。
- 一発録画終了後、D-VHSビデオなどの電源は録画開始直前の状態になります。(追っかけ再生などでそのi.LINK機器を操作している場合は電源は「入」のままです。)
- 一発録画実行中は緊急警報放送には対応しません。
- HDDビデオレコーダーによっては、i.LINK接続上はD-VHSビデオとみなされる機器があります。
- ライブラリでのコピー中(→158ページ)は、一発録画はできません。
- 著作権保護のため一回だけ録画を許された番組を、さらにコピーすることはできません。HDDビデオレコーダーに録画する際はご注意ください。(HDDビデオレコーダーにコピーワンスプログラムをi.LINKで録画や録画予約する際には、その旨の確認メッセージが表示されます。)
- HDDビデオレコーダーにデジタル録画した場合、ライブラリに表示される情報が正しく記録されなかった場合には、ライブラリ(→155ページ)にそれらの情報は表示されません。
- HDDビデオレコーダーにD-VHSモードで録画した場合は、ハードディスクレコーダーモードでは正しくライブラリ表示できない場合があります。
- 本機のデジタル放送録画出力からのアナログ信号をＨＤＤレコーダーなどでデジタル信号に変換して録画した場合、１回の録画しか許可されていない番組の場合には、さらにコピーすることはできません。
- **万一、本機の故障や誤動作などによって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容や番組購入料金などの補償についてはご容赦ください。**

連動一発録画についての注意事項

- 前ページの「一発録画についての注意事項」もお読みください。
- 連動一発録画の概要については、「東芝製HDD＆DVDビデオレコーダーとつなぐとき」（→131ページ）をご覧ください。
- 連動一発録画の操作は、ビデオレコーダーの電源を「入」の状態で行ってください。
- 連動一発録画を中止する場合は、本機とビデオレコーダーの両方でそれぞれ行ってください。
  ビデオレコーダー側で録画を中止しても、本機側は中止されません。
  また、本機側で中止の操作をしても、ビデオレコーダー側の録画は中止されません。
- ビデオレコーダーで登録できる文字数を超えた番組名や番組説明の場合、登録可能な文字数に切り捨てられます。
- ビデオレコーダーの動作との競合によってビデオレコーダーで連動動作が正しく行われない場合があります。本機での操作後、ビデオレコーダー側でも動作の確認をしてください。
- ビデオレコーダーによっては、本機の連動一発録画の設定で設定できる内容に対応していない場合があります。
- 連動一発録画では、番組終了時間が延長された場合に、変更時間に合わせて録画することはできません。
- 連動一発録画では、録画番組がリレー形式（たとえば同一番組を途中で放送チャンネルを変更し継続するなど）の場合に、リレー時刻と同時に指定の番組へ自動で切り換えて録画することはできません。

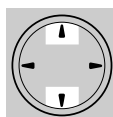
オフタイマー

●オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

オフタイマーの設定をする

1 クイックボタンを押す

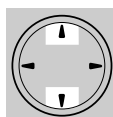
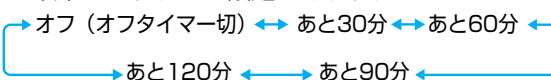
● クイックメニューが表示されます。

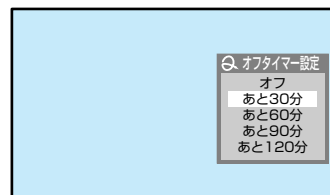
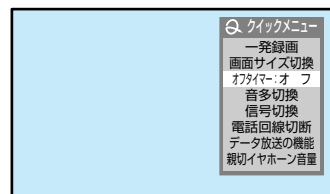
2 カーソルボタン▲·▼で「オフタイマー」を選び、決定ボタンを押す

● オフタイマーの設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で設定時間を選ぶ

● 以下のいずれかに設定できます。

オフ（オフタイマー切）↔ あと30分 ↔ あと60分 ↔ あと90分 ↔ あと120分 ↔ オフ

オフタイマー設定
オフ
あと30分
あと60分
あと90分
あと120分

4 決定ボタンを押す

● オフタイマーが設定され、通常画面に戻ります。
● 設定を取り消すときは、手順3で「オフ」を選びます。

オフタイマーの動作について

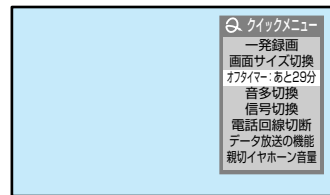
● 設定時間の約1分前になると、「まもなくオフタイマー電源が切れます」のメッセージが表示されます。
● 設定時間になると電源が切れて、待機状態になります。

残り時間の確認のしかた

● 電源が切れるまでの残り時間は、以下の方法で確認できます。

1 クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されオフタイマーの残り時間が表示されます。

2 [クイックメニューを消すには]
もう一度クイックボタンを押す

お知らせ

● 主電源を切るかまたは、待機状態にするとオフタイマーの設定は取り消されます。
● 録画予約または一発録画実行中はオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが録画は番組終了まで続けられます。

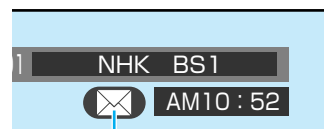
お知らせ(放送局からのお知らせ、本機に関するお知らせ、ボード)を見るには
(地上D、BS、110度CSの場合)

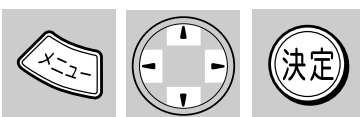
お知らせ(放送局からのお知らせ、本機に関するお知らせ、ボード)を見るには

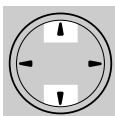
- お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。

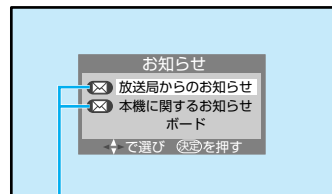
※「ボード」では、110度CSデジタル放送のご案内やお知らせなどを見ることができます。
（地上デジタル、BSデジタル放送には、「ボード」はありません。）

はじめに 未読の「お知らせ」があるとき

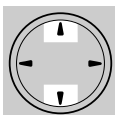
- 選局したときや、画面表示ボタンを押したときに、「お知らせ」アイコンが表示されます。

未読の「お知らせ」アイコン

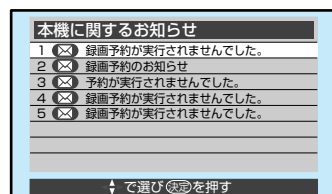
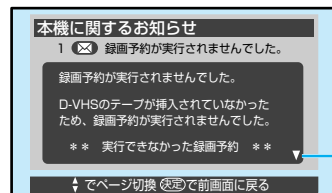
1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「お知らせ」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼でお知らせの種類を選び、決定ボタンを押す

- 選んだお知らせのリスト画面が表示されます。

お知らせ選択画面に戻るには

- **戻るボタンを押す**

未読のお知らせがある場合に表示します。

3 カーソルボタン▲·▼で、読みたいお知らせを選び、決定ボタンを押す

- お知らせの本文が表示されます。

お知らせリスト画面に戻るには

- **決定ボタンを押す**

▲または▼が表示されている場合は、カーソルボタン▲·▼でページを切り換えられます。

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

- 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタル放送は、合わせて基本的には24通まで記憶されますが、放送局の運用によってはそれよりも少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
- 「本機に関するお知らせ」は最大で42通まで記憶されます。最大数を超えて受信した場合は、既読の古いものから順に削除されます。すべてが未読のときは、そのうちの古いものから削除されます。
- 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

文字入力のしかた

文字入力について

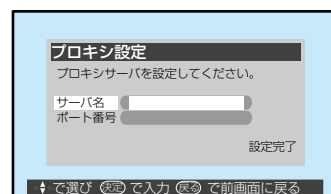
- 文字入力のしかたについて説明します。
  文字入力は、データ放送（→62ページ）や通信接続設定（→268ページ）で使われます。
  本機の文字入力は、携帯電話に似た方法となっています。
- 文字入力は、文字入力ボタンで行います。

■「文字入力」の概要（流れ）

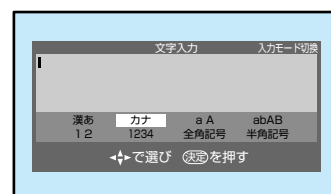
- 詳しい説明は、各項目の参照ページをご覧ください。
- データ放送画面で文字入力する場合については、最初に119ページをご覧ください。

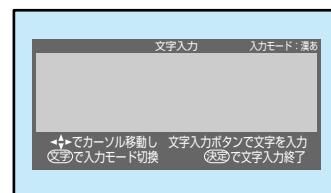
① 文字入力画面を表示させる（詳しくは113ページ）

メニューやデータ放送画面で文字入力する

- **カーソルボタン▲·▼·◄·► で文字を入力する部分を選び、決定ボタンを押す**
  - データ放送によっては、文字を入力する部分を選ぶと自動的に文字入力画面が表示される場合もあります。
    ※ データ放送によっては、この操作ではなく、放送内で指定された操作によって文字入力する場合があります。

（例）プロキシ設定画面

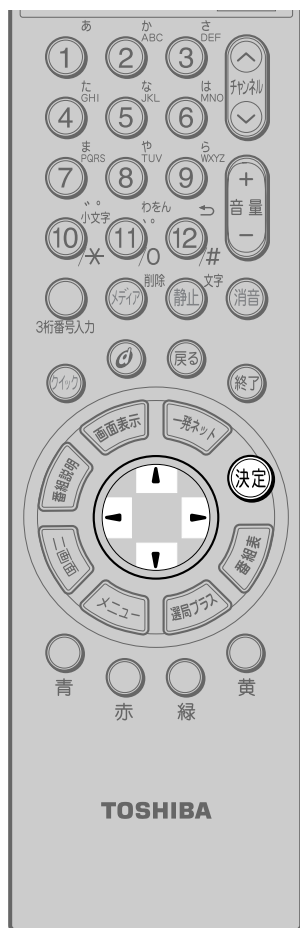
② 文字入力モードを選ぶ（詳しくは114ページ）

1. **文字ボタンを押す**
   - 文字入力モードのリストが表示されます。
2. **カーソルボタン▲·▼·◄·► で文字入力モードを選び、決定ボタンを押す**

③ 文字を入力する（詳しくは115ページ）

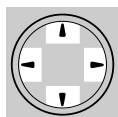
- **文字入力ボタンを押して、文字を入力する**
  - 1つのボタンに複数の文字が割り当てられており（数字を除く）、ボタンを押すごとに文字が切り換わります。

漢字に変換する場合

- 文字を入力した後、カーソルボタン▲·▼を押すごとに漢字に変換されます。
  変換された漢字を確定するには決定ボタンを押してください。

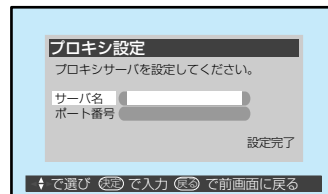
④ 文字入力画面を消して終了する（詳しくは119ページ）

- **文字入力画面で、すべての文字が確定されている状態で、決定ボタンを押す**

① 文字入力画面を表示させる（112ページ項目①の詳しい説明）

● データ放送画面で文字入力する場合は、最初に119ページをご覧ください。

メニューやデータ放送画面で文字入力する

● カーソルボタン▲・▼・◄・►で文字を入力する部分を選び、決定ボタンを押す

● データ放送によっては、文字を入力する部分を選ぶと自動的に文字入力画面が表示される場合もあります。

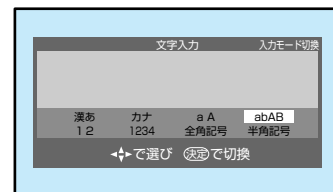
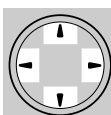
※ データ放送によっては、この操作ではなく、放送内で指定された操作によって文字入力する場合があります。

（例）プロキシ設定画面

■文字入力画面表示の説明

文字入力のしかた つづき

② 文字入力モードを選ぶ（112ページ項目②の詳しい説明）

1 文字ボタンを押す

- 文字入力モードのリストが表示されます。
- 入力する状況によって、使用できる文字入力モードは異なります。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で文字入力モードを選び、決定ボタンを押す

- 以下の「文字入力モードについて」から選んでください。

記号を入力する場合

- 「、」「。」「—」「␣(スペース)」については、漢字変換、全角カナ、全角英字モードなどでも入力できます。
  (→次ページの表参照)
  これら以外にも入力できる記号は多々あり、それらは全角、半角記号モードで入力できます。
  (→118ページ)

■文字入力モードについて

文字入力モード	選んで決定ボタンを押したあとは…
「漢あ」：漢字変換モード ・ひらがなや漢字を入力できます。 「カナ」：全角カナモード ・カタカナを入力できます。 「aA」：全角英字モード ・全角の英字を入力できます。 「abAB」：半角英字モード ・半角の英字を入力できます。 「12」：全角数字モード ・全角の数字を入力できます。 「1234」：半角数字モード ・半角の数字を入力できます。	→ 選んで決定ボタンを押したあとは、次ページの手順 1 へ進む
「全角記号」：全角記号モード ・全角の記号を入力できます。 「半角記号」：半角記号モード ・半角の記号を入力できます。	→ 選んで決定ボタンを押したあとは、118ページの手順 1 へ進む

お知らせ

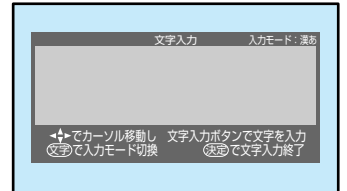
- 手順2で文字ボタンを押して、文字入力モードを選ぶこともできます。
- 手順2で文字入力モードを選択しているときに、文字を入力した場合も文字入力モードを確定できます。

③ 文字を入力する（112ページ項目③の詳しい説明）

文字入力の基本

● データ放送画面で文字入力する場合については、最初に119ページをご覧ください。

1 ［全角、半角記号モード以外の場合］
文字入力ボタンを押して文字を入力する

● 一つのボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを押すごとに、下表のように文字が切り換わります。（数字を除く）
● 入力後、別の文字入力ボタンを押すと自動的に次に入力されます。

同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合

● 最初の文字を入力したあと、カーソルボタン►を押してから次の文字を入力する
例：「あい」と入力したい場合
①「①」を押して「あ」を入力する
②カーソルボタン►を押し、カーソルを右に移動させる
③「①」を2回押して「い」を入力する

入力した文字を漢字に変換する場合

● →117ページ

濁音、半濁音を入力する場合

● →116ページ

小文字 ⇔ 大文字変換 する場合

● →116ページ

■入力できる文字

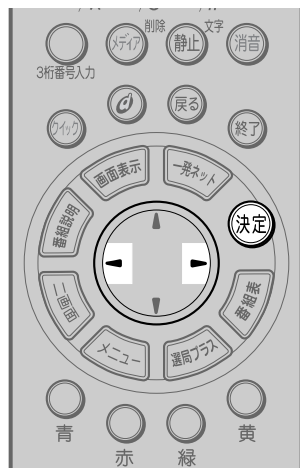
リモコンボタン	文字入力モード					
	漢字変換モード	全角カナモード	全角英字モード	半角英字モード	全角数字モード	半角数字モード
①（あ）	あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	――――	――――	1	1
②（か ABC）	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→ヵ→ヶ	a→b→c→A→B→C	a→b→c→A→B→C	2	2
③（さ DEF）	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	d→e→f→D→E→F	3	3
④（た GHI）	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	g→h→i→G→H→I	4	4
⑤（な JKL）	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	j→k→l→J→K→L	5	5
⑥（は MNO）	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	m→n→o→M→N→O	6	6
⑦（ま PQRS）	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	p→q→r→s→P→Q→R→S	7	7
⑧（や TUV）	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	t→u→v→T→U→V	t→u→v→T→U→V	8	8
⑨（ら WXYZ）	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9	9
⑪（わをん ゛゜/0）	わ→を→ん→ゎ→、→。→ー→␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー→␣(スペース)	、→。→ー→／→＿→␣(スペース)	,→.→-→/→~→␣(スペース)	0	0
⑩（゛゜小文字 /*）	゛→゜→※1小文字変換	゛→゜→※1小文字変換	※1小文字変換	※1小文字変換	――	*
⑫（↩ /#）	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	――	#

※1 ：小文字変換については、116ページをご覧ください。
※2 ：文字入力変換中に文字を送り過ぎたときに、逆方向へ戻します。
＊最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

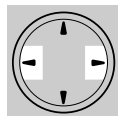
お知らせ

● 漢字変換モードで一度に入力可能な文字数は最大16文字です。
● 文字入力時に文字ボタンを押すと、入力中のすべての未確定文字が確定されます。
※入力した文字は、次のように表示されます。
（例：「あさ」を入力）
・確定されている文字「あ」
・入力中の文字「あ」（背景は黄色）
・未確定の文字「あ」（背景は薄い灰色）
・漢字変換する部分の文字は濃い灰色「朝」
● そのときのモードによっては入力できない場合があります。

［次のページにつづく］

文字入力のしかた つづき

③ 文字を入力する つづき

文字入力の基本 つづき

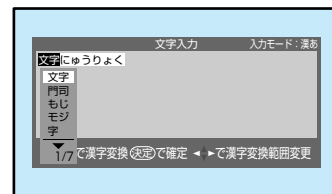
2 以下の操作で、文字を確定する

漢字変換モードのとき

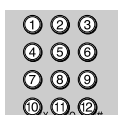
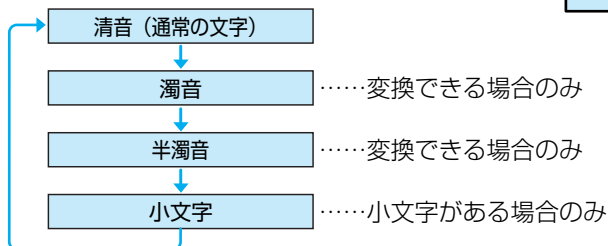
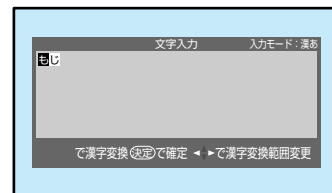
● 決定ボタンを押すと確定されます。

全角カナ、全角(または半角)英字モードのとき

● 次のときに文字が確定されます。
・カーソルボタン◀·▶を押したとき
・入力した文字のボタンとは異なるボタンを押したとき

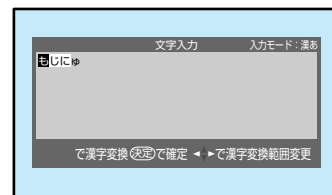
全角(または半角)数字モードのとき

● 文字を入力したときに自動的に確定されます。

濁音、半濁音を入力するには

● **漢字変換モードまたは全角カナモードで文字を入力したあと、⑩ボタンを押す**

● ボタンを押すごとに次のように変わりますので、ご希望の状態を選んでください。

※濁音、半濁音に変換できるのは以下の文字のみです。ほかの文字は濁音、半濁音に変換できません。
・濁音、半濁音に変換できる文字：は行の文字です。
・濁音にのみ変換できる文字：か行、さ行、た行の文字と「ウ」です。

小文字⇔大文字 に変換するには

● **文字を入力したあと、⑩ボタンを押す**

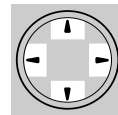
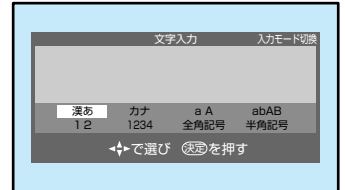
● ボタンを押すごとに上の図のように変わりますので、ご希望の状態を選んでください。

※小文字に変換できるのは、115ページの表の小文字のある文字のみです。
濁音、半濁音については、上の「濁音、半濁音を入力するには」をご覧ください。

漢字を入力するには

- 漢字変換モードでひらがなを入力したあと、カーソルボタン▲･▼で目的の漢字やカタカナに変換し、決定ボタンで確定します。
- ここでは、具体例として「明日」(あした)を入力する場合について説明します。

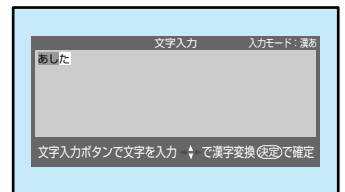
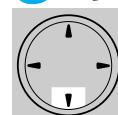
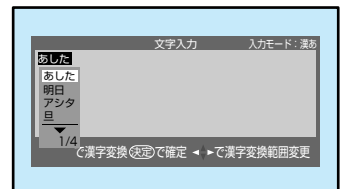
■漢字で「明日」（あした）を入力する場合

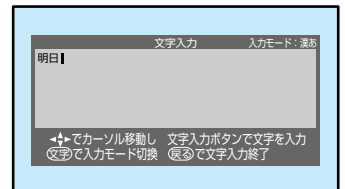
1 漢字変換モードにする

①文字ボタンを押す

②カーソルボタン▲･▼･◄･► で「漢あ」(漢字変換モード)を選び、決定ボタンを押す

2 「あした」と入力する

① ① ボタンを1回押す→「あ」が入力される

② ③ ボタンを2回押す→「し」が入力される

③ ④ ボタンを1回押す→「た」が入力される

3 カーソルボタン▼を押し、希望する漢字に変換する

- 候補が多い場合は、カーソルボタン▼を数回押すと、候補リストが表示されます。(カーソルボタン▲を押すと逆の方向に変換されていきます。)

4 希望の漢字に変換されたら、決定ボタンを押す

- 文字が確定されます。

■希望する漢字に変換されない場合

- カーソルボタン◄･►を押すと変換する範囲が変わります。
変換する範囲を変えたあと、カーソルボタン▲･▼で再度変換してください。

お知らせ

- 一度に変換できるのは4文節までです。
4文節以上の文章をまとめて変換する場合は、最初の4文節についてカーソルボタン▲･▼で変換し、決定ボタンを押して文字を確定したあと、次の4文節を漢字変換する操作を繰り返してください。
- 漢字変換時に、削除ボタン（または、戻るボタン）を押した場合は、変換中のすべての文字列を未確定状態に戻します。
- 未確定文字列内にカーソルがある状態で、戻るボタンを押すと、すべての未確定文字列をまとめて削除します。

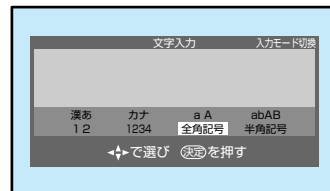
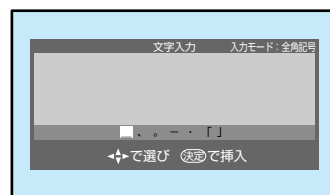
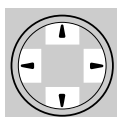
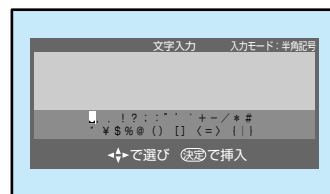
文字入力のしかた つづき

③ 文字を入力する つづき

全角、半角記号モードで記号を入力するには

- 「、」「。」「―」「␣(スペース)」については、漢字変換、全角カナ、全角英字モードなどでも入力できます。(→115ページの表参照)
  これら以外にも入力できる記号は多々あり、それらは以下の操作によって、全角、半角記号モードで入力できます。入力の場面によっては、入力できない場合もあります。

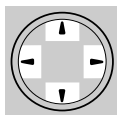
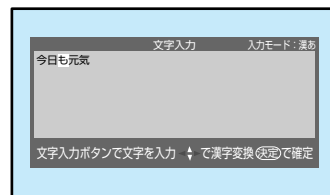
1 114ページの手順1を行い、手順2で「全角記号」または「半角記号」のモードを選んで、決定ボタンを押す

- 記号一覧が表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で記号を選び、決定ボタンを押す

全角記号モードの場合

- 全角記号モードと半角記号モードでは、入力できる記号が異なります。
- パスワード入力には、「␣(スペース)」は使えません。

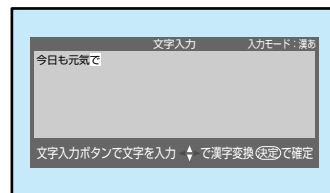
半角記号モードの場合

文字の挿入、削除をするには

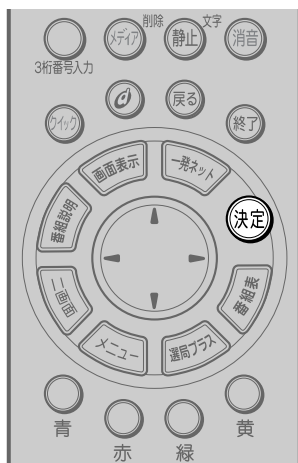
■文字を挿入する

● **カーソルボタン▲·▼·◀·▶で文字を挿入する場所を選び、文字を入力する**

- 確定されている文字列に挿入できます。
- 漢字変換モードのときには、未確定の文字列にも挿入できます。

■文字を削除する

● **削除ボタンをポンと1回押す**

- カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字を削除します。
- カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字を削除します。

削除ボタンを押し続けた場合

- カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字をすべて削除します。(未確定の文字列の場合は、未確定の文字列のみをすべて削除します。)
- カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字をすべて削除します。(未確定の文字列の場合は、未確定の文字列のみをすべて削除します。)

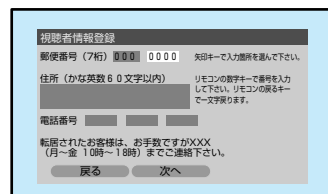
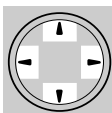
- 漢字変換前の未確定の文字列の場合は、未確定の文字列内で削除します。
- 漢字変換時に、削除ボタン(または、戻るボタン)を押した場合は、変換中のすべての文字列を未確定状態に戻します。
- 未確定文字列内にカーソルがある状態で、戻るボタンを押すと、すべての未確定文字列をまとめて削除します。

④ 文字入力画面を消して終了する(112ページ項目④の詳しい説明)

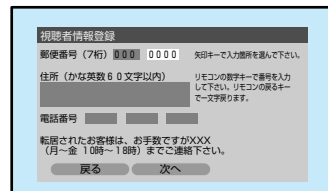
● 文字入力画面で、すべての文字が確定されている状態で、決定ボタンを押す

● 文字入力画面が消えて終了します。

⑤ データ放送画面で文字を入力する場合

● 数字ボタン0～9(⑪/0～⑨)を入力する際、放送によっては、以下のように文字入力画面を表示しないで、文字を直接入力する場合があります。

1 データ放送を受信しているとき、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で、文字を入力する部分を選ぶ

（画面は一例です。）

2 数字ボタン0～9（⑪/0～⑨）を押して、直接入力する

文字入力のしかた つづき

文字入力についてのご注意

■使用できる文字入力モードについて
- 文字入力の画面が表示されているときに、使用できる入力モードと切り換わる順番は、次のようになります。
ただし、使用できる入力モードは、文字入力の場面によって異なります。

文字入力の場面		使用できる入力モードと切り換わる順番
データ放送のとき		漢字変換→全角カナ→全角英字→半角英字→全角数字→半角数字→（最初に戻る）
通信接続設定をするとき（→269ページ）	IPアドレス	半角数字

■文字入力中に文字入力以外のボタンが押された場合
- 次のようになります。

	電源ボタンが押されたとき	終了ボタンが押されたとき	メニューボタンやチャンネルボタン∧・∨などが押されたとき
データ放送の文字入力をしているとき	入力文字が破棄され、電源は待機になります。	入力文字が破棄され、独立データ放送ではデータ放送を最初から受信し直します。番組連動データ放送では、データ放送を終了します。	入力文字が破棄され、押されたボタンの動作をします。
通信接続設定をするとき（→269ページ）	入力が破棄され、押されたボタンの動作をします。	左記に同じ	左記に同じ

■入力できる文字数を超えた場合
- 各入力モードで入力できる文字数を超えた場合はメッセージが表示されます。

- 上記は代表的な文字入力ができる場面です。上記以外にも文字入力をする場合があります。

番組購入情報の送信

- 通常、番組購入情報は電話回線を通じて自動的にセンターに送られます。
- 何らかの事情で、自動送信ができなかった場合は、以下の操作で送信をしてください。

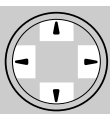
はじめに

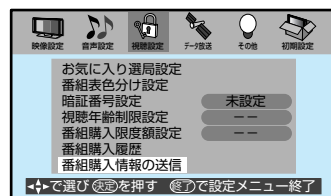
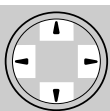
- 番組購入情報が送信されていない場合は、「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でお知らせします。
B-CASカードを挿入し、電話回線が正しく接続されていることを確認した後(→190、200ページ)、以下の操作で送信してください。

1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「番組購入情報の送信」を選んで、決定ボタンを押す

- 以下のメッセージに応じて決定ボタンを押してください。
- 送信が終了して、決定ボタンを押すと設定メニュー画面に戻ります。

初期画面

ペイ・パー・ビュー番組の購入情報をカスタマーセンターに送信します。電話回線の接続を確認して次へ進んでください。
決定で次へ進む

B-CASカスタマーセンター接続中

カスタマーセンターに接続しています。
しばらくおまちください。
戻るで中止

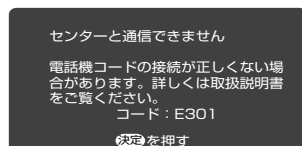
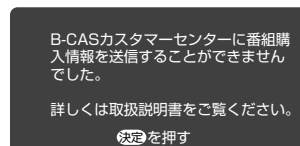
B-CASカスタマーセンターに送信中

番組購入情報を送信しています。
しばらくおまちください。
戻るで中止

送信完了

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

■次のメッセージが表示された場合

番組購入情報を送信する必要はありません。 決定を押す	センターと通信できません 電話機コードの接続が正しくない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。 コード:E301 決定を押す	B-CASカスタマーセンターに番組購入情報を送信することができませんでした。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。 決定を押す
● 現在は、番組購入情報を送信する必要はありません。	● 電話回線の接続(→200ページ)および電話回線設定(→262ページ)を参照し、もう一度接続設定の状態を確認してください。	● B-CASカスタマーセンターとの通信中にエラーが発生しました。もう一度電話コードの接続を確認してください。

- B-CASカスタマーセンターについては、付属のB-CASカード説明紙(台紙)をご覧ください。

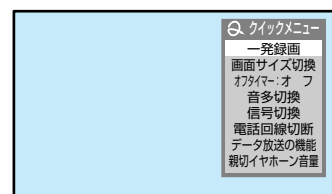
電話回線の接続を切断する

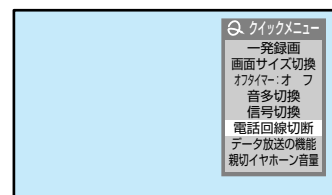
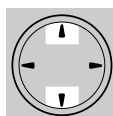
電話回線の接続を切断するには

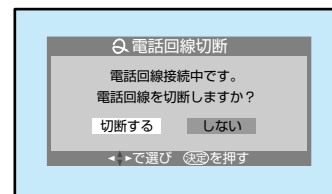
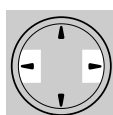
● 本機から番組購入情報などをセンターに送る場合やデータ放送では、電話回線を使って通信を行います。その際、電話回線の接続を切断したいときは、以下の操作をしてください。

1 クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されます。

クイックメニュー
一発録画
画面サイズ切換
ｵﾌﾀｲﾏｰ：オ フ
音多切換
信号切換
電話回線切断
データ放送の機能
親切イヤホーン音量

2 カーソルボタン▲·▼で「電話回線切断」を選び、決定ボタンを押す

クイックメニュー
一発録画
画面サイズ切換
ｵﾌﾀｲﾏｰ：オ フ
音多切換
信号切換
電話回線切断
データ放送の機能
親切イヤホーン音量

※ 電話回線が接続中でない場合は、電話回線切断は薄く表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「切断する」または「しない」を選び、決定ボタンを押す

● 電話回線テスト（→265ページ）などで電話回線接続を切断したい場合は、それぞれの機能の中で行ってください。
● 電話回線の接続中は、本機前面部に「回線使用中」の表示が点灯します。

B-CAS カード番号表示

● B-CAS カードに登録されている番号をテレビ画面で確認できます。

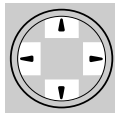
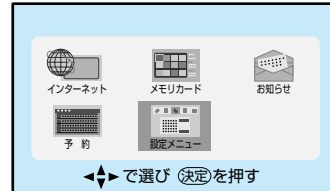
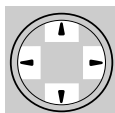
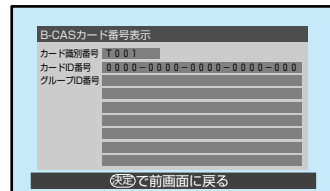
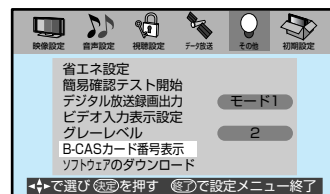
1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

インターネット　メモリカード　お知らせ
予 約　設定メニュー
で選び 決定を押す

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

インターネット　メモリカード　お知らせ
予 約　設定メニュー
で選び 決定を押す

3 カーソルボタン◄·►で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「B-CASカード番号表示」を選んで、決定ボタンを押す

● テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

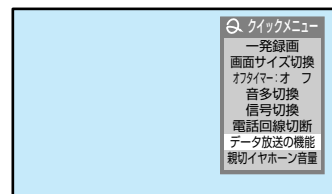
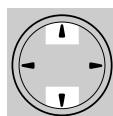
クイックメニューを使う

- クイックボタンを押すと、そのときに使うと便利な機能がメニューとして表示され、それらの機能を使うことができます。
- クイックメニューは、本機の状態によって、選択できる項目が変わります。

基本操作

1 クイックボタンを押す

- クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼ で項目を選び、決定ボタンを押す

その時に使用できない項目は薄く表示されます。

3 選んだ項目に従い、操作する

- 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

クイックメニュー	サブメニュー	できる機能·はたらき	参照ページ
一発録画		簡単操作で視聴中の番組を録画できます。	102
画面サイズ切換		画面サイズを切り換えて迫力あるワイド画面が楽しめます。	52
オフタイマー		設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。	110
音多切換		二重音声放送の場合、主音声、副音声、主音声+副音声を切り換えることができます。	56
信号切換	映像切換 音声切換 データ切換	デジタル放送の場合、一つの番組の中に複数の信号(映像や音声、データ)がある場合があり、お好みに応じて切り換えることができます。	57
	字幕切換	字幕放送の場合は、画面に字幕を表示できます。	54
	字幕アウトスクリーン	字幕と画面表示が重ならないようにすることができます。	55
	降雨対応放送切換	降雨対応放送が行われているときに切り換えられます。	75
電話回線切断		電話回線の接続を切断することができます。	122
データ放送の機能	ブックマーク	データ放送をリストに記録しておき、そのリストからデータ放送を選ぶことができます。	65
	登録発呼	双方向通信機能で、送信する内容を保存しておき、後から送る機能です。	67
親切イヤホーン音量 (二画面表示のときは「副画面イヤホーン音量」)		イヤホーン(副画面)端子の音量を調整できます。	59、60

第3章 他の機器をつないで楽しむ

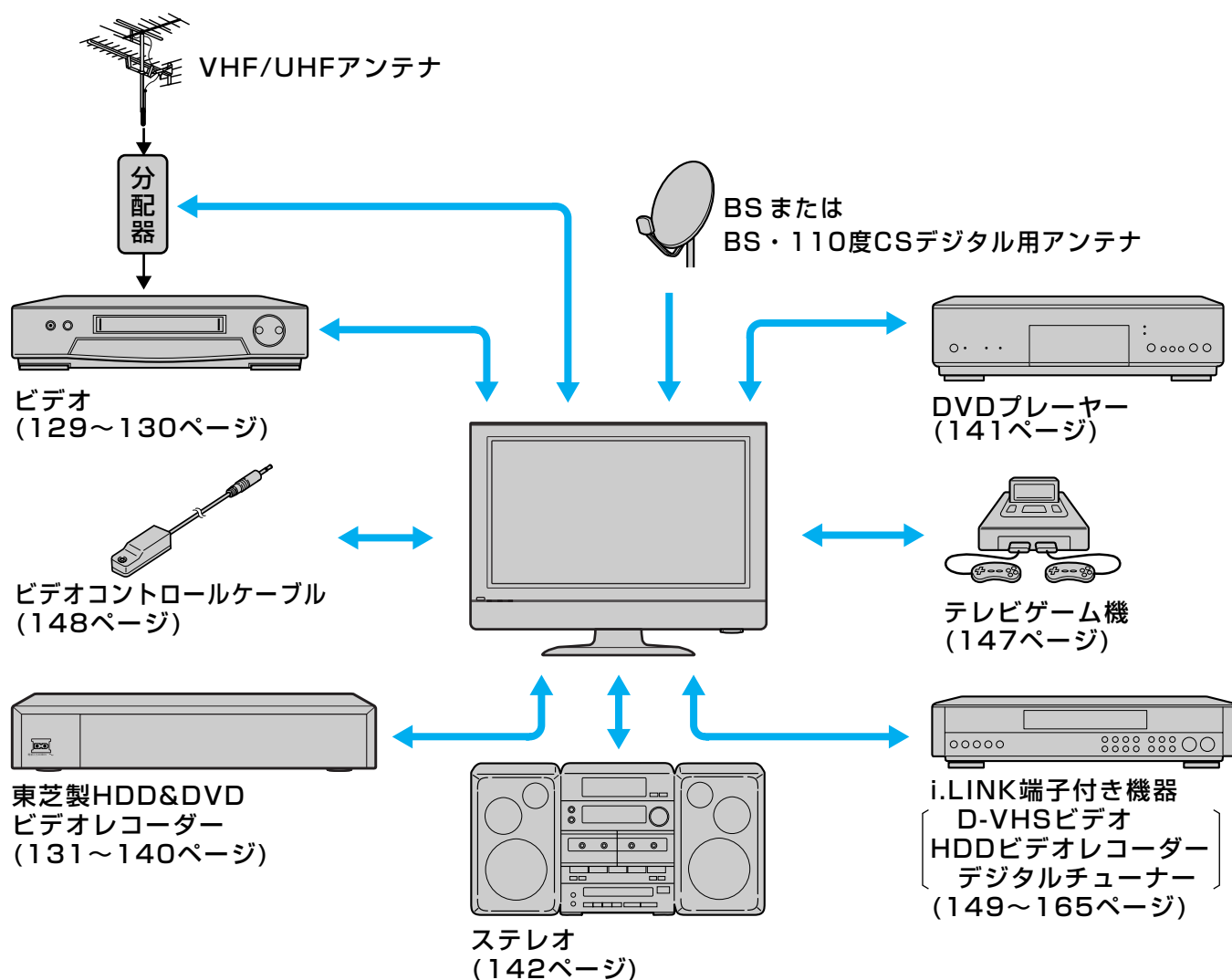
他の機器（ビデオなど）をつないで楽しむ

接続の早わかり

- このテレビは、いろいろな機器と組み合わせて楽しめます。
- LDプレーヤーなども、ビデオ入力端子に接続することができます。

■接続例

- それぞれの端子を使って数台のA/V機器を接続することができます。

お願い

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ずテレビおよび接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 録画または録音したものは個人的に楽しむほかは、著作権法によって権利者に無断で使用することはできません。
- 本機のS2映像入力端子と映像入力端子に同時に接続したときは、S2映像入力端子を優先します。
- 本機のS2映像入力端子または映像入力端子とD4映像入力端子に同時に接続したときは、D4映像入力端子を優先します。
- 接続機器の音声出力がモノラルのときは、別売のステレオ／モノラル変換コード（TSC-AX05など）をご使用ください。

端子のなまえとはたらき

- イラストは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 詳しくは 内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)

D4映像入力端子
- D4端子に入力できる映像信号です。

映像信号	映像の走査線数	方式
525i(480i)	525本(有効480本)	インターレース
525p(480p)	525本(有効480本)	プログレッシブ
750p(720p)	750本(有効720本)	プログレッシブ
1125i(1080i)	1125本(有効1080本)	インターレース

デジタル放送録画出力端子
- デジタル放送またはi.LINK端子からの信号がアナログ信号で出力されます。
- S1入力端子のある録画機器などへつないだ場合で、本機から送られる信号がフルモードの場合は、接続機器側の画面サイズもフルモードになります。(→52ページ)
- 地上アナログ放送や外部入力は出力されません。
- 文字画面表示(番組名の表示やメニュー表示など)は出力されません。
- デジタルカメラの画像再生動作中は出力されません。
- 「デジタル放送録画出力の設定」を「モード2」にしているときは、アナログ方式の録画予約や一発録画の実行中以外は映像信号は出力されません。(詳しくは183ページ)

■本機のS2映像端子について

- A/V機器のS映像端子、S1映像端子、S2映像端子と接続できます。S映像接続コードをお使いください。
- S2映像端子のあるA/V機器からフルモードの信号が入力されたときは、テレビの画面サイズがフルモードになり、レターボックス信号が入力されたときは、ズームモードの画面になります。(→52ページ)
- S1映像端子のあるA/V機器からフルモードの信号が入力されたときは、テレビの画面サイズがフルモードになります。

端子のなまえとはたらき つづき

ビデオで録画／再生するとき

ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた

- i.LINK端子付きのD-VHSビデオの場合は、i.LINK接続をすることで、さらに便利な使いかたができます。(→149ページ)
- 126ページの「お願い」もよくお読みください。

【つなぎかた】

(背面)

(背面端子)

S2映像

映像

左

音声

右

4　1

ビデオ入力

5　2

S2映像　S2映像

(背面端子)

S1映像

映像

デジタル放送 録画出力

左

音声　オーディオ出力(固定)

右

(ビデオ)

映像出力へ　音声出力へ

S映像端子につなぐ場合

(別売品 形名 TSC-VA01)

どちらかをつないでください。

信号　信号

どちらかをつないでください。

(別売品 形名 TSC-VS01)

映像入力へ　音声入力へ

外部入力へ

映像入力へ　音声入力へ

S映像端子につなぐ場合

(別売品 形名 TSC-VA01)

どちらかをつないでください。

信号　信号

どちらかをつないでください。

(別売品 形名 TSC-VS01)

映像出力へ　音声出力へ

出力端子へ

- 「デジタル放送録画出力の設定」を「モード2」にしているときは、アナログ方式の録画予約や一発録画の実行中以外は映像信号は出力されません。(詳しくは183ページ)

ビデオで録画／再生するとき つづき

ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた つづき

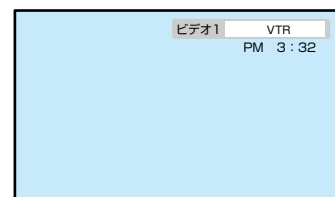
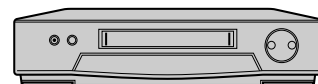
【使いかた】

デジタル放送を録画するとき（基本の操作）

1 デジタル放送のチャンネルを選ぶ

2 ビデオを外部入力モードにして、録画する

再生して見るとき

1 リモコンの入力切換ボタンで、つないでいるビデオ入力を選ぶ

2 ビデオを再生する

■ デジタル放送をアナログ録画（VHSやS-VHS方式などでの録画）するとき

- 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送については、「一発録画」（→102ページ）を使うと放送中の番組をより簡単に録画できます。
- 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を留守録する場合は、「録画予約」（→85ページ）を行ってください。
- デジタル放送録画出力端子からは、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）や字幕、データ放送は出力されません。
- 「省エネ設定」を設定している場合は、自動的に電源待機状態になり、デジタル放送録画出力から信号が出力されなくなる場合がありますので、上記の操作で録画する際にはご注意ください。（→181ページ）
- 「デジタル放送録画出力の設定」（→183ページ）を「モード2」にしているときには上記の方法では録画ができません。「録画予約」（→85ページ）、または「一発録画」（→102ページ）で録画してください。
- アナログ方式での録画予約や一発録画実行中は、本機を電源待機にしても、デジタル放送録画出力端子からは信号が出力されます。（通常は、電源待機の時には出力されません。）
- 本機の主電源を切った場合は、デジタル放送の録画はできません。

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき
（連動予約機能を使うとき）

はじめに

- 東芝製HDD&DVDビデオレコーダーには、ネットdeナビ機能を持ち、本機と連動予約や連動一発録画ができるものがあります。
  ※「東芝製HDD&DVDビデオレコーダー」については、これ以降「ビデオレコーダー」、「東芝RDシリーズ」などと略して記載します。
- 連動予約や連動一発録画ができるビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）—2004年2月10日現在—
  ・ 形名：RD-X40、RD-X3、RD-XS31、RD-XS41、RD-X4

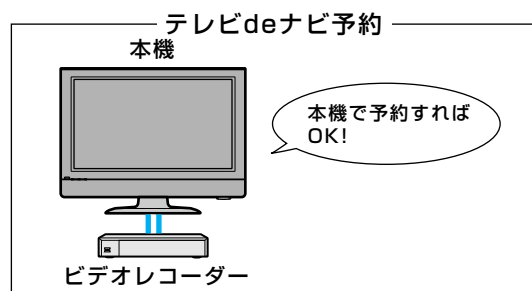
■連動予約とは…

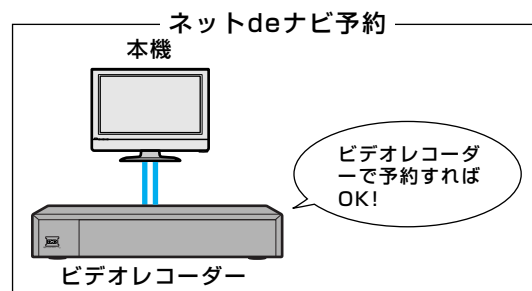
- 連動予約とは、本機側だけ（またはビデオレコーダー側だけ）で予約設定をすれば、本機とビデオレコーダーの両方の予約設定ができる機能のことで、次の二つの種類があります。

●テレビdeナビ予約（本機で予約設定する場合）

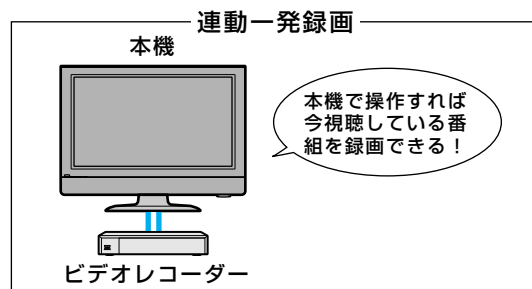
- 本機で番組指定予約、または日時指定予約をすることで録画予約をします。
  ［ビデオレコーダー側の予約設定は自動的に行われます。その際、番組指定予約の場合には、番組名と番組説明、チャンネル名もビデオレコーダーに設定されます。（詳細情報は取得されません。）］
- 予約できるのは、地上・BS・110度CSデジタル放送です。
  従来の地上アナログ放送については、予約できません。

※本機で予約の設定をする際は、ビデオレコーダーの電源を「入」にし、ビデオレコーダーで設定画面などを表示させない状態で行ってください。（このようにしないとビデオレコーダーに予約設定されません。）

- 132ページで準備を行ってください。

●ネットdeナビ予約（ビデオレコーダーで予約設定する場合）

- ビデオレコーダーで、iEPG（インターネットの番組表）機能を使って録画予約をします。
  （本機側の予約設定は自動的に行われます）
- 予約できるのは、BSデジタル放送のみです。
- 134ページで準備を行ってください。

■連動一発録画とは…

- 連動一発録画とは、本機の操作だけでビデオレコーダーの操作をすることなく、一発録画ができる機能です。
  （あらかじめ、ビデオレコーダーの電源を入れておく必要はあります。）
- 連動一発録画できるのは、地上・BS・110度CSデジタル放送です。
  従来の地上アナログ放送については、連動一発録画できません。
- 132ページで準備を行ってください。

お知らせ

- 操作の簡単さや対応している放送の種類などの点から、「テレビdeナビ予約（本機で予約設定する場合）」での予約をおすすめします。
- ビデオレコーダー側での録画予約設定のしかた、ネットdeナビ機能の詳細については、ビデオレコーダー付属の取扱説明書、またはビデオレコーダーのホームページ上で配付されている取扱説明書をご覧ください。（http://www.rd-style.com/user/の「RD Seriesダウンロード用取扱説明書」の項目をご覧ください。）
- 「テレビdeナビ予約についての注意事項」（→101ページ）や、「連動一発録画についての注意事項」（→109ページ）もよくお読みください。
- iEPGはソニー株式会社が提唱しているインターネットでの録画予約方式です。

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき（連動予約機能を使うとき）つづき

「連動予約」や「連動一発録画」をするには（準備から操作までの早わかり）

●「テレビdeナビ予約（本機で予約設定する場合）」と「連動一発録画」の場合

（1）インターネット常時接続の環境の場合

● 136ページの「お願い」、「お知らせ」、「（1）インターネット常時接続の環境」の場合もご覧ください。

1. 本機とビデオレコーダー、ルーター、パソコンをつなぐ（→135ページを参照）
※**接続は、すべての機器の電源が「切」の状態で行ってください。**
134ページ「お知らせ1」のビデオレコーダーの取扱説明書も参照してください。

▼

2. 最初にルーターの電源を「入」にし、次に、ルーターに接続されているすべての機器の電源を「入」にする

▼

3. ルーターのDHCP機能が有効の状態に設定されていることを確認する
・出荷時点で有効の状態に設定されているのが一般的ですが、詳しくはルーターの取扱説明書をご覧ください。

▼

4. 本機の「イーサネット設定」（→270～271ページ）を以下のように設定する
・「IPアドレス自動取得」と「DNSアドレス自動取得」を「する」に設定してください。
※**お買い上げ時はこの状態に設定されています。設定を変えていない場合は、そのまま次に進んでください。**

▼

5. ビデオレコーダーで以下の設定をする
・詳しい手順については、134ページ「お知らせ1」のビデオレコーダーの取扱説明書（ネットdeナビ編）をご覧ください。

①ビデオレコーダーを「ネットワーク設定」画面にする
・「初期設定」→「管理設定」→「ネットワーク設定」でこの画面にします。

②「DHCP」が「使う」に設定されていることを確認する
・「使わない」に設定されている場合は、ビデオレコーダーの取扱説明書にしたがって「ネットワーク設定」をしてください。（「DHCP」は「使う」の状態にします。）

③以下の4項目に、数値が設定されていることを確認する
・IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバー

④「DHCP」を「使わない」に設定する

⑤「IPアドレス」の、最後の3桁を「198」に設定する
・「＊＊＊.＊＊＊.＊＊＊.198」のように最後の3桁のみを変更してください。
（「＊」の箇所の数字は変更しないでください。）

［詳しい説明］
・ビデオレコーダーのIPアドレスは、ルーターに接続されている他の機器のIPアドレスと同じにならないように設定します。
・上の説明では、最後の3桁に「198」を設定するように記載していますが、すでに他の機器に「198」が設定されている（ルーターによって割り当てられている）場合や、「198」に設定した後、手順7で正しく動作しない場合には、この数値を他の機器のIPアドレスと同じにならないように設定してください。（詳しくはルーターの取扱説明書をご覧ください。）

⑥設定した内容を保存する

▼

6. 「テレビdeナビ設定」をする（→138ページ）

▼

7. 録画予約（→85ページ）や一発録画（→102ページ）を行い、動作を確認する
・録画予約の場合
本機とビデオレコーダーに予約が設定されていることを確認してください。
・一発録画の場合
連動一発録画が正しく動作していることを確認してください。
※**「テレビdeナビ予約についての注意事項」（→101ページ）や「連動一発録画についての注意事項」（→109ページ）もよくお読みください。**

(2) 本機とビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を直接つなぐ場合

● 本機とビデオレコーダーのみをイーサネット接続する場合です。

1. **本機とビデオレコーダーをつなぐ(→136ページを参照)**
   ※接続は、すべての機器の電源が「切」の状態で行ってください。
   ● LANケーブルの接続には、ビデオレコーダー付属のクロスケーブルをご使用ください。
   次ページ「お知らせ1」のビデオレコーダーの取扱説明書も参照してください。

2. **本機の「イーサネット設定」(→270〜272ページ)を以下のように設定する**
   ①「IPアドレス設定」を以下に設定する(→270ページ)
   ・IPアドレス自動取得　：　しない
   ・IPアドレス　：　192.168.1.20
   ・サブネットマスク　：　255.255.255.0
   ・デフォルトゲートウェイ　：　192.168.1.1
   ②「DNS設定」を以下に設定する(→271ページ)
   ・DNSアドレス自動取得　：　しない
   ・DNSアドレス(プライマリ)　：　192.168.1.1
   ※DNSアドレス(セカンダリ)の入力は不要です。
   ③「プロキシ設定」を「使用しない」に設定する(→272ページ)

3. **ビデオレコーダーで以下の設定をする**
   ・詳しい手順については、次ページ「お知らせ1」のビデオレコーダーの取扱説明書(ネットdeナビ編)をご覧ください。
   ①ビデオレコーダーを「ネットワーク設定」画面にする
   ・「初期設定」→「管理設定」→「ネットワーク設定」でこの画面にします。
   ②以下のように設定する
   ・DHCP　：　「使わない」に設定する
   ・IPアドレス　：　192.168.1.15
   ・サブネットマスク　：　255.255.255.0
   ・デフォルトゲートウェイ　：　192.168.1.1
   ・DNSサーバー　：　192.168.1.1
   ※上記の数値は、ビデオレコーダーの取扱説明書に記載されている数値と異なっている場合がありますが、問題ありません。
   [詳しい説明]
   ・ビデオレコーダーのIPアドレスは、本機に設定したIPアドレスと同じにならないように設定します。
   ・サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーは本機の設定と同じにします。
   ③上の②以外の項目について、ビデオレコーダーの取扱説明書に従って設定する
   ④設定した内容を保存する

4. **「テレビdeナビ設定」をする(→138ページ)**

5. **録画予約(→85ページ)や一発録画(→102ページ)を行い、動作を確認する**
   ・録画予約の場合
   本機とビデオレコーダーに予約が設定されていることを確認してください。
   ・一発録画の場合
   連動一発録画が正しく動作していることを確認してください。
   ※「テレビdeナビ予約についての注意事項」(→101ページ)や「連動一発録画についての注意事項」(→109ページ)もよくお読みください。

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき
（連動予約機能を使うとき）つづき

「連動予約」や「連動一発録画」をするには（準備から操作までの早わかり）つづき

●ネットdeナビ予約（ビデオレコーダーで予約設定する場合）

● 136ページの「お願い」、「お知らせ」、「（1）インターネット常時接続の環境」の場合もご覧ください。

1. 本機とビデオレコーダー、ルーター、パソコンをつなぐ（→135ページを参照）
   ※接続は、すべての機器の電源が「切」の状態で行ってください。
   「お知らせ1」も参照してください。

▼

2. IPアドレスの設定が必要な場合は、設定をする（→270ページ）
   ※通常は、設定不要です。詳しくは、「お知らせ2」をご覧ください。

▼

3. 「ネットdeナビ制御」設定を行う（→137ページ）

▼

4. ビデオレコーダーの設定をする
   「お知らせ1」も参照してください。

▼

5. 「ネットdeナビ予約の動作について」を読む（→140ページ）

▼

6. ビデオレコーダーの取扱説明書を読み、操作をする
   「お知らせ1」も参照してください。

お知らせ1

●ビデオレコーダー側での録画予約設定のしかた、ネットdeナビ機能の詳細については、ビデオレコーダー付属の取扱説明書、またはビデオレコーダーのホームページ上で配付されている取扱説明書をご覧ください。（http://www.rd-style.com/user/の「RD Seriesダウンロード用取扱説明書」の項目をご覧ください。）

お知らせ2

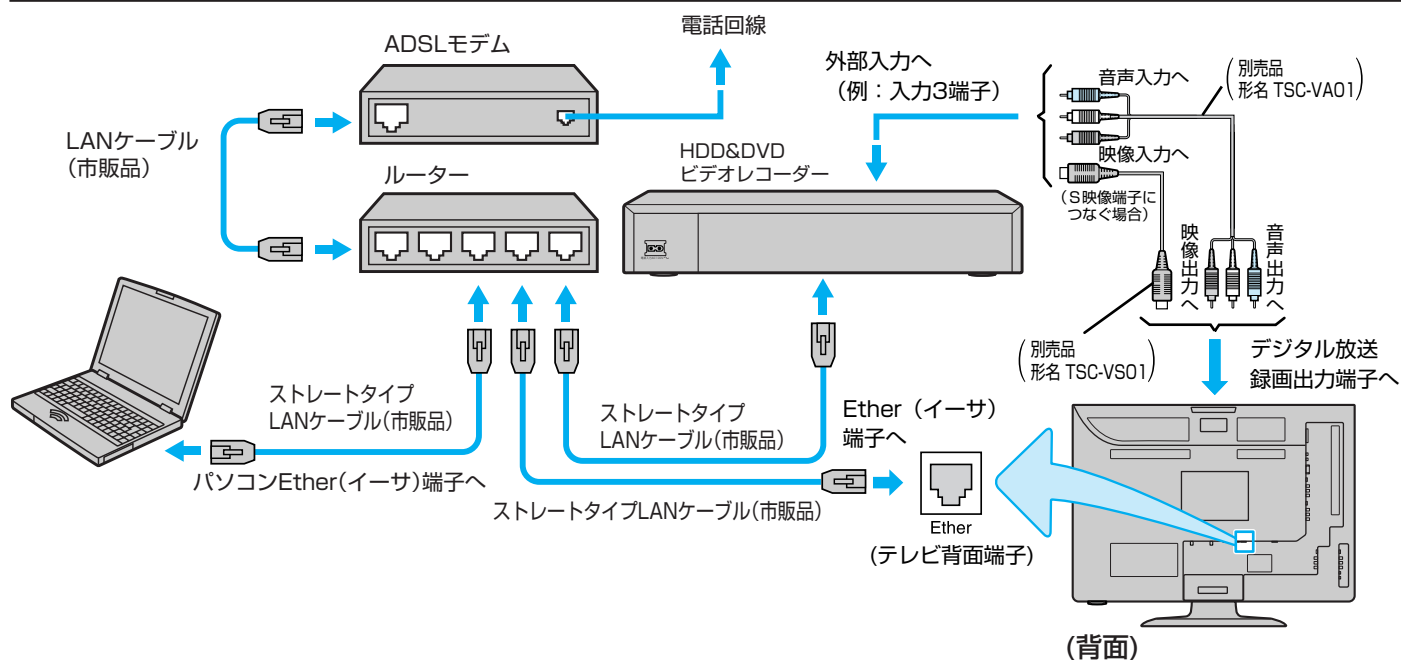
●お買い上げ時はIPアドレスは「自動取得する」に設定されています。通常（ルーターなどのDHCPサーバ機能を使用する場合）は、IPアドレスは自動的に取得されるので、設定は不要です。

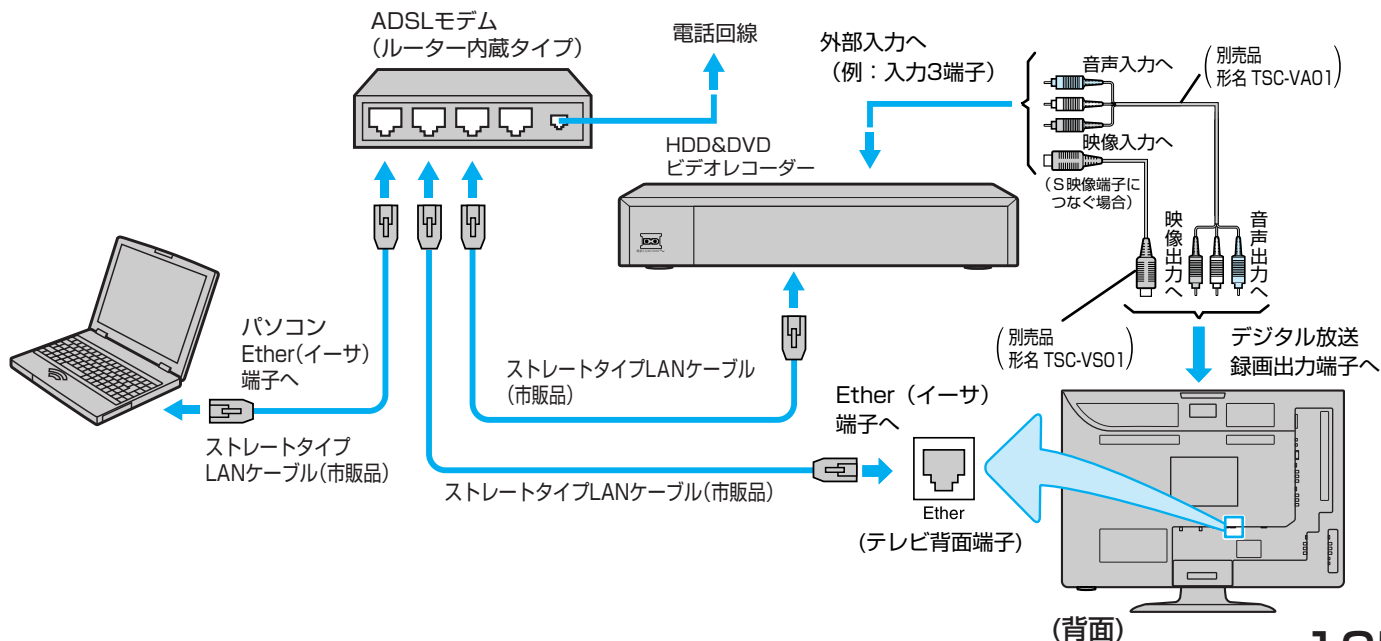
つなぎかた

(1) インターネット常時接続の環境の場合

- **以下の例のように、必ずルーターを通して接続をしてください。**
- 136ページの「お願い」、「お知らせ」、「(1)インターネット常時接続の環境」の場合もご覧ください。

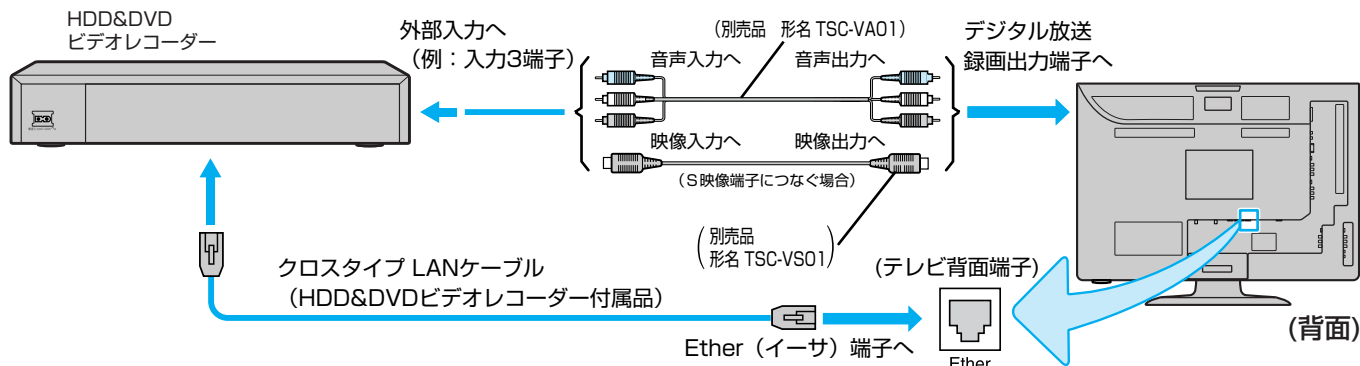
はじめに

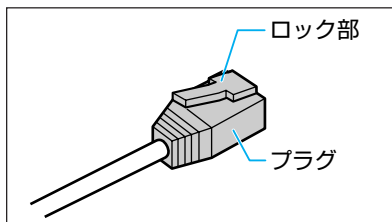
- **ここではイーサネット通信(ADSLなど)ができる環境であることを前提とした説明になっています。**
  - ・ご使用のモデムやルーターなどの取扱説明書もご覧ください。
  - ・イーサネット通信ができる環境をお持ちでない場合は、導入や契約などについてお買い上げの販売店、またはADSLなどの回線事業者にご相談ください。
- **本機では、ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどの設定はできません。**
  ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどによっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。

例1:ルーター機能がないADSLモデムを使用している場合

例2:ルーター機能のあるADSLモデムを使用している場合

東芝製HDD＆DVDビデオレコーダーとつなぐとき（連動予約機能を使うとき）つづき

つなぎかた つづき

(2) 本機とビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を直接つなぐ場合(テレビdeナビ予約の場合のみ)

- **この接続は、テレビdeナビ予約をする場合のみ使用できます。ネットdeナビ予約には使用できません。**
  テレビdeナビ予約、ネットdeナビ予約については、131ページをご覧ください。
- インターネットもつなぐ場合は、前ページの例1または例2の接続でご使用ください。

お願い

- **電話機コードのプラグをEther（イーサ）端子にはつながないでください。Ether（イーサ）端子がこわれる場合があります。**
- LANケーブルの抜き差しをするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- LANケーブルの抜き差しは、プラグを持って行ってください。
  抜くときは、LANケーブルを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（下図を参照）

- 接続を変更した場合は、本体の主電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れ直してください。
- LANケーブルとは、ネットワークケーブルやイーサネットケーブルのことで、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。前ページの例1または例2の接続には、ストレートケーブルをご使用ください。上記「（2）本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）を直接つなぐ場合」の接続には、クロスケーブルをご使用ください。それ以外の接続には、各機器が指定しているLANケーブルをご使用ください。

お知らせ

- 接続するLANケーブルは付属されていません。（市販品をご使用ください。）
- 「デジタル放送録画出力の設定」を「モード2」にしているときは、デジタル放送録画出力端子からは、連動予約などのアナログ方式による録画予約や一発録画の実行中以外は映像信号は出力されません。（詳しくは183ページ）

★「（1）インターネット常時接続の環境」の場合

■本機が接続できるルーターについて

- 以下の製品については正常に通信できることが確認されています。
  以下以外の製品の場合には、正常に通信できない場合があります。
  また、以下の製品でもワイヤレス（無線）LAN機能を使用した場合に、正しく動作しない場合があります。

メーカー名	形　名
プラネックスコミュニケーションズ（株）	BLW-03FA

■ご注意

- イーサネット通信機能は、本機が動作状態のときにだけ使用が可能です。
- プロバイダ（インターネット接続事業者、以下同じ）側の設定や制限によっては、LAN機能の一部が使用できない場合があります。
  電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続・契約借款等により、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。（契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがある場合、本機を二台目として接続することが認められていない場合があります。）
- 基本的には、カテゴリ5（CAT5）と表示された10BASE-T／100BASE-TXのLANケーブルをご使用ください。ただし、接続機器がすべて10BASE-Tの場合は、カテゴリ3のケーブルも使用が可能です。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約のADSL回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダにお問い合わせください。
  - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - 一部のインターネット接続サービスでは、本機をご利用できないことがあります。
  - プロバイダによっては、インターネットに接続できる機器の台数が制限されている場合があります。
  - プロバイダによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - ADSL回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
  - ADSLモデムやケーブルモデムについてご不明な点など。
- ご使用のモデムなどによっては、正常に通信できない場合があります。

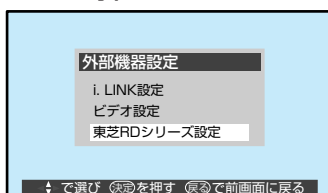
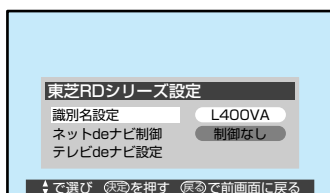
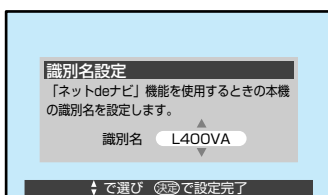
東芝RDシリーズ設定

● 「ネットdeナビ予約」（→131ページ）を行うための設定です。

識別名設定

● 「ネットdeナビ予約」を使用するときの、本機の識別名の設定です。
● お買上げ時は「L400VA」に設定されており、通常ここでの設定は必要ありません。
● L400V（他の画面サイズのものも含みます。）を複数台（最高5台）イーサ端子を使って、ビデオレコーダーと接続する場合は、以下の操作で本機の識別名を設定してください。
● その場合、本機の識別名をビデオレコーダー側でも設定する必要があります。詳しくは134ページ「お知らせ1」の「RD Series ダウンロード用取扱説明書」をご覧ください。

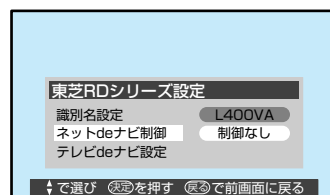
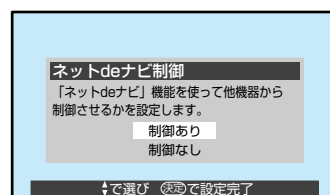
1 以下の操作で「外部機器設定」画面にする
①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「外部機器設定」を選んで、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「東芝RDシリーズ設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「識別名設定」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で本機の識別名を「L400VA」～「L400VE」で選び、決定ボタンを押す

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

ネットdeナビ制御

● ネットdeナビ機能（ネットdeナビ予約）を使って東芝製HDD＆DVDビデオレコーダーから本機を制御させるかどうかを設定します。
● お買上げ時は「制御なし」に設定されています。

1 左側の手順 1、2 を行う

2 カーソルボタン▲·▼で「ネットdeナビ制御」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「制御あり」または「制御なし」を選び、決定ボタンを押す
● 「制御あり」… ネットdeナビ機能を使って、ビデオレコーダーから本機を制御できます。
● 「制御なし」… ネットdeナビ機能でビデオレコーダーから本機を制御できません。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき
（連動予約機能を使うとき）つづき

東芝RDシリーズ設定 つづき

テレビdeナビ設定

- 「テレビdeナビ予約」(→131ページ)を行うための設定です。
- **テレビdeナビの各設定を有効にするには、必ず設定の最後に本体の主電源スイッチを押して主電源を一度切り、もう一度入れ直してください。**

はじめに

以下の手順でビデオレコーダーの設定を確認する

①ビデオレコーダーを「ネットワーク設定」画面にする
・詳しくはビデオレコーダー取扱説明書の「ネットdeナビ編」をご覧ください。(→134ページ「お知らせ1」参照)

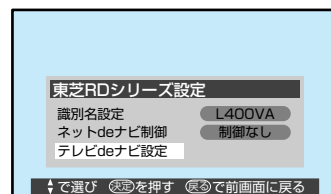
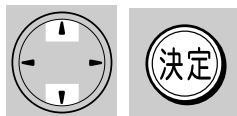
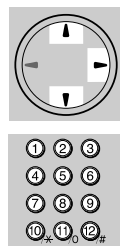
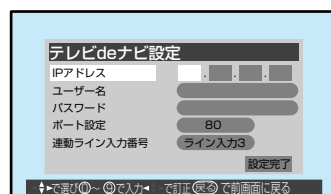
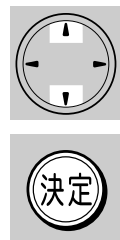
②ビデオレコーダーの「ネットワーク設定」の以下の設定内容を確認し、メモする

ビデオレコーダーの項目	ビデオレコーダーに設定されている内容を確認する
IPアドレス	
本体ユーザー名	
本体パスワード	※パスワードは他の方に見られないようにご注意ください。
本体ポート番号	

③ビデオレコーダーの「ネットワーク設定」画面を終了して、通常画面に戻る

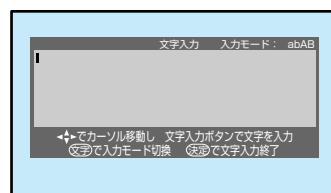
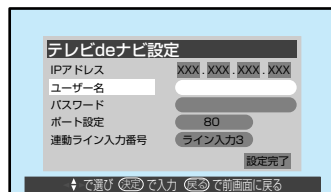
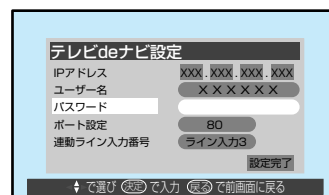
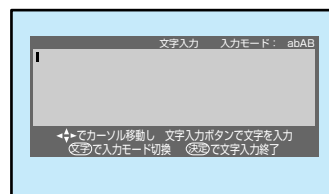
④ビデオレコーダーの本機をつないでいるライン入力番号を確認する
・本機のデジタル放送録画出力を接続したビデオレコーダーの外部入力端子のライン入力をご確認ください。
(例:ライン入力1など)

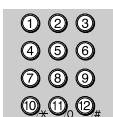
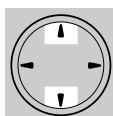
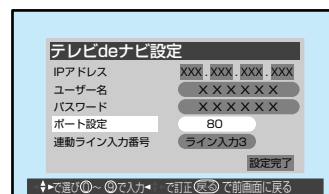
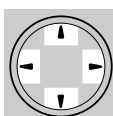
1 137ページ左側の手順 1、2 を行う

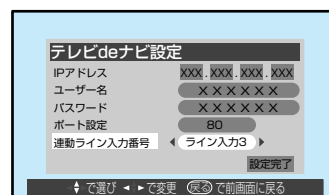
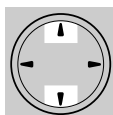
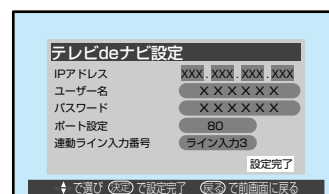
2 カーソルボタン▲·▼で「テレビdeナビ設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼·▶で「IPアドレス」の入力場所を選び、数字ボタン0～9（⑪～⑨）でIPアドレスの番号を入力する

- 「はじめに」で確認したIPアドレスを正しく入力してください。
  数字最大3桁をひと組として、4箇所入力してください。ひと組が2桁以下の場合は、入力後カーソルボタン▶で次の組へ移動してください。
  間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押して、もう一度入力し直してください。

4 以下を行う

ビデオレコーダーで「本体セキュリティ」を「あり」に設定している場合

① **カーソルボタン▲·▼で「ユーザー名」を選び、決定ボタンを押す**
- 文字入力モードになります。

② **文字入力ボタンで「ユーザー名」を入力する**
- 「はじめに」で確認した本体ユーザー名を正しく入力してください。
- 文字入力のしかたは112ページをご覧ください。

[次のページにつづく]

③ カーソルボタン▲·▼で「パスワード」を選び、決定ボタンを押す
- 文字入力モードになります。

④ 文字入力ボタンで「パスワード」を入力する
- 138ページの「はじめに」で確認した本体パスワードを正しく入力してください。
- 入力方法は、手順4の②と同じです。
- 手順5に進んでください。

ビデオレコーダーで「本体セキュリティ」を「なし」に設定している場合
- ユーザー名およびパスワードの設定は不要です。
- 手順5に進んでください。

5 カーソルボタン▲·▼で「ポート設定」を選び、数字ボタン0～9（⑪～⑨）でポート番号を入力する

- 前ページの「はじめに」で確認した本体ポート番号を正しく入力してください。
  間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押して、もう一度入力し直してください。
  ※通常は80です。（本機で設定できる数値は0～65535です。ビデオレコーダーのネットdeナビ編の取扱説明書もよくお読みください。）

6 カーソルボタン▲·▼で「連動ライン入力番号」を選び、カーソルボタン◀·▶で接続されているライン入力を選ぶ

- 前ページの「はじめに」で確認したライン入力番号を選んでください。
- カーソルボタン◀·▶で以下のように切り換わります。

→ライン入力1 ↔ ライン入力2 ↔ ライン入力3 ←

7 カーソルボタン▲·▼で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す

- 設定が完了して、前ページの手順2に戻ります。

8 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

9 [設定した内容を有効にするには] 主電源を入れ直す

- 本体の主電源スイッチを押して主電源を切り、もう一度主電源を入れてください。

他の機器をつないで楽しむ

東芝製HDD＆DVDビデオレコーダーとつなぐとき（連動予約機能を使うとき）つづき

「ネットdeナビ予約」(→134ページ)の動作について

- **はじめに**
  - ・本機は、ダウンロード実行中にはビデオレコーダーからの制御を受け付けません。
    よって、「ネットdeナビ予約」を使って録画予約を行う際には、以下のようにしてください。
    - ・「自動ダウンロード」設定(→289ページ)を「ダウンロードしない」にする
    - ・任意ダウンロード予約(→290ページ)の時間と重ならないようにする

- **録画番組放送開始**
  - ・デジタル放送をご覧の場合は、録画予約番組の放送時間近くになると、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。
    録画予約を中止する場合は、終了ボタンを押してください。
  - ・録画予約番組の放送時間になると自動的にチャンネルが切り換わり予約した番組が選ばれます。
  - ・録画予約実行中は、本機前面の「録画中」(青)表示が点灯します。

- **録画予約実行中**
  - ・地上アナログ放送やアナログCATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。

録画予約を中止したい場合

① **終了ボタンを押す**
- ・[「ネットdeナビ」で録画実行中です。もう一度（終了）を押すと録画を中止します。]が表示されます。

② **上記のメッセージが表示されている間に、もう一度、終了ボタンを押す**
- ・録画予約を中止します。
- ・本機の操作でビデオレコーダーからの録画を中止した場合、本機の動作は中止されますが、ビデオレコーダー側の録画動作は中止されません。ビデオレコーダー側でも録画中止の操作を行ってください。

録画予約実行中に操作ボタンを押したとき

- ・操作可能なボタンを押したときは、押したボタンの動作が実行され、録画予約もそのまま続行されます。
- ・操作できないボタンを押したときは、[「ネットdeナビ」で＊＊＊を録画中です。（終了）を押すと録画を中止します。]が表示されます。
  ※録画予約実行中にリモコンで電源の入／待機を切り換えると、録画中の信号にノイズがはいる場合があります。

- **録画予約番組放送終了**
  - ・録画予約を終了し、通常どおり使用できます。
  - ・録画予約だった場合は、本機前面の「録画中」(青)表示が消えます。ただし、ほかに本機で設定した録画予約がある場合は「録画予約」(赤)表示は点灯したままです。

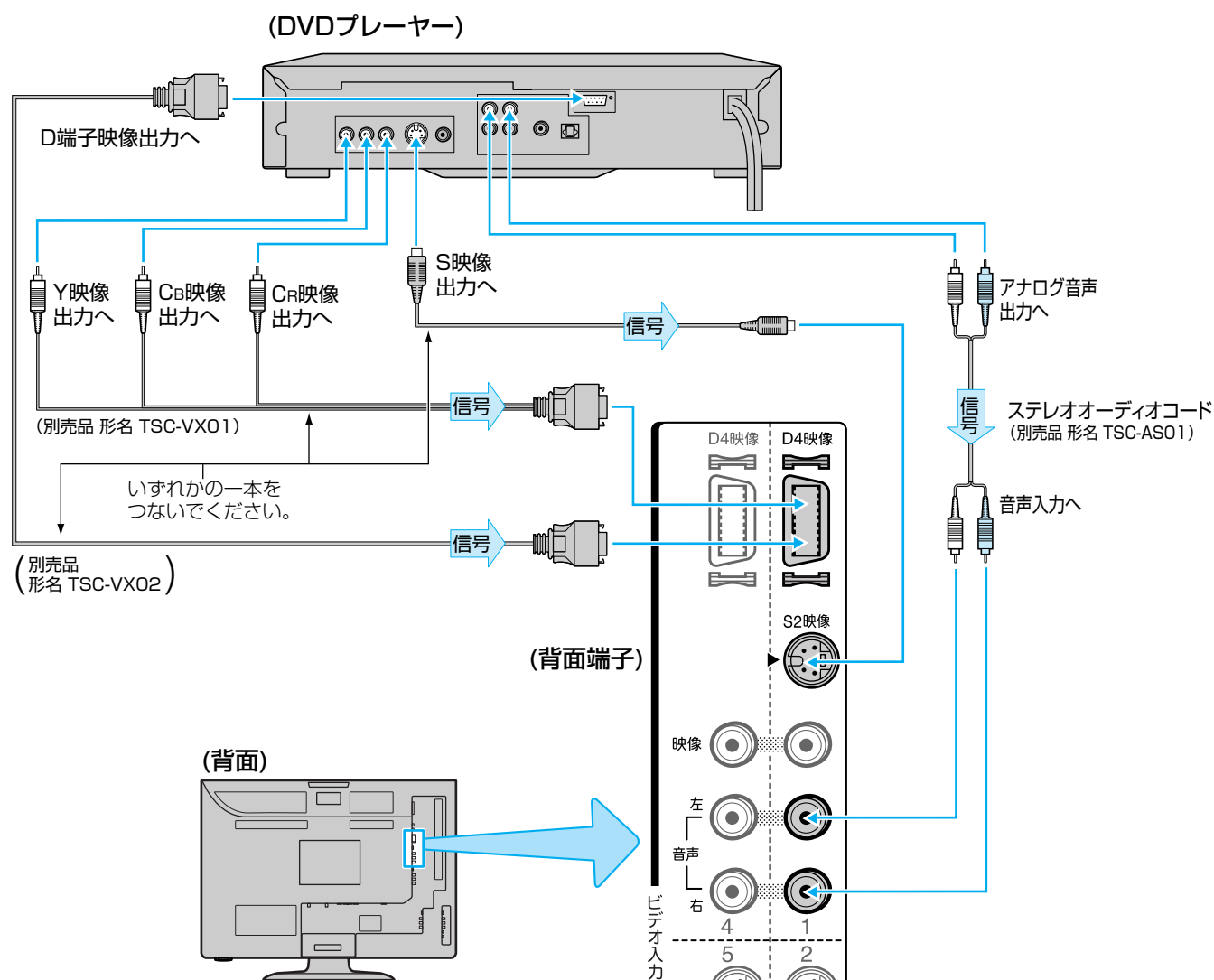
■ご注意

- 本機の「番組情報取得設定」（→181～182ページ）を「取得しない」に設定し、電源を待機にしたときは、ビデオレコーダーからの制御は受け付けません。
- 本機の主電源が「切」の場合、ビデオレコーダーからの制御は受け付けません。
- ダウンロード実行中の場合、ビデオレコーダーからの制御は受け付けません。
- ライブラリでコピーを実行中（→158ページ）の場合、ビデオレコーダーからの制御は受け付けません。
- 録画予約実行中の場合、ビデオレコーダーからの制御は受け付けません。
- 一発録画実行中の場合、ビデオレコーダーからの制御は受け付けません。
- 本機での録画予約と時間が重なった場合は、ビデオレコーダーからの録画予約が中止されます。
- 本機の「ネットdeナビ制御」設定（→137ページ）でビデオレコーダーからの制御が「制御なし」の場合には、ビデオレコーダーからの制御は受け付けません。ビデオレコーダーから制御したい場合は「ネットdeナビ制御」を「制御あり」に設定してください。
- ペイ・パー・ビュー番組の購入は行われません。
  （ペイ・パー・ビュー番組の録画はできません。）
- 視聴年齢制限は解除されませんので、ネットdeナビ予約をする場合はあらかじめ視聴年齢制限を「20歳（制限しない）」に設定してください。（→277ページ）
- 二重音声は、通常視聴時の設定で本機から出力されます。
- 映像、音声で複数の信号がある番組の場合は、基本の信号だけが本機から出力されます。
- 「ネットdeナビ予約」で録画中に地上アナログ放送やCATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- ビデオレコーダーからの制御前に、本機の電源が「待機」だった場合、ビデオレコーダーからの録画予約が開始されても、画面には映像やスピーカーから音声は出ません。ビデオレコーダーからの録画予約終了後は「待機」になります。
- ビデオレコーダーからの制御中は、ご案内チャンネル（→312ページ）に切り換えることはできません。
- ビデオレコーダーからの制御中は、緊急警報放送には対応しません。
- 番組の途中で受信障害になったときや非契約の場合、無信号状態で録画が行われます。
- ビデオレコーダーからの制御中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 「ネットdeナビ予約」での録画中は、視聴予約の開始時刻になっても録画を継続します。（視聴予約は実行されません。）

DVD プレーヤーをつなぐとき

- 本機の D4 映像入力端子と DVD プレーヤーの D 端子映像出力、またはコンポーネント信号出力（Y、CB、CR 映像出力）をつなぐと、より高画質で楽しめます。
- D4 映像入力端子には、DVD プレーヤーのほかに、将来の映像機器も接続できます。
（コンポーネント映像信号の 525i、525p、750p、1125i に対応しています。）
- **126 ページの「お願い」もよくお読みください。**

【つなぎかた】

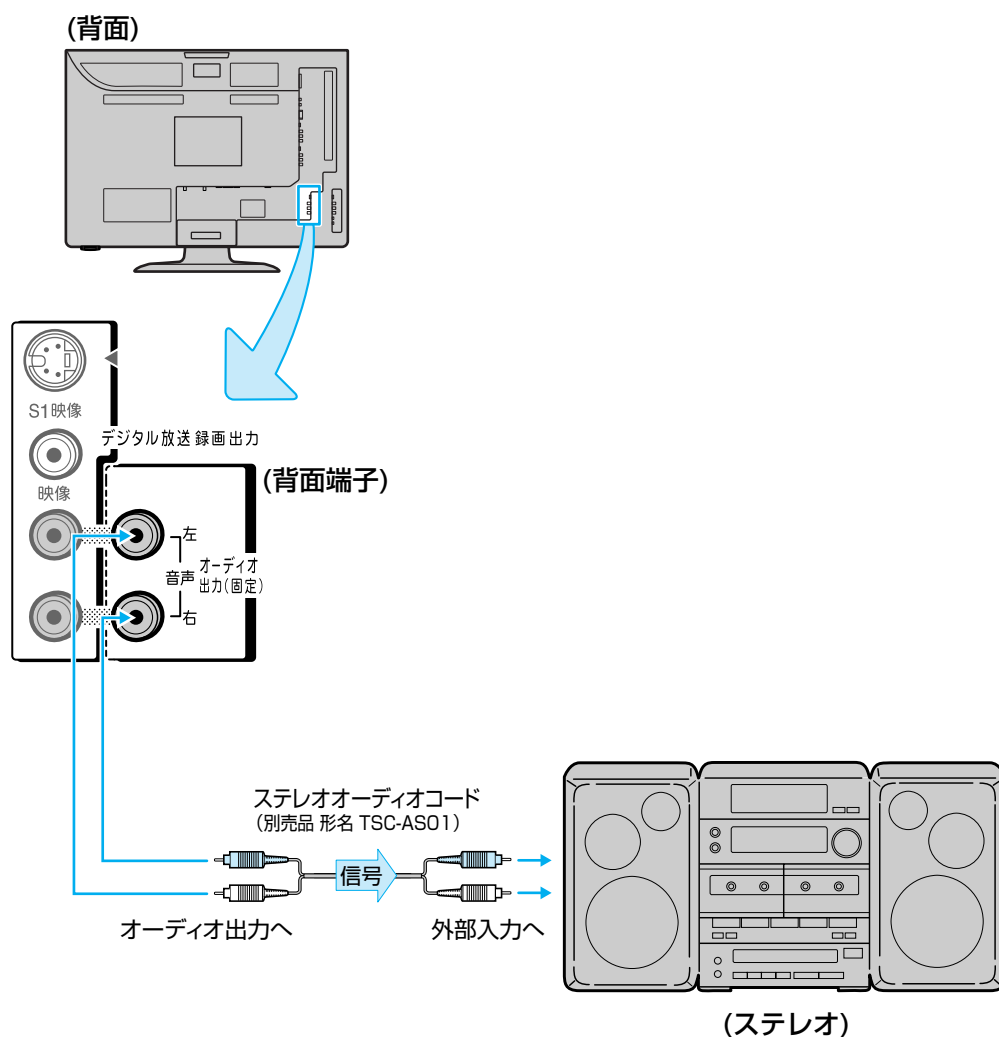
- 例として本機の「ビデオ入力1」を使用した場合の例

- 接続するDVDプレーヤーの取扱説明書もよくお読みください。

ステレオ装置で楽しむとき

映像はテレビで、音声はステレオ装置で迫力ある音声で楽しむとき

● 126ページの「お願い」もよくお読みください。

【つなぎかた】

■オーディオ出力（固定）端子を使ってつなぐ場合

【使いかた】

1 テレビの音量をゼロにする

2 音量はステレオ装置で調整する

- 本機の「光デジタル音声出力」端子はフタでふさがっていますが、ドアのようになっています。そのままプラグを差し込んでください。

【つなぎかた】

■光デジタル音声出力端子を使ってつなぐ場合

- 126ページの「お願い」もよくお読みください。

MPEG-2 AACデコーダー以外のデジタル機器(MDレコーダーやDAT)につなぐ場合

- MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子につなぐことによって、高品位な音声で録音したり楽しむことができます。
- この場合は、本機の「光デジタル音声出力設定」を「PCM固定」に設定します。
  ・ 設定方法は178ページをご覧ください。
- MDレコーダーやDATなどのデジタル機器の詳しい接続、取扱いは各取扱説明書をご覧ください。

MPEG-2 AACデコーダーにつなぐ場合

- デジタル放送やi.LINK接続機器からのMPEG-2 AAC方式の信号をMPEG-2 AACデコーダー(市販品)で楽しむことができます。
- この場合は、本機の「光デジタル音声出力設定」を「AAC優先」または「サラウンドAAC優先」に設定します。
  ・ 設定方法は178ページをご覧ください。
- MPEG-2 AACデコーダーの詳しい接続、取扱いはMPEG-2 AACデコーダーの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、PCMの場合、48kHzまたは32kHzです。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号のままでの録音はできません。
- 光デジタル音声出力設定（→178ページ）が「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が、光デジタル音声出力端子からは出力されない場合があります。
- 光デジタル音声出力の場合、MPEG-2 AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。

【使いかた】

1 テレビの音量をゼロにする

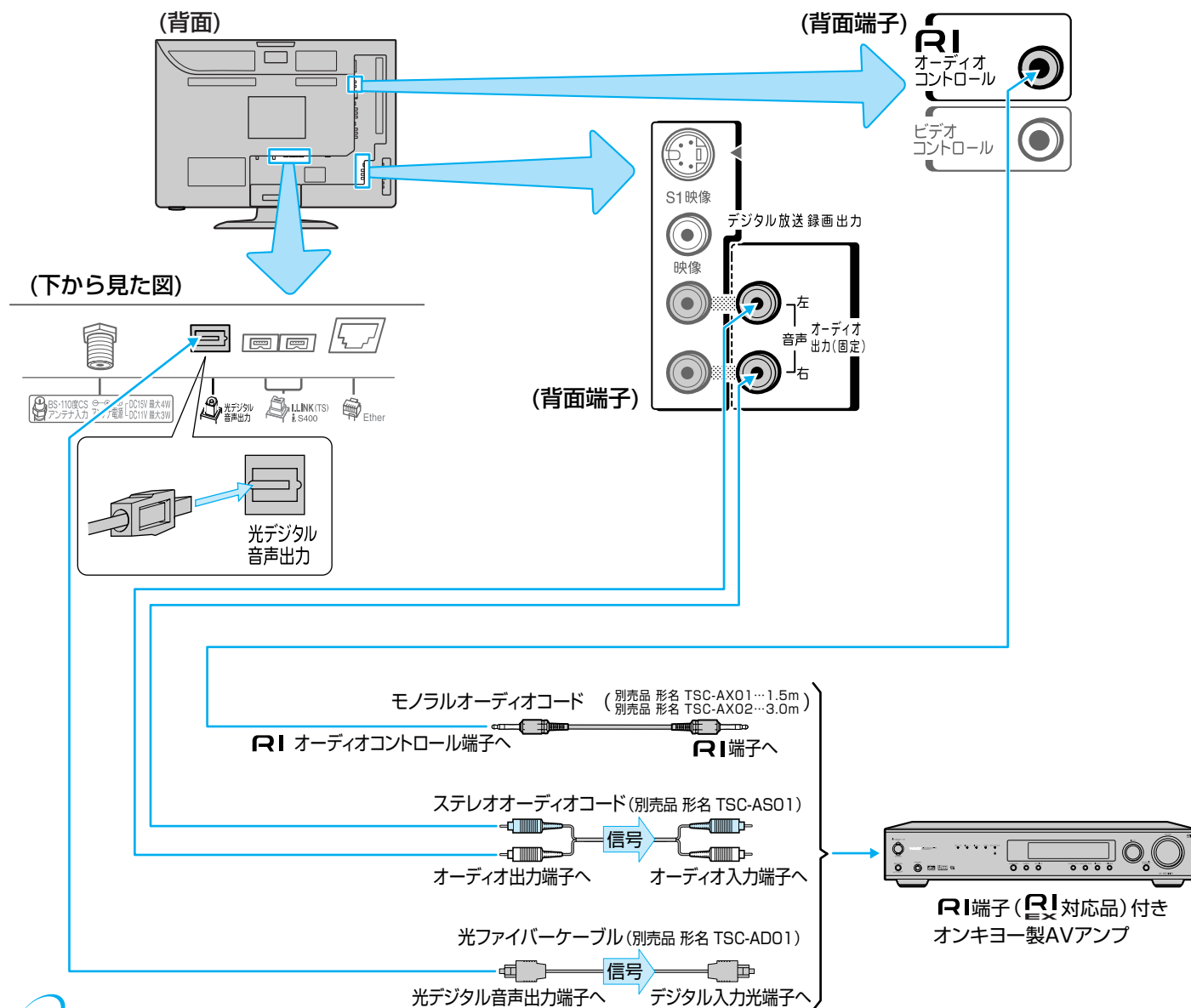
2 音量はステレオ装置で調整する

ステレオ装置で楽しむとき つづき

映像はテレビで、音声はステレオ装置で迫力ある音声で楽しむとき つづき

【つなぎかた】

■ RI端子（RI EX対応品）付きオンキヨー製AVアンプを使用する場合

● 126ページの「お願い」もよくお読みください。

お知らせ

- RI端子（RI EX対応品）付きオンキヨー製AVアンプを使用すると、より便利な使いかたができます。詳しくは、145～146ページをご覧ください。
- RI端子（RI EX対応品）付きオンキヨー製AVアンプを使用する場合の詳しいつなぎかたについては、オンキヨー製AVアンプの取扱説明書をご覧ください。
- RI端子（RI EX対応品）付きオンキヨー製AVアンプを使用する場合、光ファイバーケーブルで接続する場合でも、ステレオオーディオコードは必ず接続してください。
- RI EXはオンキヨー株式会社の商標です。

■ オンキヨー製 AV アンプとの連動動作（RI端子付製品）

● 本機とオンキヨー製AVアンプを接続することで、本機に付属のリモコンでAVアンプの基本操作をすることができます。
外部スピーカーを使って楽しむ場合に、本機のリモコンのみで音量調整などができるのでとても便利です。

■こんなことができます

● 本機とオンキヨー製AVアンプを接続することで、本機に付属のリモコンだけで以下の操作ができます。
通常のテレビ放送を視聴するだけなら、AVアンプに付属のリモコンを使用する必要がなくなります。
・ 本機とAVアンプがともに「待機」の場合、本機に付属リモコンの電源ボタンを押せば、本機が「待機」から「入」になり、AVアンプも自動的に「入」になります。
AVアンプの入力設定も本機から出力される映像・音声信号に自動的に切り換わります。さらに、本機に付属のリモコンの電源ボタンを押せば、本機が「入」から「待機」になり、AVアンプも自動的に「待機」になります。
本機の電源とAVアンプの電源を連動しないようにすることもできます。
詳しい設定方法は、179ページをご覧ください。
・ 本機に付属のリモコンの音量ボタン＋・－で、AVアンプの音量調整ができます。
本機画面上に、単独動作時の音量表示とは異なる音量調整表示がでます。
・ 本機に付属のリモコンの消音ボタンで、AVアンプの消音操作ができます。
本機画面上に、単独動作時の消音表示とは異なる消音表示がでます。

● 本機とオンキヨー製AVアンプが連動動作しているときは、本体のスピーカー、ヘッドホーンから音声は出ません。連動動作していないときは、本体のスピーカーから音声が出ます。

■連動動作についてのご注意

● 本機とオンキヨー製AVアンプをモノラルオーディオコードで接続する必要があります。（接続は前ページ参照）
● 連動動作可能な機器は、オンキヨー製 RI端子付きAVアンプ（RI EX対応品）に限ります。
詳しくはオンキヨー製AVアンプの取扱説明書やカタログなどでご確認ください。
● オンキヨー製AVアンプの「入力設定」で、本機から出力される映像・音声信号が選択されているときだけ連動動作します。
連動動作中にオンキヨー製AVアンプの「入力設定」で、本機から出力される映像・音声信号以外の入力信号（たとえばCDプレーヤー）が手動で選択された場合は、連動動作が解除されます。
もう一度本機から映像・音声の信号がオンキヨー製AVアンプの「入力設定」で選択されると連動動作に戻ります。
詳しくは、オンキヨー製AVアンプの取扱説明書をご覧ください。
● 「電源入」にしたときにAVアンプがすでに電源入りになっている場合で、オンキヨー製AVアンプの「入力設定」で、本機から出力される映像・音声信号以外の入力信号（たとえばCDプレーヤー）が選択されている場合は連動動作しません。
● DVDやビデオなどの音声出力信号を、直接AVアンプに接続して視聴している場合は、連動動作しません。

映像はテレビで、音声はステレオ装置で迫力ある音声で楽しむとき つづき

■ オンキヨー製 AV アンプとの連動動作 つづき

●連動動作のしかた

1 144 ページに従って接続する

- 詳しいつなぎかたは、オンキヨー製AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

2 オンキヨー製 AV アンプの電源が待機（スタンバイ）状態であることを確認する

- 「入り（オン）」の場合は、「待機（スタンバイ）」にしてください。
- 待機操作については、オンキヨー製AVアンプの取扱説明書をご覧ください。

3 本機に付属のリモコンの電源ボタンを押し、本機を動作させる

- 「AVアンプ電源連動」（→179ページ）が「オン」に設定されている場合は、AVアンプが自動的に「入り」になります。
「オフ」に設定されている場合は、手動でAVアンプを「入り」にしてください。

お知らせ

- お買上げ時の「AVアンプ電源連動」は「オン」に設定されています。
  ・オン：本機に付属のリモコンで電源入/待機、音量＋・－、消音に連動します。
  ・オフ：本機に付属のリモコンで電源入/待機は連動しません。音量＋・－および消音は連動します。
  ※連動動作の設定については、179ページをご覧ください。

4 操作する

①本機に付属のリモコンの音量ボタン＋・－で、オンキヨー製AVアンプの音量が調整できます。

②本機に付属のリモコンの消音ボタンで、オンキヨー製AVアンプが消音動作します。

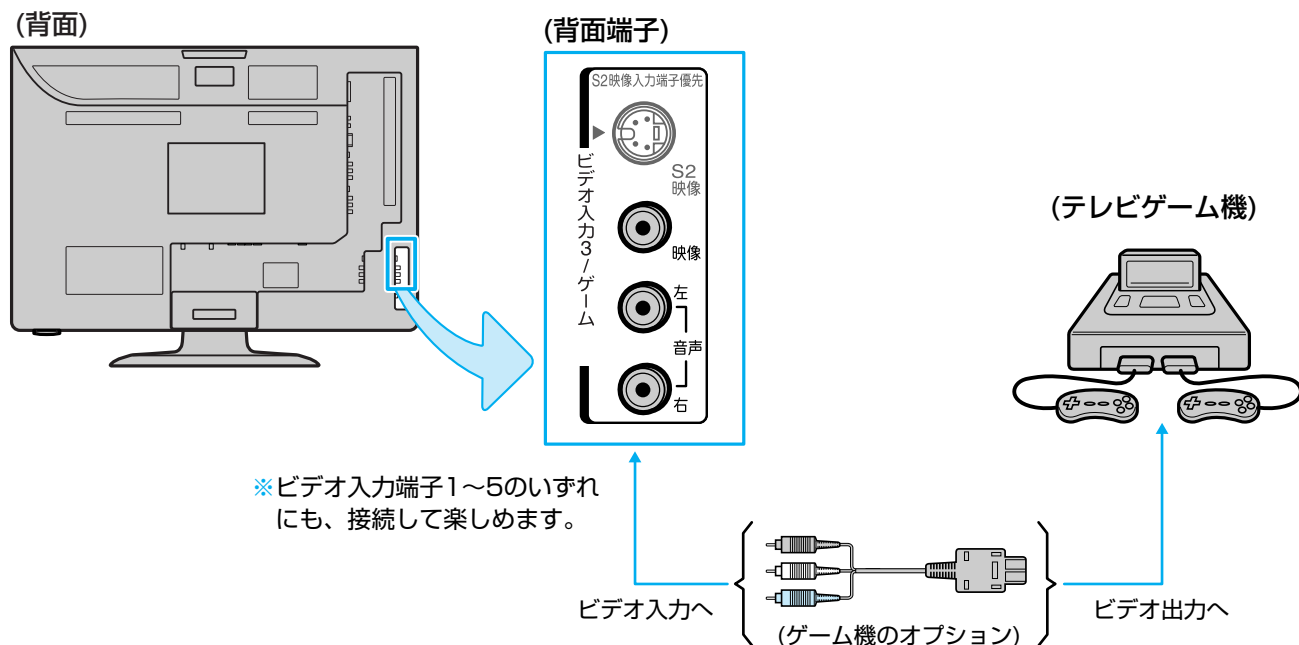
③本機に付属のリモコンの電源ボタンで、本機の電源入/待機と連動して、オンキヨー製AVアンプの電源も入/待機動作します。

お知らせ

- AACデコーダー内蔵タイプのAVアンプを利用する場合で、本機とAVアンプの接続に光デジタル音声を利用するときは、「光デジタル音声出力」を「サラウンドAAC優先」に設定することをおすすめします。（お買上げ時の「光デジタル音声出力」は「PCM固定」に設定されています。）
「光デジタル音声出力」の設定については、178ページをご覧ください。
- RIはオンキヨー株式会社の商標です。

テレビゲーム機をつなぐとき

● 126ページの「お願い」もよくお読みください。

【つなぎかた】

他の機器をつないで楽しむ

● 一時的にテレビゲーム機をはずし、他の機器につなぎかえてご覧になるときは、終了ボタンを押してください。
● 常時、テレビゲーム機以外の機器をつなぐときは、「ビデオ入力表示設定」でゲーム以外に設定してください。（→184ページ）
● テレビ画面に向けて光線銃などを使用するゲームの場合、正しく動作しないことがあります。

■テレビゲーム機をつないだときの設定

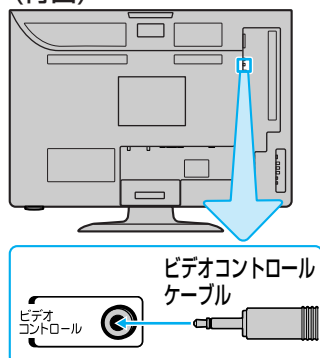
● 接続したビデオ入力端子に合わせて、「ビデオ入力表示設定」を「ゲーム」にしてください。（→184ページ）
● お買上げ時は、本体背面端子板の「ビデオ入力3/ゲーム」端子が「ゲーム」に設定されています。

【使いかた】

1 リモコンの入力切換ボタンを押し、テレビゲーム機をつないだビデオ入力を選ぶ（→ 76 ページ）
● ゲームに適した画質と画面サイズに切り換わります。
※画面サイズの切り換えかたは、53ページの「ゲーム入力画面のとき」をご覧ください。

2 テレビゲームを楽しむ

付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた

●付属のビデオコントロールケーブルを使用して、ビデオをコントロールし録画予約や一発録画をすることができます。
●ビデオコントロールケーブルを使用するには、接続されるビデオの設定をすることが必要です。（→ 259 ページ）
●ビデオによっては付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画ができない機種があります。下の「お知らせ」をご覧ください。

付属のビデオコントロールケーブルをつなぐ

1 本機の「ビデオコントロール」端子にビデオコントロールケーブルをつなぐ

2 ビデオコントロールケーブルの取付け位置を決める

- テレビ台やラックなどに収納したビデオのリモコン受光部の近くで、発光部が取り付けられそうな場所を選びます。
ガラスとびら付きテレビ台の場合は、開閉でビデオコントロールケーブル発光部やコードがぶつからないようにしてください。
- 「ビデオ機種設定」（→260ページ）の操作の手順**8**で、ビデオの電源が「入⇔切（待機）」となる場所を選んでください。「ビデオ動作の確認」（→261ページ）で正しく動作する信号形式を選んでください。正しく動作しない場合はビデオコントロールケーブルを使用しての録画はできません。

3 固定する（固定する場所の例）

①この保護テープをはがす
②ビデオコントロールケーブルに接着面を強く押し付け貼り付ける
③この保護テープをはがす
④ビデオにビデオコントロールケーブル発光部を貼り付ける
- ビデオコントロールケーブルが固定できる範囲内で、なるべく前に出してください。
約20mm以上、前に出してください。

上図のように、ビデオコントロールケーブルのコードを途中で固定したい場合

- 付属の両面テープ（小さいほう）と、ご自宅にあるセロハンテープなどのテープを使います。
- ケーブルがピンと張らずに、多少たるんだ状態となる場所を選んでください。

①両面テープの片側の保護テープをはがし、その場所に貼り付ける
②両面テープのもう一方の保護テープをはがし、コードを貼り付ける
・コードを仮固定します。
③セロハンテープなどを、両面テープとコードの上から貼り、しっかりと押さえる

- ビデオコントロールケーブル発光部と、ビデオのリモコン受光部との距離が50cm以内を目安に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部をよく確かめ、ビデオコントロールケーブルを多少動かしても充分動作する位置に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部については、ご使用のビデオの取扱説明書をご覧ください。

- 機種によっては録画ができないビデオがあります。
以下の①および②の動作をしないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画をすることはできません。
① 260ページの手順**8**の操作で「ビデオの電源が入⇔切（待機）」の動作をしない。
② 260ページの手順**11**の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない。

i.LINK 端子付き機器とのつなぎかた

● i.LINK 接続をすることで、さらに便利な使いかたができます。
● 126ページの「お願い」もよくお読みください。

i.LINK端子付きD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーとのつなぎかた

● 下図のようにD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーとi.LINK接続することで、次の機能を使うことができます。
①テレビ画面にD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーの操作パネルを表示させて、操作をする(→152ページ)
②デジタル放送を録画予約(デジタル録画)する(→85ページ)
③今見ているデジタル放送を簡単操作でデジタル録画する(「一発録画」→102ページ)
● **HDDビデオレコーダーとの接続については、「HDD(ハードディスク)ビデオレコーダーとの接続についてのご注意」(→154ページ)もよくお読みください。**

【つなぎかた】

(D-VHSビデオやHDDビデオレコーダー)

お願い

● i.LINK接続ケーブルは、「S400」対応のものを必ずご使用ください。
● i.LINK接続を使用する場合は、接続後必要に応じて「i.LINK設定」(→253ページ)をしてください。

お知らせ

● アナログ信号の接続(上図の①、②)はデジタル再生とアナログ再生の切り換えを円滑に行うために本機のビデオ入力1端子に接続してください。(詳しくは255ページ「ビデオ1接続設定」参照。)
● デジタル放送をD-VHSビデオにアナログ録画するときは、D-VHSビデオの入力切換を外部入力の状態にします。(詳しくはD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。)
その状態で本機をi.LINKモードにすると、本機の画面の画像が乱れますが、これは本機とD-VHSビデオの間で信号がループ状に繰り返し送受されるためであり、本機の故障ではありません。
● ①、②、③については、D-VHSビデオやHDDビデオレコーダーに接続端子がない場合は、接続できません。
● デジタル放送を録画／再生する場合は、i.LINK接続ケーブルの接続だけで操作できます。
● 接続するケーブルは付属されていません。(別売品参照→319ページ)
● S映像端子と映像端子は、どちらかにつないでください。

i.LINK端子付きデジタルチューナーとのつなぎかた

- 126ページの「お願い」もよくお読みください。
- 下図のように接続します。

【つなぎかた】

（背面）

（背面端子）

D4映像　D4映像

ビデオ入力1
端子へ

S2映像

映像

左
音声
右

ビデオ入力

4　1
5　2

ビデオ入力1
端子へ

信号

（下から見た図）

i.LINK(TS)
S400

i.LINK端子へ

信号

i.LINK接続ケーブル
（市販品 S400対応のもの）

i.LINK端子へ

S映像用コード
（別売品
形名 TSC-VS01）

映像・音声用コード
（別売品
形名 TSC-VA01）

映像入力へ
（S映像端子につなぐ場合）
音声入力へ

映像出力へ
音声出力へ

出力端子へ

D端子ケーブル
※デジタルチューナーにD端子がある場合
（別売品　形名　TSC-VX02）

②

D端子へ ①

（デジタルチューナー）

- i.LINK接続ケーブルは、「S400」対応のものを必ずご使用ください。
- i.LINK接続を使用する場合は、接続後はじめに「i.LINK設定」（➞253ページ）を行ってください。

- アナログ信号の接続（上図の①、②）はデジタル再生とアナログ再生の切り換えを円滑に行うために本機のビデオ入力1端子に接続してください。（詳しくは255ページ「ビデオ1接続設定」参照。）
- デジタル放送専用受信機の場合は、i.LINK接続だけで視聴できます。
- 接続するケーブルは付属されていません。（別売品参照➞319ページ）
- S映像端子と映像端子は、どちらかにつないでください。

お知らせ

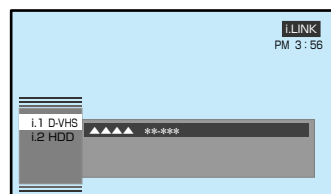
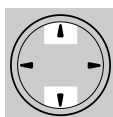
- 他の機器から本機がi.LINK操作されているときは、本機から操作をすることはできません。本機から操作するには、他の機器からの操作を終了させてください。
- i.LINKの操作中に、i.LINK接続を変えると画面が途切れる場合があります。
その際「選ばれた機器にi.LINK接続できません。」が表示された場合は、以下を行ってください。
① チャンネルボタン∧·∨などを押し、i.LINKモードを終了する
② i.LINKケーブルを接続し直したあと、i.LINKボタンを押す
- ブロードキャスト入力について
・機器によっては、ブロードキャスト出力していても出力信号が異なるために本機ではご覧になれない場合があります。
- D-VHSビデオやHDDビデオレコーダーから本機を制御してデジタル放送の録画をしている場合、選局や入力切換などの操作をすると、出力信号が途切れたり、他チャンネルの信号に変わる場合がありますのでご注意ください。
- i.LINK機器からのデータ放送を再生しているときにデータ放送上の操作によって選局などの操作が行われた場合は、i.LINKモードを終了して通常の画面に戻る場合があります。

本機からi.LINK接続された機器を操作する

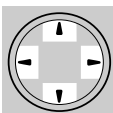
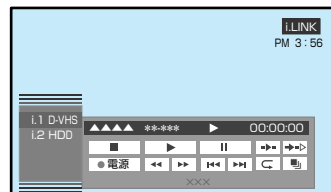
基本の操作

- 操作をする前に…
接続されるi.LINK機器やご使用の状況によっては、あらかじめ設定が必要な場合があります。
詳しくは、「i.LINK設定」(→253ページ)をご覧ください。
本機に接続できるi.LINK機器等、i.LINKを使用する上での注意点については、「i.LINKについて」(→164ページ)をご覧ください。
- i.LINK端子付き機器の操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

1 i.LINK ボタンを押す

- i.LINKモードになります。
(i.LINKモードとはi.LINK機器からの信号を視聴したり、i.LINK機器の操作を行うモードです。)

2 カーソルボタン▲·▼で操作したい機器を選ぶ

- カーソルボタン◄でカーソル位置を左端にした後、カーソルボタン▲·▼で機器を選んでください。
ブロードキャスト入力を見る場合は、「ブロードキャスト」を選んでください。
(ブロードキャストとその設定については、257ページをご覧ください。)

- i.LINK接続·登録されている機器が1台の場合で、ブロードキャスト入力がオフに設定されている場合は機器の選択はありません。手順3に進んでください。

3 カーソルボタン►でカーソルを操作ボタン部分に移動した後、カーソルボタン▲·▼·◄·►で、操作するボタン表示を選び、決定ボタンを押す

- 操作パネル表示は、操作する機器によって異なります。

■D-VHSビデオの場合 152ページへ
■HDD(ハードディスク)ビデオレコーダーの場合 153ページへ
■デジタルチューナーの場合 160ページへ

操作パネル表示を一時的に消したいとき

①i.LINKボタンを押す
- 操作パネル表示が消えます。

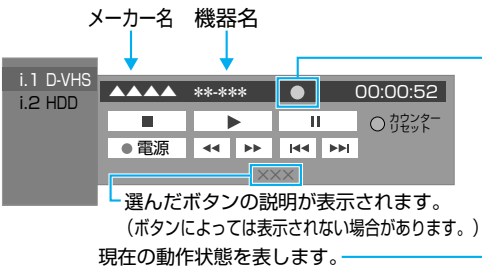
②もう一度、表示させるには、i.LINKボタンを押す

4 [通常の選局画面にするには] 以下のいずれかのボタンで選局を行う

- ダイレクト選局ボタン(1~12)および、地上専用ダイレクト選局ボタン(①~⑫)
- チャンネルボタン∧·∨
- メディアボタン
- 放送切換ボタン
- 3桁番号入力ボタン

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

■ D-VHS ビデオの場合

（操作パネル表示例）

表示	動作
●	録画中に表示されます。
▶	再生中に表示されます。
▶▶	早送り中に表示されます。
◀◀	巻戻し中に表示されます。
▶▶▶	早送り再生中に表示されます。
◀◀◀	早戻し再生中に表示されます。
❚❚	一時停止中に表示されます。

（本機でできる操作）

ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
▶	再生
■	停止
❚❚	一時停止/解除
⏮	前に戻って、頭出し再生
⏭	一つ先に進んで、頭出し再生
▶▶	早送り（再生中に押すと早送り再生できます。）
◀◀	巻戻し（再生中に押すと巻戻し再生できます。）
カウンターリセット	カウンター表示をリセット
入力モード ● ビデオ1接続設定（→255ページ）が行われていない機器の場合は表示されません。	テレビの入力モード切換 ● お買い上げ時は「自動切換」に設定されています。 ● 設定を変える場合は、以下の操作で行ってください。 ①カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「入力モード」を選び、決定ボタンを押す ②カーソルボタン▲·▼で以下のいずれかを選び決定ボタンを押す ● 自動切換…D-VHSビデオがデジタル再生をしているときはiLINK入力に、そうでない場合は、ビデオ入力1に切り換わります。 ● i.LINK入力…i.LINK入力に固定されます。 ● ビデオ入力１…あらかじめ設定されているビデオ入力1に固定されます。

- 操作パネルを使って録画の操作をすることはできません。
- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器を削除するには」（→256ページ）の手順に従い、登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。
  各機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDDビデオレコーダーをD-VHSモードで使用の場合は、「ビデオ1接続設定」（→255ページ）を行っても正しく動作しない場合があります。また、電源、再生、停止、一時停止ボタン以外の操作ボタンは、通常のD-VHS機器と動作が異なる場合があります。
- 一時停止の操作は、映像信号だけが一時停止されます。データ放送を再生している場合は、データ放送が選局し直され、静止画像は表示されません。また、信号が不安定な場合は、静止映像は表示されません。
- 「登録モード設定」（→257ページ）で「手動」に設定している場合は、「i.LINK機器の登録」（→253ページ）を行ってください。
- 番組連動データ番組を再生中に一時停止の操作をして静止画にする場合は、終了ボタンを押してから一時停止の操作を行ってください。（D-VHSビデオに静止画の機能がない場合は、静止画にはなりません。）

HDD（ハードディスク）ビデオレコーダーの場合

（操作パネル表示例）

メーカー名　機器名

● ⏮ や ⏭の操作により番組の先頭から再生した場合には、メーカー名、機器名表示の部分に番組タイトルが一定時間表示されます。

i.1 チューナー
● i.2 HDD
▲▲▲▲ ＊＊-＊＊＊ ● 00:00:52
● 電源

選んだボタンの説明が表示されます。（ボタンによっては表示されない場合があります。）

現在の動作状態を表します。

機器が録画中であることを表します。（本機で録画している状態でのみ表示されます。）

表示	動作
●	録画中に表示されます。
▶	再生中に表示されます。
▶⊂	リピート再生されているときに表示されます。
（ロックリピート）	ロックリピート再生されているときに表示されます。
●▶	録画中に別の番組を再生しているときに表示されます。
➡▪▷	録画中に追っかけ再生しているときに表示されます。
▪▶▪	ダイジェスト再生中に表示されます。
▶▶ 3	早送り再生のときに表示されます。 倍速の数字を表示します。 （154ページの「お知らせ」参照）
◀◀−3	早戻し再生のときに表示されます。 倍速の数字を表示します。 （154ページの「お知らせ」参照）

（本機でできる操作）

ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
▶	再生
■	停止
❚❚	一時停止/解除
⏮	前に戻って、頭出し再生（5秒以上再生したときには、その番組の先頭に戻りま
⏭	一つ先に進んで、頭出し再生
▶▶	早送り再生（押すごとに速さが変わります。）
◀◀	早戻し再生（押すごとに速さが変わります。）
➡▪▷	追っかけ再生 録画中に、その録画している番組の録画済み部分を最初から再生します。 たとえば、予約録画中に帰宅したとき、予約録画が終了するまで待たずに再生してご覧になれるため、とても便利です。
▪▶▪	ダイジェスト再生 次のように再生します 約1分程先にスキップする → 早送り再生（数秒） → 通常の再生（数秒）
⊂／（ロックリピート）	リピート再生／ロックリピート再生 ● 押すごとに、次のように切り換わります。 リピート再生 → ロックリピート再生 → 解除 ● リピート再生 ・再生中の一つの番組を繰り返して再生します。 ● ロックリピート再生 ・ロックしている番組を再生中にロックリピート再生をした場合、ロックしている番組を順次再生します。再生される順番はライブラリ（→155ページ）の番組順が「新しい番組順」なら新しい順、「古い番組順」なら古い順となります。（ロックしていない番組を再生中にロックリピート再生をした場合は、通常のリピート再生と同じになります。） ・ロックについては、156ページをご覧ください。
ライブラリ	ライブラリ 録画されている番組の一覧を表示します。 ライブラリでは、録画番組の再生や削除、D-VHSビデオへのコピーなどが行えます。詳しくは155ページをご覧ください。

ロックリピート再生について

- ロックされている番組がなければ、ロックリピート再生に設定してもロックリピート再生にはならず、通常のリピート再生になります。
- 再生の切換わり時に音がひずむ場合がありますので、ロックリピート再生時には音量は控えめでご使用ください。
- ロックリピート再生時に頭出し再生をした場合は、ロックされている番組だけでなく全番組が頭出し再生の対象となります。
- ロックリピート再生時では次の番組への移動中に一時停止になりますが、次の番組への移動が終わるとその番組の再生が自動的にはじまります。
- ロックリピート再生時に早送りやダイジェスト再生をした場合、以下のときに通常の再生に戻ります。
  - ・ライブラリが新しい番組順のとき…もっとも古い番組からもっとも新しい番組へ移動したとき。
  - ・ライブラリが古い番組順のとき…もっとも新しい番組からもっとも古い番組へ移動したとき。

お知らせ

- 追っかけ再生中では、データ放送部分については、再生できません。
- データ放送、ラジオ放送は追っかけ再生ができるようになるまで数分間の記録が必要になります。
- 番組連動データ番組を再生中に一時停止の操作をして静止画にする場合は、終了ボタンを押してから、一時停止の操作を行ってください。

i.LINK 端子付きの機器とのつなぎかた つづき

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

■ HDD（ハードディスク）ビデオレコーダーの場合 つづき

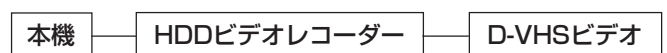
●HDD（ハードディスク）ビデオレコーダーとの接続についてのご注意

以下のように接続してください。
ほかの接続をした場合は､正常に動作しない場合があります。

● **HDD（ハードディスク）ビデオレコーダーで録画をする場合**
・i.LINKケーブルで接続するのは、本機とHDDビデオレコーダー（1 台）のみにしてください。（右図参照）

本機 ― HDDビデオレコーダー

● **HDD ビデオレコーダーから D-VHS ビデオへのコピー（→ 158ページ）を行う場合**
・右図のように i.LINK ケーブルで接続してください。

本機 ― HDDビデオレコーダー ― D-VHSビデオ

- 操作パネルを使ってHDDビデオレコーダーへの録画操作をすることはできません。
  録画するときは「録画予約」（→85ページ）や「一発録画」（→102ページ）で行ってください。
- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器を削除するには」（→256ページ）の手順に従い、登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。
  各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 一時停止の操作は、映像信号だけが一時停止されます。データ放送が起動している場合は、データ放送が選局し直され、静止画像は表示されません。また、信号が不安定な場合は、静止映像は表示されません。
- 「登録モード設定」（→257ページ）で「手動」に設定している場合は、「i.LINK機器の登録」（→253ページ）を行ってください。
- 早送り再生や早戻し再生のとき、操作パネルに再生スピードの数値が表示されますが、これは目安であり、正確なスピードを表わすものではありません。また、再生スピードは、接続されたHDDビデオレコーダーによって決まります。
- 追っかけ再生時に、早送りなどによって現在録画中の地点まで進むとHDDビデオレコーダーによっては、追っかけ再生を停止する機器があります。このような機能は、HDDビデオレコーダーによって動作が異なります。
- HDDビデオレコーダーは、使用していないと自動的に待機状態になる場合があります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 早送り／早戻し再生（60倍、120倍など）できる残りの時間が少なくなると、再生スピードが変わる場合があります。
- 追っかけ再生中にデータ放送は起動しません。
- 追っかけ再生ができるようになるまで、数分間HDDへの記録が必要になります。
- 追っかけ再生中は、早送り再生／早戻し再生は24倍速以下の機能を使用してください。
  追っかけ再生中の早送り再生／早戻し再生（60倍、120倍）やダイジェスト再生などの特殊再生機能は正常に動作しない場合があります。

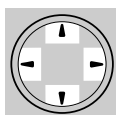
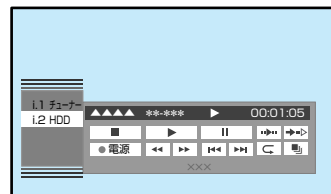
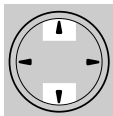
お知らせ

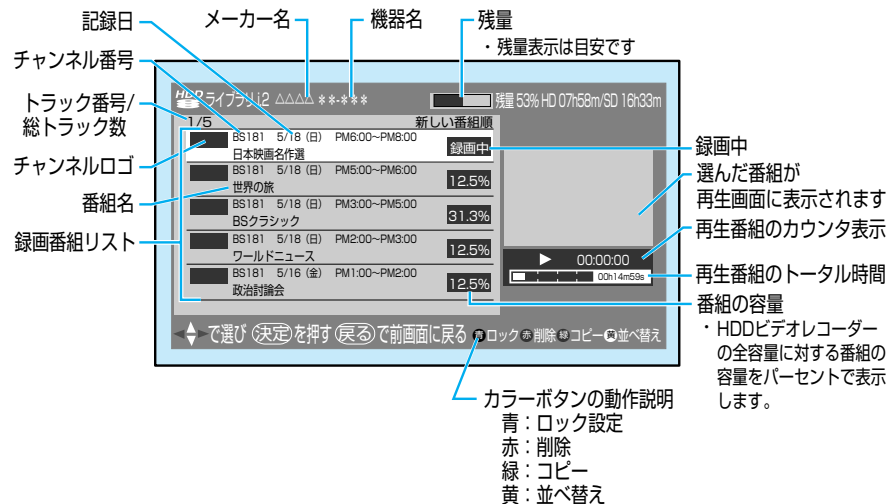
- 複数の機器から同時にHDDビデオレコーダーの制御を絶対に行わないでください。特に「削除」（→157ページ）を行うと、意図しない番組が削除されてしまう場合があります。大切な番組は、あらかじめロック（→156ページ）しておくと、誤った削除を防止することができます。
- 本機では128番組までのライブラリ表示ができます。128番組を超えて録画されたHDDビデオレコーダーを使用する場合は、ライブラリ表示などが正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
  実際の録画番組の最大数はご使用になるHDDビデオレコーダーの仕様によって制限されますので、HDDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 番組の表示時刻は、実際の録画情報から算出していますので、HDDビデオレコーダーの録画動作時間とは一致しない場合があります。
- ライブラリではデータ放送は操作できません。
- 録画した地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定に変更があると正しく表示されなくなる場合があります。
- 他の機器で録画した地上デジタル放送のチャンネル番号などは、正しく表示されない場合があります。

ライブラリの使いかた

- HDDビデオレコーダーの場合のライブラリの使いかたについて説明します。
  ライブラリでは、録画番組の再生や削除、D-VHSビデオへのコピーなどが行えます。
- HDDビデオレコーダーでは、再生している位置の情報が保たれなくなる場合があります。
- HDDビデオレコーダーの電源が切れると、番組の並び順に関係なく、固定の番組（一番古い番組など）を選択していた状態になる場合があります。

●録画番組を再生する

1 以下の操作でライブラリを表示させる

①151ページの手順1〜3により、HDDビデオレコーダーのi.LINKモードにする
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「ライブラリ」を選び、決定ボタンを押す
- 画面にライブラリが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で番組を選ぶ

- カーソルボタン▲·▼を押し続けることにより、カーソルが高速に移動します。（その際にライブラリ情報が一時的に表示されなくなる場合があります。）

■ ライブラリ画面に関する説明

番組についての説明を見るには（詳しくは51ページ）

①番組説明ボタンを押す
②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

ライブラリ画面ではこんなこともできます！

- 録画されている番組をロックする（→詳しくは156ページ）
- 録画されている番組を削除する（→詳しくは157ページ）
- ライブラリに表示される順番を変える（→詳しくは156ページ）
- 録画されている番組をD-VHSビデオにコピーする（→詳しくは158ページ）

3 決定ボタンを押す

- 選んだ録画番組の再生画面になります。
  （このとき、操作パネルは表示されません。操作パネルを表示するには、i.LINKボタンを押してください。）
  ここでの操作については、151ページの手順3以降、および153〜154ページをご覧ください。

i.LINK 端子付きの機器とのつなぎかた つづき

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

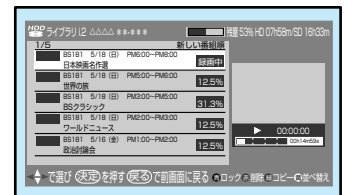
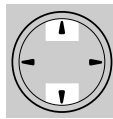
■HDD（ハードディスク）ビデオレコーダーの場合 つづき

ライブラリの使いかた つづき

●録画されている番組をロックする

● 「ロック」は、HDDビデオレコーダーに録画されている番組を、削除されないように設定する機能です。

1 155ページの手順 1 の操作でライブラリ画面にする

2 カーソルボタン▲·▼でロックをかけたい番組を選ぶ

3 青ボタンを押す

● ロックアイコン🔒が表示されます。
● ロックを解除するには、もう一度青ボタンを押してください。

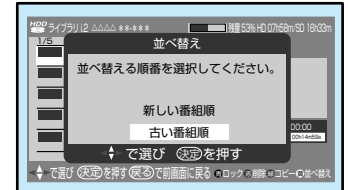
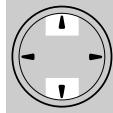
●ライブラリに表示される順番を変える

● 並び順を「新しい番組順」（記録した日時の新しい番組順にライブラリの上方から表示）、「古い番組順」（記録した日時の古いもの順にライブラリの上方から表示）のどちらかに設定できます。

1 155ページの手順 1 の操作でライブラリ画面にする

2 黄ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「新しい番組順」または「古い番組順」を選び、決定ボタンを押す

● ライブラリが指定された並び順で表示されます。

● ロックはHDDビデオレコーダーによっては、操作できない場合があります。
詳しくはお使いのHDDビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

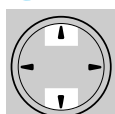
●録画番組を削除する

● 指定した番組のみを削除したり、ライブラリに表示されているすべての番組をまとめて削除することができます(ただし、録画番組数が128個以下の機器の場合)。
ロックされている番組は削除できません。あらかじめロックを解除しておいてください。
(→ロックについては156ページ「録画されている番組をロックする」手順3を参照)

1 155ページの手順 1 の操作でライブラリ画面にする

2 赤ボタンを押す

● チェックボックスが表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼で削除する番組を選び、決定ボタンを押す

● 選んで決定ボタンを押すと選んだ番組にチェックマーク「✔」が付きます。
(再度決定ボタンを押すと「✔」は消えます。)
● ロックされている番組は削除できません。
ロックについては以下の「番組のロックを解除するには」をご覧ください。
● 録画した番組数が128個を超える場合は129番め以降の番組は、一つずつしか選択できません。一つずつ選択して、削除の操作を行ってください。
(ここでいう129番め以降とは、録画した順番を古いものから数えた場合です。)

削除設定後、想定されるHDDの残量が表示されます。

すべての番組を削除する場合

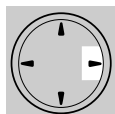
● 赤ボタンを押す
・ロックされている番組以外のすべての番組にチェックマーク「✔」が付きます。

お知らせ

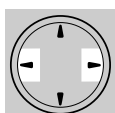
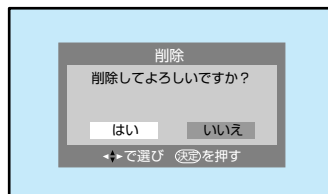
● 録画番組数が多い場合は、すべての番組にチェックマーク「✔」が付くまでに時間がかかります。
● 録画番組の情報取得に失敗した場合には、チェックマーク「✔」が付きません。このようなときは、もう一度赤ボタンを押すか、一つずつチェックマークを付けてください。

番組のロックを解除するには

①カーソルボタン▲·▼でロックを解除したい番組を選ぶ
②青ボタンを押す
● 番組表示一覧のロックアイコン🔒が消去されます。
● 「ロック」をかけるには、もう一度青ボタンを押す

4 カーソルボタン►で「削除する」にカーソルを移動し、決定ボタンを押す

削除せずに通常のライブラリに戻るには

● 戻るボタンを押す

5 カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す

● 番組が削除され、通常のライブラリに戻ります。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

● 一度削除されたファイルは元に戻すことはできません。
● 手順3の「すべての番組を削除する場合」で、録画番組数が128個を超える場合は、最も古い番組から128個(古い順から数えた場合、またロックされたものを含む)まではまとめて選択して削除できます。
129番め以降はまとめて削除することはできません。

i.LINK 端子付きの機器とのつなぎかた つづき

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

■ HDD（ハードディスク）ビデオレコーダーの場合 つづき

ライブラリの使いかた つづき

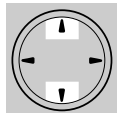
●録画番組をD-VHSビデオにコピーする

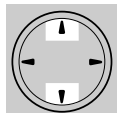
- HDDビデオレコーダーに録画されている番組をi.LINK経由でD-VHSビデオにコピーすることができます。
  ※ ご注意：１回だけしか録画が許可されていない番組の場合にはコピーはできません。
  本機のコピー機能は簡易的なものですので、条件によっては正しくコピーできない場合があります。

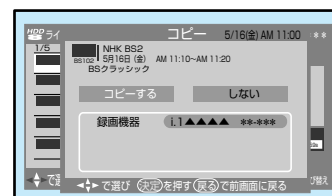
■コピーをする前の準備

① 「i.LINK端子付きD-VHSビデオやHDDビデオレコーダーとのつなぎかた」（→149ページ）で、ダビング先のD-VHSビデオをi.LINK接続する
② i.LINK設定（253～258ページ）を行う
③ 録画するD-VHSビデオテープをD-VHSビデオに入れる
④ D-VHSビデオ側でi.LINK入力の設定をHDDビデオレコーダーにする
詳しくは、D-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。

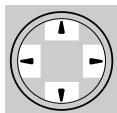
1 155 ページの手順 1 の操作でライブラリ画面にする

2 カーソルボタン▲·▼ でコピーしたい番組を選び、緑ボタンを押す

■次のメッセージが表示された場合
- 「録画実行中はコピーできません。」
  ・録画中のため、コピーできません。
- 「コピー先の録画機器が登録されていません。」
  ・コピー先のD-VHSビデオを本機にi.LINK接続し、必要なら手動操作でi.LINK登録をしてください。（→149、253ページ）
- 「この番組はコピーできません。」
  ・コピー制限によって、この番組はコピーできません。

3 コピー先の録画機器が表示されていることを確認する

録画機器を変更する場合

①カーソルボタン▲·▼ で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼ でコピー先にしたい録画機器を選び、決定ボタンを押す

お知らせ

- 録画された一つの番組単位の中に、コピーできる番組と1回だけしか録画が許可されていない番組が混在している場合には、コピーが正しくできません。
- 「録画機器が動作を受け付けません。」が表示された場合は、D-VHSビデオのi.LINK入力がHDDビデオレコーダーに設定されていることを確認してください。
  詳しくは、D-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。
- コピー後、D-VHSビデオのi.LINK入力がHDDビデオレコーダー側になっている場合があります。その場合は、D-VHSビデオのi.LINK入力を本機側に設定してから録画予約、一発録画を行ってください。
- コピー先のD-VHSの機種によっては、番組の先頭部分が記録されない場合があります。

4 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「コピーする」を選び、決定ボタンを押す

● コピーが行われます。

右のメッセージが表示されたとき

● 録画予約が登録されています。
録画予約とコピーの時間が重なった場合は録画予約を実行し、コピーは中止します。

● **コピーをする場合は、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

「録画予約が登録されています。」

右のメッセージが表示されたとき

● ソフトウェアのダウンロード予約が登録されています。
ダウンロード予約とコピーの時間が重なった場合はコピーを実行し、ダウンロード予約は実行しません。

● **コピーを行う場合は、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

「ソフトウェアのダウンロード予約が登録されています。」

＊上記以外にもメッセージが表示される場合があります。その際はメッセージに従って操作してください。

※コピーを途中で中止したいとき

①終了ボタンを押す

● 「コピー実行中です。もう一度（終了）を押すとコピーを中止します。」が表示されます。
● データ放送が起動しているとき、終了ボタンを押すと、まずデータ放送を終了させます。
その場合は、再度終了ボタンを押してください。

②上記のメッセージが表示されている間に、もう一度、終了ボタンを押す

● コピーが中止されます。

お知らせ

● コピー中の番組を視聴しているとき、データ放送による選局が行われた場合には、i.LINKモードから抜ける場合があります。再度コピー中の番組を視聴する場合には、i.LINKボタンを押してください。
● コピー実行中は、予約の登録や一発録画、「ネットdeナビ」機能を使った東芝製HDD&DVDビデオレコーダーからの録画はできません。
● コピー実行中にHDDビデオレコーダー側でエラーが発生した場合などには「本機に関するお知らせ」（→111ページ）でご連絡します。（エラーによっては、お知らせが発行されない場合もあります。）
● 視聴予約と時間が重なったときは、コピーを優先して実行します。
● 使用するD-VHSビデオや番組によっては、コピーが正しく行われない場合があります。詳しくは、164ページをご覧ください。

i.LINK 端子付きの機器とのつなぎかた つづき

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

■デジタルチューナーの場合

- デジタルチューナーの場合の操作パネル表示は2種類あり、「チューナーの選局方法」(→258ページ)で設定できます。

■「チューナーの選局方法」(→ 258 ページ)を「選局 1」に設定している場合

- お買上げ時は、この状態です。

(操作パネル表示例)

(本機でできる操作)

ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
番号入力	デジタルチューナーのチャンネルを3桁、または4桁(3桁のチャンネル番号と1桁の枝番)の番号で選局する際に使用します。 (→162ページ)
ダイレクト選局 1 ～ 12 (0)	デジタルチューナーのチャンネルを直接選びます。 (→161ページ) 3桁、または4桁(3桁のチャンネル番号と1桁の枝番)番号の入力にも使用します。 (→162ページ)
登録／削除	ダイレクト選局ボタンへのチャンネルの登録・削除を行います。(→161ページ)
入力モード ● ビデオ1接続設定(→255ページ)が行われていない機器の場合は表示されません。	テレビの入力モード切換 ● お買上げ時は「i.LINK入力」に設定されています。設定を変える場合は、下記の操作で行ってください。 ①カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「入力モード」を選び、決定ボタンを押す ②カーソルボタン▲·▼で以下のいずれかを選び決定ボタンを押す ● i.LINK入力…i.LINK入力に固定されます。 ● ビデオ入力１…あらかじめ設定されているビデオ入力1に固定されます。

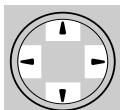
お知らせ

- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器を削除するには」(→256ページ)の手順に従い、登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
- i.LINK接続されている相手側機器が電波を正しく受信していない場合は、上記操作パネル表示のボタンを使ってチャンネルを切り換えることはできません。その際は接続機器側でチャンネル切換の操作をしてください。
- 受信できないときには、チャンネル番号を表示することはできません。
- 「登録モード設定」(→257ページ)で「手動」に設定している場合は、「i.LINK機器の登録」(→253ページ)を行ってください。
- 接続される機器や、放送形式によっては、操作できない場合もあります。
- チャンネル番号などが正しく表示されない場合があります。

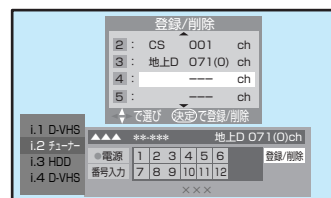
（1）デジタルチューナーのチャンネルを直接選ぶ

- 操作パネルのダイレクト選局ボタンにあらかじめ登録しておいたチャンネルを選局する方法です。（お買上げ時には、登録されていません。）

ダイレクト選局ボタンへの登録のしかた

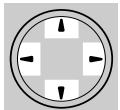
- 本機に接続されているデジタルチューナーごとに、登録ができます。（最大15台）

①登録したいチャンネルをデジタルチューナーで選ぶ
- 162ページ(2)の方法で選局するか、デジタルチューナー側の操作で選局をしてください。

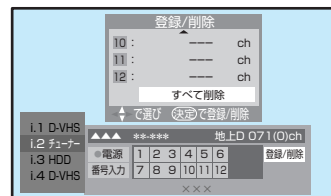
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で 登録／削除 を選び、決定ボタンを押す
- 登録画面が表示されます。（右図）
- 手順①の操作で受信できていない場合には、登録画面は表示されず、その旨のメッセージが表示されます。

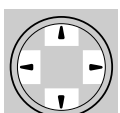
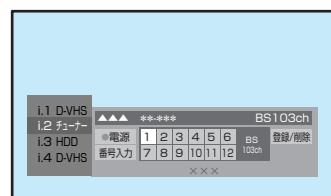
③カーソルボタン▲·▼で登録したいボタン（未登録のもの）を選び、決定ボタンを押す
- 受信しているチャンネルが登録されます。

すでに他のチャンネルが登録されているボタンを選んだとき

- 登録されているチャンネルを削除する画面が表示されます。
  登録されているチャンネルを削除して新たに登録する場合は「はい」を選び、決定ボタンを押して削除した後、もう一度登録の操作をしてください。

登録されているチャンネルを削除するには

- 個別に削除する方法と、すべてをまとめて削除する方法があります。

①カーソルボタン▲·▼·◄·►で 登録／削除 を選び、決定ボタンを押す

②以下を行う
- **すべてをまとめて削除する場合は、カーソルボタン▲·▼で「すべて削除」を選び、決定ボタンを押す**
- **個別に削除する場合は、カーソルボタン▲·▼で削除したいチャンネルを選び、決定ボタンを押す**

③カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
- 手順②で指定したチャンネルが削除されます。

チャンネルの選びかた

- **カーソルボタン▲·▼·◄·►で選局したい番号のボタンを選び、決定ボタンを押す**
  - ・接続されたチューナーの受信チャンネルに変更があった場合は、選局できない場合があります。
  - ・放送休止中などにより受信できない場合には、「現在このチャンネルを表示することはできません。」が表示されます。

i.LINK 端子付きの機器とのつなぎかた つづき

本機からi.LINK接続された機器を操作する つづき

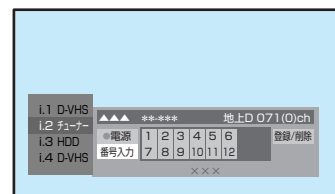
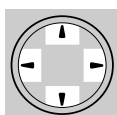
■デジタルチューナーの場合 つづき

■「チューナーの選局方法」(→258ページ) を「選局 1」に設定している場合　つづき

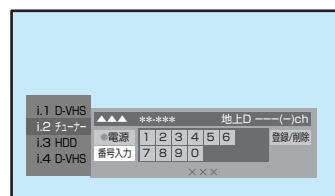
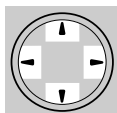
(→258ページ)

(2) 3桁(地上デジタルの場合は4桁)の番号を指定して選ぶ

①以下の操作で放送の種類を選ぶ

- カーソルボタン▲·▼·◀·▶で 番号入力 を選び、決定ボタンを押してください。
  決定ボタンを押すごとに放送の種類が切り換わります。

※デジタルチューナーが対応していない放送は選べません。

②手順①の操作に続けて、3桁のチャンネル番号を指定する(地上デジタルは3桁のチャンネル番号と1桁の枝番を指定する)

- カーソルボタン▲·▼·◀·▶でボタン番号(1 ～ 0)を選び、決定ボタンを押す操作を繰り返して、3桁(地上デジタルの場合は4桁)のチャンネル番号を指定してください。
  (接続しているデジタルチューナーで設定しているチャンネル番号を指定してください。)
- 上記手順①の操作後、数秒たっても3桁(地上デジタルの場合は4桁)のチャンネル番号が指定されないときには、手順①の操作は取り消されます。
- 1 ～ 0 以外のボタンを選び、決定ボタンを押すと手順①の操作は取り消されます。

- 放送休止中などで受信できない場合には、「現在このチャンネルを表示することはできません。」が表示されます。

■「チューナーの選局方法」（→ 258 ページ）を「選局 2」に設定している場合

（操作パネル表示例）

（本機でできる操作）

ボタン表示	動　作
電源	電源の入/待機
⋀（チャンネル）	上方向に選局…機器によっては操作できない場合もあります。
⋁（チャンネル）	下方向に選局…機器によっては操作できない場合もあります。
入力モード ● ビデオ1接続設定（→255ページ）が行われていない機器の場合は表示されません。	テレビの入力モード切換 ● お買上げ時は「i.LINK入力」に設定されています。設定を変える場合は、以下の操作で行ってください。 ①カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「入力モード」を選び、決定ボタンを押す ②カーソルボタン▲·▼で以下のいずれかを選び決定ボタンを押す ● i.LINK入力…i.LINK入力に固定されます。 ● ビデオ入力１…あらかじめ設定されているビデオ入力1に固定されます。

- 機器によっては、操作パネル表示にメーカー名や機器名が表示されない場合があります。
- 操作パネルの各ボタンの動作は、操作される機器によって異なります。各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続されたi.LINK機器のメーカー名や機器名が正しく表示されていない場合は、i.LINKケーブルを抜き、「i.LINK機器を削除するには」（→256ページ）の手順に従い、登録を一度削除してから、i.LINKケーブルを接続し直してください。
- i.LINK接続されている相手側機器が電波を正しく受信していない場合は、上記操作パネル表示のボタンを使ってチャンネルを切り換えることはできません。その際は接続機器側でチャンネル切換の操作を行ってください。
- 「選局2」では受信しているネットワーク（→313ページ）以外を選局することはできません。ネットワークを変えたい場合は接続機器側でチャンネル切換の操作を行うか、「選局1」で選局してください。
- 「登録モード設定」（→257ページ）で「手動」に設定している場合は、「i.LINK機器の登録」（→253ページ）を行ってください。
- 地上デジタルチューナーでチャンネル⋀·⋁の操作可能な機器で、操作パネルに表示されるチャンネル番号とチャンネル⋀·⋁の選局時の順番は一致しない場合があります。
- 接続される機器や、放送形式によっては、操作できない場合もあります。
- チャンネル番号などが正しく表示されない場合があります。

i.LINK 端子付きの機器とのつなぎかた つづき

i.LINKについて

i.LINKとは

- i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間でデジタル映像信号やデジタル音声信号、データ信号を双方向で通信できる、シリアルインターフェースです。 i.LINKケーブル１本で接続することができます。

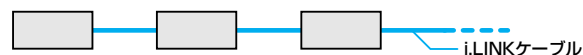
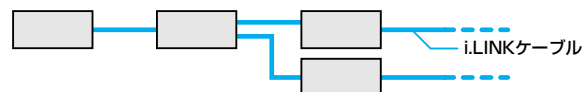
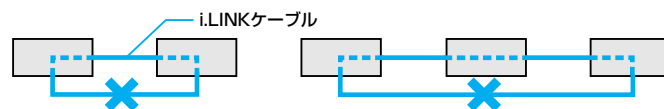
■本機が接続できる i.LINK 機器について

- 以下の製品については、電源入／切(待機)、BSデジタル放送の再生、停止、D-VHSビデオの場合の早送り･巻戻しなどが本機からi.LINKでコントロールできることが確認されています。
- このほかの機能については、正しく動作しない場合があります。

製　品	メーカー	型　名（HS/STDモード対応）	
D-VHSビデオ	東芝	A-HD2000	
	日本ビクター	HM-DH20000 HM-DH35000	HM-DH30000 HM-DHX1
	松下電器産業	NV-DH1 NV-DH2	NV-DHE10 NV-DHE20
デジタルハイビジョンHDDレコーダー	東芝	THD-16A1	
	アイ･オー･データ機器	HVR-HD120S（モード1）	

- 上記以外で、i.LINK制御できる機器もありますが、正しく動作しない場合や、i.LINK機器の登録ができない場合があります。また、上記リストの製品でも、本機から正しく制御できなくなる場合があります。
- D-VHSビデオで地上デジタル放送、110度CSデジタル放送の録画ができるかについては、各ビデオメーカーにお問い合わせください。
- HDDビデオレコーダーで地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送の録画ができるかについては、録画機器メーカーにお問い合わせください。
- デジタルチューナーについては、どのデジタル放送を受信できるかはデジタルチューナー付属の取扱説明書をご覧ください。(デジタルチューナーに関するお問い合わせは、接続するデジタルチューナーのメーカーにご確認ください。)
- HSモード対応ではないD-VHSビデオの場合、デジタルハイビジョン放送は、ハイビジョンでのデジタル録画ができません。
- 東芝(A-HD2000)、日本ビクター(HM-DH20000、HM-DH30000など)は録画モードがD-VHSビデオ側で確定されます。設定方法はD-VHSビデオの取扱説明書をご覧ください。
- 複数の機器を接続して使用する場合は、各機器の仕様により動作が安定しない場合があります。
- DV機器はフォーマットが異なるため、接続してもデータのやりとりなどはできません。

■ i.LINK 接続のしかた

- i.LINK接続では、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつないだ機器も操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。
- i.LINK機器は、右図のようにi.LINKケーブルを使用してデイジーチェーン(直列つなぎ)でつなぎます。
- i.LINK端子を三つ以上持つ機器の場合は、右図のように分岐してつなぐこともできます。
- 右図のようなループ(輪)状にはつながないでください。

■接続できる機器の数について

- 他の機器を15台までデイジーチェーン(直列つなぎ)でつなげます。分岐して接続した場合は、最大62台まで他の機器を接続できます。

接続についてのご注意

- 接続の際は、必ず4ピン、「S400」対応のi.LINK専用ケーブル（市販品）を必ずご使用ください。「S400」対応以外のi.LINKケーブルを使った場合、信号が不安定な状態になり、正しく動作しない場合があります。
- 一部の機器では、電源が切られているとデータを中継しない場合があります。
- i.LINK機器にはその機器が対応している最大データ転送速度が、i.LINK端子の周辺に記載されています。
  データ転送速度には、S100（100Mbps）、S200（200Mbps）、S400（400Mbps）の3種類が定められています。最大データ転送速度が異なる機器をつないだ場合や、機器の仕様によっては、実際の転送速度が遅くなる場合があります。

i.LINK での再生について

- 本機で扱うことのできるデジタル信号は、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のみです。そのため、これらの放送以外の信号（DVカメラの信号など）については、まったく再生できないか、または正常に再生できません。
  ［詳しい説明］
  ・本機で扱うことのできるデジタル信号は、地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のみであり、これらの放送によるMPEG-TS信号だけに対応しています。そのため、DV機器などの他の信号フォーマットについては再生できません。
  また、MPEG-TS信号であっても地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送以外のもの（アナログ信号を独自にエンコードしたMPEG-TS信号など）については、正常に再生できません。

i.LINK 機能をご使用の際のご注意

- i.LINK機能をご使用中は、使用していない他のiLINK機器のi.LINK機器のケーブルの抜き差しや、新しいi.LINK機器の追加、電源の入／切は行わないでください。
- 正しく制御できなくなったときは、接続されている、いずれかの機器が何らかの影響をおよぼしている場合が考えられます。（各機器のケーブルの抜き差し（リセット動作）で復帰する場合があります。）
- 登録機器名の表示が正しくない場合は、一度ケーブルを抜き、機器を削除（→256ページ）した後、再度機器を接続･登録してください。
- 複数の機器から同時にHDDビデオレコーダーを制御しないでください。同時に制御を行うと、意図しない動作をする場合があります。
- ダウンロード（→288ページ）が行われた後は、自動的にリセット動作（本機の電源の入/切）が行われます。本機以外のi.LINK機器の間で操作しているときに、リセット動作が行われると誤動作の原因となる場合には、自動ダウンロードの設定（→289ページ）を「ダウンロードしない」にしてご使用ください。
- 複数の機器を接続していて動作が不安定な場合、使用していない機器の接続をはずしたり、接続を変更すると安定する場合があります。
- HDDビデオレコーダーによっては、動作モード（D-VHSモードとハードディスクレコーダーモード）を切り換えられるものがあります。動作モードの切り換えを行ったときには、必ず登録（→257ページ）をやり直してください。本機での登録時のモードと異なっていると、正しく動作しません。このような機種はハードディスクレコーダーモードでご使用ください。
- HDDビデオレコーダーによっては、追っかけ再生、録画中の別番組の再生、録画中のライブラリ表示などの機能を操作できない機種があります。（アイ･オー･データ機器製：HVR-HD240Sは上記機能を利用できません。）
- HDDビデオレコーダーによっては、機器を切り換えたり、本機からi.LINK接続された機器を操作する画面から抜けると、自動的に再生を停止する機器があります。

D-VHS 方式で録画する際のご注意

- D-VHS用のビデオテープをご使用ください。

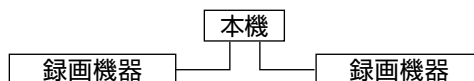
HDD ビデオレコーダーで録画する際のご注意

- 録画予約開始までにHDDの残量と番組の記録数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。詳しくは、「録画番組を削除する」（→157ページ）をご覧ください。
- 著作権保護のため一回だけ録画を許された番組をさらにコピーすることはできません。このような番組を録画して保存しておきたい場合は、HDDビデオレコーダーではなくD-VHSビデオに録画することをおすすめします。

他機から本機を i.LINK 制御する際のご注意

- 本機の「番組情報取得設定」（→181～182ページ）で「取得しない」に設定している場合で、電源を待機にしたときは、i.LINK接続されている他の機器からの制御は受け付けません。
- 「外部機器からの制御」（→257ページ）を「あり」に設定すると、他の機器から本機をi.LINK制御できるようになります。ただし、本機の主電源は「入」にしておく必要があります。
  また、「外部機器からの制御」を「あり」に設定している場合でも、「番組情報取得設定」（→182ページ）を「取得しない」に設定し、電源を待機にしたときは、i.LINK接続されている他の機器からの制御は受け付けません。

ダビングする際のご注意

- 「外部機器からの制御」（→257ページ）を「なし」に設定したときに、下図のように本機の二つのi.LINK端子を使って2台の録画機器を接続して、ダビングを行う場合（本機のコピー機能（→158ページ）を使わずに2台の録画機器のみで行う場合）、本機の電源を「入」にした状態で行ってください。
  本機の電源が「待機」の状態で2台の録画機器のみでダビングを行った場合、ダウンロード（→288ページ）が実行されると、ダビングは中止されます。

- i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394-1995及びその拡張仕様を示す呼称です。このIEEE 1394-1995は、電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
- i.LINKとi.LINKロゴ「i.」は、ソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
  この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator)というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像、音声、データでは、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、映像、音声、データのやりとりができない場合があります。

第4章 お好みやご使用状態に合わせた設定

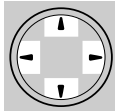
映像の設定

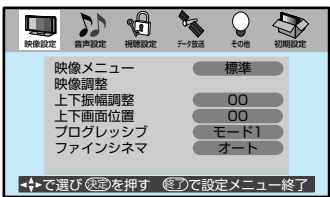
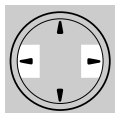
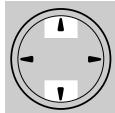
お好みの映像を映像メニューから選ぶ

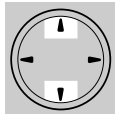
● お買上げ時は「標準」に設定されています

1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

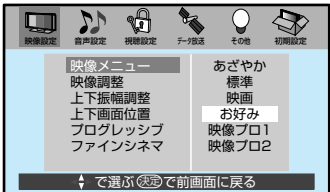
3 カーソルボタン◄·►で「映像設定」を選ぶ

4 カーソルボタン▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 映像メニューが表示されます。

5 カーソルボタン▲·▼でお好みの映像を選び、決定ボタンを押す

● カーソルボタン▼(▲は逆まわり)を押すごとに以下の順に切り換わります。

「あざやか」↔「標準」↔「映画」↔「お好み」↔「映像プロ2」↔「映像プロ1」

● 映像プロ1、映像プロ2の映像設定については170ページをご覧ください。

6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

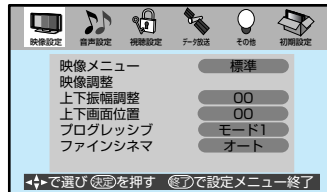
調整項目	内　容
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
標準	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき
映画	お部屋を少し暗くして映画館のような雰囲気で楽しむとき（暖かみのある色あいを再現します。）
お好み	お好みに調整した映像で楽しむとき（調整方法は169ページをご覧ください。）

お知らせ

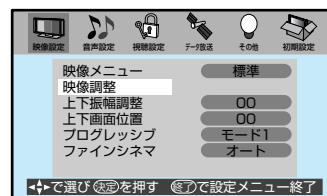
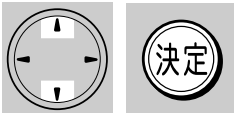
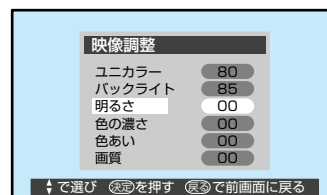
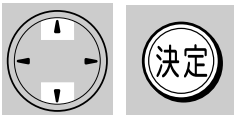
● 「あざやか」「標準」「映画」の設定状態から「映像調整」(次ページ参照)をすると自動的に「お好み」モードになります。
● ゲーム画面のときは映像メニューの切り換えはできません。

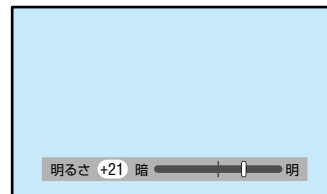
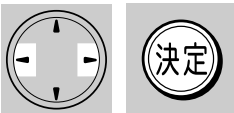
お好みの映像に調整する

● 調整した映像は、「お好み」モードに記憶されます。

1 以下の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「映像設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「映像調整」を選び、決定ボタンを押す

● 「映像調整」画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で調整する項目を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン◀·▶でお好みの映像に調整し、決定ボタンを押す

● 調整画面では、カーソルボタンを押さないと、数秒で「映像調整」画面に戻ります。

いくつもの項目を調整するときは、手順3、4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

調整項目	内　容	カーソルボタン ◀·▶
ユニカラー	コントラスト・明るさ・色の濃さが同時に調整できます。	00 ～ 100 淡くなる⇔濃くなる
バックライト	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。	00 ～ 100 暗くなる⇔明るくなる
明るさ	画面の明るさが調整できます。	−50 ～ +50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さが調整できます。	−50 ～ +50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	肌色などが調整できます。	−50 ～ +50 紫っぽくなる⇔緑っぽくなる
画質	映像の鮮明さが調整できます。	−50 ～ +50 やわらかい映像になる⇔くっきりした映像になる

お好みの映像に調整する つづき

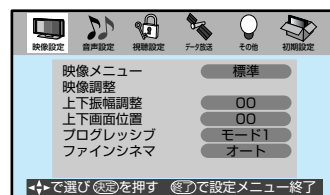
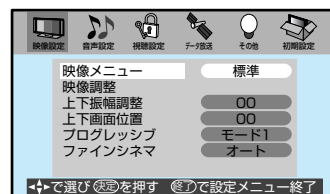
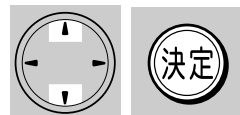
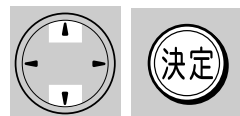
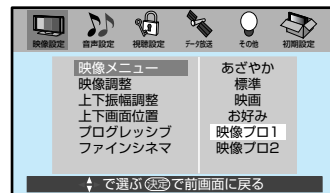
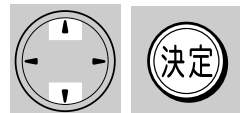
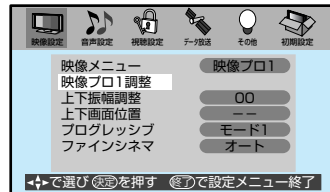
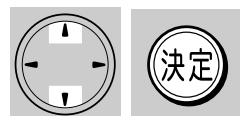
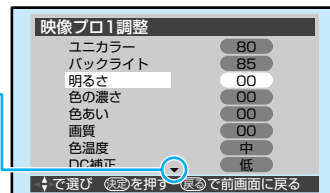
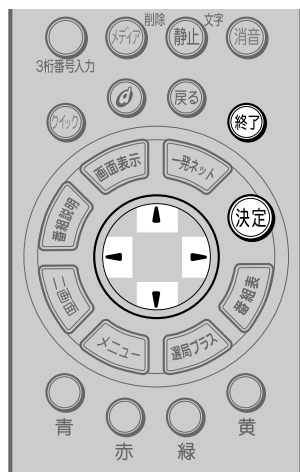
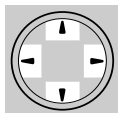
映像プロ調整のしかた

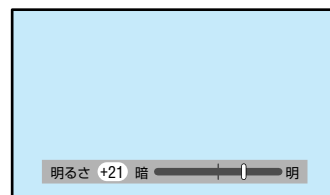
- 通常は「あざやか」、「標準」、「映画」、「お好み」の映像設定でご覧いただけます。
- 「映像プロ1」および「映像プロ2」の設定をすると、さらにきめ細く調整した映像がご覧いただけます。
- 「映像プロ１」と「映像プロ2」は、お好みに調整した状態を別々に保存できます。
  調整項目とはたらきは、どちらもまったく同じです。
- 設定した映像を標準に戻すこともできます。

■映像プロ １、映像プロ ２ の調整のしかた［例：映像プロ 1］

- 映像メニュー(→168ページ)で「映像プロ1」(「映像プロ2」)を選んでいるときだけ、映像プロ1(映像プロ2)の調整ができます。

1 以下の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·► で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン ◄·► で「映像設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼ で「映像メニュー」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼ で「映像プロ 1」を選び、決定ボタンを押す

- 映像が「映像プロ1調整」画面に設定されます。

4 カーソルボタン▲·▼ で「映像プロ 1 調整」を選び、決定ボタンを押す

- 「映像プロ1調整」画面が表示されます。

5 カーソルボタン▲·▼ で調整する項目を選び、決定ボタンを押す

- 表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼ で先に進めます。

6 カーソルボタン◀·▶または▲·▼でお好みの映像に調整し、決定ボタンを押す（調整機能の詳細は下表）

- 数字の調整項目は、カーソルボタン◀·▶で調整してください。それ以外はカーソルボタン▲·▼でレベルを選び、決定ボタンを押してください。
- 数字の調整画面では、カーソルボタンを押さないと、数秒で「映像プロ1調整」画面に戻ります。

※映像調整を標準に戻すには
① カーソルボタン▲·▼で「標準に戻す」を選び、決定ボタンを押す
② カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

いくつもの項目を調整するときは、手順 5、6 を繰り返す

7 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

※「映像プロ2」の映像調整は、映像プロ1と同様に1～7の手順で行うことができます。

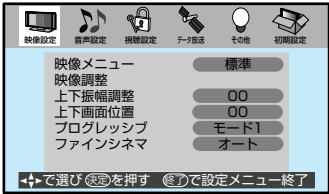
■映像プロ調整機能と項目［映像プロ 1］、［映像プロ 2］

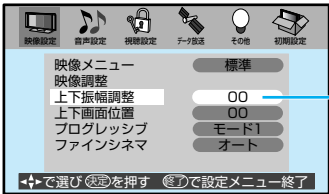
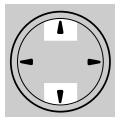
映像の何を調整するか？	映像プロ1(2)調整項目		調整レベル	映像状態
色あいの調整 映像のホワイトバランスや肌色などを好みに合わせて生彩にします。	色温度※1		「低」「中」「高」	色調を調整します。低：暖色系、高：寒色系
	色温度「低」「中」「高」	Gドライブ※2	－15～00～＋15	明るい部分の色温度を微調整します。「＋」方向で緑(G)または青(B)が強くなります。
		Bドライブ※2	－15～00～＋15	
黒階調の調整 映像の黒の部分を浮かせたり沈めたり、黒の階調を表現する部分を細かに調整します。	DC補正		「低」「中」「高」	映像の明るさによる黒レベルの変動を補正します。
	黒補正		「オン」「オフ」	映像の黒レベルを補正します。(映像信号の内容によって効果は変化します。)
	黒伸張		「オン」「オフ」	映像の暗い部分のコントラストを補正します。(映像信号の内容によって効果は変化します。)
	ガンマ補正		「弱」「中」「強」「オフ」	映像の明部と暗部のコントラストのバランスを補正します。
輪郭の調整 映像の輪郭などの強調したり弱めたり、好みに合わせた調整をします。	Vエンハンサー※3（垂直輪郭補正）		「弱」「中」「強」「オフ」	横線の輪郭を補正します。

※1 色温度調整は、まずカーソルボタン▲·▼で「低」「中」「高」を選び、決定ボタンを押します。そのあと、GドライブとBドライブのそれぞれの調整をしてください。
※2 Gドライブ、Bドライブの2項目は、明るい画面と暗い画面の色温度が最適になるようにそれぞれ交互に調整してください。
※3 Vエンハンサーは、D4端子の1125i映像入力時は、調整できません。

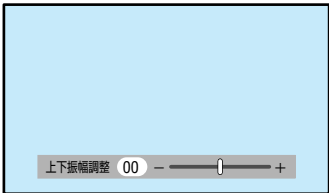
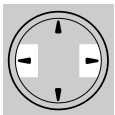
上下振幅調整

1 以下の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀･▶で「映像設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲･▼で「上下振幅調整」を選び、決定ボタンを押す

- 上下振幅調整画面になります。

※「－－」が表示されている場合は、調整できません。

3 カーソルボタン◀･▶でお好みの上下振幅に調整し、決定ボタンを押す

- －03～＋03の範囲で上下振幅が調整できます。
- カーソルボタン▲･▼でも調整できます。
- 調整画面ではカーソルボタンを押さないと数秒で設定メニュー画面に戻ります。
- 画面サイズによっては調整できない場合があります。下の表をご覧ください。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- ビデオの再生時などで、上下振幅調整を00～－03にすると画面の上下にノイズが出ることがあります。このノイズが気になるときは上下振幅調整で画面を大きくしてご覧ください。
- 上下振幅調整で画面を大きくした場合、画面サイズ切換をした際に、番組表などの画面表示が一部欠ける場合があります。
- ズームまたは映画字幕のとき調整値を最大にするとチャンネル番号やメニューの文字および放送局からのメッセージなどが隠れてしまうことがあります。

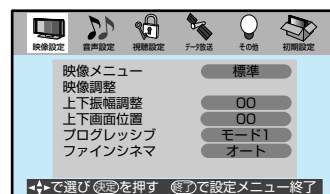
■上下振幅調整ができる画面サイズ

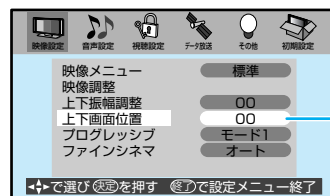
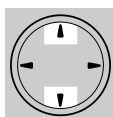
画面サイズ／調整項目	スーパーライブ	ズーム	映画字幕	フル（ゲームフル）	ノーマル（ゲームノーマル）
上下振幅調整	○	○	○	×	×

- ○印が調整できます。×印は調整できません。

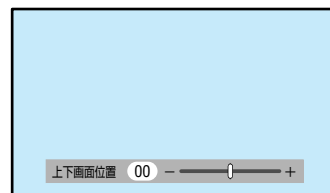
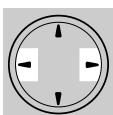
上下画面位置調整

1 以下の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·► で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·► で「映像設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼ で「上下画面位置」を選び、決定ボタンを押す

- 上下画面位置画面になります。

※「－－」が表示されている場合は、調整できません。

3 カーソルボタン◄·► でお好みの上下画面位置に調整し、決定ボタンを押す

- －03～＋03の範囲で、映像の位置が上下方向に変えられます。
- カーソルボタン▲·▼ でも調整できます。
- 調整画面ではカーソルボタンを押さないと、数秒で設定メニュー画面に戻ります。
- 画面サイズによっては調整できない場合があります。下の表をご覧ください。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■上下画面位置調整ができる画面サイズ

調整項目 ＼ 画面サイズ	スーパーライブ	ズーム	映画字幕	フル（ゲームフル）	ノーマル（ゲームノーマル）
上下画面位置調整	○	○	○	×	×

- ○印が調整できます。×印は調整できません。

お知らせ

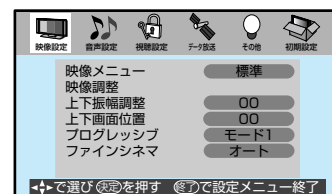
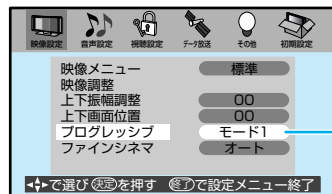
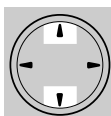
- 画面サイズがズームまたは映画字幕のとき調整値を最大にするとチャンネル番号やメニューの文字および放送局からのメッセージなどが隠れてしまうことがあります。

映像の設定 つづき

プログレッシブ設定

- 525iの信号を受信したときに設定できます。
- 525p、750p、1125iの信号を受信しているときには設定できません。
- お好みに応じて三つのモードが選べます。
- お買上げ時は「モード1」に設定されています。

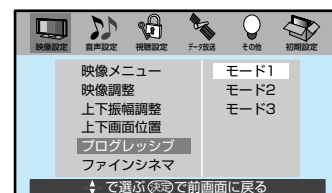
1 以下の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「映像設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「プログレッシブ」を選び、決定ボタンを押す

※「－－」が表示されている場合は、設定できません。

3 カーソルボタン▲·▼でご希望のプログレッシブモードを選び、決定ボタンを押す

- カーソルボタンを押すごとに順に切り換わります。

→モード1 ↔ モード2 ↔ モード3←

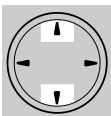
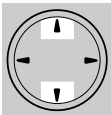
- 以下を参考にして選んでください。
  - ・モード1… 動画と静止画の中間設定で、自然な画像を表示する通常モードです。
  - ・モード2… 静止画がきれいに見える設定で、文字のちらつきが最も少なくなります。
  - ・モード3… 動画を前提とした設定で、動いてる映像に対して残像が最も少なくなります。

4 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

ファインシネマ設定

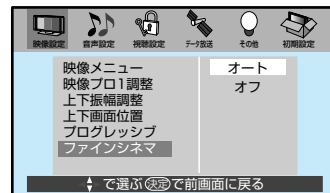
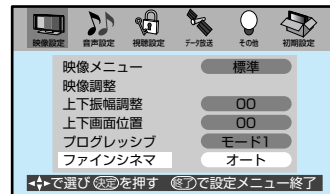
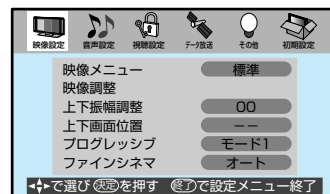
- 映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現する機能です。
- お買上げ時は「オート」に設定されています。

1 以下の操作で「映像設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「映像設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「ファインシネマ」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「オート」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

- カーソルボタンを押すごとに交互に切り換わります。
  オート↔オフ

- 以下を参考にして選んでください。
  - ・オート… 映画ソフトなどの1秒間に24コマの映像を、テレビ用の30コマに変換した映像を受信したとき、自動的に本来の映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。
  - ・オ フ… 従来の30コマに変換した映像で再現します。

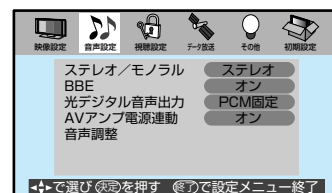
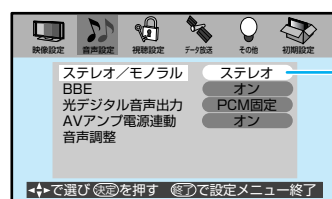
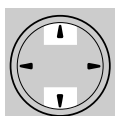
4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

- ファインシネマ機能がはたらくのは、次の場合です。
  ・地上アナログ放送、またはビデオ入力からの525i信号で、画面サイズ切換えをノーマル、フル、またはスーパーライブにしているときのみ。（→52ページ）
  デジタル放送、またはi.LINKからの信号のときは、はたらきません。
- ファインシネマの設定を「オート」にした場合で映像に違和感がある場合には、ファインシネマの設定を「オフ」にしてご使用ください。

音声の設定

ステレオ/モノラルの設定

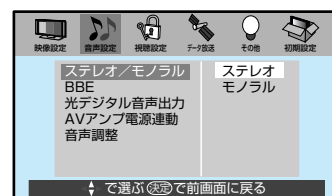
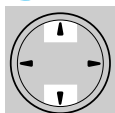
- 電波の弱いステレオ放送のときに、音声にノイズがでることがあります。その場合、以下の操作で「モノラル」に設定することにより、聴きやすくなります。
- お買上げ時は「ステレオ」に設定されています。

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「ステレオ/モノラル」を選び、決定ボタンを押す

※「－－」が表示されている場合は、設定できません。

3 カーソルボタン▲·▼で「ステレオ」または「モノラル」を選び、決定ボタンを押す

- カーソルボタンを押すごとに交互に切り換わります。

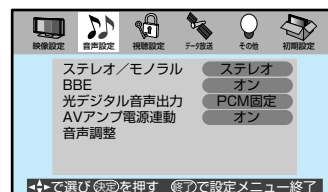
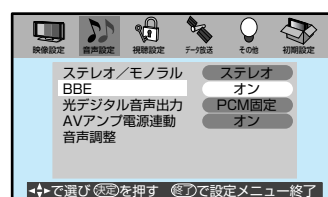
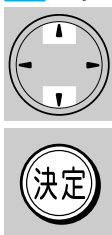
ステレオ ↔ モノラル

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

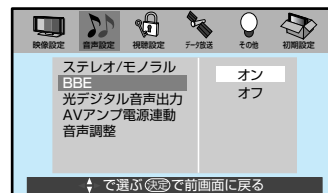
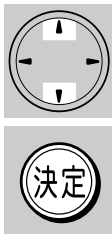
- 「モノラル」に設定されているときは、ステレオ放送のときでも「ステレオ」になりません。その場合は、表示画面右上に「モノラル選択中」と表示されます。
- ステレオ/モノラル設定は地上アナログ放送やCATV放送受信時に設定できます。外部入力やデジタル放送受信時は設定できません。

BBEの設定

- BBEサウンドは、ライブ感にあふれた雰囲気や微妙な音のニュアンスをお楽しみいただけます。
- お買上げ時は「オン」に設定されています。

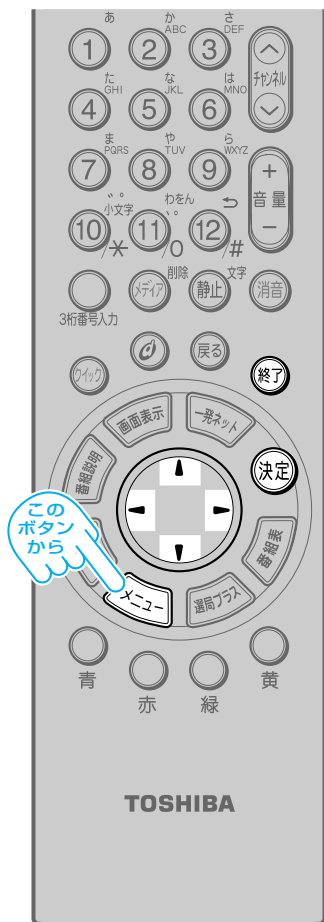
1 以下の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼･◄･►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄･►で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲･▼で「BBE」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲･▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

- オン…BBEサウンド効果が出ます。
- オフ…BBEサウンド効果が得られません。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

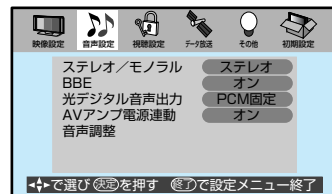
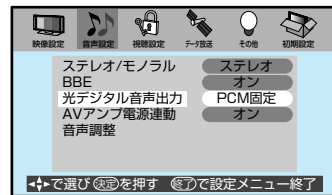
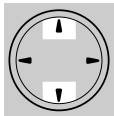
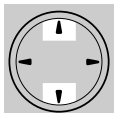
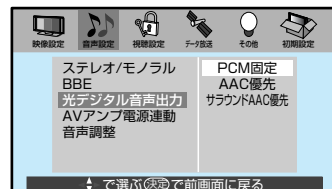
※この製品はBBE Sound,Inc.からの実施権に基づき製造されています。
この製品は米国BBE Sound,Inc.の所有する特許USP4638258、5510752及び5736897を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound,Inc.の登録商標です。

■低音補正調整とBBE設定の連動動作について
- BBEをオフに設定している場合でも、低音補正が調整されるとBBEも自動的にオンに設定されるようになっています。（低音補正を「００」に調整しても、BBE設定はオンになります。）
- 低音補正調整のあと（BBE設定が自動的にオンとなったあと）、BBE設定をオフにしたいときは、このページの操作でオフに設定してください。
- 低音補正調整については、180ページをご覧ください。

■BBEの効果について
- 本機のスピーカー、ヘッドホーン、オーディオ出力（固定）でお聴きになる場合は、BBE効果が得られます。
- 光デジタル音声出力では、PCM信号出力の場合だけ、BBE効果が得られます。MPEG-2 AAC信号出力の場合は、BBE効果は得られません。
- イヤホーン（副画面）、デジタル放送録画出力ではBBE効果は得られません。

光デジタル音声出力の設定

- 「光デジタル音声出力」は、「PCM固定」、「AAC優先」、「サラウンドAAC優先」の三つの状態に設定することができます。
- お買上げ時は、「PCM固定」に設定されています。
- MPEG-2 AACデコーダーやAACデコーダー内蔵アンプ(市販品)をつなぐときは、以下の操作で「AAC優先」または「サラウンドAAC優先」に設定してください。

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「光デジタル音声出力」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で希望の信号を選び、決定ボタンを押す

- 「PCM固定」……PCM信号が出力されます。
- 「AAC優先」……MPEG-2 AAC信号の場合、MPEG-2 AAC信号が出力されます。
- 「サラウンドAAC優先」…MPEG-2 AAC信号で、マルチCHステレオ音声(5.1CHや4.1CHステレオ音声など)の場合にはMPEG-2 AAC信号が出力されます。それ以外のMPEG-2 AAC信号の場合にはリニアPCM信号が出力されます。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■光デジタル音声出力設定について
- 背面の「光デジタル音声出力」からは、テレビのスピーカー音と同じ音が出力されます。（低音補正は効果が得られません。BBEはPCM信号出力以外のときには効果が得られません。）
- 光デジタル音声出力設定が「AAC優先」や「サラウンドAAC優先」に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が、光デジタル音声出力端子からは出力されない場合があります。

本機とオンキヨー製AVアンプの電源連動設定

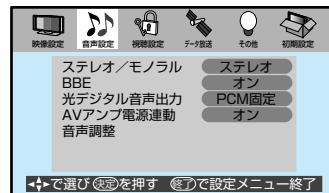
- RI 端子（RI EX 対応品）を持つオンキヨー製AVアンプと、本機のRIオーディオコントロール端子をモノラルオーディオコードで接続すると、本機に付属のリモコンでオンキヨー製AVアンプが連動動作します。
  詳しい連動動作については144～146ページをご覧ください。
- 本機の電源とオンキヨー製AVアンプの電源を連動させたくない場合は、AVアンプ電源連動設定を「オフ」にしてください。
- お買上げ時の「AVアンプ電源連動」は「オン」に設定されています。

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「音声設定」を選ぶ

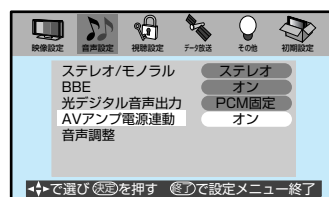
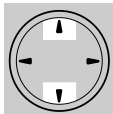
映像設定 音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定

ステレオ／モノラル	ステレオ
BBE	オン
光デジタル音声出力	PCM固定
AVアンプ電源連動	オン
音声調整	

◄▲▼►で選び 決定を押す 終了で設定メニュー終了

2 カーソルボタン▲·▼で「AVアンプ電源連動」を選び、決定ボタンを押す

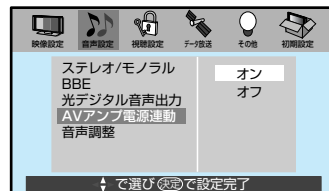
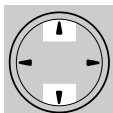
映像設定 音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定

ステレオ/モノラル	ステレオ
BBE	オン
光デジタル音声出力	PCM固定
AVアンプ電源連動	オン
音声調整	

◄▲▼►で選び 決定を押す 終了で設定メニュー終了

3 カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

- オン：本機に付属のリモコンで、電源入/待機、音量＋·－、消音の操作に連動して、AVアンプが動作します。
- オフ：本機に付属のリモコンで、電源入/待機だけAVアンプは連動しません。音量＋·－と消音は連動します。

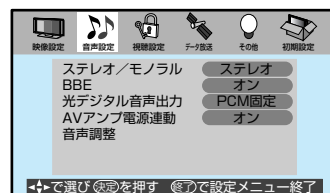
4 ［通常画面に戻るには］ 終了ボタンを押す

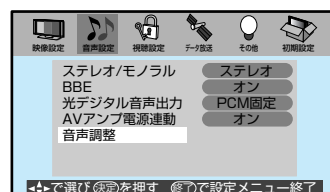
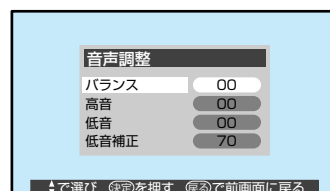
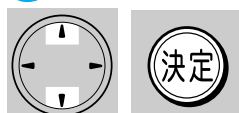
終了

- 「AVアンプ電源連動」を「オン」設定したあとは、本機に付属のリモコンの電源ボタンで、本機を一度「待機」にし、もう一度電源ボタンで電源を「入」にして、正しく連動動作することをご確認ください。正しく連動動作しない場合は、「つなぎかた」（→144ページ）と「連動動作についてのご注意」（→145ページ）をご覧ください。
- RI EX はオンキヨー株式会社の商標です。

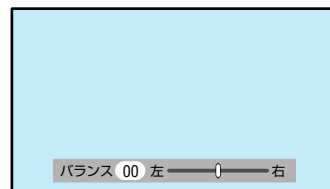
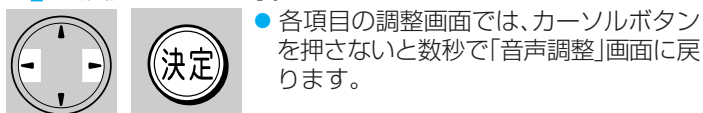
音声の設定 つづき

お好みの音声に調整する

1 以下の操作で「音声設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「音声設定」を選ぶ

2 カーソルボタン▲·▼で「音声調整」を選び、決定ボタンを押す

● 「音声調整」画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン◀·▶でお好みの音声に調整し、決定ボタンを押す

● 各項目の調整画面では、カーソルボタンを押さないと数秒で「音声調整」画面に戻ります。

いくつもの項目を調整するときは、手順3、4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

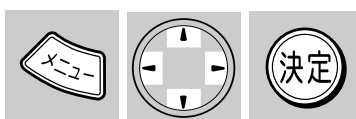
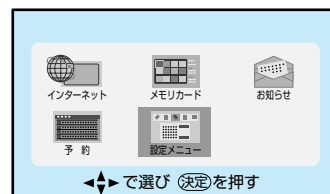
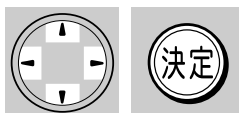
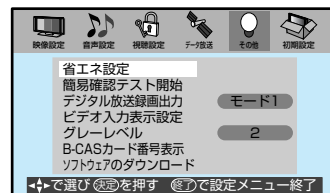
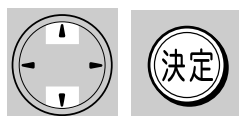
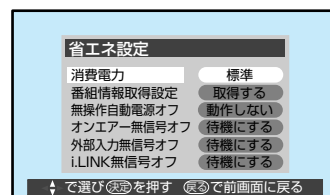
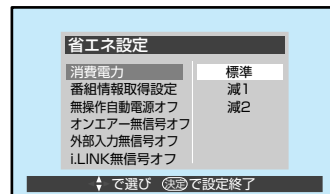
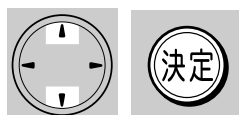
調整項目	カーソルボタン ◀·▶
バランス	−50 ～ +50 左の音が強調される⇔右の音が強調される
高音	−50 ～ +50 高音が軽減される⇔高音が強調される
低音	−50 ～ +50 低音が軽減される⇔低音が強調される
低音補正	00 ～ 100 ⇒さらに低音が強調される

■デジタル機器からのD４映像入力時の音声調整について

● テレビや映像入力、S2映像入力時の音声とは別に、D4映像入力用の音声設定に、自動的に切り換わります。
● お好みに調整した、高音、低音、低音補正はテレビや映像入力、S2映像入力時とは別にD4映像入力時用に設定できます。
● お好みに調整した音声は、D端子をはずしても設定されていますので、続けてご利用になれます。
※同一A/V機器から、D端子映像出力とこれ以外の映像出力が本機に入力されている場合、映像の状態によってA/V機器からの出力が異なったとき、音声調整状態が変わることがあります。

省エネ設定

省エネ設定

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「省エネ設定」を選んで、決定ボタンを押す

- 省エネ設定画面になります。
- ■番組情報取得設定の設定するとき･･･次ページへ
- ■番組情報取得設定以外の設定するとき･･･手順3へ

3 カーソルボタン▲·▼で設定する項目を選び、決定ボタンを押す

- それぞれの設定画面になります。
- 各設定項目については、下表をご覧ください。

4 カーソルボタン▲·▼で設定状態を選び、決定ボタンを押す

いくつもの項目を設定するときは、手順3、4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

項　目	内　容	お買い上げ時の状態
消費電力	画面全体の明るさを変えて、消費電力を低減するモード ・標準 ･････ 明るく迫力ある普通モード ・減１ ･････ 明るさをおさえて、見やすい映像モード※ ・減２ ･････ 明るさを減１よりさらにおさえた映像モード※	標準
番組情報取得設定	電源待機中にデジタル放送の番組情報を自動的に受信するか、しないかの設定です。(→16ページ) ・取得する ･････････ 電源待機中に自動処理を行います。 ・取得しない ･･･････ 電源待機中に自動処理を行いません。 (設定については、次ページをご覧ください。)	取得する
無操作自動電源オフ	テレビの無操作状態が約３時間続くと電源を切り待機状態にします。 ・待機にする ･･･････ 無操作状態が約３時間続くと電源が切れ待機状態になります。 ・動作しない ･･･････ 無操作状態が３時間続いても電源が切れません。	動作しない
オンエアー無信号オフ	放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと電源を切り待機状態にします。 ・待機にする ･･･････ たとえば、テレビ放送を見ていて放送が終了して、無信号状態が約15分間続くと自動的に電源が切れ待機状態になります。 ・動作しない ･･･････ 無信号状態が続いても電源が切れません。 (外部入力時は機能しません。)	待機にする
外部入力無信号オフ	外部入力（一画面）時に、無信号状態が約15分間続くと電源を切り待機状態にします。 ・待機にする ･･･････ 無信号状態が約15分間続くと自動的に電源が切れ待機状態になります。 ・動作しない ･･･････ 無信号状態が続いても電源が切れません。	待機にする
i.LINK無信号オフ	i.LINKモード時に、無信号状態が約15分間続くと電源を切り待機状態にします。 ・待機にする ･･･････ i.LINKモードで無信号状態が約15分間続くと自動的に電源が切れ待機状態になります。電源が待機になった場合、他機から本機を制御できなくなります。 ・動作しない ･･･････ 無信号状態が続いても電源が切れません。 (上記の無信号状態には、ビデオなどでの一時停止の状態も含みます。)	待機にする

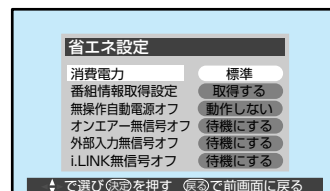
※消費電力設定を「減1」または「減2」に設定した場合は、電源を入りにしたときにその旨のメッセージが数秒間表示されます。

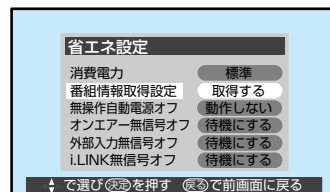
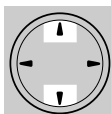
省エネ設定 つづき

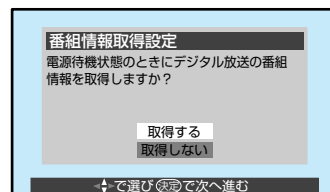
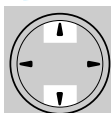
番組情報取得設定の設定

- 本機は、電源待機中にデジタル放送の番組情報を自動的に受信しています。
  電源待機中に自動処理を行わない設定をすることもできます。詳しくは、前ページの表をご覧ください。
- お買上げ時は「取得する」に設定されています。

1 前ページの手順 1 ～ 2 を行う

- 「省エネ設定」画面になります。

2 カーソルボタン▲·▼で「番組情報取得設定」を選び、決定ボタンを押す

- 番組情報取得設定の設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で「取得する」または「取得しない」を選び、決定ボタンを押す

番組情報取得設定
電源待機状態のときにデジタル放送の番組情報を取得しますか？
取得する
取得しない
で選び 決定 で次へ進む

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

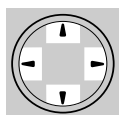
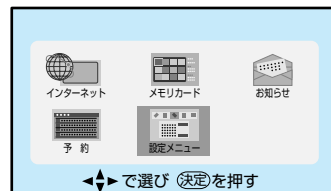
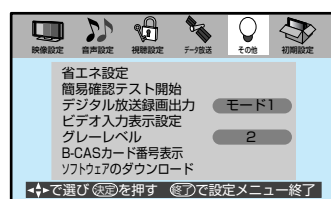
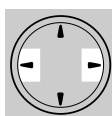
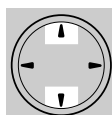
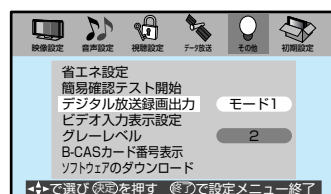
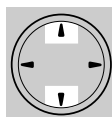
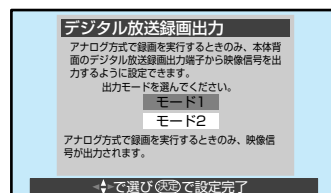
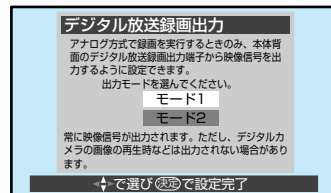
お知らせ

- 「番組情報取得設定」を取得しない場合で電源を待機にしたときは、以下の動作はできません。
  - ・HDD&ビデオレコーダーからの「ネットdeナビ」を使用した制御（→131ページ）
  - ・i.LINK接続されている他の機器からの制御
- 「取得しない」の状態でも録画予約、視聴予約、任意ダウンロードなどは実行されます。

デジタル放送録画出力の設定

デジタル放送録画出力の設定

- アナログ方式で録画予約や一発録画を実行しているときのみ、本機背面の「デジタル放送録画出力」端子から映像信号が出るように設定することができます。
  詳しくは「ビデオで録画／再生するとき」(➞129～130ページ)の「お知らせ」をご覧ください。
- お買上げ時は「モード1」に設定されています。

1 **メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

- 設定メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン◀·▶で「その他」を選ぶ**

3 **カーソルボタン▲·▼で「デジタル放送録画出力」を選び、決定ボタンを押す**

- 「デジタル放送録画出力」設定画面が表示されます。

4 **カーソルボタン▲·▼で「モード1」または「モード2」を選び、決定ボタンを押す**

- モード1･･･ モード2以外の場合でも、背面「デジタル放送録画出力」端子から信号を出力します。ただし、デジタルカメラの画像の再生時などは出力されない場合があります。
- モード2･･･ 映像信号については、アナログ方式の録画予約や一発録画の実行中のみ、背面の「デジタル放送録画出力」端子から信号を出力します。(音声信号は、上記の動作にかかわらず出力されます。)

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 上記の設定に関わらず、本機の主電源を切った場合は、背面の「デジタル放送録画出力」端子から信号は出力されません。

ビデオ入力表示の設定

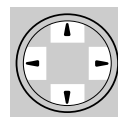
ビデオ入力表示の設定

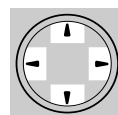
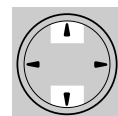
● ビデオ入力1～5を選んだときに表示される機器名(ビデオ、DVDなど)を、接続する機器に合わせて変更することができます。

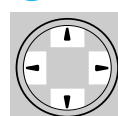
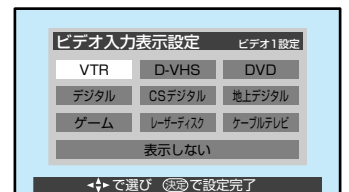
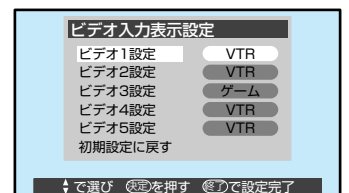
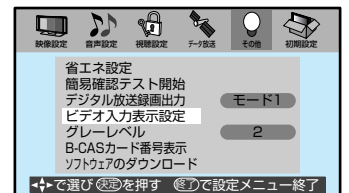
ビデオ入力表示を変更する

1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◀·▶で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「ビデオ入力表示設定」を選んで、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で設定するビデオ入力を選び、決定ボタンを押す

● 機器名のリストが表示されます。

5 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で設定する機器名を選び、決定ボタンを押す

● 表示させない場合は、「表示しない」を選んでください。

いくつものビデオ入力表示を変更するときは、手順4、5を繰り返す

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

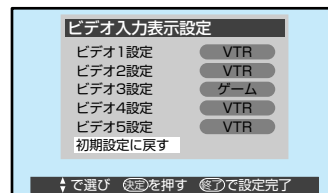
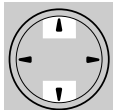
お知らせ

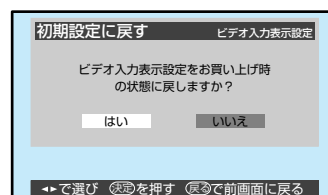
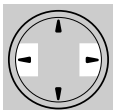
● 「ゲーム」に変更したビデオ入力を選ぶと、ゲームに適した画質と画面サイズに切り換わります。
● お買上げ時の状態
　ビデオ1：VTR
　ビデオ2：VTR
　ビデオ3：ゲーム
　ビデオ4：VTR
　ビデオ5：VTR

ビデオ入力表示をお買上げ時の状態に戻す

● お買上げ時の状態については、前ページの「お知らせ」をご覧ください。

1 **前ページの手順 1 ～ 3 の操作を行い、「ビデオ入力表示設定」画面にする**

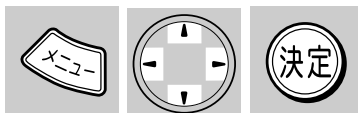
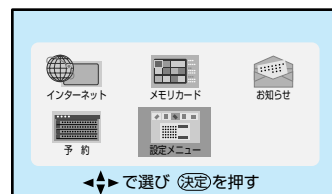
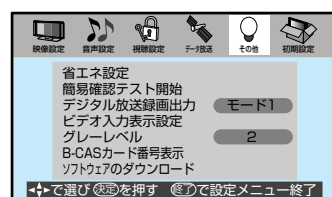
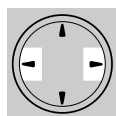
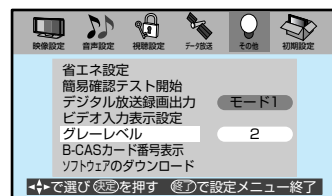
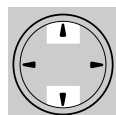
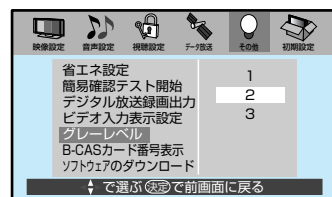
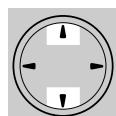
2 **カーソルボタン▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

● お買い上げ時の状態に戻り、「ビデオ入力表示設定」画面になります。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

グレーレベルの設定

グレーレベルの設定

- 画面サイズをノーマルモードに切り換えたとき(→52ページ)に、画面の左右に出る帯の明るさを設定することができます。
- お買上げ時は「2」に設定されています。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「その他」を選ぶ

3 カーソルボタン▲·▼で「グレーレベル」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼でお好みの状態を選び、決定ボタンを押す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

第5章 最初の設置・接続・設定

テレビを設置する

●設置の前に「安全上のご注意」（→８～14ページ）を必ずお読みください。

■設置について

■本機は電源コンセントから電源プラグが抜き易いように設置する
万一の異常や故障のとき、または長期間ご使用にならないときなどに役立ちます。

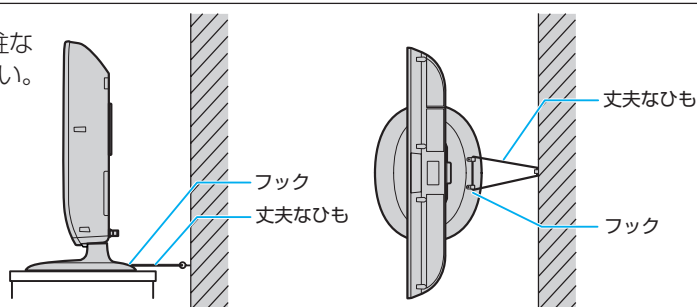
■転倒防止について

■転倒防止の処置を行うこと
転倒防止の処置を行わないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

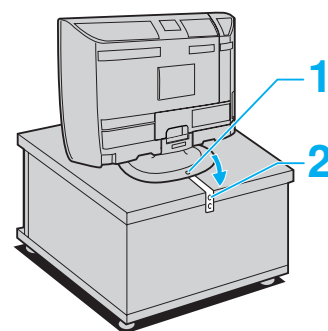
● テレビにお子様が登ったり、押したりするとテレビが倒れるおそれがあります。その際の事故防止と、地震などの非常時の安全確保のために、転倒防止の実施をお願いします。

● 壁または柱などに固定するとき

● スタンド背面のフックを使用し、確実に支持できる壁または柱などを選び、丈夫なひもで床と水平に引張り取り付けてください。移動させるときは、ひもをはずしてください。

フック
丈夫なひも
丈夫なひも
フック

● テレビ台のうしろに固定するとき

1 バンドを図のように回転させる。

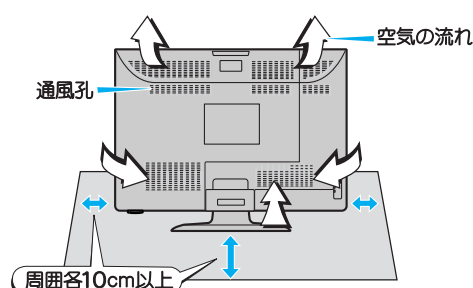
2 テレビ台の裏板を固定する木ネジで共締めしてテレビ台に固定する。

■正しい置きかた

■丈夫で水平な安定した所

■テレビ台を使用する場合

● テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

■周囲からはなして置く

● 通風孔をふさがないように本機から10cm以上あける。

■お手入れのしかた

⚠注意

■お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

■ベンジン・アルコールなどは使わない

- ベンジン･アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■キャビネットや操作パネルのお手入れ

- 柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■キャビネットの汚れがひどいときは

- 水でうすめた中性洗剤を布に含ませてよく絞ったあと､ふき取ってください。さらに、乾いた布で拭いてください。

■液晶パネルは特殊な加工をしています

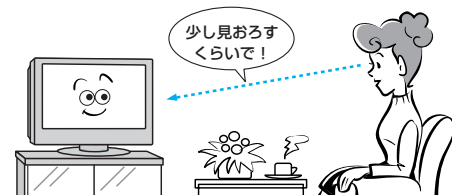
- 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■液晶パネルは水ぶきをしない

- 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA機器清掃用の布）で軽くふいてください。
- アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

■正しい見かた

■少し離れてご覧ください。

- デジタルハイビジョン放送の場合
  ･･･画面の縦の長さの３倍が適当です。
- 標準テレビ放送の場合
  ･･･画面の縦の長さの５～７倍が適当です。

■部屋の明るさは新聞が読める程度で

- 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
  時々、目を休めましょう。

■音量は適切に

- 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

■お願い

■BS・110度CSデジタル用アンテナの設置について

マンションなど共同住宅の場合は､出入口や避難設備には､アンテナを設置できません。また、避難通路･消防上必要な通路のじゃまにならない所に設置する必要があります。消防法、地方自治体の条例などに触れないように、ご注意ください。また建物の管理者にもご相談ください。

■アンテナ工事は技術と経験が必要

販売店にご相談ください。設置は送配電線から離れた、安全な場所を選び堅固に設置してください。

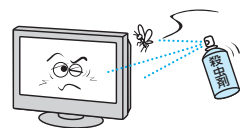
■機器相互間のかんしょうについて

外部機器などからでる電磁波によって､映像の乱れや雑音などになる場合があります｡かんしょうしない位置に設置してください。

■アンテナは定期的に点検・交換を

通常アンテナの設置場所は､屋外のため傷みやすく性能が低下します。特に、ばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くではさらに傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

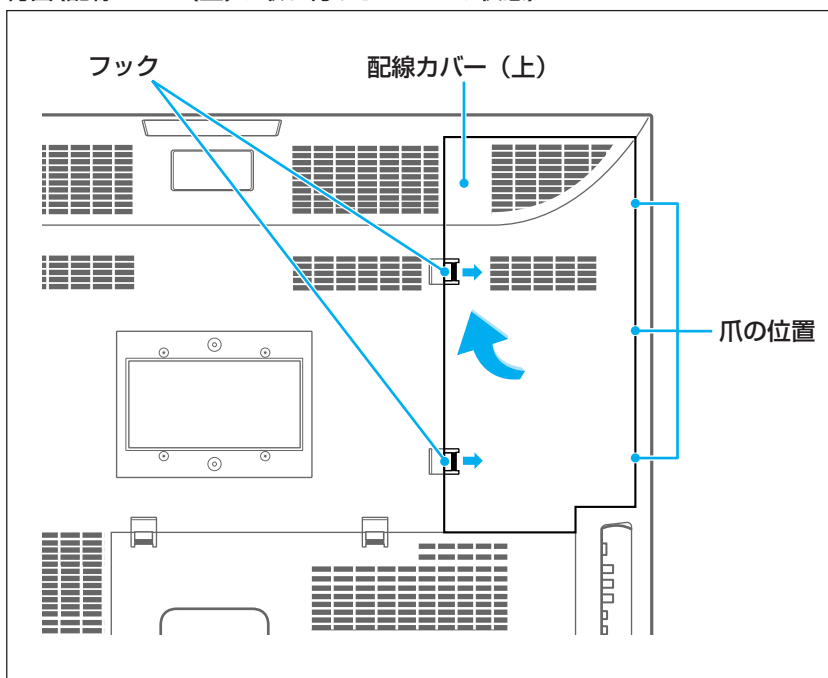
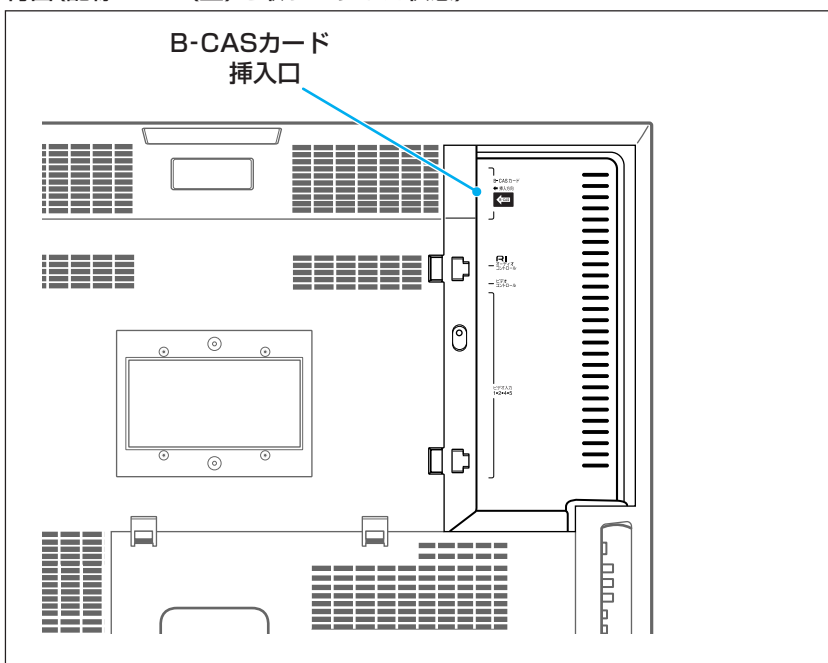
■殺虫剤やビニールとの接触について

キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間触れさせたりしないでください｡材料の変質や塗料がはげたり､シミが付いたりすることがあります。

B-CAS (ビーキャス) カードの装着のしかた

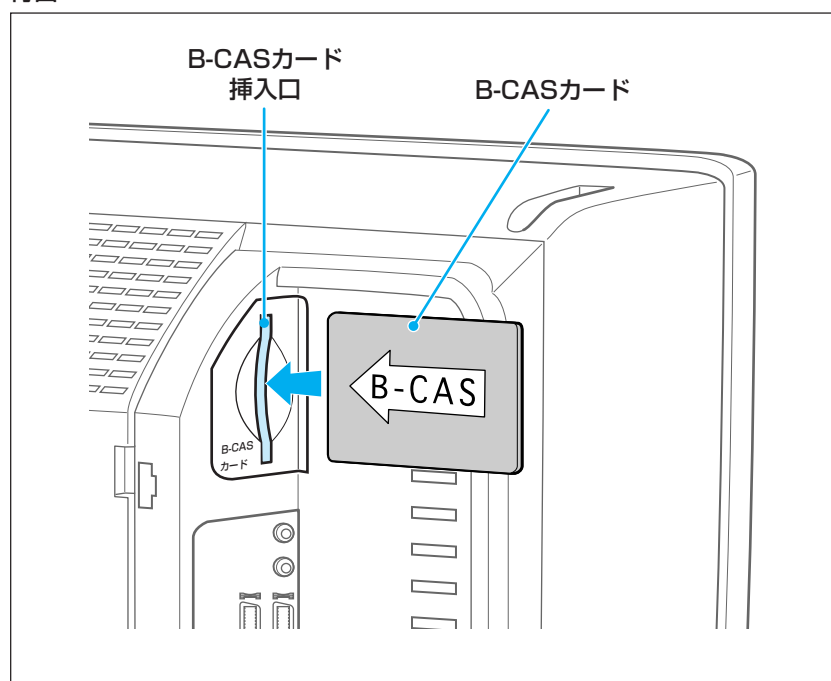
- 付属のB-CAS(ビーキャス)カードは、放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。常に本体に挿入しておいてください。
- 付属のB-CAS(ビーキャス)カードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際に付属の加入申込書に必ず貼ってください。
- 「必ずお読みください」の「付属のB-CAS(ビーキャス)カードについて」(→16ページ)も必ずご覧ください。

1 配線カバー（上）を取りはずす

- 配線カバー(上)のフック2カ所を右側に押しながら手前に引くと、ロックがはずれます。
- 配線カバー(上)を上に静かに持ちあげながら、カバーの爪3カ所を本体の穴からはずしてください。

背面(配線カバー(上)が取り付けられている状態)

背面(配線カバー(上)を取りはずした状態)

2 B-CAS カードをカード差し込み口に入れる

- B-CASカードの向きは、背面端子板の表示を確認しながら間違えないように挿入してください。
- B-CASカードは奥まで差し込んでください。

背面

3 配線カバー（上）を取り付ける

- 取り付けかたは315ページをご覧ください。

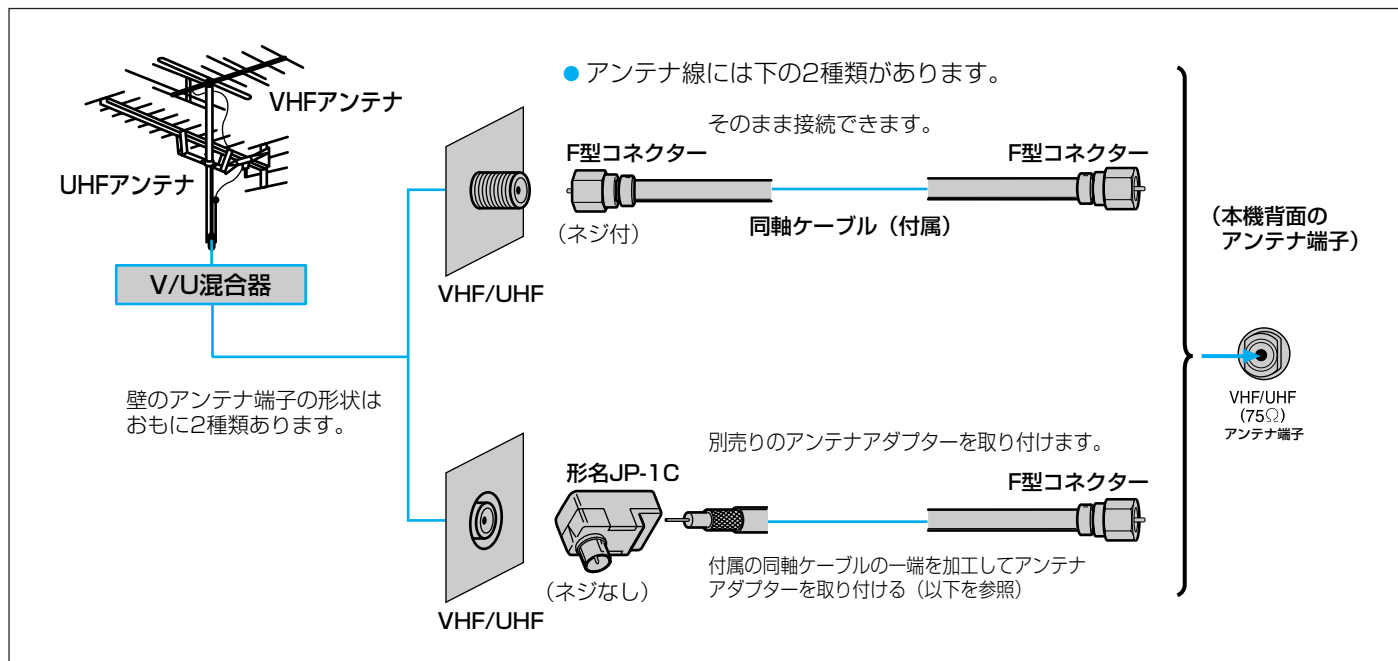
- 取り出す場合は、手順**2**でB-CAS（ビーキャス）カードをそのまま抜いてください。

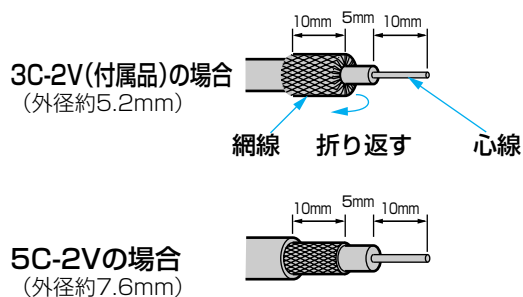
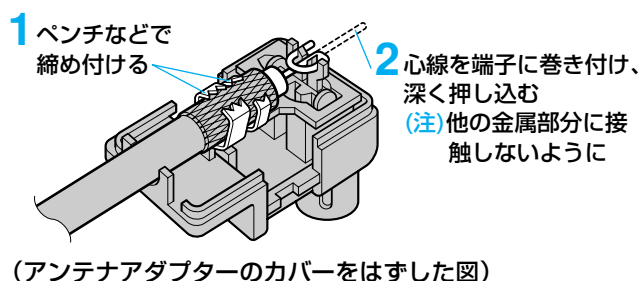
アンテナ線の接続と設定

VHF/UHFアンテナ線のつなぎかた

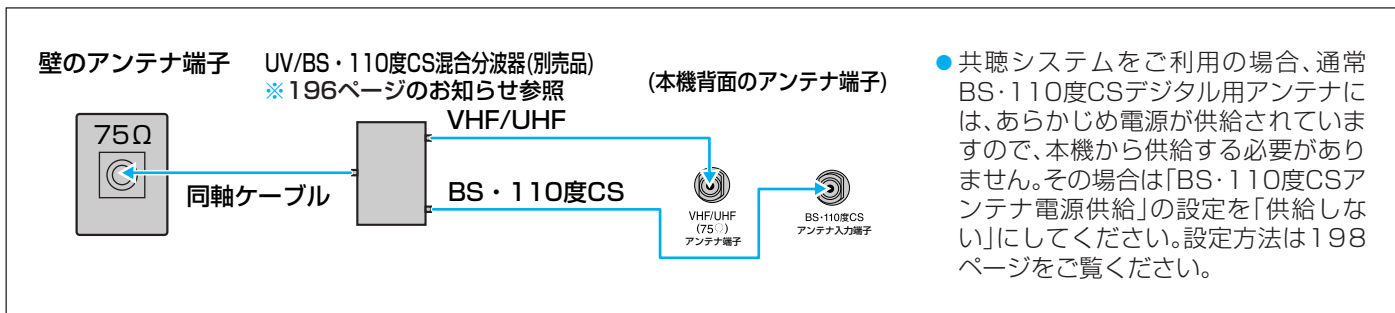
■アンテナの設置・調整について

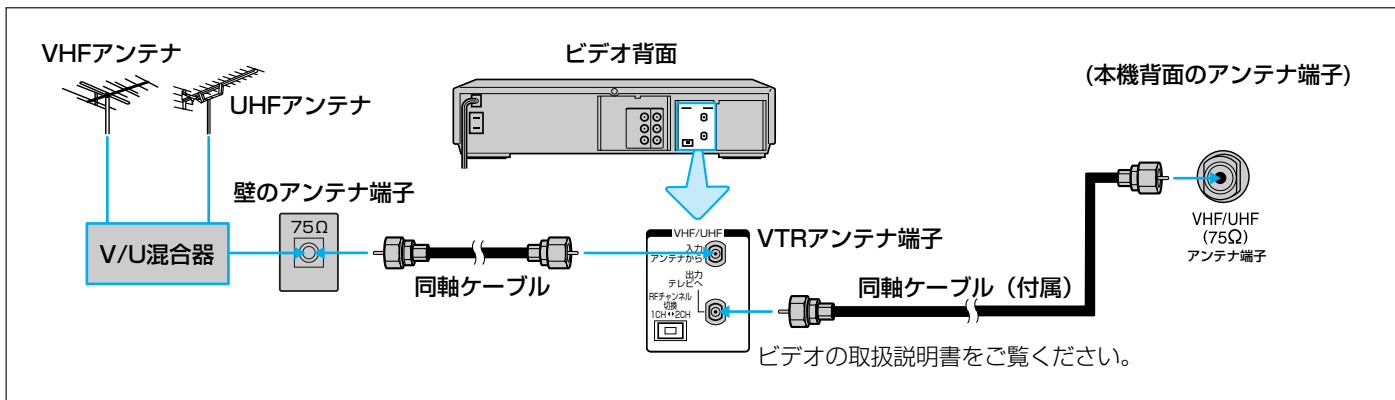
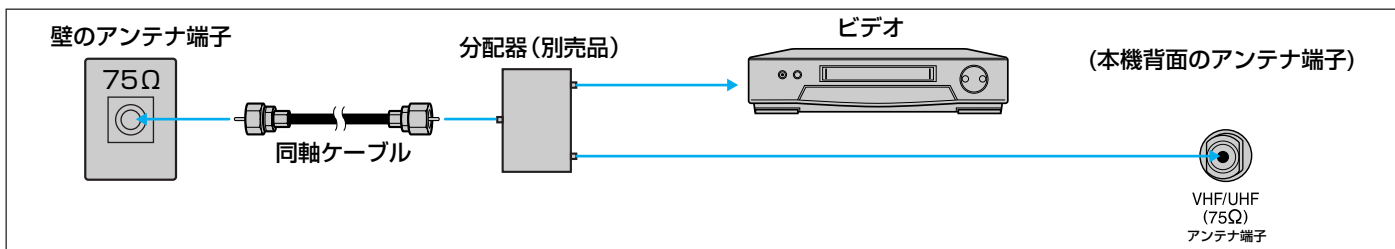
- アンテナの設置·調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。また、アンテナの取扱説明書もよくご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信する場合は、194～195ページを最初にご覧ください。

■アンテナ線が VHF/UHF 混合の場合（あるいは VHF だけ、または UHF だけの場合）

■アンテナ線とアンテナアダプターの取り付けかた

（アンテナアダプターのカバーをはずした図）

お知らせ
- アンテナアダプターは、いくつかのタイプがあります。（イラストは一例です。）
- 平行フィーダー線と同軸ケーブルとを同時に使うことはできません。

■マンションなどの共聴システムのとき（VHF/UHF/BS・110度CS混合のとき）

● 共聴システムをご利用の場合、通常BS･110度CSデジタル用アンテナには、あらかじめ電源が供給されていますので、本機から供給する必要がありません。その場合は「BS･110度CSアンテナ電源供給」の設定を「供給しない」にしてください。設定方法は198ページをご覧ください。

■ビデオを経由したつなぎかた（壁面端子が75Ωでビデオの入力がV・U混合のとき）

ビデオの取扱説明書をご覧ください。

■分配器を使用したつなぎかた

■ VHFとUHFのアンテナ線がそれぞれ別になっているとき

- V/U混合器、形名HMX-77など(別売品)が必要です。
- 詳しくは販売店にご相談ください。

お願い

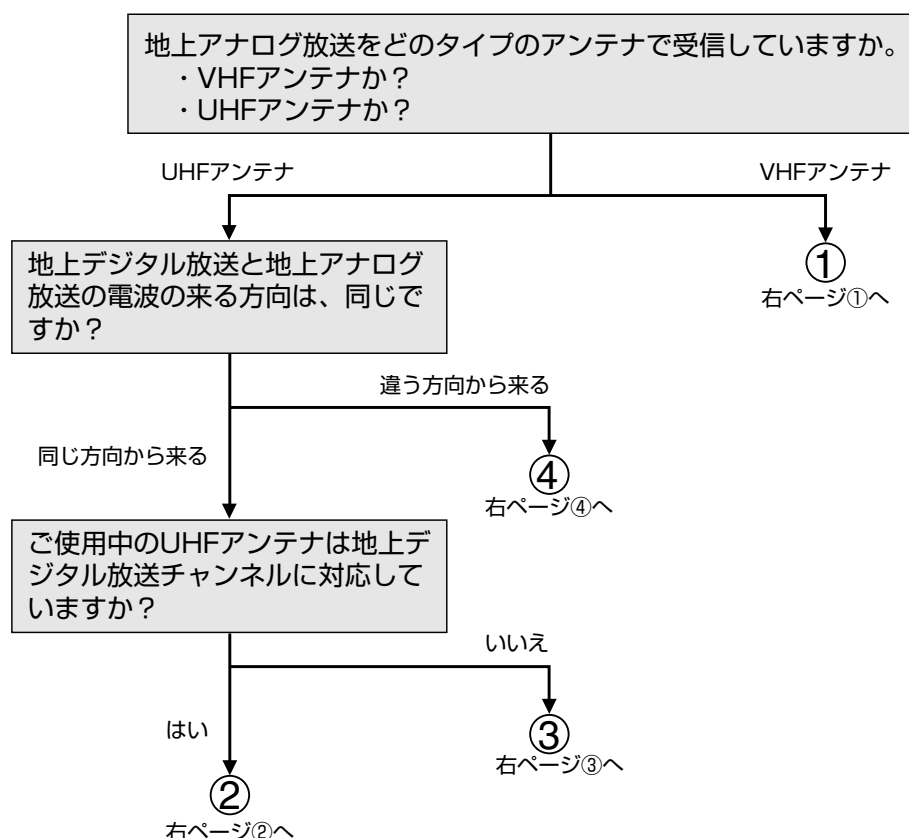
- アンテナ工事はお買い上げの販売店にご相談ください。詳しくはお買い求めになられたアンテナの取扱説明書をお読みください。
- 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切ってください。
- VHF/UHFアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
- 平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。
- やむをえず、平行フィーダー線をご使用のときは、平行フィーダー線をBS・110度CSデジタル用アンテナケーブルから妨害を受けない距離まで離してください。
  同軸ケーブルをご使用の場合もBS・110度CSデジタル用アンテナケーブルと離してください。（いっしょに重ねたり、束ねたりしないでください。）
- アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。
- CATVについては、お住まいの地域のCATV会社にお問い合わせください。
- VHF、UHFアンテナは定期的に点検・交換してください。通常アンテナの設置場所は、屋外のため傷みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- VHFとUHFのアンテナ設置の際には、GR（ゴーストリダクション）設定（→248ページ）を「オフ」にしてください。

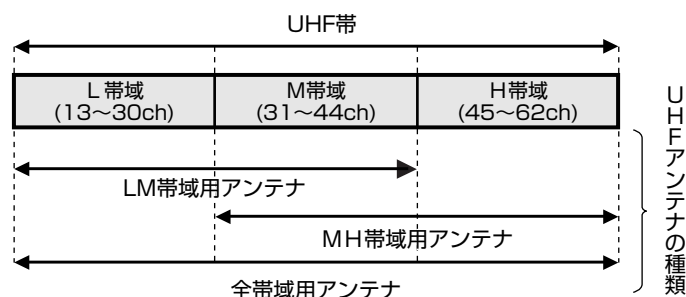
アンテナ線の接続と設定 つづき

VHF/UHFアンテナ線のつなぎかた つづき

■地上デジタル放送を受信する場合

※ここではアンテナの設置について記載していますが、これは目安ですので、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

- 地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。
  （従来のUHFアンテナでも、地上デジタル放送が受信できる場合もあります。）
  ※地上デジタル放送を受信するためのUHFアンテナについては、下の「お知らせ」をご覧ください。
- 下図で確認後、右ページの「アンテナ設置の目安」をご覧ください。
  （下図の中の確認項目（電波の来る方向など）については、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。）

■ 地上デジタル放送を受信するためのUHFアンテナについて

- UHF帯の周波数帯域は、下図のようにL帯、M帯、H帯に分かれており、UHFアンテナとしては、現在LM帯域用、MH帯域用、全帯域用の3種類が市販されています。
  地上デジタル放送はUHF帯の周波数で放送されますが、地域によって使用される周波数が異なります。
  そのため、地上デジタル放送を受信する場合は、その地域で放送されている周波数に対応したアンテナを使用することが必要です。（全帯域用のアンテナを使用すれば、どの地域の地上デジタル放送でも受信することができます。）

左ページの図中の番号	アンテナ設置の目安	
①の場合	● 地上デジタル放送のチャンネルに対応したUHFアンテナの設置が必要です。 ● 2011年までの間に地上アナログ放送も受信する場合は、ご使用中のVHFアンテナのほかに、V/U混合器なども必要です。	新たなUHFアンテナ ご使用中のVHFアンテナ V/U混合器
②の場合	● 基本的にはご使用中のアンテナで受信できます。 ただし、アンテナの劣化などで受信できない場合には、新しいアンテナへの交換や、ブースターの設置などが必要となる場合があります。 ● 2011年までの間に地上アナログ放送も受信する場合には、UHF全帯域に対応しているアンテナへの取り替えが必要な場合もあります。	ご使用中のUHFアンテナ
③の場合	● 地上デジタル放送チャンネルに対応したアンテナが必要です。 ● 2011年までの間に地上アナログ放送も受信する場合は、UHF全帯域に対応したアンテナへの取り替えをおすすめします。	新たなUHFアンテナ
④の場合	● 2011年までの間に地上アナログ放送も受信する場合には、地上デジタル放送受信用として、地上デジタル放送チャンネルに対応したアンテナを新たに設置することが必要です。さらにU/U混合器が必要となる場合もあります。 （地上デジタルのみを受信する場合で、ご使用中のアンテナが地上デジタル放送チャンネルに対応している場合には、アンテナの方向調整のみで地上デジタル放送を受信できます。）	ご使用中のUHFアンテナ 新たなUHFアンテナ U/U混合器

最初の設置・接続・設定

- 接続に使用する同軸ケーブルには、減衰量が少なく、経年変化の少ないS-4C-FB以上の特性のものを、F型コネクターには、C15型をおすすめします。F型コネクターの加工法については、F型コネクター付属の説明書をご覧ください。
- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどは、地上デジタル放送のチャンネルに対応したものを使用し、妨害波の飛び込みなどを防ぐために空き端子は終端抵抗器(75Ω)で終端してください。
- 地上デジタル放送は一般にはUHFアンテナでの受信となりますが、CATVで伝送される場合や共聴システム(VHF帯、またはUHF帯)で伝送される場合もあります。
詳しくは、共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のCATV会社にお問い合わせください。

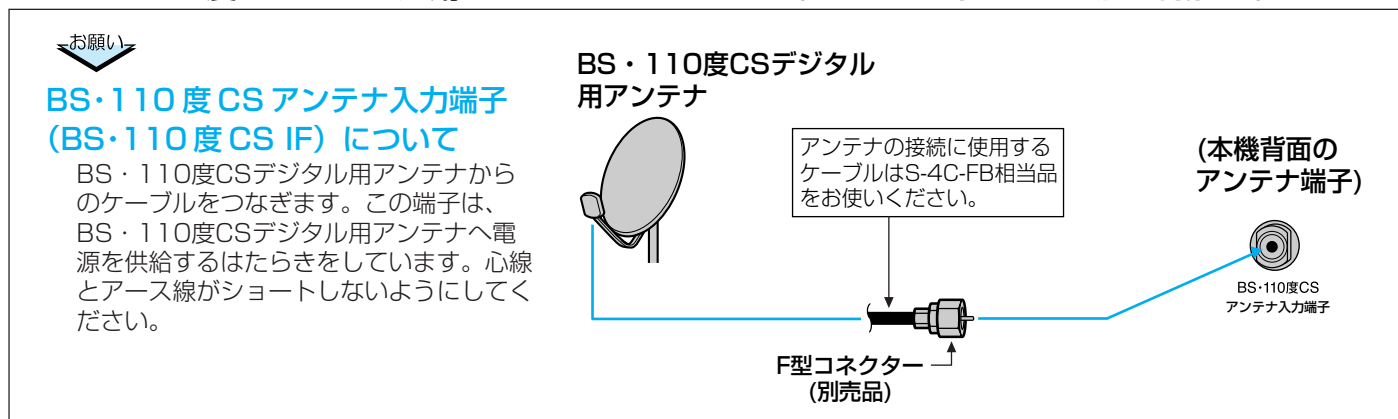
アンテナ線の接続と設定 つづき

BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた

- BSデジタル放送だけご覧になる場合は、BSデジタル用アンテナを、110度CSデジタル放送も合わせてご覧になる場合は、BS･110度CSデジタル用アンテナをご使用ください。(以下、これらのアンテナをBS･110度CSデジタル用アンテナと省略して記載します。)
- アンテナをつないだあとにアンテナの方向調整が必要です。(→199ページ)
- 本機とBS･110度CSデジタル用アンテナの接続には、BS･CSデジタル対応のケーブル(S-4C-FB相当)をご使用ください。
- BS･110度CSデジタル放送用アンテナの取扱説明書もご覧ください。

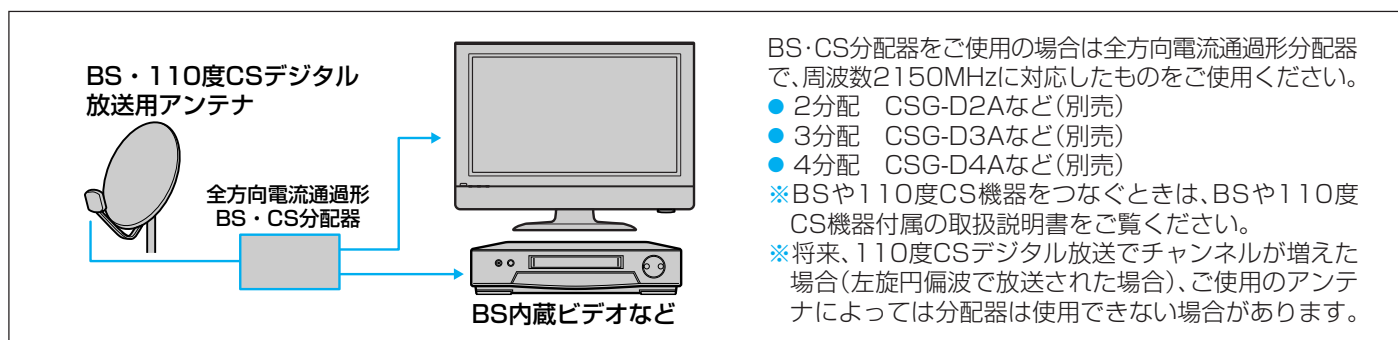
■BS・110度CSデジタル用アンテナをつなぐとき（BSデジタル用アンテナの場合も同様です）

BS･110度CSアンテナ入力端子（BS･110度CS IF）について

BS・110度CSデジタル用アンテナからのケーブルをつなぎます。この端子は、BS・110度CSデジタル用アンテナへ電源を供給するはたらきをしています。心線とアース線がショートしないようにしてください。

■ BS・110度CSデジタル用アンテナ1台で、本機などBSや110度CS機器を2台以上つなぐ場合

（BSデジタル用アンテナの場合も同様です）

BS･CS分配器をご使用の場合は全方向電流通過形分配器で、周波数2150MHzに対応したものをご使用ください。
- 2分配　CSG-D2Aなど(別売)
- 3分配　CSG-D3Aなど(別売)
- 4分配　CSG-D4Aなど(別売)

※BSや110度CS機器をつなぐときは、BSや110度CS機器付属の取扱説明書をご覧ください。
※将来、110度CSデジタル放送でチャンネルが増えた場合(左旋円偏波で放送された場合)、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できない場合があります。

■アンテナ電源について

- アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。お買い上げ時は「供給する」に設定されています。
- 共聴システムなどで、すでに別の機器からアンテナ電源が供給されている場合は、供給する必要はありません。「BS･110度CSデジタル用アンテナ電源供給設定のしかた」(→198ページ)は「供給しない」に設定してください。
- 本機の主電源を切った状態のときアンテナ電源は供給されません。
- 「供給する」に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では通常アンテナ電源が供給されませんが、契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などの際には自動的にアンテナ電源が供給されます。
- BS内蔵ビデオ単独で録画するときなどは、本機以外からのアンテナ電源供給が必要です。

■従来のBSアンテナについて

- 従来のBSアンテナのほとんどについては、BSデジタル放送を受信することができます(110度CSデジタル放送の受信はできません)。ただし、従来のBSアンテナについては、BSデジタル放送受信に必要とされる「位相雑音性能」の規定がないため、BSデジタル放送を受信した場合、安定した受信ができないことがあります。その際には、BSデジタル用、またはBS･110度CSデジタル用アンテナをご使用ください。

■マンションなどの共同受信の場合

- お住まいのマンションの共同受信設備でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかについては、マンションの管理会社や管理組合にご確認ください。
  既存の設備で受信できない場合には、BS･110度CSデジタル用アンテナの設置･接続が必要です。

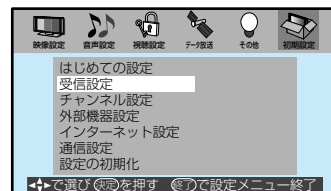
- 110度CSデジタル放送を受信する場合でブースターやBS・CS分配器をご使用になる場合は、110度CSデジタル放送（周波数2150MHz以上）に対応したものをお使いください。対応していないものを使用した場合には、110度CSデジタル放送を受信できません。
- スカイパーフェクTV!用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を受信することはできません。

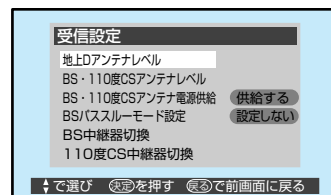
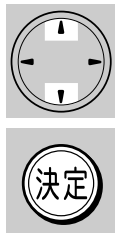
地上デジタル用アンテナの方向調整

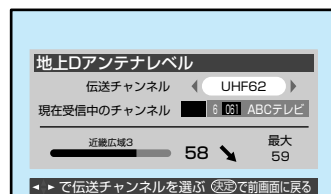
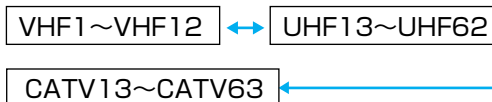
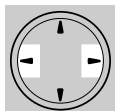
地上デジタル用アンテナの方向調整をする

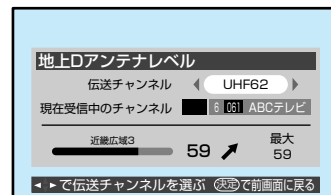
- **アンテナの方向調整は、お買上げの販売店にご相談ください。**
- ここではアンテナレベル表示を使って、地上デジタル用アンテナの方向調整をする方法について説明します。
  アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向を調整してください。
- アンテナの調整方法については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

1 以下の操作で「受信設定」画面にする

① メニューボタンを押す
② カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選ぶ
④ カーソルボタン▲·▼で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「地上Dアンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す

- 「地上Dアンテナレベル」画面が表示されます。

3 カーソルボタン◀·▶で「伝送チャンネル」を選ぶ

- 押すごとに以下のように切り換わります。

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルが大きくなると ↗ が表示され、小さくなると ↘ が表示されます。
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がってないことを確認してください。

（例）地上デジタルチャンネルの場合
（地上Dアンテナレベル）

5 アンテナを固定して、決定ボタンを押す

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- 194ページの「地上デジタル放送を受信する場合」もあわせてご覧ください。
- 手順**6**で「地上Dアンテナレベル」を終了すると、この設定にはいる前の入力の画面に戻ります。

最初の設置・接続・設定

アンテナ線の接続と設定 つづき

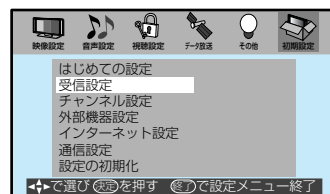
BS・110度CSデジタル用アンテナの設定と調整

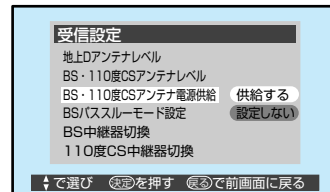
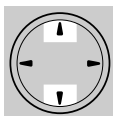
BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給設定のしかた

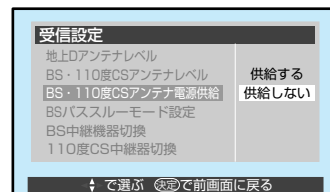
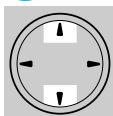
- アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。
- お買上げ時は、「供給する」に設定されています。
  マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。

1 以下の操作で「受信設定」画面にする

① メニューボタンを押す
② カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選ぶ
④ カーソルボタン▲·▼で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

映像設定 音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定
はじめての設定
受信設定
チャンネル設定
外部機器設定
インターネット設定
通信設定
設定の初期化
◄▲▼►で選び 決定を押す 終了で設定メニュー終了

2 カーソルボタン▲·▼で「BS・110度CSアンテナ電源供給」を選び、決定ボタンを押す

受信設定
地上Dアンテナレベル
BS・110度CSアンテナレベル
BS・110度CSアンテナ電源供給 供給する
BSパススルーモード設定 設定しない
BS中継器切換
110度CS中継器切換
▲▼で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

3 カーソルボタン▲·▼で「供給する」または「供給しない」を選び、決定ボタンを押す

- 項目を選ぶとその状態に設定されます。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

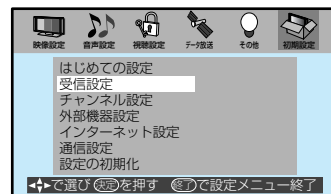
- 本機の主電源を切った状態では、アンテナ電源は供給されません。
- 「供給する」に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では通常アンテナ電源が供給されませんが、契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などの際には自動的にアンテナ電源が供給されます。
- 196ページの「BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた」も合わせてご覧ください。

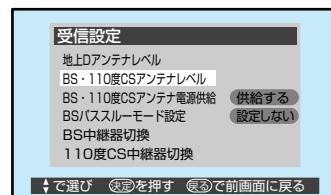
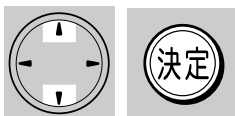
BS・110度CSデジタル用アンテナの方向調整をする

- アンテナレベル表示を使って、BSまたは110度CSデジタル放送受信のためのアンテナの方向調整を行います。
- アンテナレベルは、アンテナ角度の最適値を確認するためのものです。この数値が最大になるようにアンテナの方向を調整してください。
- アンテナの調整方法については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

1 以下の操作で「受信設定」画面にする

① メニューボタンを押す
② カーソルボタン▲・▼・◄・► で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン◄・► で「初期設定」を選ぶ
④ カーソルボタン▲・▼ で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

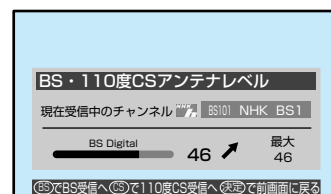
はじめての設定
受信設定
チャンネル設定
外部機器設定
インターネット設定
通信設定
設定の初期化

2 カーソルボタン▲・▼ で「BS・110度CSアンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す

受信設定
地上Dアンテナレベル
BS・110度CSアンテナレベル
BS・110度CSアンテナ電源供給　供給する
BSパススルーモード設定　設定しない
BS中継器切換
110度CS中継器切換

3 BSボタンまたはCSボタンを押して放送の種類（BS または 110 度 CS）を切り換える

4 現在放送が行われているチャンネルを選局する

- チャンネルボタン∧・∨で選局できます。

5 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルが大きくなると ↗ が表示され、小さくなると ↘ が表示されます。
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がってないことを確認してください。

（例）BSチャンネルの場合
（BSアンテナレベル画面）

6 アンテナを固定して、決定ボタンを押す

7 ［通常画面に戻るには］ 終了ボタンを押す

お知らせ

■映像が出ない場合

- 契約していないチャンネルを選んでいる場合があります。
  契約しているチャンネルまたは無料のチャンネルを選んで、アンテナの調整をしてください。

■アンテナ線がショートした場合

- 手順**5**の画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示されます。
  その場合は、一度主電源を切り、ショートの原因を取り除いてから、もう一度主電源を入れて手順**1**からやり直してください。

電話回線の接続

● 電話回線は、以下の場合に使用します。
- ペイ・パー・ビュー番組を購入する場合。
- クイズ番組への参加や通販番組での商品購入など、双方向データ放送をBSまたは110度CSデジタル放送で行う場合。（地上デジタル放送でも使用する場合があります。）

⚠注意

■ **モジュラー分配機、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしないこと**
- 電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに高い衝撃電流が流れますので、感電の原因となります。

■ **正しく接続すること**
- 正しく接続しないと本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

●以下によって、電話回線の状態を確認してから、電話回線の接続を行ってください。

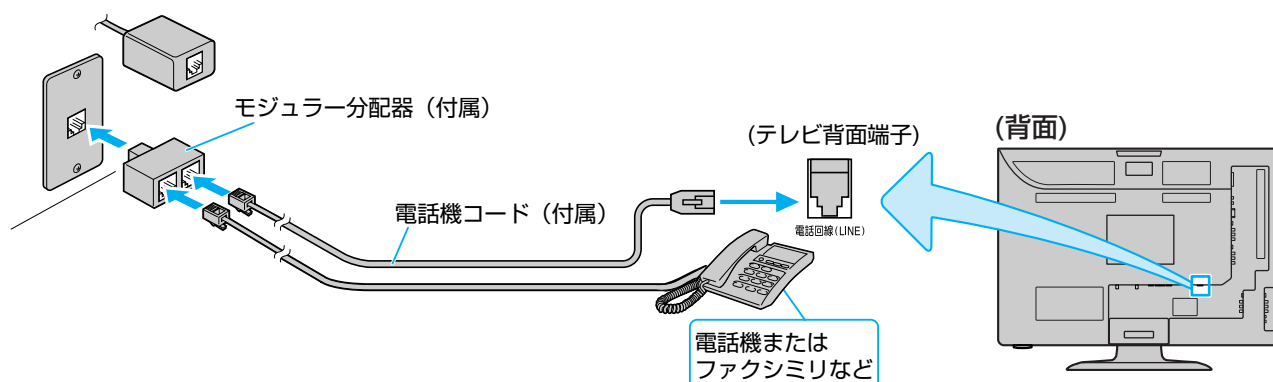
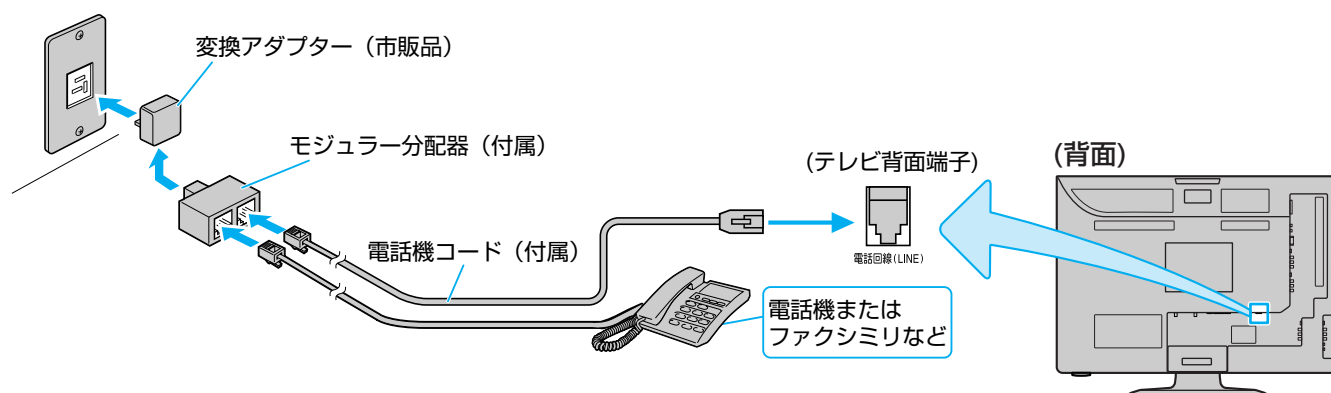
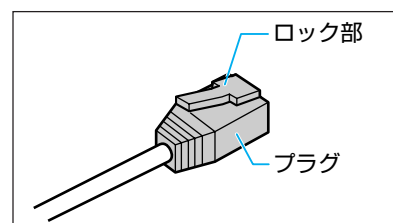
電話回線状態の確認

通常の電話回線か？
ISDN回線（デジタル回線）か？
通常の電話回線
ISDN回線
通常時、外線に切り換えるために、
0～9、＊、＃以外のボタンを押すか？
0～9、＊、＃以外のボタンを押す
0～9、＊、＃を押す
209ページの操作で、
外線発信番号の設定を行う
先へ
ボタンを押さない
電話機が2台以上あるか？
1台
2台以上
ターミナルアダプターを使用しているか？
はい
いいえ
コードレスフォンか？
はい
いいえ
電話機の主装置、ターミナルボックス、
またはドアフォンアダプターは、
壁に埋め込まれているか？
はい
電話機間で、内線通話が可能か？
いいえ
はい
いいえ
モジュラーコンセントか？
はい
いいえ
3ピン差し込みコンセントか？
はい
いいえ

①付属品だけで接続可能です。
（201ページ「モジュラーコンセントの場合」参照）
②専門業者による工事が必要です。
③専門業者による工事が必要です。
④構内交換機（PBX）を使用している可能性が高いので、
交換機を通さない電話回線につないでください。
⑤市販の変換アダプターを用いて接続してください。
（201ページ「3ピン差し込みコンセントの場合」参照）
⑥ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナル
アダプターのアナログポートに接続してください。
⑦本機をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。

- ②または③の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番に工事のお問い合わせをしてください。
電話工事は、資格が必要で有料となります。無資格の方は工事できません。

電話回線とのつなぎかた

モジュラーコンセントの場合

3ピン差し込みコンセントの場合

- **電話機コードのプラグをEther（イーサ）端子にはつながないでください。Ether（イーサ）端子がこわれる場合があります。**
- 電話機コードの抜き差しをするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。
  抜くときは、電話機コードを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（右図を参照）

お知らせ

- 本機がセンターと通信中は、電話機やファクシミリのご使用はできません。
- 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、PHSには接続できません。
- 構内交換機（PBX）には使用できないものがあります。
- 付属の電話機コード（10m）が短い場合は、市販の電話機コードをお求めください。
- 電話機やファクシミリをご利用にならないときは、直接電話回線につないでください。
- ホームテレホンを接続される場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- キャッチホン契約をされている場合は、本機の通信中に電話がかかってくると、エラーが生じ通信が終了します。
- キャッチホンⅡで契約されている場合は、通信はそのまま継続されます。
- 電話機やファクシミリを使用中のときは、本機での通信はできません。
- 一部のダイヤル式の電話機をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信を行っているときに、電話機の呼出音が鳴る場合があります。
  呼出音が鳴らないようにしたい場合は、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。
- ノイズの混入があると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

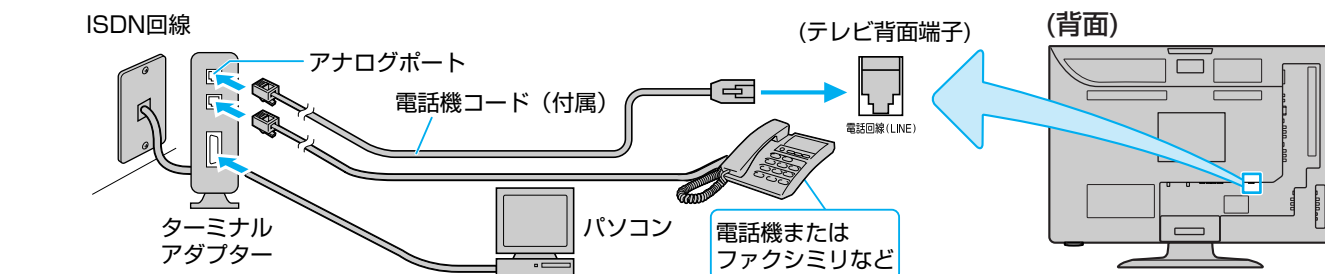
電話回線の接続 つづき

電話回線とのつなぎかた つづき

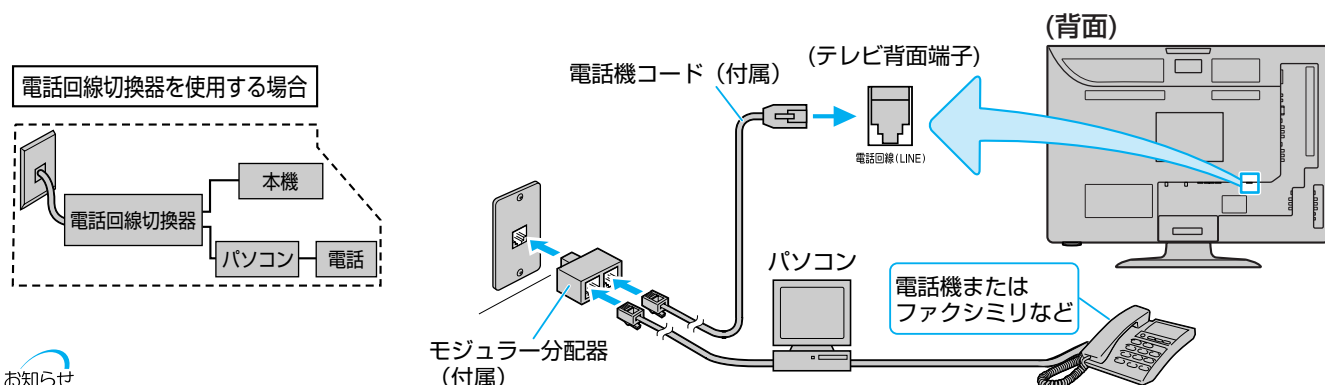
■いろいろな場合のつなぎかた

- 電話機コードのプラグをEther(イーサ)端子にはつながないでください。Ether(イーサ)端子がこわれる場合があります。

●ISDN回線の場合

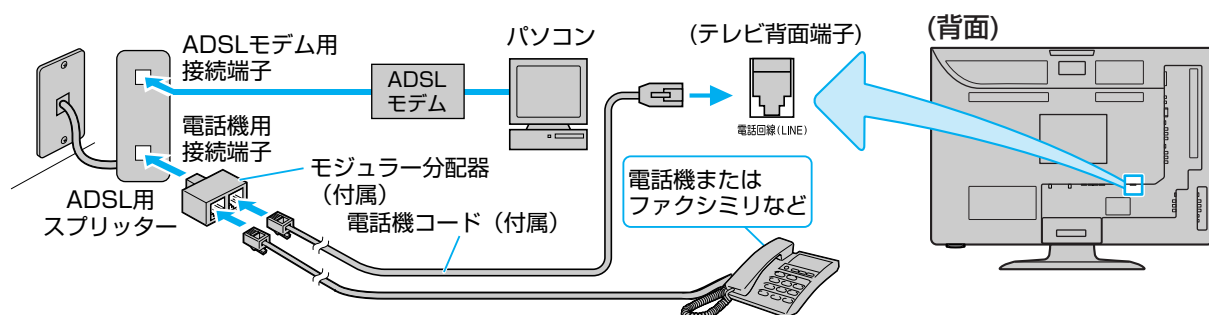
- ターミナルアダプター(市販品)を使用し、本機をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ISDN回線にモジュラー分配器をつないで本機を接続しないでください。
- ターミナルアダプターのアナログポートに本機を接続し、「電話回線の設定」の「ダイヤル方式」で「トーン」に設定してください。（詳しくは「ダイヤル方式の設定」（210ページ）を参照してください。）

●パソコンを接続している場合

お知らせ

- 同じ電話回線に電話機やパソコン、ファクシミリなどを接続した場合、接続した機器の影響で、電話機の呼出音が鳴ることや、通信が正しく行われない場合があります。このような場合は、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器（2口）などをご使用ください。

●ADSLモデムを使用している場合

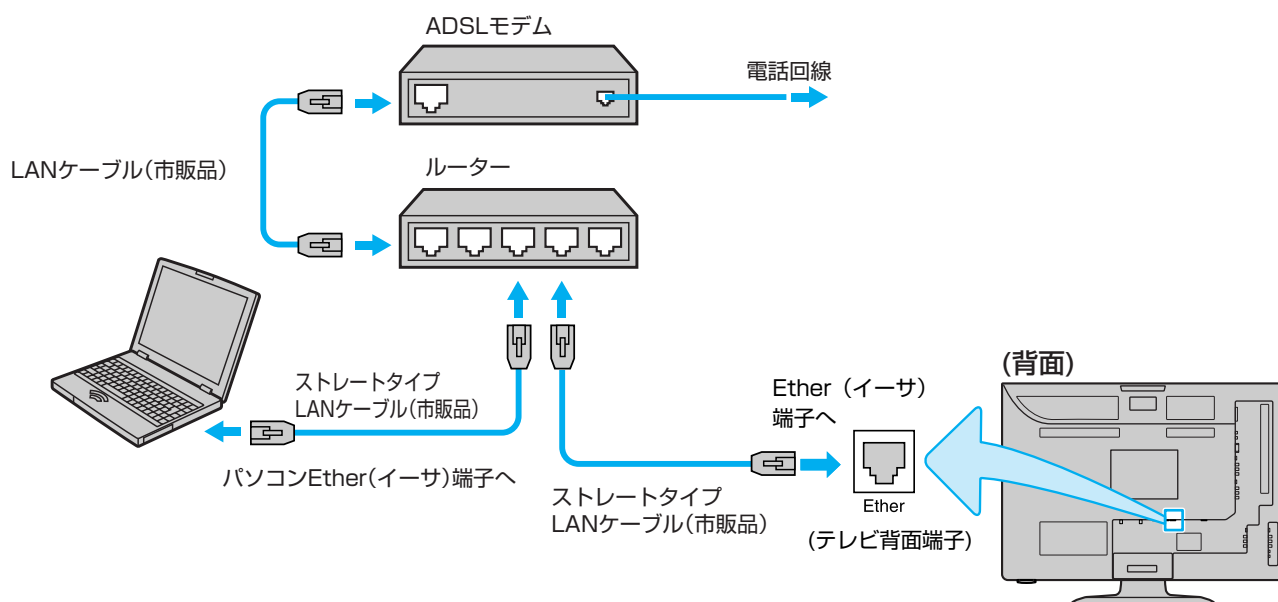
- 電話回線にADSLモデムが接続されている場合は、ADSL用スプリッター(市販品)を使用し、ADSL用スプリッターの電話機用接続端子にモジュラー分配器(付属)をつないで本機を接続してください。詳しくは、ADSL用スプリッターの取扱説明書をご覧ください。

Ether（イーサ）端子の接続

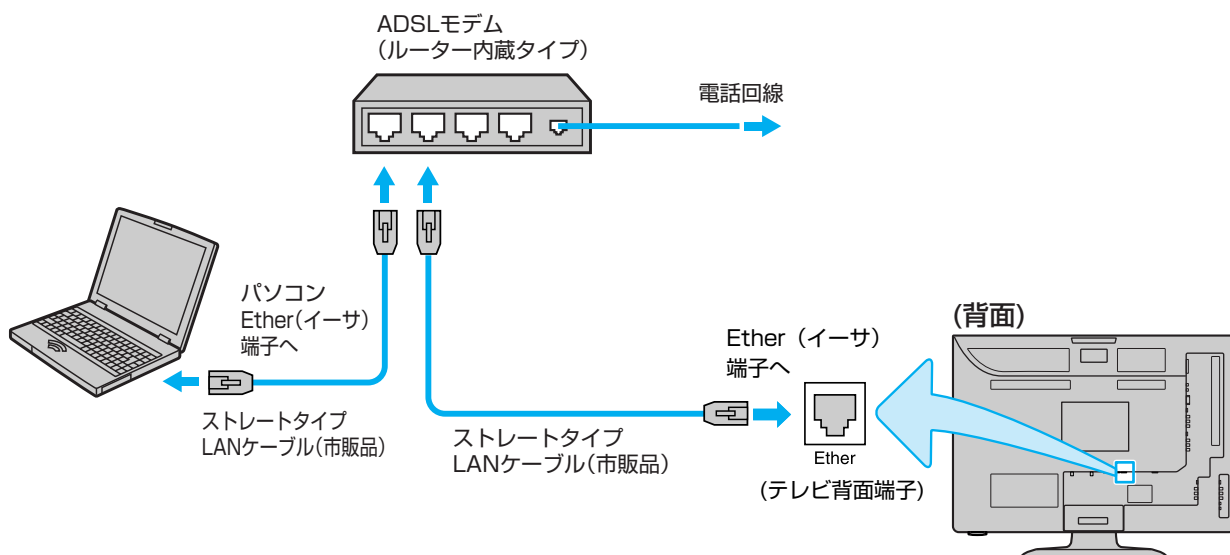
つなぎかた

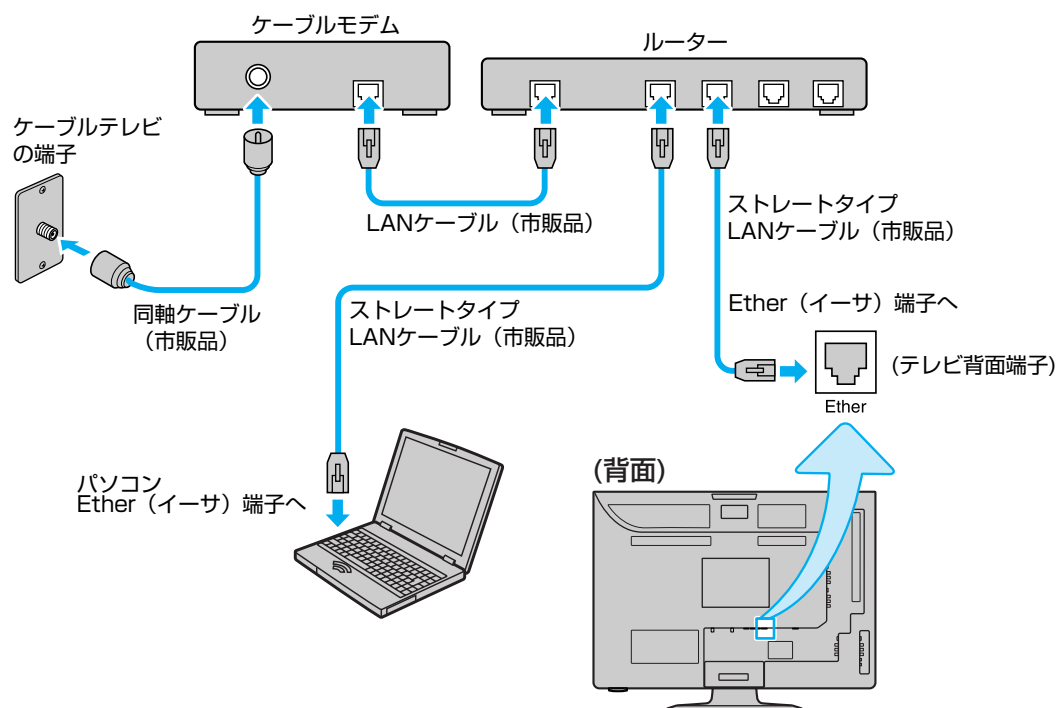
● 地上デジタル放送の双方向通信サービス機能をEther（イーサ）端子を使って楽しむときのつなぎかたです。

はじめに

● **ここではイーサネット通信（ADSLなど）ができる環境であることを前提とした説明になっています。**
・ご使用のモデムやルーターなどの取扱説明書もご覧ください。
・イーサネット通信ができる環境をお持ちでない場合は、導入や契約などについてお買い上げの販売店、またはADSLなどの回線事業者にご相談ください。

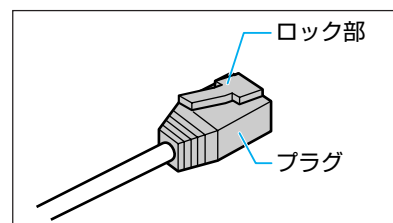
● **本機では、ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどの設定はできません。**
ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどによっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。

例1：ルーター機能がないADSLモデムを使用している場合

例2：ルーター機能のあるADSLモデムを使用している場合

つなぎかた つづき

例3：ケーブルテレビインターネットを使用している場合

■本機が接続できるルーターについて

- 以下の製品については正常に通信できることが確認されています。
  ほかの製品の場合には、正常に通信できない場合があります。
  また、以下の製品でもワイヤレス（無線）LAN機能については、正しく動作しない場合があります。

メーカー名	形　名
プラネックスコミュニケーションズ（株）	BLW-03FA

- **電話機コードのプラグをEther（イーサ）端子にはつながないでください。Ether（イーサ）端子がこわれる場合があります。**
- LANケーブルの抜き差しをするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- LANケーブルの抜き差しは、プラグを持って行ってください。
  抜くときは、LANケーブルを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（右図を参照）
- 接続を変更した場合は、本体の主電源スイッチを押して電源を切り、電源を入れ直してください。

- 136ページの「ご注意」と「お知らせ」もよくお読みください。

はじめての設定をする

● 最初に必要な設定をまとめて行います。

はじめての設定

● 設定項目は下表のとおりです。
「はじめての設定」を行うと、それまでに設定していた下表の各項目のデータはすべて消去されますのでご注意ください。
各放送局ごとに本機に記憶された個人情報（たとえば、視聴ポイント数など。213ページ参照）については消去されません。

設定項目	内　容
地上放送チャンネル設定	地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネル設定を同時に行います。 また、地域の設定も行います。
郵便番号の設定	お住まいの地域に応じたデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）や緊急警報放送を受信したり、電話回線を通して最寄のアクセスポイントでご利用いただくための設定です。
電話回線設定	デジタル放送では電話回線を利用した双方向通信サービスが行われています。 それらのサービスを楽しむための設定です。 ※地上デジタル放送の場合には、ダイヤルアップ通信やイーサネット通信などの接続が必要な場合もあります。 （詳しくは 62 ページの「双方向通信サービス」の項目を参照）
簡易確認テスト	地上Ｄ受信テスト、BS・110 度 CS 受信テスト、B-CAS カードテスト、電話回線テストをまとめて行います。

■地上放送チャンネル設定について

● 地上アナログ放送の場合

・入力された地方、地域に応じて、チャンネルがリモコンの地上専用ダイレクト選局ボタンに自動的に設定されます。
自動設定される内容については「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（→230ページ）をご覧ください。

● 地上デジタル放送の場合

・「初期スキャン」（→207ページ）を行い、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンのダイレクト選局ボタン（または地上専用ダイレクト選局ボタン）に放送の運用規定に基いて自動設定します。
［お買上げ時には、ダイレクト選局ボタン（1～12）に設定されていますが、「デュアルポジション設定」（→246ページ）の「地上A⇔地上D切換」で地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）を地上デジタル放送の選局用に切り換えると地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）に設定されます。］
自動設定は、入力された地方、地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。
・初期スキャンは（VHF1～12）→（UHF13～62）→（CATV13～63）の順で行われます。

※自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動チャンネル設定」（→222ページ）で行ってください。
※電波が弱い場合には、初期スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

■地方と地域の設定について

● チャンネルの自動設定は、206ページの手順**6**～**8**で設定された地方、地域に基いて行われます。
208ページでも郵便番号を設定することにより地域を設定しますが、それはデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）を受信したり、電話回線を通して最寄りのアクセスポイントでご利用いただくための設定であり、206ページの手順**6**～**8**の設定とは別に設定できるようになっています。

■新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき

● 地上デジタル放送については、受信できたチャンネルのみが設定されます。
新たに開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合は「初期設定を個別に行うとき」で「再スキャン」（→220ページ）をしてください。

[次のページにつづく]

はじめての設定をする つづき

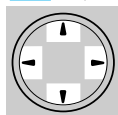
はじめての設定 つづき

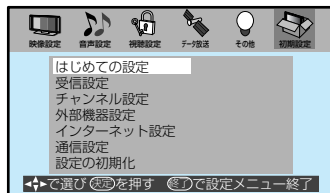
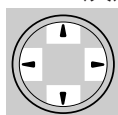
地上放送チャンネル設定

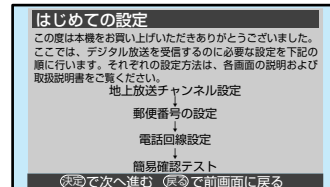
- 地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネル設定を同時に行います。また、データ放送の地域も同時に設定します。
- 詳しい動作については、205ページの「お知らせ」をご覧ください。

1 メニューボタンを押す

- 画面にメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·► で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◄·► で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼ で「はじめての設定」を選んで、決定ボタンを押す

4 画面の説明を読んだあと、決定ボタンを押す

- 地上放送チャンネル設定→郵便番号の設定→電話回線設定→簡易確認テストの順に続けて行います。

5 画面の説明を読んだあと、決定ボタンを押す

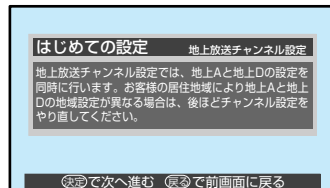
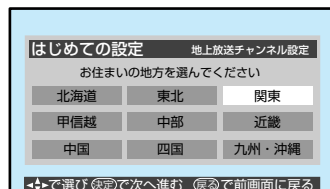
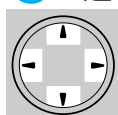
- のちほどチャンネル設定をやり直す場合は、214ページをご覧ください。

はじめての設定　地上放送チャンネル設定
地上放送チャンネル設定では、地上Aと地上Dの設定を同時に行います。お客様の居住地域により地上Aと地上Dの地域設定が異なる場合は、後ほどチャンネル設定をやり直してください。
決定で次へ進む　戻るで前画面に戻る

6 カーソルボタン▲·▼·◄·► でお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す

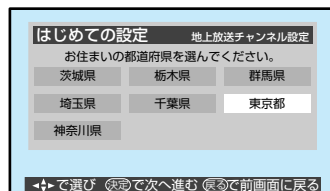
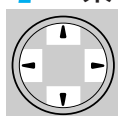
はじめての設定　地上放送チャンネル設定
お住まいの地方を選んでください

北海道	東北	関東
甲信越	中部	近畿
中国	四国	九州・沖縄

で選び 決定で次へ進む　戻るで前画面に戻る

7 カーソルボタン▲·▼·◄·► でお住まいの都道府県を選び、決定ボタンを押す

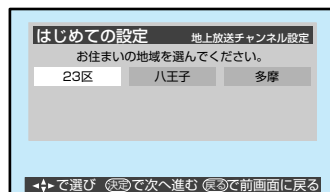
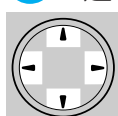
はじめての設定　地上放送チャンネル設定
お住まいの都道府県を選んでください。

茨城県	栃木県	群馬県
埼玉県	千葉県	東京都
神奈川県		

で選び 決定で次へ進む 戻るで前画面に戻る

8 カーソルボタン▲·▼·◄·► でお住まいの地域を選び、決定ボタンを押す

はじめての設定　地上放送チャンネル設定
お住まいの地域を選んでください。

23区	八王子	多摩

で選び 決定で次へ進む 戻るで前画面に戻る

9 画面の説明を読んだあと、以下を行う

● 地上デジタル放送の初期スキャンをする場合

● **カーソルボタン ◀・▶ で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

・ 初期スキャンが自動的に始まります。
 終了するまでしばらくお待ちください。

・ 初期スキャンが終わると手順**10**の画面が表示されます。
 これで、地上デジタルチャンネルのリモコンのダイレクト選局ボタンへの自動登録が終了しました。手順**10**に進んでください。

・ 設定された内容の確認や変更をしたい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあと、「手動チャンネル設定」(→224ページ)で行ってください。

・ ここで行われた地上放送チャンネル設定についての詳しい説明は、205ページの「お知らせ」をご覧ください。

右の画面が表示された場合

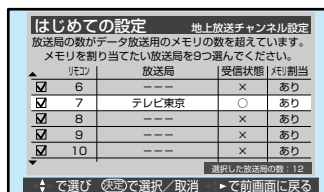
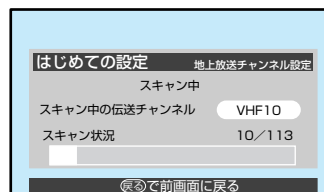
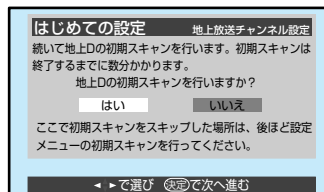
● 「データ放送用メモリの割当て」(→213ページ)を行ってください。「データ放送用メモリの割り当て」が終了すると、次は手順**10**に進みます。

はじめての設定　地上放送チャンネル設定

放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。
メモリを割り当てたい放送局を9つ選んでください。

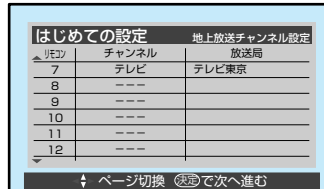
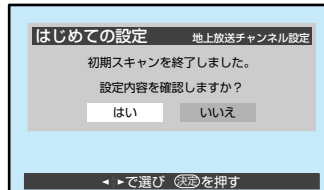
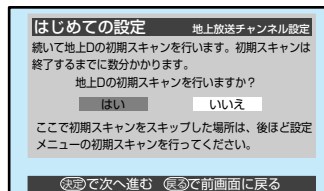
	リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
☑	6	―――	×	あり
☑	7	テレビ東京	○	あり
☑	8	―――	×	あり
☑	9	―――	×	あり
☑	10	―――	×	あり

選択した放送局の数：12

▲▼で選び 決定で選択／取消 ▶で前画面に戻る

● 地上デジタル放送の初期スキャンをしない場合

● **カーソルボタン ◀・▶ で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

・ あとで初期スキャンをする場合は、「自動チャンネル設定」の「初期スキャン」(→217ページ)で行ってください。

・ 次は手順**11**に進みます。

10 [手順9で「はい」を選んだ場合] 右の画面が表示されたら、以下を行う

設定された内容を確認する場合

① **カーソルボタン ◀・▶ で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

② **設定内容を確認したら、決定ボタンを押す**

● 次は手順**11**に進みます。

設定された内容を確認しない場合

● **カーソルボタン ◀・▶ で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

・ 次は手順**11**に進みます。

はじめての設定　地上放送チャンネル設定

初期スキャンを終了しました。

設定内容を確認しますか？

はい　いいえ

◀ ▶で選び 決定を押す

[次のページにつづく]

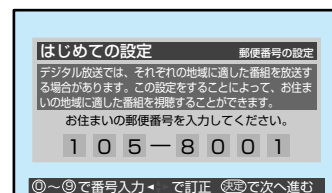
はじめての設定をする つづき

はじめての設定 つづき

郵便番号の設定

- お住まいの地域に応じたデータ放送（天気予報·選挙速報）を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ通信をするため、もよりのアクセスポイントでご利用いただくための設定です。郵便番号を設定することにより、地域を指定します。

11 **数字ボタン0～9（⑪～⑨）であなたのお住まいの郵便番号を入力し、決定ボタンを押す**

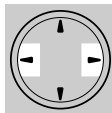
- 入力を間違えた場合は、カーソルボタン◄でカーソルを戻してからもう一度入力してください。
- 次は手順**12**に進みます。

- データ放送を受信している状態でここでの設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されていません。そのため、設定終了後、再度データ放送を選局し直してください。
- 郵便番号入力で上3桁を入力して決定ボタンを押すと残り4桁は自動的に「0」が入力されます。
- 上2桁までの入力で決定ボタンを押すと、エラーになります。決定ボタンを押してもう一度入力してください。

電話回線設定(外線発信番号の設定)

12

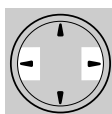
[電話回線の設定を行うには]

右の画面でカーソルボタン ◀・▶ を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

- 次は手順**13**に進みます。

電話回線の設定を行わない場合

- **カーソルボタン ◀・▶ で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - ・次は手順**17**の確認画面に進みます。

13

右の画面で以下を行う

- ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。

外線発信番号が必要な場合

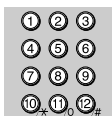
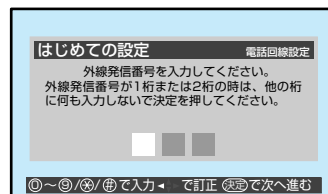
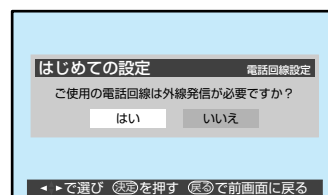
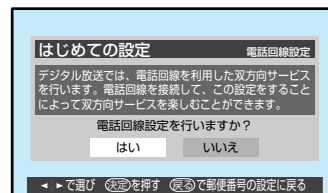
- **カーソルボタン ◀・▶ で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
  - ・次は手順**14**に進みます。

外線発信番号が不要な場合

- **カーソルボタン ◀・▶ で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - ・次は手順**15**に進みます。

14

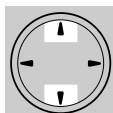
[手順**13**で「はい」を選んだ場合]

外線発信番号を入力して、決定ボタンを押す

- 数字ボタン0〜9(⑪～⑨)、＃(⑫)、∗(⑩)のボタンを押すことで設定します。(左詰めで入力してください)
- 最大3桁までの設定ができます。
- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀で前の桁に戻り、設定をやり直してください。
- １桁、または2桁の設定を行う場合は、左詰めで入力し他の桁には何も入力しないで、決定ボタンを押してください。
  ※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。
- 次は手順**15**に進みます。

[次のページにつづく]

はじめての設定 つづき

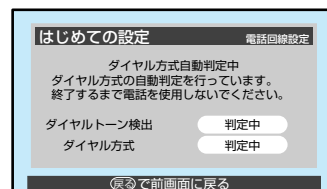
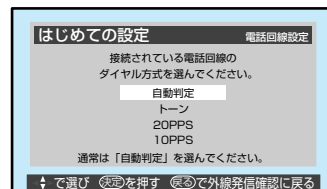
電話回線設定(ダイヤル方式の設定)

15 カーソルボタン▲・▼で設定するダイヤル方式を選び、決定ボタンを押す

- 通常は「自動判定」を選びます。

「自動判定」を選んだ場合

- 判定中は右の画面になります。
- 最初に「ダイヤルトーン検出」(電話回線が正しく接続されていることのチェック)が行われ、続いて「ダイヤル方式」の自動判定が行われます。
- 自動判定が終了すると判定結果が表示されます。次は手順**16**に進みます。

「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合

- 右のメッセージの場合
  - ・電話回線の接続確認(→200～202ページ)をしてから、もう一度行ってください。

ダイヤル方式判定エラー
ダイヤル方式の自動判定でダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話回線が正しく接続されているか確認してください。
決定を押す

お知らせ

- 電話回線の種類によっては、自動判定できない場合があります。上記を行っても自動判定できない場合は、決定ボタンを押してダイヤル方式設定の画面に戻り、ご使用になっている電話回線のダイヤル方式(トーン、20PPS、10PPS)を選んで決定ボタンを押し、手順**16**に進みます。
- ダイヤル方式がご不明の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番にお問い合わせください。

- 右のメッセージの場合
  - ・「外線発信番号あり」に設定している場合で、さらに、263ページで外線発信後の待ち時間を設定している場合は、右のメッセージが表示され、ダイヤル方式自動判定ができません。この場合は上記「お知らせ」と同じ操作により「ダイヤル方式」を設定してください。

自動判定が終了しない場合

- 3分以上たっても終了しない場合は、戻るボタンを押して自動判定を中止し、電話回線との接続が正しく行われているか確認してください。(→200～202ページ)

16 [手順**15**で「自動判定」を選んだとき]
判定結果を確認して、決定ボタンを押す

17 設定内容を確認する

- 設定内容を変更する場合は戻るボタンを押してください。戻るボタンを押すごとに、「はじめての設定」の各項目の最初の画面に戻ります。

はじめての設定
設定を完了しました。
地方/地域　：関東/東京都
郵便番号　：105－8001
ダイヤル方式：トーン
外線発信番号：なし
続けて簡易確認テストを行いますか？
はい　いいえ
◄・►で選び 決定を押す 戻るで電話回線設定に戻る

設定内容によって表示は異なります。

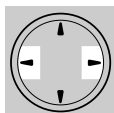
簡易確認テストをする場合

- 次は手順**18**に進みます。

簡易確認テストをしない場合

- **カーソルボタン◄・►で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - ・これで「はじめての設定」は終了です。
- **通常画面に戻るには、終了ボタンを押す**

簡易確認テスト

18 **カーソルボタン ◄・► で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

- 簡易確認テストが開始されます。
- 受信テストは、BS → 110度CS → 地上Dの順に行われます。

地上デジタル放送を受信する場合

- 以下の操作で、伝送チャンネルごとの受信テストをします。
  ①カーソルボタン ◄・► で伝送チャンネルを選ぶ
  ・ 選んだ伝送チャンネルの受信テストを行います。
  ②他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順①と同じ操作を行う

- 戻るボタンを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
- **「テスト結果」については、次ページをご覧ください。**

19 [簡易確認テストが終了したら]
決定ボタンを押す

- これで「はじめての設定」は終了です。
- 通常画面に戻るには、終了ボタンを押します。

[次のページにつづく]

- 手順**18**の「電話回線テスト」では、イーサネット通信の「接続テスト」(→273ページ)は行われません。

はじめての設定 つづき

■テスト結果について

■地上D受信テスト

● 地上デジタル放送が受信できることをテストします。

正しい場合

● 「正常に受信できています。」が表示されます。

「正しく受信できません。」が表示された場合

● 「アンテナ線の接続と設定」(→192ページ)を確認してください。また、放送の停止や放送の変更などのため、受信できなかった場合があります。

■BS・110度CS受信テスト

● BSデジタル放送と110度CSデジタル放送が受信できることをテストします。

正しい場合

● 「正常に受信できています。」が表示されます。

「正しく受信できません。」または「BS(110度CS)は受信できますが110度CS(BS)が受信できません。」が表示された場合

● 「アンテナ線の接続と設定」(→192ページ)と「受信設定」(→250ページ)を参照し、もう一度設定の状態を確認してください。

■カードテスト

● 本機で使えるカードかどうかテストします。

正しい場合

● 「正常に動作しています。」が表示されます。

「このB-CASカードはご使用になれません。」が表示された場合

● B-CASカードを確かめてください。
● B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

「B-CASカードを正しく挿入してください。」が表示された場合

● B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」が表示された場合

● B-CASカードを挿入後、もう一度簡易確認テストを行ってください。

「B-CASカードが故障しています。」が表示された場合

● B-CASカードを交換してください。
● B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。

■電話回線テスト

● 電話回線が正しくつながることをテストします。

「電話回線の接続を確認しました。」が表示された場合

● 正しく接続されています。

「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」が表示された場合

● 「電話回線の接続」(→200ページ)および「電話回線設定」(→209ページ)を参照し、もう一度接続・設定の状態を確認してください。

「電話回線の接続を確認できませんでした。」が表示された場合

● ダイヤル方式の設定が間違っているか、ターミナルアダプターを使用していることが考えられます。詳しくは202、210ページをご覧ください。

「外線発信番号の設定により電話回線テストができませんでした。」が表示された場合

● 209や263ページで外線発信番号ありに設定し、さらに263ページで外線発信後の待ち時間を設定している場合は、電話回線テストはできません。電話回線が正しくつながっていることを確認するには「センターと接続できることを確認する場合」(→266ページ)を行うことをおすすめします。

データ放送用メモリの割当て

- 207ページの手順**9**や、217ページの手順**5**などで、データ放送用メモリの割当て画面が表示されたときの設定方法について説明します。

個人情報とデータ放送用メモリの割当てについて

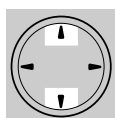
- 地上デジタル放送の場合、放送局ごとに視聴者個人情報(たとえば、視聴ポイント数など)を利用したサービスが行われる場合があり、本機はその個人情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリに記憶しています。
  通常、メモリは足りていますが、たとえば、引っ越しをした場合で、以前受信していた放送局の設定が残っていたときなどには、放送局の数が本機のメモリの数を超えてしまうことがあります。
  その場合には、初期スキャン時などに、データ放送用メモリの割当て画面(下の手順**1**の画面)が表示されますので、以下の操作でメモリを割り当てる放送局を設定してください。
  メモリを割り当てなかった放送局については、個人情報がすべて消去されますのでご注意ください。

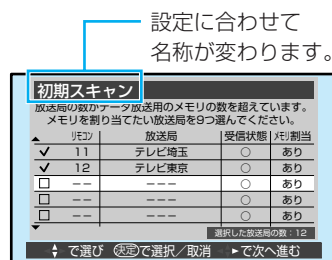
はじめに データ放送用メモリの割当て画面(右下図)が表示されていることを確認する

1 カーソルボタン▲·▼で、メモリを割り当てる放送局を選び、決定ボタンを押す

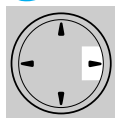
設定に合わせて名称が変わります。

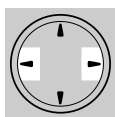
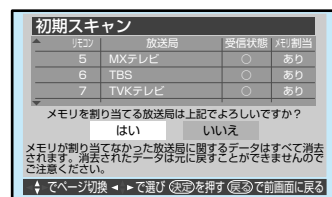
初期スキャン			
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。メモリを割り当てたい放送局を9つ選んでください。			
リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
✓ 11	テレビ埼玉	○	あり
✓ 12	テレビ東京	○	あり
□ −−	−−−	○	あり
□ −−	−−−	○	あり
□ −−	−−−	○	あり

選択した放送局の数：12
▲▼で選び 決定で選択／取消 ►で次へ進む

- 選んだ放送局にチェックマーク「✔」がついて指定されます。
  もう一度決定ボタンを押すと、指定が取り消されます。

- リモコンのダイレクト選局ボタン、または地上用ダイレクト選局ボタンに設定されている放送局(画面表示の放送局名表示の左側に1〜12の数字が表示されています)については、メモリが割り当てられるように自動的に設定されています。設定を取り消すことはできません。
- **このあと、手順2〜4の操作をすると、メモリ割当ての指定をしなかった放送局の個人情報はすべて消去されます。**
  消去された情報は元に戻すことはできませんのでご注意ください。

2 手順 1 の操作を繰り返し、九つの指定をする

- ダイレクト選局ボタン、または地上専用ダイレクト選局ボタン(1〜12または①〜⑫)については自動的に設定されます。
  それらを除いた九つについて指定します。

3 カーソルボタン►を押す

- 手順**4**の画面になります。(確認メッセージが表示されます。)
- 九つよりも多い場合や少ない場合には、その旨のメッセージが表示されます。
  決定ボタンを押したあと、手順**1**〜**2**の操作を行い、九つの指定を行ってください。

4 カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- 指定した放送局についてデータ放送用メモリが割り当てられます。
  それ以外放送局の個人情報はすべて消去されます。

5 このページの設定をする前の操作を続ける

■「はじめての設定」の中の「初期スキャン」の場合 ····· 207ページの手順**10**へ
■「初期スキャン」の場合 ···························· 218ページの手順**6**へ
■「再スキャン」の場合 ···························· 220ページの手順**3**または221ページの手順**4**へ
■「手動チャンネル設定」の場合 ····················· 225ページの手順**8**へ

初期設定を個別に行うとき

チャンネル設定

チャンネル設定について

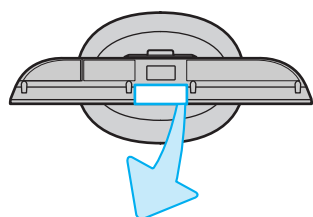
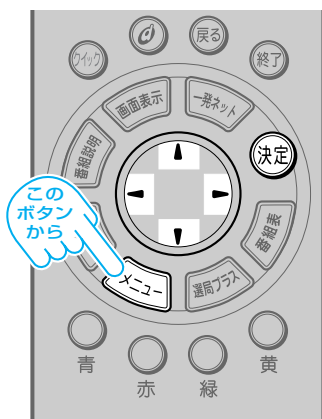
- 受信するチャンネルを本機に設定します。
- 「はじめての設定」(➞205ページ)がお済みで、特に変更の必要がない場合は、「チャンネル設定」を行う必要はありません。
- ダイレクト選局ボタン(1～12)に設定した地上放送のチャンネルは、地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)にも反映されます。

  [地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)は、地上アナログチャンネルまたは地上デジタルチャンネルのどちらかの状態に設定できます。(➞246ページ)
  お買上げ時は、地上アナログチャンネルの状態になっています。]
- チャンネル設定には、自動チャンネル設定と手動チャンネル設定があります。詳しくは下表とそれぞれの設定ページをご覧ください。

※通常は、自動チャンネル設定で行います。

設定項目	放送の種類	内容	設定ページ
自動チャンネル設定	地上アナログ放送	● お使いになる地域に設定すると、その地域で放送されている地上アナログ放送（VHF/UHF）のチャンネルおよび各放送局名が自動的に設定されます。 ● 地上アナログ放送の自動設定されるチャンネルは「地上アナログ放送の自動設定一覧表」(➞230ページ）をご覧ください。	215
	地上デジタル放送	● 地上デジタル放送の場合、初期スキャンと再スキャン、自動スキャンの三つがあります。	217
		・初期スキャン･･･ 地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンのダイレクト選局ボタンに放送の運用規定に基いて自動的に設定します。他の地域に引越しなどの際には、初期スキャンを行ってください。	217
		・再スキャン････ 新たに放送局が開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合には再スキャンを行ってください。	220
		・自動スキャン･･･ 電源待機時などに自動的にチャンネルのスキャンを行い、放送局の変更が見つかったときには、自動的に変更して同時に「本機に関するお知らせ」でご連絡する機能です。	49
手動チャンネル設定	・地上アナログ放送（CATV含む） ・地上デジタル放送 ・BSデジタル放送 ・110度CSデジタル放送	● リモコンのダイレクト選局ボタンに設定されている内容（チャンネル）を手動操作で変更したいときに行います。 ● 地上アナログ放送の場合は、以下のような場合にも手動設定をお使いください。 ・自動チャンネル設定で設定ができないとき ・お住まいの地域で放送局が増えたとき ・設定されたチャンネル表示を変えたいとき	222～228

【上面】 (→23ページ)

チャンネル設定 放送切換 入力切換 − 音量 ＋ ▼チャンネル▲

● 自動チャンネル設定は、本体ボタンとリモコンボタンのどちらでも操作できます。

■本体のチャンネル設定ボタンで操作する場合

① チャンネル設定ボタンをチャンネル設定メニューが出るまで数秒押す
  ● チャンネル設定ボタンは本体上面部にあります。

② 手順**3**以降を行う
  ● 下表を参照して、本体ボタンを使用してください。

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲·▼	チャンネル ▲·▼
カーソル◀·▶	音量 ＋·−
決定	入力切換
戻る	放送切換
終了	チャンネル設定

自動チャンネル設定

● 自動チャンネル設定には、地上アナログ放送の場合（以下）と地上デジタル放送の場合（→217ページ）があります。

● BSデジタルチャンネル、110度CSデジタルチャンネルについては、お買上げ時に設定されています。お買上げ時に設定されている内容については、34ページの表をご覧ください。
設定を変更する場合は「手動チャンネル設定」の「BSデジタル放送の場合」（→226ページ）、「110度CSデジタル放送の場合」（→228ページ）で行ってください。

■地上アナログ放送の場合

● ここでは、地上アナログ放送のチャンネルを自動設定します。

● ご使用になる地域で放送されているチャンネルを設定することができます。

● お買上げ時は、リモコンの①～⑫（または 1 ～ 12 ）にはVHFの1～12チャンネルが番号と同じに設定されています。

●地上アナログ放送の自動チャンネル設定の前に

● 以下の流れに従ってチャンネルを設定します。

「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（→230～241ページ）に、お使いになる地域・都市名が記載されていますか？

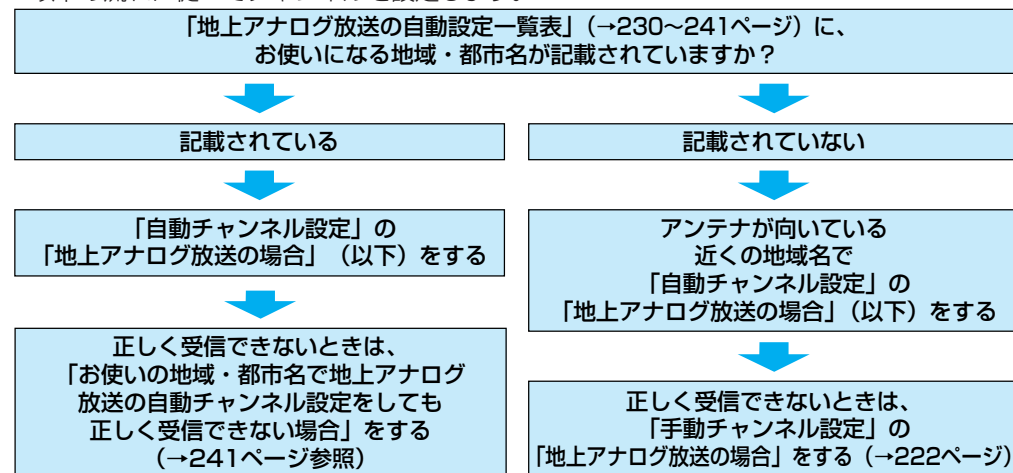
記載されている

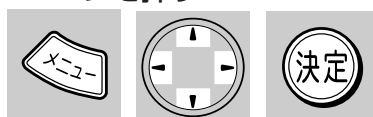
「自動チャンネル設定」の「地上アナログ放送の場合」（以下）をする

正しく受信できないときは、「お使いの地域・都市名で地上アナログ放送の自動チャンネル設定をしても正しく受信できない場合」をする（→241ページ参照）

記載されていない

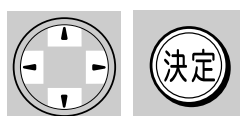
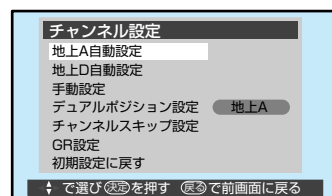
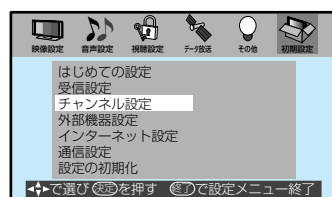
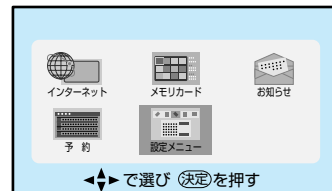
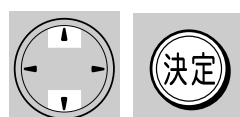
アンテナが向いている近くの地域名で「自動チャンネル設定」の「地上アナログ放送の場合」（以下）をする

正しく受信できないときは、「手動チャンネル設定」の「地上アナログ放送の場合」をする（→222ページ）

● 自動チャンネル設定は、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（→230～241ページ）の内容で設定されますが、チャンネルが変更になり受信できなくなることがあります。
受信できないチャンネルがあるときは、「手動チャンネル設定」（222ページ）で設定してください。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選んで、決定ボタンを押す

●「チャンネル設定」メニューが表示されます。

映像設定 音声設定 視聴設定 データ放送 その他 初期設定
はじめての設定
受信設定
チャンネル設定
外部機器設定
インターネット設定
通信設定
設定の初期化
で選び 決定を押す 終了で設定メニュー終了

3 カーソルボタン▲·▼で「地上A自動設定」を選び、決定ボタンを押す

最初の設置・接続・設定

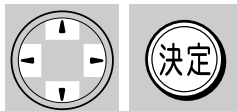
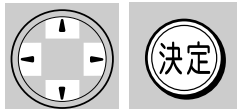
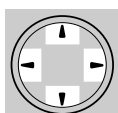
[次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

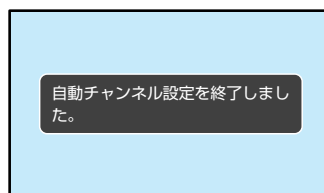
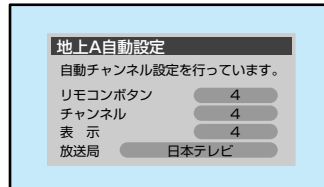
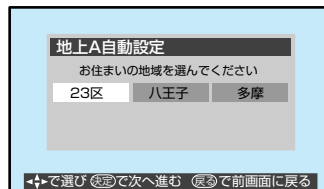
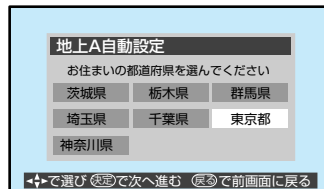
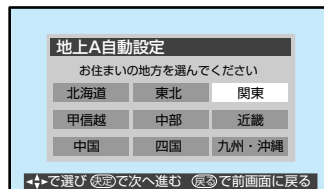
チャンネル設定 つづき

自動チャンネル設定 つづき

■地上アナログ放送の場合 つづき

4 カーソルボタン▲・▼・◀・▶でお住まいの地方名を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲・▼・◀・▶でお住まいの都道府県名を選び、決定ボタンを押す

6 カーソルボタン▲・▼・◀・▶でお住まいの地域・都市名を選び、決定ボタンを押す

- つぎつぎにチャンネル設定確認画面が表示されながら自動的にリモコンの①～⑫ボタン（または[1]～[12]ボタン）にチャンネルが設定されます。
- 自動で設定されるチャンネルは230～241ページの一覧表をご覧ください。

- 地上A自動設定が終わると、右のメッセージが数秒間表示されます。

自動チャンネル設定を終了しました。

7 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- バージョンアップによって、本機内に設定している「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（→230～241ページ）の内容が変わる場合があります。その結果、選択の手順4～6の項目が変わる場合もあります。
- 設定したチャンネルを一覧表示して確認する場合や受信できないチャンネルがあるときは、「手動チャンネル設定」の「地上アナログ放送の場合」（→222ページ）で設定してください。

■地上デジタル放送の場合

●初期スキャン

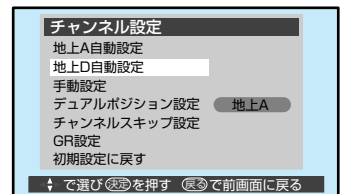
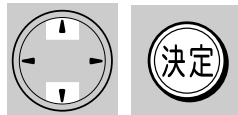
- 地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンのダイレクト選局ボタンに放送の運用規定に基いて自動的に設定します。

  ［お買上げ時には、ダイレクト選局ボタン(1～12)に設定されますが、「デュアルポジション設定」(→246ページ)の「地上Ａ⇔地上Ｄ切換」で地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)を地上デジタル放送の選局用に切り換えると地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)に設定されます。］
- 「はじめての設定」(→205ページ)の中の「初期スキャン」と同じ機能です。
- 「初期スキャン」を行うとこれまでに選局設定した内容は、すべて消去されて、設定し直されますのでご注意ください。
  各放送局ごとに本機に記憶された個人情報(たとえば、視聴ポイント数など。213ページの最初の説明を参照)については消去されません。
  「はじめての設定」終了後、地上デジタル放送の場合で、新たに開局したチャンネルを登録する場合や中継器が新設、変更された場合は、「再スキャン」(→220ページ)を行ってください。
- 設定されるチャンネルの目安については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧表」(→242ページ)をご覧ください。
- 地上デジタル放送チャンネル設定についての詳しい説明は、219ページの「お知らせ」をご覧ください。

1 215ページの手順1、2を行う

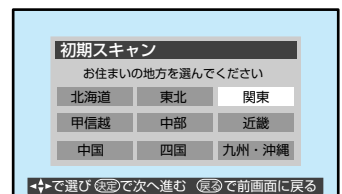
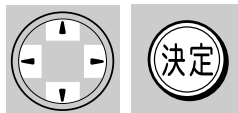
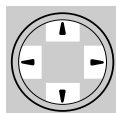
- 「チャンネル設定」メニューが表示されます。

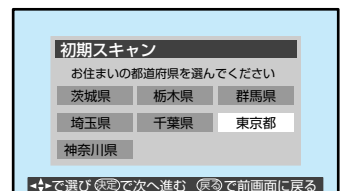
2 カーソルボタン▲·▼で「地上Ｄ自動設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル設定
地上A自動設定
地上D自動設定
手動設定
デュアルポジション設定　地上A
チャンネルスキップ設定
GR設定
初期設定に戻す
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

3 カーソルボタン▲·▼で「初期スキャン」を選び、決定ボタンを押す

地上D自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
本機設置後、地上デジタル放送を視聴するために初めて行う設定です。他の地域へ引越したときにも設定が必要となります。なお、本スキャンを行うと地上デジタル放送に関するチャンネル設定がすべて消去されますのでご注意ください。
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

4 カーソルボタン▲·▼·◄·► でお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す

初期スキャン
お住まいの地方を選んでください
北海道　東北　関東
甲信越　中部　近畿
中国　四国　九州・沖縄
で選び 決定で次へ進む 戻るで前画面に戻る

5 カーソルボタン▲·▼·◄·► でお住まいの都道府県または地域を選び、決定ボタンを押す

- 初期スキャンが自動的に始まります。
  終了するまでしばらくお待ちください。
- 初期スキャンが終わると手順6の画面が表示されます。
  これで、地上デジタルチャンネルのリモコンのダイレクト選局ボタンへの自動登録が終了しました。手順6に進んでください。
- 設定された内容の確認や変更をしたい場合は、「初期スキャン」終了後、「手動チャンネル設定」(→224ページ)で行ってください。

初期スキャン
お住まいの都道府県を選んでください
茨城県　栃木県　群馬県
埼玉県　千葉県　東京都
神奈川県
で選び 決定で次へ進む 戻るで前画面に戻る

右の画面が表示された場合

- 「データ放送用メモリの割当て」(→213ページ)を行ってください。「データ放送用メモリの割当て」が終了したら、次ページの手順6に進みます。

初期スキャン
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。メモリを割り当てたい放送局を9つ選んでください。

	リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
✓	1	NHK総合・東京	○	あり
✓	2	－－－	×	あり
✓	3	NHK教育・東京	○	あり
✓	4	日本テレビ	○	あり
✓	5	MXテレビ	○	あり

選択した放送局の数：12
で選び 決定で選択／取消 ►で次へ進む

[次のページにつづく]

お知らせ

- 初期スキャンの途中で戻るボタンや終了ボタンを押すと、初期スキャンを終了します。(初期スキャンした内容は本機に設定されません。)

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

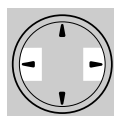
自動チャンネル設定 つづき

■地上デジタル放送の場合 つづき

●初期スキャン つづき

6 右の画面が表示されたら、以下を行う

設定された内容を確認する場合

①カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
②設定内容を確認したら、決定ボタンを押す

設定された内容を確認しない場合

●カーソルボタン◄·►で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■初期スキャンの動作について

- 初期スキャンを行うと、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、本機のメモリに設定します。
同時にダイレクト選局ボタン（または地上専用ダイレクト選局ボタン）へ放送の運用規定に基いて自動設定を行います。
ダイレクト選局ボタン（または地上専用ダイレクト選局ボタン）への自動設定は、設定された地方・地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。

 ［お買上げ時には、ダイレクト選局ボタン（1～12）に設定されていますが、「デュアルポジション設定」（→246ページ）で地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）を地上デジタル放送の選局用に切り換えると地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）に設定されます。］

 自動設定される状態については、「地上デジタル放送の放送（予定）一覧表」（→242ページ）が目安となります。
 ※ダイレクト選局ボタン（または地上専用ダイレクト選局ボタン）に自動設定された内容を変更したい場合は、手動チャンネル設定（→224ページ）で行ってください。
- 初期スキャンは（VHF1～12）→（UHF13～62）→（CATV13～63）の順で行われます。
- 初期スキャン後の各チャンネルの構成については、「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。
- 電波が弱い場合には、初期スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

■地方と地域の設定について

- チャンネルの自動設定は、217ページの手順**4**、**5**で設定された地方、地域に基づいて行われます。282ページでも地方、地域を設定しますが、それは、データ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）や緊急警報放送を受信したり、電話回線を通してもよりのアクセスポイントでご利用いただくための設定であり、217ページの手順**4**、**5**の設定とは別に設定できるようになっています。

■新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき

- 初期スキャンでは、受信できたチャンネルのみが設定されます。
新たに開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合は、「再スキャン」（→220ページ）を行ってください。

■「はじめての設定」と異なる部分について

- 「はじめての設定」（→205ページ）と「初期スキャン」では、地方・都道府県・地域の設定のしかたが異なっています。
これは、「はじめての設定」では、地上アナログと地上デジタルの設定を同時にまとめて行っているためです。

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

自動チャンネル設定 つづき

■地上デジタル放送の場合 つづき

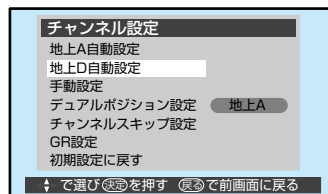
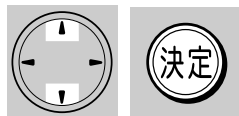
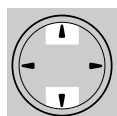
●再スキャン

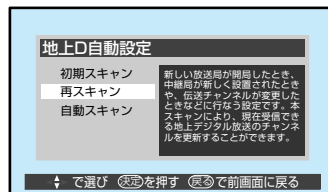
- 地上デジタル放送で、新たに開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルが増えたなど、放送に変更があった場合は、この「再スキャン」を行うことによって、チャンネルを自動的に追加設定することができます。
- 地上デジタル放送の設定をはじめて行う場合「初期スキャン」(→217ページ)を行ってください。「初期スキャン」が行われていない状態では「再スキャン」はできません。
- 設定されるチャンネルの目安については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧表」(→242ページ)をご覧ください。

1 215ページの手順 **1**、**2** を行う

- 「チャンネル設定」メニューが表示されます。

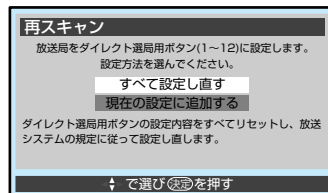
2 カーソルボタン▲·▼で「地上D自動設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル設定
地上A自動設定
地上D自動設定
手動設定
デュアルポジション設定 地上A
チャンネルスキップ設定
GR設定
初期設定に戻す
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

3 カーソルボタン▲·▼で「再スキャン」を選び、決定ボタンを押す

- 再スキャンが始まります。
  終了するまでしばらくお待ちください。
- 再スキャンが終わると手順**4**の画面になります。

地上D自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
新しい放送局が開局したとき、中継局が新しく設置されたときや、伝送チャンネルが変更したときなどに行なう設定です。本スキャンにより、現在受信できる地上デジタル放送のチャンネルを更新することができます。
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

「初期スキャン実行後に行ってください」が表示された場合

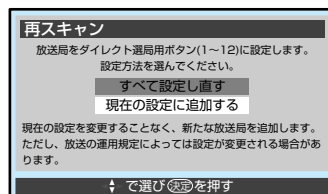
- 「初期スキャン」が行われていない状態では、「再スキャン」はできません。「初期スキャン」(→217ページ)を行ってください。

右の画面が表示された場合

- 放送局をダイレクト選局ボタンに設定する方法について、次のように選んでください。
  そのあとは、手順**4**に進んでください。

放送システム上の規定に従って、すべて設定し直す場合

- **カーソルボタン▲·▼で「すべて設定し直す」を選び、決定ボタンを押す**
  ・この場合、ダイレクト選局ボタンに設定されていた放送局はすべて削除されますので、ご注意ください。

未設定のダイレクト選局ボタンのみ、放送システム上の規定に従って設定する場合

- **カーソルボタン▲·▼で「現在の設定に追加する」を選び、決定ボタンを押す**
  ・この場合、すでに異なる放送局が設定されているダイレクト選局ボタンについては、新たな設定は行われません。
  ※放送の運用規定によって、その地域向けの放送が始まると、ダイレクト選局ボタンの設定が変わる場合があります。

- 再スキャンの途中で戻るボタンや終了ボタンを押すと、再スキャンを終了します。(再スキャンした内容は本機に設定されません。)

右の画面が表示された場合

● 「データ放送用メモリの割当て」(→213ページ)を行ってください。

再スキャン
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。
メモリを割り当てたい放送局を9つ選んでください。

	リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
✓	1	NHK総合・東京	○	あり
✓	2	―――	×	あり
✓	3	NHK教育・東京	○	あり
✓	4	日本テレビ	○	あり
✓	5	MXテレビ	○	あり

選択した放送局の数：12
▲▼で選び 決定で選択／取消 ►で次へ進む

4 右の画面が表示されたら、以下を行う

再スキャン
再スキャンを終了しました。
設定内容を確認しますか？
はい　いいえ
◄ ►で選び 決定を押す

設定された内容を確認する場合

①カーソルボタン ◄·► で「はい」を選び、決定ボタンを押す
②設定内容を確認したら、決定ボタンを押す

設定された内容を確認しない場合

● カーソルボタン ◄·► で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

■**再スキャンの動作について**

- 「初期スキャン」（→217ページ）の場合は、すでにダイレクト選局ボタンに設定されている放送局をすべて消去して、新たに放送局を設定し直します。
  再スキャンでは次のようになります。
  ・すでに放送局が登録されているダイレクト選局ボタンについて、再スキャンによって放送システム上の規定で設定すべき放送局が新たに見つかった場合、すでに登録されている放送局をそのまま残すのか、新たな放送局に設定し直すのかの選択ができます。
  （選択は、すべてのボタンについてまとめて行います。個別の選択はできません。個別に設定を変えたい場合は、再スキャン終了後に「手動チャンネル設定」（→224ページ）で行ってください。）
  ・新たな放送局が見つからなかったダイレクト選局ボタンについては、そのまま設定が残ります。
- 再スキャンは（VHF1～12）→（UHF13～62）→（CATV13～63）の順で行われます。
- 再スキャン後の各チャンネルの構成については、「チャンネル一覧」（→48ページ）でご確認ください。
- 再スキャンを行っても、枝番（→35ページ）については、通常は変更されません。
- 電波が弱い場合には、再スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

● 自動スキャン

● 自動スキャンについては、49ページをご覧ください。

初期設定を個別に行うとき つづき

【上面】 (→23ページ)

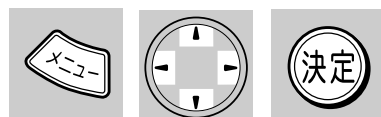
チャンネル設定 放送切換 入力切換 − 音量 ＋ ▼チャンネル▲

チャンネル設定 つづき

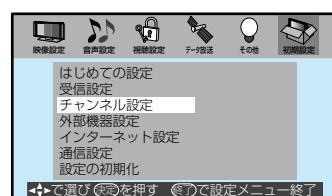
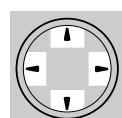
手動チャンネル設定

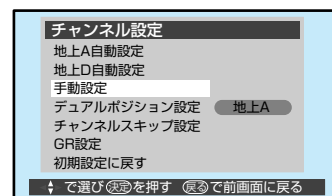
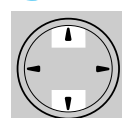
■地上アナログ放送（VHF/UHF/CATV C13～C38）の場合

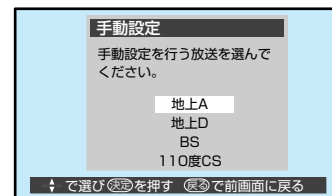
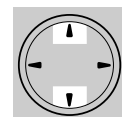
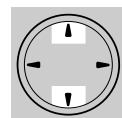
● 以下の設定例：リモコンの⑤ボタンにUHF放送の「14」チャンネル、画面表示番号を「5」、放送局名を「MXテレビ」で設定するとき

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀･▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲･▼で「チャンネル設定」を選んで、決定ボタンを押す

● 「チャンネル設定」メニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲･▼で「手動設定」を選び、決定ボタンを押す

● 「手動設定」メニューが表示されます。

4 カーソルボタン▲･▼で「地上A」を選び、決定ボタンを押す

● 地上アナログ放送チャンネルの手動設定画面になります。

5 カーソルボタン▲･▼で設定する「リモコン」の１～12のボタンを選び、決定ボタンを押す

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	1	
2	2	2	
3	3	3	
4	4	4	
5	5	5	
6	6	6	

手動設定 地上A

で選び 決定で次へ進む 戻るで前画面に戻る

お知らせ

● 手動チャンネル設定は、本体ボタンとリモコンボタンのどちらでもできます。

■本体のチャンネル設定ボタンで操作する場合

①チャンネル設定ボタンをチャンネル設定メニューが出るまで数秒押す

● チャンネル設定ボタンは本体上面部にあります。

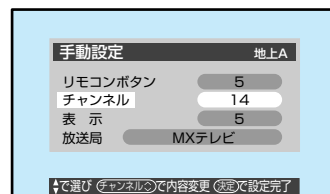
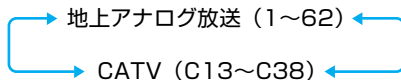
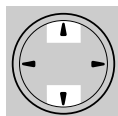
②手順3以降を行う

● 下表を参照して、本体ボタンを使用してください。

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲･▼	チャンネル ▲･▼（手順3～5まで使用）
	音量 ＋･－（手順6～8で使用）
決定	入力切換
戻る	放送切換
チャンネル∧･∨	チャンネル▲･▼
カーソル◀･▶	なし
終了	チャンネル設定

● 次ページの手順6で微調整ができるのはリモコンのカーソルボタン◀･▶のみです。

6 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル」を選び、チャンネルボタン∧·∨で設定する地上アナログチャンネルを選ぶ

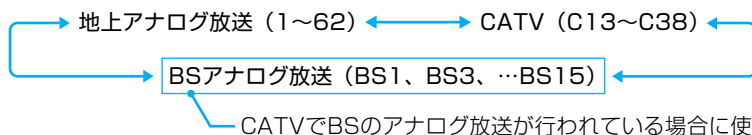
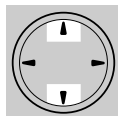
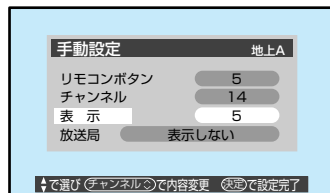
● チャンネルボタン∧·∨を押すと以下の順に切り換わります。

※上図は、リモコンボタンの⑤（または[5]）に、14チャンネルを設定し、画面表示番号を「5」、放送局名を「MXテレビ」にした場合の例です。

チャンネル調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合

● 色が消えたり画像が不安定になったときに、以下の操作で微調整すると良くなる場合があります。
● **カーソルボタン◄·►で見やすい映像に微調整する（本体のボタンでは調整できません。）**
・ 調整前の状態に戻すには、チャンネルボタン∧·∨でチャンネルを選び直してください。

7 カーソルボタン▲·▼で「表示」を選び、チャンネルボタン∧·∨でテレビ画面に表示させる番号を選ぶ

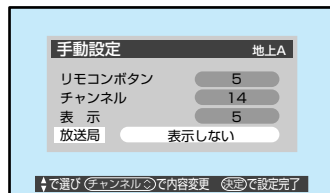
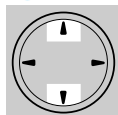
● チャンネルボタン∧·∨を押すと以下の順に切り換わります。

地上アナログ放送（1～62）→ CATV（C13～C38）→ BSアナログ放送（BS1、BS3、…BS15）

CATVでBSのアナログ放送が行われている場合に使います。

8 カーソルボタン▲·▼で「放送局」を選び、チャンネルボタン∧·∨で放送局名を選ぶ

● 選んだ状態が設定されます。
● 放送局名を表示しない場合は、「表示しない」に設定してください。

9 決定ボタンを押す

他のボタンにもチャンネルを設定する場合、手順5～9を繰り返す

10 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

お知らせ

● 手順6で設定する際、チャンネルボタン∧·∨を押しつづけると、設定するチャンネルの選局を早く行うことができます。

■CATV（ケーブルテレビ）について
● CATVの受信は、サービスの行われている地域でだけ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴、録画には、ホームターミナル(アダプター)が必要になります。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
● 「チャンネル設定」を行った地上アナログチャンネルは、チャンネルスキップ設定が自動的に「受信」に設定されます。

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

手動チャンネル設定 つづき

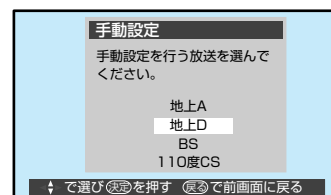
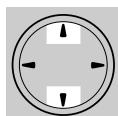
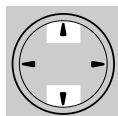
■地上デジタル放送の場合

- チャンネル設定の内容を削除したい場合は、229ページで行ってください。
- **地上デジタル放送の設定をはじめてする場合は、「初期スキャン」(→217ページ)を行ってください。「初期スキャン」が行われていない状態では手動チャンネル設定はできません。**

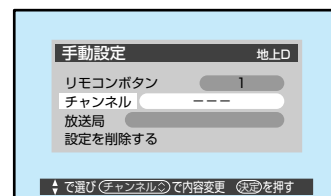
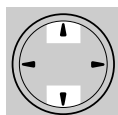
1 222 ページの手順 1 ～ 3 を行う

- 「手動設定」メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲･▼で「地上D」を選び、決定ボタンを押す

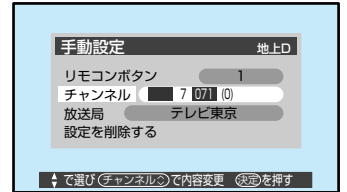
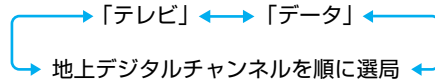
- 地上デジタルチャンネルの手動設定画面になります。

3 カーソルボタン▲･▼で設定する「リモコン」の1～12のボタンを選び、決定ボタンを押す

手動設定 地上D

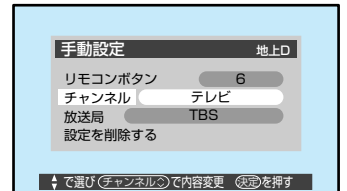
リモコン	チャンネル	放送局
1	―――	
2	テレビ	NHK教育・東京
3	テレビ	TVKテレビ
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	テレビ	TBS

で選び 決定で選択 で設定完了

4 カーソルボタン▲･▼で「チャンネル」を選ぶ

5 チャンネルボタン∧・∨で設定する地上デジタルチャンネルを選ぶ

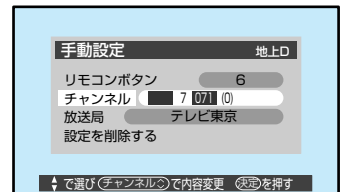
- チャンネルボタン∧・∨を押すと以下の順に切り換わります。

「テレビ」⟷「データ」→ 地上デジタルチャンネルを順に選局 →「テレビ」

放送メディア(「テレビ」または「データ」)を選んだ場合

- 一つのボタンに同じ放送局で、放送メディアがテレビまたはデータのチャンネルがまとめて設定されます。(右図の例を参照)
- 「テレビ」を選んだあと、以下によって、設定したい放送局を選んでください。
  - ① **カーソルボタン▲・▼で「放送局」を選ぶ**
  - ② **チャンネルボタン∧・∨で設定したい放送局を選ぶ**

(例)
リモコンの地上Dボタンを押してから、6を押すごとに「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次選局されます。

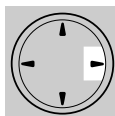
通常の地上デジタルチャンネルを選んだ場合

- リモコンのダイレクト選局ボタンを押したとき、上記で選んだチャンネルだけを選局するように設定されます。(右の例を参照)
- 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。
  (放送局名を変えることはできません。)

手動設定 地上D
リモコンボタン 6
チャンネル 7 071 (0)
放送局 テレビ東京
設定を削除する
で選び チャンネル で内容変更 決定を押す

(例)
リモコンの地上Dボタンを押してから、6を押すと071(0)チャンネルが選局されます。

6 決定ボタンを押す

他のボタンにもチャンネルを設定する場合、手順 3 〜 6 を繰り返す

7 カーソルボタン▶を押す

- 設定を完了して手順**2**の画面に戻ります。

右の画面が表示された場合

- 「データ放送用メモリの割当て」(→213ページ)を行ってください。

手動設定 地上D
放送局の数がデータ放送用のメモリの数を超えています。
メモリを割り当てたい放送局を9つ選んでください。

	リモコン	放送局	受信状態	メモリ割当
☑	1	NHK総合・東京	○	あり
☑	2	NHK教育・東京	○	あり
☑	3	TVKテレビ	○	あり
☑	4	日本テレビ	○	あり
☑	5	テレビ朝日	○	あり

選択した放送局の数：12
で選び 決定で選択／取消 ▶で次へ進む

8 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

お知らせ

- 手順**5**で設定する際、チャンネルボタン∧・∨を押しつづけると、設定するチャンネルの選局を早く行うことができます。
- 「チャンネル」の項目で「−−−」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

チャンネル設定 つづき

手動チャンネル設定 つづき

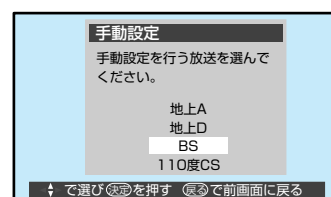
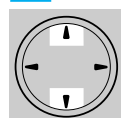
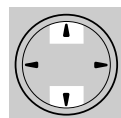
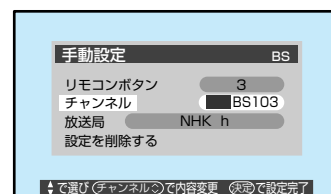
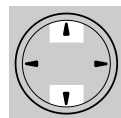
■BS デジタル放送の場合

● チャンネル設定の内容を削除したい場合は、229ページで行ってください。

1 222 ページの手順 1 ～ 3 を行う

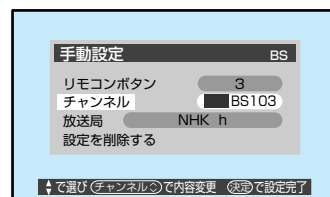
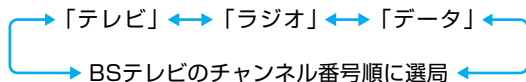
●「手動設定」メニューが表示されます。

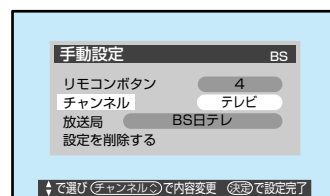
2 カーソルボタン▲·▼で「BS」を選び、決定ボタンを押す

● BSデジタルチャンネルの手動設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で設定するリモコンのボタン（1～12のいずれか）を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル」を選ぶ

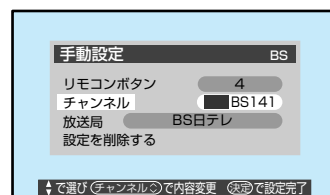
5 チャンネルボタン∧・∨で設定するBSデジタルチャンネルを選ぶ

● チャンネルボタン∧・∨を押すと以下の順に切り換わります。

「テレビ」←→「ラジオ」←→「データ」←→ BSテレビのチャンネル番号順に選局

放送メディア（「BSテレビ」または「BSラジオ」または「BSデータ」）を選んだ場合

● 一つのボタンに同じ放送局のBSテレビまたはBSラジオまたはBSデータの複数チャンネルがまとめて設定されます。
● 上記の操作と放送メディアを設定したあと、以下の操作で設定したい放送局を選んでください。
①カーソルボタン▲・▼で「放送局」を選ぶ
②チャンネルボタン∧・∨で設定したい放送局を選ぶ

（例）
リモコンのダイレクト選局ボタン［4］を押すごとに、「BS日テレ」の「BSテレビ」チャンネルが順次選局される設定

通常のBSデジタル放送のチャンネルを選んだ場合

● リモコンのダイレクト選局ボタンを押したとき、上記で選んだチャンネルだけを選局するように設定されます。（右の例を参照）
●「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。
（放送局名を変えることはできません。）

（例）
リモコンのダイレクト選局ボタン［4］を押すと、BS141が選局される設定

6 決定ボタンを押す

他のボタンにもチャンネルを設定する場合、手順3～6を繰り返す

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

お知らせ

● 手順5で設定する際、チャンネルボタン∧・∨を押しつづけると、設定するチャンネルを早く切り換えることができます。
●「チャンネル」の項目で「－－－」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

手動チャンネル設定 つづき

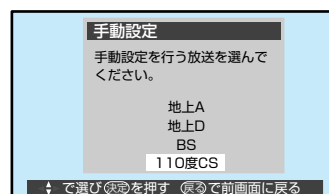
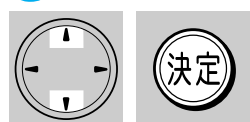
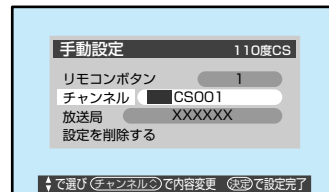
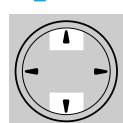
■110度CSデジタル放送の場合

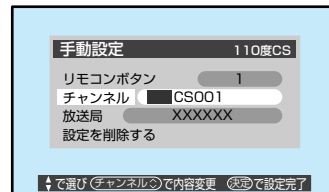
● チャンネル設定の内容を削除したい場合は、229ページで行ってください。

1 222ページの手順 1 ～ 3 を行う

● 「手動設定」メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼で「110度CS」を選び、決定ボタンを押す

● 110度CSデジタルチャンネルの手動設定画面になります。

3 カーソルボタン▲・▼で設定するリモコンのボタン（1～12のいずれか）を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲・▼で「チャンネル」を選ぶ

5 チャンネルボタン∧・∨で設定する110度CSデジタルチャンネルを選ぶ

● チャンネルボタン∧・∨を押すとすべてのチャンネルが番号順に切り換わります。
● 放送メディアを指定することはできません。
● リモコンのチャンネルダイレクト選局ボタンを押したとき、上記で選んだチャンネルだけを選局するように設定されます。（右の例を参照）
● 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送が表示されます。
（放送局名を変えることはできません。）

（例）
リモコンのダイレクト選局ボタン 1 を押すと、CS001が選局される設定

6 決定ボタンを押す

他のボタンにもチャンネルを設定する場合、手順 3 ～ 6 を繰り返す

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

お知らせ

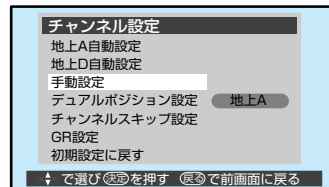
● 手順5で設定する際、チャンネルボタン∧・∨を押しつづけると、設定するチャンネルを早く切り換えることができます。
● 「チャンネル」の項目で「–––」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

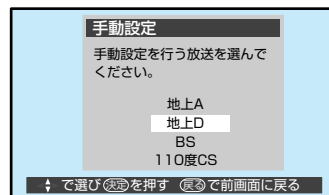
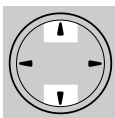
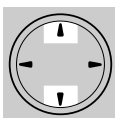
■チャンネル設定の内容を削除するには

● 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のチャンネル設定の内容(ダイレクト選局ボタンの設定内容)を削除することができます。

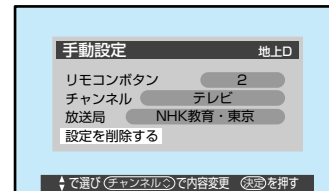
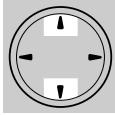
1 以下の操作で「手動設定」メニューにする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選ぶ
④カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲·▼で「手動設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル設定
地上A自動設定
地上D自動設定
手動設定
デュアルポジション設定 地上A
チャンネルスキップ設定
GR設定
初期設定に戻す
で選び 決定 を押す 戻る で前画面に戻る

2 カーソルボタン▲·▼で「地上D」、「BS」、「110度CS」のいずれかを選び、決定ボタンを押す

● 選んだ放送の手動設定画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼で削除したい「リモコン」の1～12のボタンを選び、決定ボタンを押す

決定

(例) 地上Dを選んだ場合

4 カーソルボタン▲·▼で「設定を削除する」を選び、決定ボタンを押す

他のボタンも設定を削除したい場合は、手順 3 ～ 4 を繰り返す

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

チャンネル設定 つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表

- 215ページの「自動チャンネル設定」で設定すると、この表にある放送局が各チャンネルポジションに自動設定されます。
- この表にない放送局を設定するときは、222ページの「手動チャンネル設定」で設定してください。
- この表にない地域のかたは近くの地域・都市名で設定して、正しく設定できないときは「手動チャンネル設定」で設定してください。
- 地上デジタル放送開始にともなう「アナログ周波数変更対策」により、この表のチャンネルの内容が変わることがあります。その場合は「手動チャンネル設定」（→222ページ）で設定してください。
- この表に記載のお使いになる地域・都市名を、自動チャンネル設定で選んで設定しても、アンテナの向きや高層物などの影響によって、正しく受信できない場合があります。その場合は241ページ下をご覧ください。
- この表で空きチャンネルには、チャンネルと画面の番号表示がリモコンボタンと同じに設定されます。
- ソフトウェアのバージョンアップによって、この表の内容（自動設定される内容）は、変わる場合があります。

2003年7月1日現在

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	旭川	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	テレビ北海道（TVh）	33	33
			5	北海道文化放送（UHB）	37	37
			6	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送（HBC）	11	11
			12			
		釧路	1			
			2	NHK教育	2	2
			3	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			4	北海道文化放送（UHB）	41	41
			5			
			6			
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送（HBC）	11	11
			12			
		北見	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	北海道テレビ放送（HTB）	61	61
			5	北海道文化放送（UHB）	59	59
			6			
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送（HBC）	53	53
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	網走	1	北海道放送（HBC）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	札幌テレビ放送（STV）	5	5
			6			
			7	北海道文化放送（UHB）	27	27
			8			
			9	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			10			
			11			
			12	NHK教育	12	12
		稚内	1			
			2	北海道文化放送（UHB）	26	26
			3			
			4	NHK総合	28	28
			5			
			6	札幌テレビ放送（STV）	22	22
			7			
			8	北海道テレビ放送（HTB）	24	24
			9			
			10	北海道放送（HBC）	10	10
			11			
			12	NHK教育	30	30
		名寄	1			
			2	北海道文化放送（UHB）	26	26
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	札幌テレビ放送（STV）	6	6
			7			
			8	北海道テレビ放送（HTB）	24	24
			9			
			10	北海道放送（HBC）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	根室	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4			
			5	北海道文化放送（UHB）	62	62
			6	北海道テレビ放送（HTB）	60	60
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送（HBC）	11	11
			12			
	北海道・南部	札幌	1	北海道放送（HBC）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	テレビ北海道（TVh）	17	17
			5	札幌テレビ放送（STV）	5	5
			6			
			7	北海道文化放送（UHB）	27	27
			8			
			9			
			10	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			11			
			12	NHK教育	12	12
		函館	1	北海道文化放送（UHB）	27	27
			2			
			3	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			4	NHK総合	4	4
			5	テレビ北海道（TVh）	21	21
			6	北海道放送（HBC）	6	6
			7			
			8			
			9			
			10	NHK教育	10	10
			11			
			12	札幌テレビ放送（STV）	12	12

[北海道は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・南部	帯広	1	北海道文化放送 （UHB）	32	32
			2			
			3	北海道テレビ放送 （HTB）	34	34
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	北海道放送 （HBC）	6	6
			7			
			8			
			9			
			10	札幌テレビ放送 （STV）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		苫小牧	1			
			2	NHK教育	49	49
			3			
			4	北海道テレビ放送 （HTB）	61	61
			5	北海道文化放送 （UHB）	53	53
			6			
			7	札幌テレビ放送 （STV）	57	57
			8			
			9	NHK総合	51	51
			10			
			11	北海道放送 （HBC）	55	55
			12	テレビ北海道 （TVh）	47	47
		小樽	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	北海道テレビ放送 （HTB）	4	4
			5	北海道文化放送 （UHB）	26	26
			6			
			7	札幌テレビ放送 （STV）	7	7
			8			
			9	北海道放送 （HBC）	9	9
			10			
			11	NHK総合	11	11
			12	テレビ北海道 （TVh）	24	24
		室蘭	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	テレビ北海道 （TVh）	29	29
			5	北海道文化放送 （UHB）	37	37
			6	北海道テレビ放送 （HTB）	39	39
			7	札幌テレビ放送 （STV）	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北海道放送 （HBC）	11	11
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	青森	青森	1	青森放送 （RAB）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	青森朝日放送 （ABA）	34	34
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7			
			8			
			9			
			10			
			11			
			12	青森テレビ （ATV）	38	38
		八戸	1			
			2	アイビーシー岩手放送 （IBCテレビ）	2	2
			3	テレビ岩手	37	37
			4	岩手めんこいテレビ	29	29
			5			
			6	岩手朝日テレビ	27	27
			7	NHK教育	7	7
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10	青森朝日放送 （ABA）	31	31
			11	青森放送 （RAB）	11	11
			12	青森テレビ （ATV）	33	33
		むつ	1			
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	青森朝日放送 （ABA）	56	56
			7			
			8	青森テレビ （ATV）	58	58
			9			
			10	青森放送 （RAB）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
	岩手	盛岡	1	テレビ岩手	35	35
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	アイビーシー岩手放送 （IBCテレビ）	6	6
			7			
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10	岩手めんこいテレビ	33	33
			11			
			12	岩手朝日テレビ	31	31
		釜石	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	岩手朝日テレビ	62	62
			5			
			6	岩手めんこいテレビ	60	60
			7			
			8	テレビ岩手	58	58
			9			
			10	アイビーシー岩手放送 （IBCテレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	岩手	二戸	1			
			2	アイビーシー岩手放送 （IBCテレビ）	2	2
			3			
			4	岩手朝日テレビ	27	27
			5	NHK総合	5	5
			6			
			7			
			8	岩手めんこいテレビ	29	29
			9			
			10	テレビ岩手	37	37
			11			
			12	NHK教育	12	12
	宮城	仙台	1	東北放送 （TBCテレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7	東日本放送	32	32
			8			
			9	宮城テレビ放送 （ミヤギテレビ）	34	34
			10			
			11			
			12	仙台放送	12	12
		石巻	1	東北放送 （TBCテレビ）	59	59
			2			
			3	NHK総合	51	51
			4			
			5	NHK教育	49	49
			6			
			7	東日本放送	61	61
			8			
			9	宮城テレビ放送 （ミヤギテレビ）	55	55
			10			
			11			
			12	仙台放送	57	57
		気仙沼	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	東北放送 （TBCテレビ）	4	4
			5			
			6	仙台放送	6	6
			7			
			8	東日本放送	43	43
			9			
			10	NHK教育	10	10
			11			
			12	宮城テレビ放送 （ミヤギテレビ）	37	37
	秋田	秋田	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4			
			5	秋田朝日 （秋田朝日放送）	31	31
			6			
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	秋田放送 （ABSテレビ）	11	11
			12	秋田テレビ （AKT）	37	37

［東北は次のページにつづく］

初期設定を個別に行うとき つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	秋田	大館	1	青森放送（RAB）	1	1
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5	秋田朝日（秋田朝日放送）	59	59
			6	秋田放送（ABSテレビ）	6	6
			7			
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10			
			11			
			12	秋田テレビ（AKT）	57	57
		大曲・横手	1			
			2	NHK教育	43	43
			3			
			4			
			5	秋田朝日（秋田朝日放送）	41	41
			6			
			7			
			8			
			9	NHK総合	45	45
			10			
			11	秋田放送（ABSテレビ）	47	47
			12	秋田テレビ（AKT）	51	51
	山形	山形	1			
			2			
			3			
			4	NHK教育	4	4
			5			
			6	テレビュー山形（TUY）	36	36
			7			
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	山形放送（YBC山形放送）	10	10
			11	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	30	30
			12	山形テレビ	38	38
		鶴岡・酒田	1	山形放送（YBC山形放送）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5			
			6	NHK教育	6	6
			7			
			8	テレビュー山形（TUY）	22	22
			9			
			10			
			11	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	24	24
			12	山形テレビ	39	39
		米沢	1			
			2	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	60	60
			3			
			4	NHK教育	50	50
			5			
			6	テレビュー山形（TUY）	56	56
			7			
			8	NHK総合	52	52
			9			
			10	山形放送（YBC山形放送）	54	54
			11			
			12	山形テレビ	58	58

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	山形	新庄	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	28	28
			5			
			6	テレビュー山形（TUY）	26	26
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	山形放送（YBC山形放送）	11	11
			12	山形テレビ	58	58
	福島	福島・郡山	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	テレビュー福島	31	31
			5			
			6	福島中央テレビ	33	33
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10	福島放送（KFB）	35	35
			11	福島テレビ（FTV）	11	11
			12			
		いわき	1			
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	福島中央テレビ	58	58
			7	テレビュー福島	62	62
			8	福島テレビ（FTV）	8	8
			9			
			10	NHK教育	10	10
			11			
			12	福島放送（KFB）	60	60
		会津若松	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	テレビュー福島	47	47
			5			
			6	福島テレビ（FTV）	6	6
			7			
			8	福島中央テレビ	37	37
			9			
			10	福島放送（KFB）	41	41
			11			
			12			
関東	茨城	水戸	1	NHK総合	44	1
			2			
			3	NHK教育	46	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	42	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	40	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	38	8
			9			
			10	テレビ朝日	36	10
			11			
			12	テレビ東京	32	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	茨城	日立	1	NHK総合	52	1
			2			
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9			
			10	テレビ朝日	60	10
			11			
			12	テレビ東京	62	12
	栃木	宇都宮	1	NHK総合	29	1
			2			
			3	NHK教育	27	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	25	4
			5	とちぎテレビ	31	31
			6	東京放送（TBS）	23	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	21	8
			9			
			10	テレビ朝日	19	10
			11			
			12	テレビ東京	17	12
		矢板	1	NHK総合	51	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	とちぎテレビ	33	31
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9			
			10	テレビ朝日	59	10
			11			
			12	テレビ東京	61	12
	群馬	前橋	1	NHK総合	52	1
			2			
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ埼玉	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9			
			10	テレビ朝日	60	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	62	12
		桐生	1	NHK総合	43	1
			2			
			3	NHK教育	45	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	39	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（TBS）	37	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	35	8
			9			
			10	テレビ朝日	33	10
			11	群馬テレビ	41	48
			12	テレビ東京	31	12

[関東は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	埼玉	さいたま	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ埼玉	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9			
			10	テレビ朝日	10	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	12	12
		熊谷・児玉	1	NHK総合	33	1
			2			
			3	NHK教育	35	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	25	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	23	6
			7	テレビ埼玉	28	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	21	8
			9			
			10	テレビ朝日	19	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	17	12
		秩父	1	NHK総合	51	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7	テレビ埼玉	47	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9			
			10	テレビ朝日	59	10
			11			
			12	テレビ東京	61	12
	千葉	千葉・船橋	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11			
			12	テレビ東京	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	千葉	銚子	1	NHK総合	51	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	39	46
			10	テレビ朝日	59	10
			11			
			12	テレビ東京	61	12
	東京	東京23区	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（MXテレビ）	14	14
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11	テレビ埼玉	38	38
			12	テレビ東京	12	12
		八王子	1	NHK総合	51	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（MXテレビ）	47	14
			6	東京放送（TBS）	55	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9			
			10	テレビ朝日	59	10
			11			
			12	テレビ東京	61	12
		多摩	1	NHK総合	30	1
			2			
			3	NHK教育	32	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	26	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（MXテレビ）	28	14
			6	東京放送（TBS）	24	6
			7			
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	22	8
			9			
			10	テレビ朝日	20	10
			11			
			12	テレビ東京	18	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	横浜・川崎	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	6	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11			
			12	テレビ東京	12	12
		横浜みなと	1	NHK総合	52	1
			2			
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	48	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9	千葉テレビ放送（CTC）	46	46
			10	テレビ朝日	60	10
			11			
			12	テレビ東京	62	12
		平塚・茅ケ崎	1	NHK総合	33	1
			2			
			3	NHK教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	37	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	31	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	39	8
			9			
			10	テレビ朝日	41	10
			11			
			12	テレビ東京	43	12
		小田原	1	NHK総合	52	1
			2			
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	46	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9			
			10	テレビ朝日	60	10
			11			
			12	テレビ東京	62	12

[関東は次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	秦野	1	NHK総合	47	1
			2			
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			5			
			6	東京放送（TBS）	53	6
			7	テレビ神奈川（TVKテレビ）	61	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			9			
			10	テレビ朝日	57	10
			11			
			12	テレビ東京	59	12
甲信越	新潟	新潟	1			
			2			
			3	新潟テレビ21（NT21）	21	21
			4	テレビ新潟放送網（TeNY）	29	29
			5	新潟放送（BSN新潟放送）	5	5
			6			
			7			
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	新潟総合テレビ	35	35
			11			
			12	NHK教育	12	12
		上越	1	NHK教育	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5			
			6	新潟テレビ21（NT21）	37	37
			7			
			8	テレビ新潟放送網（TeNY）	27	27
			9			
			10	新潟放送（BSN新潟放送）	10	10
			11			
			12	新潟総合テレビ	33	33
	山梨	※	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4			
			5	山梨放送（YBS）	5	5
			6	テレビ山梨（UTY）	37	37
			7			
			8			
			9			
			10			
			11			
			12			
	長野	長野（美ヶ原）	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	長野朝日放送（ABN）	20	20
			5			
			6	テレビ信州	30	30
			7			
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	長野放送（NBS）	38	38
			11	信越放送	11	11
			12			

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
甲信越	長野	長野（善光寺平）	1			
			2	NHK総合	44	44
			3			
			4	長野朝日放送（ABN）	50	50
			5			
			6	テレビ信州	40	40
			7			
			8			
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送（NBS）	42	42
			11	信越放送	48	48
			12			
		松本	1			
			2	NHK総合	44	44
			3			
			4	長野朝日放送（ABN）	50	50
			5			
			6	テレビ信州	48	48
			7			
			8			
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送（NBS）	42	42
			11	信越放送	40	40
			12			
		飯田	1			
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	信越放送	6	6
			7			
			8	テレビ信州	42	42
			9			
			10	長野放送（NBS）	40	40
			11			
			12	長野朝日放送（ABN）	44	44
		岡谷・諏訪	1	長野朝日放送（ABN）	61	61
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	信越放送	6	6
			7			
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10	テレビ信州	59	59
			11			
			12	長野放送（NBS）	47	47
中部	富山	富山	1	北日本放送	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5			
			6	チューリップテレビ	32	32
			7			
			8			
			9			
			10	NHK教育	10	10
			11			
			12	富山テレビ放送（BBT）	34	34

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	富山	高岡	1	北日本放送	50	1
			2			
			3	NHK総合	48	3
			4			
			5			
			6	チューリップテレビ	42	32
			7			
			8			
			9			
			10	NHK教育	46	10
			11			
			12	富山テレビ放送（BBT）	44	34
	石川	金沢	1			
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	北陸放送（MRO）	6	6
			7	北陸朝日放送（HAB）	25	25
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10	テレビ金沢	33	33
			11			
			12	石川テレビ放送（石川テレビ）	37	37
		七尾	1	テレビ金沢	57	57
			2			
			3	北陸朝日放送（HAB）	59	59
			4			
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7	石川テレビ放送（石川テレビ）	55	55
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	北陸放送（MRO）	11	11
			12			
	福井	福井	1			
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4			
			5			
			6			
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	福井放送（FBCテレビ）	11	11
			12	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	39	39
		敦賀	1			
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	福井放送（FBCテレビ）	8	8
			9			
			10	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	38	38
			11			
			12	NHK教育	12	12

[中部は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	岐阜	1	東海テレビ放送 （東海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	中部日本放送 （CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送 （三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送	37	37
			11	名古屋テレビ放送 （メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送 （中京テレビ）	35	35
		長良	1	東海テレビ放送 （東海テレビ）	57	57
			2			
			3	NHK総合	53	53
			4			
			5	中部日本放送 （CBC）	55	55
			6			
			7			
			8			
			9	NHK教育	49	49
			10	岐阜放送	61	61
			11	名古屋テレビ放送 （メ～テレ）	59	59
			12	中京テレビ放送 （中京テレビ）	47	47
		高山	1			
			2	NHK教育	2	2
			3	中京テレビ放送 （中京テレビ）	26	26
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	中部日本放送 （CBC）	6	6
			7			
			8	東海テレビ放送 （東海テレビ）	8	8
			9			
			10	岐阜放送	38	38
			11			
			12	名古屋テレビ放送 （メ～テレ）	12	12
		各務原	1	東海テレビ放送 （東海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	中部日本放送 （CBC）	5	5
			6			
			7			
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送	37	37
			11	名古屋テレビ放送 （メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送 （中京テレビ）	35	35

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	中津川	1			
			2			
			3	中京テレビ放送 （中京テレビ）	26	26
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	名古屋テレビ放送 （メ～テレ）	6	6
			7			
			8	中部日本放送 （CBC）	8	8
			9			
			10	東海テレビ放送 （東海テレビ）	10	10
			11	岐阜放送	28	28
			12	NHK教育	12	12
	静岡	静岡	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	静岡第一テレビ	31	31
			5			
			6	静岡朝日テレビ	33	33
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	静岡放送 （SBSテレビ）	11	11
			12	テレビ静岡	35	35
		浜松	1			
			2	静岡第一テレビ	30	30
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	静岡放送 （SBSテレビ）	6	6
			7			
			8	NHK教育	8	8
			9			
			10	静岡朝日テレビ	28	28
			11			
			12	テレビ静岡	34	34
		三島・沼津	1			
			2	NHK教育	51	51
			3	静岡第一テレビ	61	61
			4			
			5	静岡朝日テレビ	57	57
			6			
			7	テレビ静岡	59	59
			8			
			9	NHK総合	53	53
			10			
			11	静岡放送 （SBSテレビ）	55	55
			12			
		島田	1	NHK総合	15	15
			2			
			3	NHK教育	18	18
			4			
			5	静岡放送 （SBSテレビ）	22	22
			6			
			7	静岡第一テレビ	48	48
			8			
			9			
			10	静岡朝日テレビ	50	50
			11			
			12	テレビ静岡	58	58

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	静岡	富士	1			
			2	NHK教育	54	54
			3	静岡第一テレビ	27	27
			4			
			5	静岡朝日テレビ	29	29
			6			
			7	テレビ静岡	39	39
			8			
			9	NHK総合	52	52
			10			
			11	静岡放送 （SBSテレビ）	41	41
			12			
		藤枝	1	NHK総合	42	42
			2			
			3	NHK教育	44	44
			4			
			5	静岡放送 （SBSテレビ）	40	40
			6			
			7	静岡第一テレビ	24	24
			8			
			9			
			10	静岡朝日テレビ	26	26
			11			
			12	テレビ静岡	38	38
	愛知	名古屋	1	東海テレビ放送 （東海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	中部日本放送 （CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送 （三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送	37	37
			11	名古屋テレビ放送 （メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送 （中京テレビ）	35	35
		豊橋	1	東海テレビ放送 （東海テレビ）	56	1
			2			
			3	NHK総合	54	3
			4			
			5	中部日本放送 （CBC）	62	5
			6	三重テレビ放送 （三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	52	25
			8			
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送	37	37
			11	名古屋テレビ放送 （メ～テレ）	60	11
			12	中京テレビ放送 （中京テレビ）	58	35

[中部は次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	愛知	豊田	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			2			
			3	NHK総合	53	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	49	25
			8			
			9	NHK教育	51	9
			10	岐阜放送	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ〜テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	59	35
	三重	津	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ〜テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		伊勢	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			2			
			3	NHK総合	53	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	59	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	49	9
			10	岐阜放送	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ〜テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	35
		名張	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	62	1
			2			
			3	NHK総合	52	3
			4			
			5	中部日本放送（CBC）	60	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	58	33
			7	テレビ愛知	25	25
			8			
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ〜テレ）	56	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	54	35

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	滋賀	大津	1			
			2	NHK総合	28	2
			3			
			4	毎日放送	36	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	びわ湖放送（BBCびわ湖放送）	30	30
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	42	10
			11			
			12	NHK教育	46	12
		彦根	1			
			2	NHK総合	52	2
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	びわ湖放送（BBCびわ湖放送）	56	56
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	62	10
			11			
			12	NHK教育	50	12
	京都	京都	1			
			2	NHK総合	32	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		山科	1			
			2	NHK総合	52	2
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	56	6
			7	京都放送（KBS京都）	62	62
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	60	10
			11			
			12	NHK教育	50	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	京都	福知山	1			
			2	NHK総合	50	2
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	58	6
			7	京都放送（KBS京都）	56	56
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	62	10
			11			
			12	NHK教育	52	12
		舞鶴	1			
			2	NHK総合	51	2
			3			
			4	毎日放送	53	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	55	6
			7	京都放送（KBS京都）	57	57
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	61	10
			11			
			12	NHK教育	49	12
	大阪	※	1			
			2	NHK総合	2	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7	京都放送（KBS京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
	兵庫	神戸	1			
			2	NHK総合	28	28
			3			
			4	毎日放送	18	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ABC）	20	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	22	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	24	10
			11			
			12	NHK教育	26	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

［近畿は次のページにつづく］

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	姫路	1			
			2	ＮＨＫ総合	50	50
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5			
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	58	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	56	56
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	62	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	52	12
		明石	1			
			2	ＮＨＫ総合	51	51
			3			
			4	毎日放送	53	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	57	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	61	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	49	12
		川西	1			
			2	ＮＨＫ総合	29	29
			3			
			4	毎日放送	35	4
			5			
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	37	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	39	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	33	33
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	41	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	31	12
		灘	1			
			2	ＮＨＫ総合	52	52
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	56	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	62	62
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	60	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	50	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	長田	1			
			2	ＮＨＫ総合	44	44
			3			
			4	毎日放送	38	4
			5			
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	40	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	42	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	34	34
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	48	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	46	12
		北淡・垂水	1			
			2	ＮＨＫ総合	51	51
			3			
			4	毎日放送	53	4
			5			
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	57	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	61	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	49	12
		三木	1			
			2	ＮＨＫ総合	44	44
			3			
			4	毎日放送	34	4
			5			
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	38	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	42	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	46	12
	奈良	奈良	1			
			2	ＮＨＫ総合	2	2
			3			
			4	毎日放送	4	4
			5	京都放送（ＫＢＳ京都）	34	34
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	6	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	55	55
			12	ＮＨＫ教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	奈良	生駒	1			
			2	ＮＨＫ総合	2	2
			3			
			4	毎日放送	4	4
			5			
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	6	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	26	55
			12	ＮＨＫ教育	22	12
		五條	1			
			2	ＮＨＫ総合	43	2
			3			
			4	毎日放送	33	4
			5			
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	35	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	37	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	39	10
			11	奈良テレビ放送	41	55
			12	ＮＨＫ教育	45	12
	和歌山	和歌山	1			
			2	ＮＨＫ総合	32	2
			3			
			4	毎日放送	42	4
			5	テレビ和歌山	30	30
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	44	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	46	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	48	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	26	12
		海南・田辺	1			
			2	ＮＨＫ総合	50	2
			3			
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ和歌山	56	56
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	58	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	62	10
			11			
			12	ＮＨＫ教育	52	12

［近畿は次のページにつづく］

初期設定を個別に行うとき つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	和歌山	新宮	1			
			2	NHK総合	44	2
			3			
			4	毎日放送	36	4
			5	テレビ和歌山	34	34
			6	朝日放送（ABC）	38	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	42	10
			11			
			12	NHK教育	46	12
中国	鳥取	鳥取	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			5			
			6			
			7			
			8			
			9			
			10	山陰放送（BSSテレビ）	22	22
			11			
			12	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	24	24
		米子	1			
			2			
			3	NHK総合	42	42
			4			
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7			
			8	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	8	8
			9			
			10	山陰放送（BSSテレビ）	10	10
			11			
			12	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	34	34
		倉吉	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	NHK教育	4	4
			5			
			6			
			7			
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	58	58
			9			
			10	山陰放送（BSSテレビ）	56	56
			11			
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	島根	松江	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	30	30
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	34	34
			9			
			10	山陰放送（BSSテレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		浜田	1			
			2	NHK総合	2	2
			3	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	54	54
			4			
			5	山陰放送（BSSテレビ）	5	5
			6			
			7			
			8	山陰中央テレビジョン放送（TSK）	58	58
			9	NHK教育	9	9
			10			
			11			
			12			
	岡山	岡山	1			
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4			
			5	NHK総合	5	5
			6	テレビせとうち	23	23
			7	瀬戸内海放送	25	25
			8			
			9	西日本放送	9	9
			10			
			11	山陽放送（RSK）	11	11
			12	岡山放送（OHK）	35	35
		津山	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	テレビせとうち	56	56
			5			
			6	瀬戸内海放送	62	62
			7	山陽放送（RSK）	7	7
			8			
			9	西日本放送	58	58
			10			
			11	岡山放送（OHK）	60	60
			12	NHK教育	12	12
		笠岡	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	NHK教育	4	4
			5	テレビせとうち	19	19
			6	山陽放送（RSK）	6	6
			7			
			8			
			9	西日本放送	17	17
			10	瀬戸内海放送	21	21
			11	岡山放送（OHK）	60	60
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	広島	広島	1	テレビ新広島（TSS）	31	31
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	中国放送（RCC）	4	4
			5			
			6			
			7	NHK教育	7	7
			8			
			9	広島ホームテレビ	35	35
			10			
			11			
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12
		福山	1	テレビ新広島（TSS）	54	54
			2			
			3	NHK教育	3	3
			4			
			5	NHK総合	5	5
			6			
			7	中国放送（RCC）	7	7
			8			
			9	広島ホームテレビ	57	57
			10			
			11	広島テレビ放送（広島テレビ）	11	11
			12			
		呉	1	NHK教育	1	1
			2			
			3	広島ホームテレビ	24	24
			4			
			5	広島テレビ放送（広島テレビ）	5	5
			6			
			7	テレビ新広島（TSS）	26	26
			8			
			9	中国放送（RCC）	9	9
			10			
			11	NHK総合	11	11
			12			
		尾道	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	広島ホームテレビ	24	24
			4			
			5	テレビ新広島（TSS）	26	26
			6			
			7	NHK教育	7	7
			8			
			9			
			10	中国放送（RCC）	10	10
			11			
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12

［中国は次のページにつづく］

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	山口	山口	1	NHK教育	42	42
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	52	52
			7	テレビ山口（TYS）	49	49
			8			
			9	NHK総合	44	44
			10			
			11	山口放送（KRY山口放送）	46	46
			12			
		下関	1	NHK教育	41	41
			2			
			3	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	23	23
			4	山口放送（KRY山口放送）	4	4
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	21	21
			7	テレビ山口（TYS）	33	33
			8			
			9	NHK総合	39	39
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			11			
			12	福岡放送（FBS）	35	35
		宇部	1	NHK教育	14	14
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	31	31
			7	テレビ山口（TYS）	20	20
			8			
			9	NHK総合	16	16
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			11	山口放送（KRY山口放送）	18	18
			12			
		岩国	1	NHK教育	1	1
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口（TYS）	22	22
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	山口放送（KRY山口放送）	11	11
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	山口	防府	1	NHK教育	1	1
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	山口朝日放送（YAB山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口（TYS）	38	38
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	山口放送（KRY山口放送）	11	11
			12			
四国	徳島	徳島	1	四国放送	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	毎日放送	4	4
			5			
			6	朝日放送（ABC）	6	6
			7			
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			9			
			10	読売テレビ放送（読売テレビ）	10	10
			11			
			12	NHK教育	38	12
	香川	高松	1			
			2			
			3	NHK教育	39	39
			4			
			5	NHK総合	37	37
			6	テレビせとうち	19	19
			7	瀬戸内海放送	33	33
			8			
			9	西日本放送	41	41
			10			
			11	山陽放送（RSK）	29	29
			12	岡山放送（OHK）	31	31
		丸亀	1			
			2			
			3	NHK教育	40	40
			4			
			5	NHK総合	44	44
			6	テレビせとうち	16	16
			7	瀬戸内海放送	42	42
			8			
			9	西日本放送	20	20
			10			
			11	山陽放送（RSK）	18	18
			12	岡山放送（OHK）	22	22
	愛媛	松山	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	あいテレビ	29	29
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	25	25
			10	南海放送（RNB）	10	10
			11	広島ホームテレビ	35	35
			12	テレビ愛媛	37	37

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
四国	愛媛	今治	1			
			2	NHK教育	30	30
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	32	32
			7			
			8	あいテレビ	27	27
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	17	17
			10	南海放送（RNB）	34	34
			11			
			12	テレビ愛媛	36	36
		新居浜	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4	NHK教育	4	4
			5			
			6	南海放送（RNB）	6	6
			7	愛媛朝日テレビ（EAT）	14	14
			8	あいテレビ	27	27
			9			
			10			
			11			
			12	テレビ愛媛	36	36
		宇和島	1	NHK教育	1	1
			2			
			3			
			4			
			5			
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	あいテレビ	34	34
			9	愛媛朝日テレビ（EAT）	16	16
			10	南海放送（RNB）	10	10
			11			
			12	テレビ愛媛	32	32
	高知	高知	1			
			2			
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	NHK教育	6	6
			7			
			8	高知放送（RKC）	8	8
			9			
			10	テレビ高知（KUTV）	38	38
			11			
			12	高知さんさんテレビ（さんさんテレビ）	40	40
		中村	1	NHK総合	1	1
			2			
			3	高知放送（RKC）	3	3
			4			
			5			
			6	テレビ高知（KUTV）	32	32
			7			
			8	高知さんさんテレビ（さんさんテレビ）	14	14
			9			
			10			
			11	NHK教育	11	11
			12			

[九州・沖縄は次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	福岡	1	九州朝日放送（KBC）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	4	4
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	19	19
			6	NHK教育	6	6
			7			
			8			
			9	テレビ西日本（TNC）	9	9
			10			
			11			
			12	福岡放送（FBS）	37	37
		北九州	1			
			2	九州朝日放送（KBC）	2	2
			3	福岡放送（FBS）	35	35
			4			
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	23	23
			6	NHK総合	6	6
			7			
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	8	8
			9			
			10	テレビ西日本（TNC）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		久留米	1	九州朝日放送（KBC）	57	57
			2			
			3	NHK総合	46	46
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	14	14
			6	NHK教育	54	54
			7			
			8			
			9	テレビ西日本（TNC）	60	60
			10			
			11			
			12	福岡放送（FBS）	52	52
		大牟田	1	九州朝日放送（KBC）	58	58
			2			
			3	NHK総合	53	53
			4	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	61	61
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	19	19
			6	NHK教育	50	50
			7			
			8			
			9	テレビ西日本（TNC）	55	55
			10			
			11			
			12	福岡放送（FBS）	43	43

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	行橋	1			
			2	九州朝日放送（KBC）	57	57
			3	福岡放送（FBS）	43	43
			4			
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	19	19
			6	NHK総合	49	49
			7			
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	60	60
			9			
			10	テレビ西日本（TNC）	54	54
			11			
			12	NHK教育	46	46
	佐賀	佐賀	1			
			2	NHK教育	40	40
			3	福岡放送（FBS）	52	52
			4	サガテレビ	36	36
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	14	14
			6	九州朝日放送（KBC）	57	57
			7			
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			9	NHK総合	38	38
			10	テレビ西日本（TNC）	60	60
			11	熊本放送（RKK）	11	11
			12			
		伊万里	1	NHK教育	44	44
			2			
			3	福岡放送（FBS）	52	52
			4	サガテレビ	41	41
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送（TVQ九州放送）	14	14
			6	九州朝日放送（KBC）	57	57
			7			
			8	アール・ケー・ビー毎日放送（RKB）	48	48
			9	NHK総合	51	51
			10	テレビ西日本（TNC）	60	60
			11	熊本放送（RKK）	11	11
			12			
	長崎	長崎	1	NHK教育	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	長崎放送（NBC）	5	5
			6			
			7	テレビ長崎（KTN）	37	37
			8			
			9	長崎文化放送（NCC）	27	27
			10			
			11	長崎国際テレビ	25	25
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	長崎	佐世保	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4			
			5			
			6	長崎文化放送（NCC）	31	31
			7	テレビ長崎（KTN）	35	35
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	長崎放送（NBC）	10	10
			11	長崎国際テレビ	17	17
			12			
		諫早	1	NHK教育	45	45
			2			
			3	NHK総合	47	47
			4			
			5	長崎放送（NBC）	49	49
			6			
			7	テレビ長崎（KTN）	42	42
			8			
			9	長崎文化放送（NCC）	24	24
			10			
			11	長崎国際テレビ	20	20
			12			
	熊本	熊本	1			
			2	NHK教育	2	2
			3	熊本朝日放送（KAB）	16	16
			4	熊本県民テレビ（KKT）	22	22
			5			
			6	テレビ熊本（TKU）	34	34
			7			
			8			
			9	NHK総合	9	9
			10			
			11	熊本放送（RKK）	11	11
			12			
		水俣	1	NHK教育	1	1
			2			
			3	熊本朝日放送（KAB）	32	32
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	熊本放送（RKK）	6	6
			7			
			8	熊本県民テレビ（KKT）	36	36
			9			
			10	テレビ熊本（TKU）	38	38
			11			
			12			

［九州・沖縄は次のページにつづく］

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	大分	大分	1			
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	大分放送（OBS）	5	5
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	24	24
			7	テレビ大分（TOS）	36	36
			8			
			9			
			10			
			11			
			12	NHK教育	12	12
		中津	1			
			2			
			3	NHK総合	48	48
			4			
			5	大分放送（OBS）	51	51
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	17	17
			7	テレビ大分（TOS）	37	37
			8			
			9			
			10			
			11			
			12	NHK教育	45	45
		佐伯	1	NHK教育	1	1
			2			
			3			
			4			
			5	テレビ大分（TOS）	49	49
			6	大分朝日放送（OAB大分朝日放送）	31	31
			7	NHK総合	7	7
			8			
			9	大分放送（OBS）	9	9
			10			
			11			
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	宮崎	宮崎	1			
			2			
			3	テレビ宮崎（UMK）	35	35
			4			
			5			
			6			
			7			
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	宮崎放送（MRT）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12
		延岡	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	宮崎放送（MRT）	6	6
			7			
			8	テレビ宮崎（UMK）	39	39
			9			
			10			
			11			
			12			
	鹿児島	鹿児島	1	南日本放送（MBC）	1	1
			2			
			3	NHK総合	3	3
			4			
			5	NHK教育	5	5
			6			
			7	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	32	32
			8			
			9	鹿児島テレビ放送（KTS）	38	38
			10			
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	30	30
			12			

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	鹿児島	鹿屋	1			
			2	NHK教育	2	2
			3			
			4	NHK総合	4	4
			5			
			6	南日本放送（MBC）	6	6
			7			
			8	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	31	31
			9			
			10	鹿児島テレビ放送（KTS）	33	33
			11			
			12	鹿児島読売テレビ（KYT）	25	25
		阿久根	1			
			2			
			3			
			4	鹿児島放送（KKB鹿児島放送）	23	23
			5			
			6	鹿児島テレビ放送（KTS）	35	35
			7			
			8	NHK総合	8	8
			9			
			10	南日本放送（MBC）	10	10
			11	鹿児島読売テレビ（KYT）	17	17
			12	NHK教育	12	12
	沖縄	那覇	1			
			2	NHK総合	2	2
			3			
			4			
			5			
			6	琉球朝日放送（QAB）	28	28
			7			
			8	沖縄テレビ放送（OTV）	8	8
			9			
			10	琉球放送（RBC）	10	10
			11			
			12	NHK教育	12	12

■ お使いの地域・都市名で地上アナログ放送の自動チャンネル設定をしても正しく受信できない場合

- アンテナの種類（VHFまたはUHF）や向きがお使いになる地域や都市に適した状態になっていることを確認してください。詳しくはお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。
- 上記一覧表の地域・都市名に属する地域であっても、隣接する地域・都市の境界付近の場合やビルなどの高層物の影響を受ける場合、お近くの別の地域・都市にアンテナの種類（VHFまたはUHF）や向きを合わせた方がより良い受信環境になる場合があります。その場合は次のように設定してください。

①お近くの別の地域・都市にアンテナの種類（VHFまたはUHF）や向きを合わせる

・詳しくはお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

②215～216ページの「自動チャンネル設定」手順1～5を行う

③手順6でアンテナの向きに合わせた地域・都市名を選び、決定ボタンを押す

・適した地域・都市名が分からない場合は、上記一覧表を参照してお使いになる地域のもよりの地域・都市名から順に選んで正しく受信される地域・都市名をお探しください。
例：お使いになる地域が「横浜みなと」の場合は「横浜・川崎」または「平塚・茅ケ崎」など。

■左記を行っても、自動チャンネル設定では正しく受信できないチャンネルの場合

①222ページの「手動チャンネル設定」手順1～4を行う

②手順5で該当する「リモコンボタン」を選び、上記一覧表の同じリモコンボタンで他の正しく受信できる「チャンネル」を選んで、決定ボタンを押す

例：自動チャンネル設定で設定した地域・都市名が「横浜・川崎」の場合で、他は正しく受信できても、リモコンボタン7に割り当てられている「テレビ神奈川」「42CH」だけが正しく受信できない場合

・「48CH」（横浜みなと）や「46CH」（小田原）などに変えてみて正しく受信できるところを探す。

最初の設置・接続・設定

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

地上デジタル放送の放送(予定)一覧表

- この表は、地上デジタル放送の放送予定を表したものです。
  同時に、以下についても記載しています。
  (1) 域内（放送）（→312ページ）がリモコンボタンに自動設定される目安
  ・自動チャンネル設定（→215～221ページ）をすると、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探してリモコンのダイレクト選局ボタン[1]～[12]（または地上専用ダイレクト選局ボタン①～⑫）に放送の運用規格に基いて自動設定をします。
  この表ではその際、域内のどの放送局がどのリモコンボタンに自動設定されるのか、その目安を記載しています。
  (2) 番組表表示に表示される域内の放送局の順番（目安）
- この表をご覧の際には、245ページの「お知らせ」もよくお読みください。
- この表の内容は目安です。
  放送局の開局の状況などによっては、この表のとおり（上記のとおり）にはならない場合があります。

2003年6月25日現在

地方名	地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	北海道全域（区域放送開始前）	1	HBC北海道放送	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		4		
		5	STV札幌テレビ	4
		6	HTB北海道テレビ	5
		7	TVH	7
		8	UHB	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	旭川（区域放送開始後）	1	HBC旭川	3
		2	NHK教育・旭川	2
		3	NHK総合・旭川	1
		4		
		5	STV旭川	4
		6	HTB旭川	5
		7	TVH旭川	7
		8	UHB旭川	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	釧路（区域放送開始後）	1	HBC釧路	3
		2	NHK教育・釧路	2
		3	NHK総合・釧路	1
		4		
		5	STV釧路	4
		6	HTB釧路	5
		7	TVH釧路	7
		8	UHB釧路	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	北見（区域放送開始後）	1	HBC北見	3
		2	NHK教育・北見	2
		3	NHK総合・北見	1
		4		
		5	STV北見	4
		6	HTB北見	5
		7	TVH北見	7
		8	UHB北見	6
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	帯広（区域放送開始後）	1	HBC帯広	3
		2	NHK教育・帯広	2
		3	NHK総合・帯広	1
		4		
		5	STV帯広	4
		6	HTB帯広	5
		7	TVH帯広	7
		8	UHB帯広	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	札幌（区域放送開始後）	1	HBC札幌	3
		2	NHK教育・札幌	2
		3	NHK総合・札幌	1
		4		
		5	STV札幌	4
		6	HTB札幌	5
		7	TVH札幌	7
		8	UHB札幌	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	函館（区域放送開始後）	1	HBC函館	3
		2	NHK教育・函館	2
		3	NHK総合・函館	1
		4		
		5	STV函館	4
		6	HTB函館	5
		7	TVH函館	7
		8	UHB函館	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	室蘭（区域放送開始後）	1	HBC室蘭	3
		2	NHK教育・室蘭	2
		3	NHK総合・室蘭	1
		4		
		5	STV室蘭	4
		6	HTB室蘭	5
		7	TVH室蘭	7
		8	UHB室蘭	6
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	青森	1	RAB青森放送	3
		2	NHK教育・青森	2
		3	NHK総合・青森	1
		4		
		5	青森朝日放送	5
		6	ATV青森テレビ	4
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
	岩手	1	NHK総合・盛岡 ※3	1
		2	NHK教育・盛岡 ※3	2
		3		
		4	テレビ岩手	4
		5	岩手朝日テレビ	6
		6	IBCテレビ	3
		7		
		8	めんこいテレビ	5
		9		
		10		
		11		
		12		
	宮城	1	TBCテレビ	3
		2	NHK教育・仙台	2
		3	NHK総合・仙台	1
		4	ミヤギテレビ	5
		5	KHB東日本放送	6
		6		
		7		
		8	仙台放送	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	秋田	1	NHK総合・秋田	1
		2	NHK教育・秋田	2
		3		
		4	ABS秋田放送	3
		5	AAB秋田朝日放送	5
		6		
		7		
		8	AKT秋田テレビ	4
		9		
		10		
		11		
		12		

[東北は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	山形	1	NHK総合・山形	1
		2	NHK教育・山形	2
		3		
		4	YBC山形放送	3
		5	YTS山形テレビ	4
		6	テレビユー山形	5
		7		
		8	さくらんぼテレビ	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	福島	1	NHK総合・福島 ※3	1
		2	NHK教育・福島 ※3	2
		3		
		4	福島中央テレビ	4
		5	KFB福島放送	5
		6	テレビユー福島	6
		7		
		8	福島テレビ	3
		9		
		10		
		11		
		12		
関東	茨城	1	NHK総合・水戸 ※3	1
		2	NHK教育・東京	2
		3		
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	8
	栃木	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	とちぎテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9
	群馬	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	群馬テレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9
	埼玉	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	テレビ埼玉	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
関東	千葉	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	ちばテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9
	東京	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3		
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9	東京MXテレビ	8
		10		
		11		
		12	放送大学	9
	神奈川	1	NHK総合・東京	1
		2	NHK教育・東京	2
		3	TVKテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	TBS	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9		
		10		
		11		
		12	放送大学	9
甲信越	新潟	1	NHK総合・新潟	1
		2	NHK教育・新潟	2
		3		
		4	TeNYテレビ新潟	5
		5	新潟テレビ21	6
		6	BSN	3
		7		
		8	NST	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	山梨	1	NHK総合・甲府 ※3	1
		2	NHK教育・甲府 ※3	2
		3		
		4	YBS山梨放送	3
		5		
		6	UTY	4
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
	長野	1	NHK総合・長野	1
		2	NHK教育・長野	2
		3		
		4	テレビ信州	3
		5	ABN長野朝日放送	4
		6	SBC信越放送	5
		7		
		8	NBS長野放送	6
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
中部	富山	1	KNB北日本放送	3
		2	NHK教育・富山 ※3	2
		3	NHK総合・富山 ※3	1
		4		
		5		
		6	チューリップテレビ	5
		7		
		8	BBT富山テレビ	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	石川	1	NHK総合・金沢 ※3	1
		2	NHK教育・金沢 ※3	2
		3		
		4	テレビ金沢	3
		5	北陸朝日放送	4
		6	MRO	5
		7		
		8	石川テレビ	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	福井	1	NHK総合・福井 ※3	1
		2	NHK教育・福井 ※3	2
		3		
		4		
		5		
		6		
		7	FBCテレビ	3
		8	福井テレビ	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	静岡	1	NHK総合・静岡	1
		2	NHK教育・静岡	2
		3		
		4	静岡第一テレビ	5
		5	静岡朝日テレビ	6
		6	SBS	3
		7		
		8	テレビ静岡	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	愛知	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・名古屋	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		7		
		8		
		9		
		10	テレビ愛知	7
		11		
		12		
	三重	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・津 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ~テレ	5
		7	三重テレビ	7
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		

[中部は次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

地上デジタル放送の放送(予定)一覧表　つづき

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
中部	岐阜	1	東海テレビ	3
		2	ＮＨＫ教育・名古屋	2
		3	ＮＨＫ総合・岐阜　※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	ＣＢＣ	4
		6	メ～テレ	5
		7		
		8	岐阜テレビ	7
		9		
		10		
		11		
		12		
近畿	滋賀	1	ＮＨＫ総合・大津　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		3	ＢＢＣびわ湖放送	7
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		5		
		6	ＡＢＣテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
	京都	1	ＮＨＫ総合・京都　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		3		
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		5	ＫＢＳ京都	7
		6	ＡＢＣテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
	大阪	1	ＮＨＫ総合・大阪	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		3		
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		5		
		6	ＡＢＣテレビ	4
		7	テレビ大阪	7
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
	兵庫	1	ＮＨＫ総合・神戸　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		3	サンテレビ	7
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		5		
		6	ＡＢＣテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
	奈良	1	ＮＨＫ総合・奈良　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		3		
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		5		
		6	ＡＢＣテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9	奈良テレビ	7
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
近畿	和歌山	1	ＮＨＫ総合・和歌山　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・大阪	2
		3		
		4	ＭＢＳ毎日放送	3
		5	テレビ和歌山	7
		6	ＡＢＣテレビ	4
		7		
		8	関西テレビ	5
		9		
		10	よみうりテレビ	6
		11		
		12		
中国	鳥取	1	日本海テレビ	5
		2	ＮＨＫ教育・鳥取　※3	2
		3	ＮＨＫ総合・鳥取　※3	1
		4		
		5		
		6	ＢＳＳテレビ	4
		7		
		8	山陰中央テレビ	3
		9		
		10		
		11		
		12		
	島根	1	日本海テレビ	5
		2	ＮＨＫ教育・松江　※3	2
		3	ＮＨＫ総合・松江　※3	1
		4		
		5		
		6	ＢＳＳテレビ	4
		7		
		8	山陰中央テレビ	3
		9		
		10		
		11		
		12		
	岡山	1	ＮＨＫ総合・岡山　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・岡山　※3	2
		3		
		4	ＲＮＣ西日本テレビ	3
		5	ＫＳＢ瀬戸内海放送	4
		6	ＲＳＫテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	ＯＨＫテレビ	7
		9		
		10		
		11		
		12		
	広島	1	ＮＨＫ総合・広島	1
		2	ＮＨＫ教育・広島	2
		3	ＲＣＣテレビ	3
		4	広島テレビ	4
		5	広島ホームテレビ	5
		6		
		7		
		8	ＴＳＳ	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	山口	1	ＮＨＫ総合・山口　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・山口　※3	2
		3	ＴＹＳテレビ山口	4
		4	ＫＲＹ山口放送	3
		5	ＹＡＢ山口朝日	5
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
四国	徳島	1	四国放送	3
		2	ＮＨＫ教育・徳島　※3	2
		3	ＮＨＫ総合・徳島　※3	1
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
	香川	1	ＮＨＫ総合・高松　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・高松　※3	2
		3		
		4	ＲＮＣ西日本テレビ	3
		5	ＫＳＢ瀬戸内海放送	4
		6	ＲＳＫテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	ＯＨＫテレビ	7
		9		
		10		
		11		
		12		
	愛媛	1	ＮＨＫ総合・松山	1
		2	ＮＨＫ教育・松山	2
		3		
		4	南海放送	3
		5	愛媛朝日	4
		6	あいテレビ	5
		7		
		8	テレビ愛媛	6
		9		
		10		
		11		
		12		
	高知	1	ＮＨＫ総合・高知	1
		2	ＮＨＫ教育・高知	2
		3		
		4	高知放送	3
		5		
		6	テレビ高知	4
		7		
		8	さんさんテレビ	5
		9		
		10		
		11		
		12		
九州・沖縄	福岡	1	ＫＢＣ九州朝日放送	3
		2	ＮＨＫ教育・福岡 ＮＨＫ教育・北九州　※2	2
		3	ＮＨＫ総合・福岡 ＮＨＫ総合・北九州　※2	1
		4	ＲＫＢ毎日放送	4
		5	ＦＢＳ福岡放送	5
		6		
		7	TVQ九州放送	6
		8	ＴＮＣテレビ西日本	7
		9		
		10		
		11		
		12		
	佐賀	1	ＮＨＫ総合・佐賀　※3	1
		2	ＮＨＫ教育・佐賀　※3	2
		3	ＳＴＳサガテレビ	3
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		

［九州・沖縄は次のページにつづく］

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
九州・沖縄	長崎	1	NHK総合・長崎　※3	1
		2	NHK教育・長崎　※3	2
		3	NBC長崎放送	3
		4	NIB長崎国際テレビ	6
		5	NCC長崎文化放送	5
		6		
		7		
		8	KTNテレビ長崎	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	熊本	1	NHK総合・熊本　※3	1
		2	NHK教育・熊本　※3	2
		3	RKK熊本放送	3
		4	KKTくまもと県民	5
		5	KAB熊本朝日放送	6
		6		
		7		
		8	TKUテレビ熊本	4
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
九州・沖縄	大分	1	NHK総合・大分　※3	1
		2	NHK教育・大分　※3	2
		3	OBS大分放送	3
		4	TOSテレビ大分	4
		5	OAB大分朝日放送	5
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
	宮崎	1	NHK総合・宮崎　※3	1
		2	NHK教育・宮崎　※3	2
		3	UMKテレビ宮崎	4
		4		
		5		
		6	MRT宮崎放送	3
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
九州・沖縄	鹿児島	1	MBC南日本放送	3
		2	NHK教育・鹿児島　※3	2
		3	NHK総合・鹿児島　※3	1
		4	KYT鹿児島読売TV	6
		5	KKB鹿児島放送	5
		6		
		7		
		8	KTS鹿児島テレビ	4
		9		
		10		
		11		
		12		
	沖縄	1	NHK総合・那覇	1
		2	NHK教育・那覇	2
		3	RBCテレビ	3
		4		
		5	QAB琉球朝日放送	4
		6		
		7		
		8	沖縄テレビ（OTV）	5
		9		
		10		
		11		
		12		

■表中の「リモコンボタン※１」の項目について

- 初期スキャンや再スキャンを行ったときに、その放送局がリモコンのどのダイレクト選局ボタン（または地上専用ダイレクト選局ボタン）に設定されるかを表します。

■表中の「※2」が記載されている放送局の放送について

- 初期スキャンや再スキャンの際に、入力レベルの高いほうの放送をダイレクト選局ボタンに設定します。
（これは、放送の運用規定によるものです。）

■表中の「※3」が記載されている放送局（NHK）の放送について

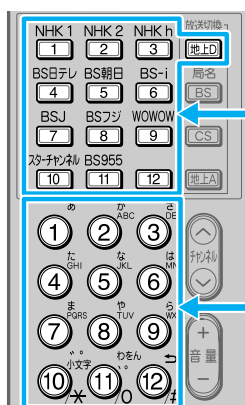
- 初期スキャンや再スキャンの際に受信できなかった場合は、受信できた域外のNHK放送をダイレクト選局ボタンに設定します。
（設定される放送は、地域によって決められています。）
その後「※3」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。
（これは、放送の運用規定によるものです。）

初期設定を個別に行うとき つづき

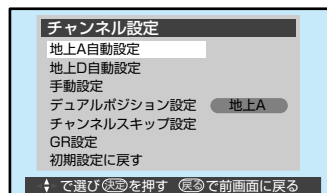
チャンネル設定 つづき

デュアルポジション設定(地上A⇔地上D切換)

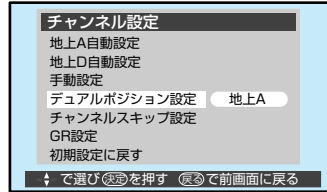
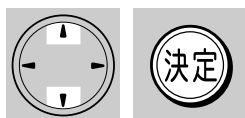
■地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）を地上デジタル放送選局用に切り換えるには

● 地上専用ダイレクト選局ボタンは、お買上げ時には地上アナログ放送が選局されるように設定されています。
以下の操作で「地上A」から「地上D」に変更することで、地上デジタル放送の選局用に切り換えることができます。(下図を参照してください。)
この機能は、今後地上デジタル放送が主流となったときに便利です。
地上デジタル放送用に変更すると、ダイレクト選局ボタン(1～12)に地上デジタル放送用として登録されていたチャンネルを地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)で選局できるようになります。
その場合、地上アナログ放送は、ダイレクト選局ボタン(1～12)で選局します。

1 215ページの手順 **1**、**2** を行う

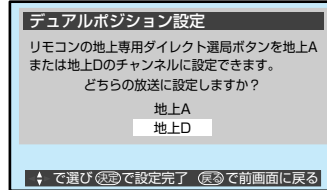
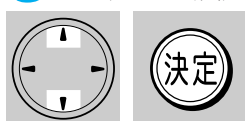
●「チャンネル設定」メニューが表示されます。

チャンネル設定
地上A自動設定
地上D自動設定
手動設定
デュアルポジション設定 地上A
チャンネルスキップ設定
GR設定
初期設定に戻す
で選び 決定 を押す 戻る で前画面に戻る

2 カーソルボタン▲·▼で「デュアルポジション設定」を選び、決定ボタンを押す

●「デュアルポジション設定」画面が表示されます。

チャンネル設定
地上A自動設定
地上D自動設定
手動設定
デュアルポジション設定 地上A
チャンネルスキップ設定
GR設定
初期設定に戻す
で選び 決定 を押す 戻る で前画面に戻る

3 カーソルボタン▲·▼で「地上A」または「地上D」を選び、決定ボタンを押す

● 地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)を地上デジタル放送用の選局ボタンにする場合は、「地上D」を選んでください。

デュアルポジション設定
リモコンの地上専用ダイレクト選局ボタンを地上Aまたは地上Dのチャンネルに設定できます。
どちらの放送に設定しますか？
地上A
地上D
で選び 決定 で設定完了 戻る で前画面に戻る

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

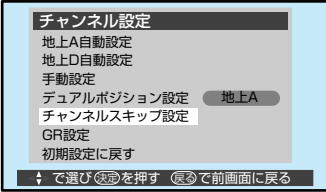
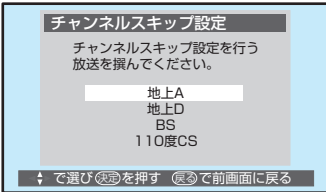
チャンネルスキップ設定

- チャンネルボタン∧・∨で選局するときに、不要なチャンネルを飛び越し選局できます。
- CATVチャンネルは、お買上げ時は「スキップ」になっています。受信するには、以下の手順で「受信」に設定してください。
- 地上デジタル放送の場合、「初期スキャン」（→217ページ）が行われていないと、ここでの設定はできません。

1 215ページの手順 1、2 を行う

- 「チャンネル設定」メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「チャンネルスキップ設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲・▼でチャンネルスキップ設定をする放送を選び、決定ボタンを押す

- チャンネルスキップ設定をする放送を選んでください。
  - ・地上A …… 地上アナログ放送
  - ・地上D …… 地上デジタル放送
  - ・BS ……… BSデジタル放送
  - ・110度CS ‥ 110度CSデジタル放送

4 以下を行う

手順3で「地上A」を選んだ場合

- **カーソルボタン▲・▼でスキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ**

地上Aチャンネルスキップ設定

リモコン	チャンネル	放送局	スキップ
1	1	NHK総合	受信
2	2		スキップ
3	3	NHK教育	受信
4	4	日本テレビ	受信
5	5	MXテレビ	受信
6	6	TBS	受信

で選び 決定で設定/解除 戻るで前画面に戻る

（例）地上アナログ放送の場合

手順3で「地上D」、「BS」、「110度CS」を選んだ場合

- **カーソルボタン▲・▼でスキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ**

BSチャンネルスキップ設定

チャンネル	放送局	スキップ
BS101	NHK BS1	受信
BS102	NHK BS2	受信
BS103	NHK h	受信
BS141	BS日テレ	受信
BS142	BS日テレ	受信
BS143	BS日テレ	受信

チャプで選び 決定で設定/解除 戻るで前画面に戻る

（例）BSデジタル放送の放送メディアが「テレビ」の場合

放送メディアを変えたいとき

- **メディアボタンを押し、放送メディアを選ぶ**
  - ・放送メディアの詳細については、35ページの手順2をご覧ください。

5 決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押すごとに、「受信」←→「スキップ」と交互に切り換わります。

いくつものチャンネルについて設定するときは、手順4、5を繰り返す

（異なる放送のチャンネルについて設定する場合は、手順4の画面のときに戻るボタンを押して手順3の操作から行ってください。）

6 ［通常画面に戻るには］ 終了ボタンを押す

お知らせ

- チャンネルボタン∧・∨で受信／スキップできるチャンネルは以下のとおりです。

メニュー		チャンネル
「地上A」を選んだ場合	①	地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）に割り当てられた地上アナログ放送チャンネルまたはCATVチャンネル
	②	CATVチャンネルC13～C38 ● 地上専用ダイレクト選局ボタン（①～⑫）に割り当てられているCATVチャンネルについては、上記①で設定されるため、ここでは受信／スキップの変更はできません。（「設定済み」が表示されます。）設定は、上記①で行ってください。
デジタル放送を選んだ場合		メディア（テレビ／ラジオ／データ）ごとに受信可能なチャンネル

- 「自動チャンネル設定」を行った場合のチャンネルスキップ設定の状態は以下のとおりです。

放送	スキップ設定の状態
地上アナログ放送	①～⑫ボタンはチャンネルが割り当てられているボタンは「受信」、チャンネルが割り当てられていないボタンは「スキップ」に設定
CATV	「自動チャンネル設定」する前と変わりません。
地上デジタル放送	スキップ設定なし
BSまたは110度CSデジタル放送	「自動チャンネル設定」する前と変わりません。

- チャンネルスキップ設定は本体ボタンでもできます。
  - ① 本体の上面部にあるチャンネル設定ボタンをチャンネル設定メニューが出るまで数秒押す
  - ② 手順2以降を行う
    - 右表を参照して操作してください。

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲・▼	チャンネル ▲・▼
決定	入力切換
戻る	放送切換
終了	チャンネル設定

※放送メディアを変えたい場合は、リモコンのメディアボタンを押してください。

- 「手動チャンネル設定」を行ったチャンネルは、自動的に「受信」に設定されます。
- ハイビジョン放送のような一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネル（一番小さい番号のチャンネル）をスキップ設定すると、その次のチャンネルを選局します。

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

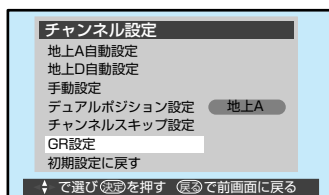
GR(ゴーストリダクション)設定

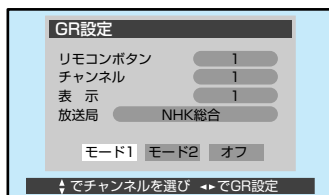
- テレビ受信時にゴースト(2重、3重の映像)があるとき、GR(ゴーストリダクション)設定を「モード1」または「モード2」に設定すると、ゴーストの軽減された映像でご覧になれます。(受信状況などによっては、効果が小さい場合があります。)
- GR機能は「ゴースト除去基準信号(GCR信号)」が含まれた地上アナログ放送チャンネルを受信したときにはたらきます。(デジタル放送や外部入力の信号にははたらきません。)

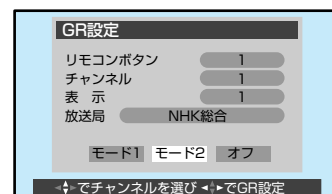
1 215ページの手順 1、2 を行う

- 「チャンネル設定」メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「GR設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「GR設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼でGR設定したいチャンネルを選ぶ

例:チャンネル1にGR設定を行う

4 カーソルボタン◀·▶で「モード1」「モード2」または「オフ」を選ぶ

- 「モード1」、「モード2」については、このページの下の「お知らせ2」をご覧ください。

(例)モード2を選ぶ

いくつものチャンネルをGR設定するときは、手順3、4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ1

- GR設定できるチャンネルは以下のとおりです。

	チャンネル
①	地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)またはダイレクト選局ボタン(1～12)に割り当てられた地上アナログ放送チャンネルまたはCATVチャンネル
②	CATVチャンネルC13～C38 ● 地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)またはダイレクト選局ボタン(1～12)に割り当てられているCATVチャンネルについては、上記①で設定されるため、ここではGR設定できません。(「設定済み」が表示されます。)設定は、上記①で行ってください。

- GR設定は本体ボタンでもできます。
  ① 本体の上面部にあるチャンネル設定ボタンをチャンネル設定メニューが出るまで数秒押す
  ② 手順2以降を行う
  - 以下を参照して操作してください。

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲·▼	チャンネル ▲·▼
カーソル ◀·▶	音量 ＋·－
決定	入力切換
戻る	放送切換
終了	チャンネル設定

お知らせ2

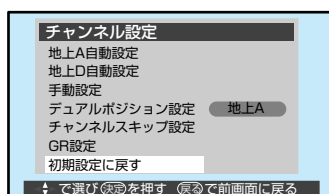
- お買上げ時は、すべてのチャンネルが「モード1」に設定されています。
- 自動チャンネル設定を行うと、地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)またはダイレクト選局ボタン(1～12)については「モード1」に設定されます。
- 「モード1」または「モード2」に設定したときおよび、設定してあるチャンネルを選局したとき、数秒してからはたらき、時間がたつにつれて徐々に軽減します。
- 電波が弱い場合など、ゴースト軽減中に新たなゴーストがつく場合がありますが徐々に軽減します。このような場合は「モード2」をおすすめします。
- 「モード2」は「モード1」に比べて、ゴースト軽減を開始するまでの時間がかかりますが、開始後に新たなゴーストが見える場合が少なくなります。
- 次の場合はGR設定を「オフ」でご使用ください。
  - ・ゴーストが軽減できなくて見づらい場合(過大なゴーストや多数のゴーストがあるとき、電波が弱いとき、飛行機など動くものによるゴーストのときなど)
  - ・アンテナの設定・調整が適切でないとき(室内アンテナなど)
  - ・アンテナの設置・調整時
- 「ゴースト除去基準信号(GCR信号)」が含まれていない放送を受信しているときは、効果が得られません。

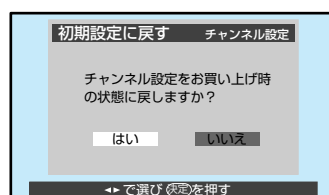
チャンネル設定を最初の状態に戻す

● お買上げ時のチャンネル設定の状態に戻すことができます。

1 215ページの手順 1、2 を行う

● 「チャンネル設定」メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

● チャンネル設定がお買上げ時の状態に戻ります。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■チャンネル設定のお買上げ時の状態について

● 地上アナログ放送場合·····32ページをご覧ください。
● BSデジタル、110度ＣＳデジタル放送場合·····34ページの表をご覧ください。
● **地上デジタル放送の場合には、受信できなくなります。「初期スキャン」（→217ページ）を行ってください。「データ放送用メモリの割当て」（→213ページ）についてはそのままです。（個人情報は消去されません）**

● チャンネル設定を最初の状態に戻す操作は、本体ボタンでもできます。
① 本体の上面部にあるチャンネル設定ボタンをチャンネル設定メニューが出るまで数秒押す
② 手順2以降を行う
● 以下を参照して操作してください。

リモコンボタン	リモコンボタンと同じはたらきをする本体ボタン
カーソル ▲·▼	チャンネル ▲·▼
カーソル ◄·►	音量 ＋·－
決定	入力切換
戻る	放送切換
終了	チャンネル設定

初期設定を個別に行うとき つづき

受信設定

● アンテナ電源供給とアンテナレベルについては197～199ページをご覧ください。

197～199ページ

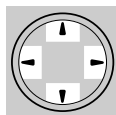
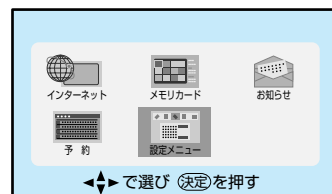
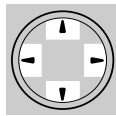
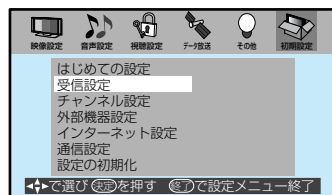
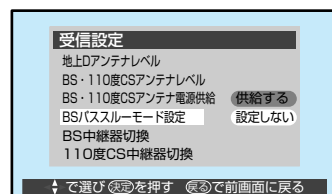
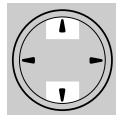
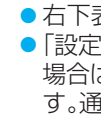
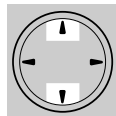
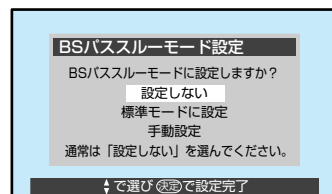
BSパススルーモード設定(ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください)

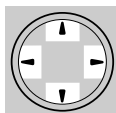
[この設定はBSデジタル放送のみで、地上デジタル放送と110度CSデジタル放送は設定できません。]

- ケーブルテレビで、BSデジタル放送サービスが行われている場合は、周波数アップコンバーターを接続することで、本機でBSデジタル放送をお楽しみいただけます。
  その場合は、以下の操作でBSパススルーモード設定をすることが必要です。
- お買上げ時は「設定しない」に設定されています。
- この機能や周波数アップコンバーターについては、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

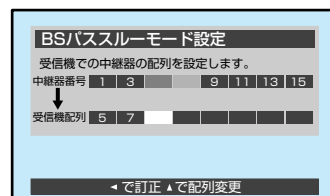
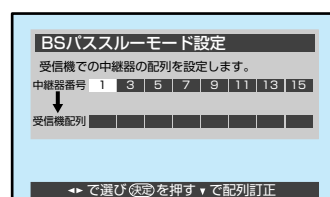
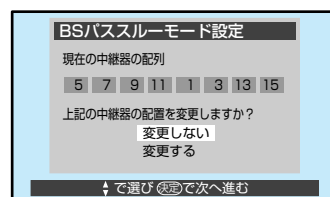
2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す

● 「受信設定」画面になります。

4 カーソルボタン▲·▼で「BSパススルーモード設定」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲·▼で設定する状態を選び、決定ボタンを押す

- 右下表によって、設定内容を選んでください。
- 「設定しない」または「標準モードに設定」を選んだ場合はその状態に設定され、手順**4**の画面に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
- 「手動設定」を選んだ場合は、手順**6**に進んでください。
- BSパススルーモード方式で受信しない場合は「設定しない」を選んでください。

選択項目	内 容
設定しない	BSパススルーモードを設定しない場合
標準モードに設定	ケーブルテレビでの標準的なBSパススルー方式
手動設定	伝送するBS-IFチャンネルとその並びを指定する場合

6 ［「手動設定」を選んだ場合には ］以下の操作で設定する

①現在設定されている状態を画面表示で確認し、このままで良い場合は「変更しない」を、設定を変える場合は「変更する」をカーソルボタン▲･▼で選んで、決定ボタンを押す

- 「変更しない」を選んだ場合は、手順**4**の画面に戻ります。
  通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
- 「変更する」を選んだ場合は、手順②に進んでください。

②カーソルボタン◀･▶で設定する中継器を選び、決定ボタンを押す

BSパススルーモード設定
受信機での中継器の配列を設定します。
中継器番号 1 3 9 11 13 15
受信機配列 5 7
で訂正 で配列変更

- 中継器は、設定欄の選んだ中継器の番号が受信機の配列の左から順次設定されます。
- 訂正する場合は、カーソルボタン▼を押し、カーソルボタン◀を押すと一つずつ左に戻ります。訂正したらカーソルボタン▲を押してください。
- すべての設定欄に登録されると、手順**4**の画面に戻ります。

項　目	BS-IF							
中心周波数（MHz）	1049.48	1087.84	1126.20	1164.56	1202.92	1241.28	1279.64	1318.00
衛星直接受信チャンネル	BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-13	BS-15
BSパススルー方式受信チャンネル	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-1	BS-3	BS-13	BS-15

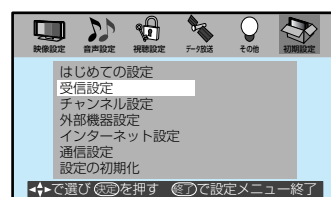
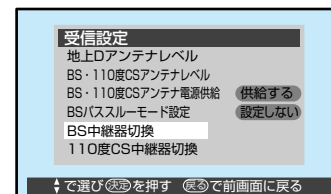
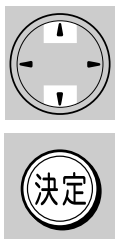
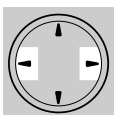
7 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

受信設定 つづき

BS中継器切換/110度CS中継器切換

- 通常は切換の必要はありません。
- 衛星の一部の中継器が故障したために、すべての放送が受信できなくなってしまう場合があります。その際は、以下の操作で他の中継器に切り換えることによって、故障した中継器以外の放送が受信できるようになります。
- 衛星の中継機が故障した場合以外にも、外部機器からの電波の干渉などによって、一部の中継機が受信できない場合も同様です。

1 以下の操作で「受信設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「受信設定」を選んで、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン◀·▶で中継器を切り換える

- BSデジタル放送の場合
  選択できる中継器は、「BS01、BS03、BS05、BS07、BS09、BS11、BS13、BS15」です。
- 110度CSデジタル放送の場合
  選択できる中継器は、「ND02、ND04、ND06、ND08、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24」です。

(例)BS中継器切換の場合

4 放送が受信できたことを確認したら、決定ボタンを押す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

外部機器の設定

i.LINK設定

● i.LINK端子にD-VHSビデオなどを接続した場合は、必要に応じて以下の設定をしてください。

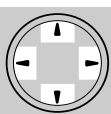
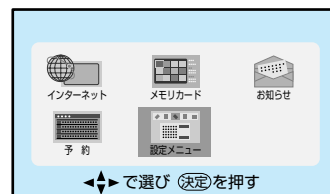
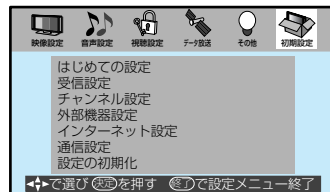
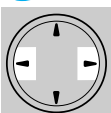
■i.LINK 機器の登録

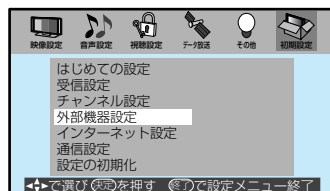
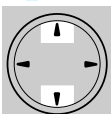
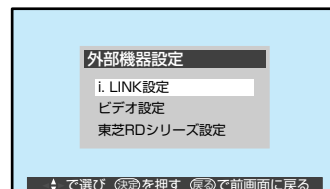
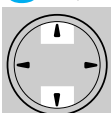
● 通常は、本機にi.LINK機器が接続されると自動的に機器登録されますので、この手動操作での登録をする必要はありません。
● 次の場合に、以下の操作で登録を行ってください。
　・「登録モード設定」(→257ページ)を「手動」に設定している場合で、新たなi.LINK機器を登録する場合
　・ 16台以上のi.LINK機器を接続している場合
● 登録できるのは、最大15台までです。
● 本機に登録できるのはD-VHSビデオ、HDDビデオレコーダー、デジタルチューナー(BS、110度CS、地上デジタル用)などです。
　上記以外の機器は登録できない場合があります。

はじめに 登録したい機器を i.LINK 接続する（→ 149 ページ）

1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲･▼･◄･► で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◄･► で「初期設定」を選ぶ

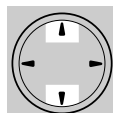
4 カーソルボタン▲･▼ で「外部機器設定」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲･▼ で「i.LINK設定」を選び、決定ボタンを押す

● 録画実行中やライブラリ（→155ページ）でのコピー実行中は、i.LINK設定できません。

[次のページにつづく]

外部機器の設定 つづき

i.LINK設定 つづき

■i.LINK 機器の登録 つづき

6 カーソルボタン▲·▼で「i.LINK 機器の登録」を選び、決定ボタンを押す

- 未登録の機器がある場合は、右の操作ガイドが表示されます。
  この操作ガイドが表示されない場合は新たに登録できる機器がありません。登録を変更する場合は、「i.LINK機器を削除するには」(256ページ)で削除してから、登録操作を行ってください。

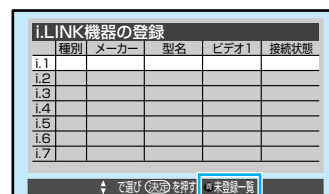
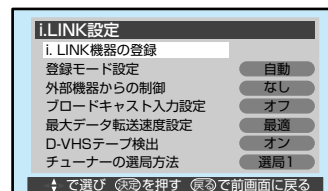
i.LINK設定

i. LINK機器の登録	
登録モード設定	自動
外部機器からの制御	なし
ブロードキャスト入力設定	オフ
最大データ転送速度設定	最適
D-VHSテープ検出	オン
チューナーの選局方法	選局1

▲▼で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

i.LINK機器の登録

	種別	メーカー	型名	ビデオ1	接続状態
i.1					
i.2					
i.3					
i.4					
i.5					
i.6					
i.7					

▲▼で選び 決定を押す 未登録一覧

未登録機器がある場合に表示されます

7 青ボタンを押す

- 未登録機器一覧が表示されます。

i.LINK機器の登録 未登録機器一覧

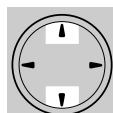
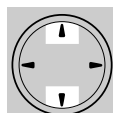
種別	メーカー	型名
D-VHS	▲▲▲	＊＊＊＊＊＊＊
D-VHS	▲▲▲	＊＊＊＊＊＊＊

▲▼で登録する機器を選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

8 カーソルボタン▲·▼で登録したい機器を選び、決定ボタンを押す

i.LINK機器の登録 未登録機器一覧

種別	メーカー	型名
D-VHS	▲▲▲	＊＊＊＊＊＊＊
D-VHS	▲▲▲	＊＊＊＊＊＊＊

▲▼で登録する機器を選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

9 カーソルボタン▲·▼で登録場所を選び、決定ボタンを押す

- すでに登録されている場所を選んだ場合は、確認のメッセージが表示されます。
  そのまま登録する場合は「変更する」を選んで決定ボタンを押してください。

i.LINK機器の登録

	種別	メーカー	型名	ビデオ1	接続状態
i.1	D-VHS	△△△	＊＊＊＊		接続
i.2	D-VHS	△△△	＊＊＊＊		接続
i.3					
i.4					
i.5					
i.6					
i.7					

▲▼で選び 決定を押す

続けて登録をする場合は、手順 7 ～ 9 を繰り返す

10 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■ビデオ 1 接続設定

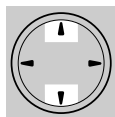
- この設定はi.LINK接続した機器からのアナログ信号をテレビのビデオ入力1端子に入力して見るための設定です。

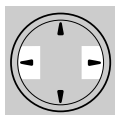
  ［149、150ページの接続図で、以下の設定にしておくと、デジタル信号からアナログ信号に変わったとき、自動的に「ビデオ入力１」に切り換わるので、手動での入力切換操作が不要となり便利です。］
- この設定をした機器の操作方法は151ページの「本機からi.LINK接続された機器を操作する」をご覧ください。
- 設定できる機器はi.LINK機器1台だけです。
- **設定できるのは、D-VHSビデオとデジタルチューナーのみです。HDDビデオレコーダーは設定できません。**

1 **253～254 ページの手順 1～6 を行う**

- 「i.LINK機器の登録」画面になります。

2 **カーソルボタン▲·▼ で登録したい機器を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン▲·▼で「ビデオ１接続」を選び、決定ボタンを押す**

4 **カーソルボタン◀·▶で「設定する」を選び、決定ボタンを押す**

- 選ばれた機器がビデオ1設定されている場合は、解除をする/しないの選択画面になります。ビデオ1設定を解除する場合は、「解除する」を選んで決定ボタンを押してください。

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- ＨＤＤビデオレコーダーをD-VHSモードで使用する場合は、ビデオ１接続設定を行っても正しく動作しない場合があります。

初期設定を個別に行うとき つづき

外部機器の設定 つづき

i.LINK設定 つづき

■i.LINK 機器を削除するには

- i.LINK接続をはずして使用しなくなった機器を、登録リストから削除することができます。
- 左下の「お知らせ」もご覧ください。
- 個別に削除する方法とまとめて削除する方法があります。

1 253～254 ページの手順 **1** ～ **6** を行う

- 「i.LINK機器の登録」画面になります。

2 以下の操作で削除する

個別に削除する場合

①カーソルボタン▲·▼で削除したい機器を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲·▼で「この登録を削除する」を選び、決定ボタンを押す

③カーソルボタン◄·►で「削除する」を選び、決定ボタンを押す

続けて他の機器を削除する場合は、手順①～③を繰り返す

④通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

すべての機器をまとめて削除する場合

①カーソルボタン▲·▼で登録されている機器のどれかを選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲·▼で「すべての登録を削除する」を選び、決定ボタンを押す

③カーソルボタン◄·►で「削除する」を選び、決定ボタンを押す

④通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

お知らせ

■i.LINK機器を接続したままの状態で、本機の登録リストから削除したい場合
- 「登録モード設定」（→257ページ）を「手動」でご使用の場合に削除ができます。
- 「自動」に設定されている場合は、削除の操作をしても再度自動的に登録される場合があります。

■録画予約設定されているi.LINK機器について
- 録画予約設定されているi.LINK機器は削除できません。
  削除するには録画予約を取り消してください。（→97ページ）

■その他のi.LINK設定〔登録モード設定、外部機器からの制御、ブロードキャスト入力設定、最大データ転送速度設定、D-VHSテープ検出、チューナーの選局方法〕

● お買上げ時は、基本的な状態に設定されています。設定を変える場合は、以下の操作で行ってください。

1　253ページの手順 1 ～ 5 を行う

●「i.LINK設定」画面が表示されます。

2　以下の操作によって、設定を行う

i.LINK設定

i. LINK機器の登録	
登録モード設定	自動
外部機器からの制御	なし
ブロードキャスト入力設定	オフ
最大データ転送速度設定	最適
D-VHSテープ検出	オン
チューナーの選局方法	選局1

で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

1.登録モード設定（自動／手動）

※通常はこの設定は不要です。

● i.LINK機器の登録を自動で行うか、手動操作で登録させるかの設定をします。
お買上げ時は「自動」に設定されており、通常はこのままでご使用いただけます。

● i.LINK接続している機器の一部だけを登録したい場合や、自動登録の動作が安定しない場合は、以下の操作で「手動」にしてください。

設定のしかた

①カーソルボタン▲･▼で「登録モード設定」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲･▼で「自動」または「手動」を選び、決定ボタンを押す

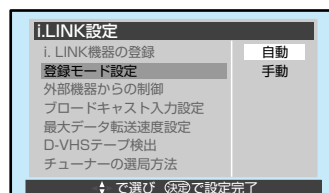
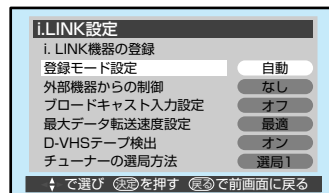
●「自動」… i.LINK機器が本機に接続されると、自動的に機器が登録されます。

●「手動」… 自動登録は行わず、手動のみで登録を行うモードです。「手動」にした場合は、「i.LINK機器の登録」（→253ページ）で登録をしてください。

i.LINK設定

i. LINK機器の登録 / 登録モード設定 / 外部機器からの制御 / ブロードキャスト入力設定 / 最大データ転送速度設定 / D-VHSテープ検出 / チューナーの選局方法

自動 / 手動

で選び 決定で設定完了

2.外部機器からの制御（なし／あり）

●「あり」にすると、i.LINK接続されている他の機器から制御されるようになります。（165ページの「他機から本機をi.LINK制御する際のご注意」をご覧ください。）
お買上げ時は、「なし」に設定されています。

i.LINK設定

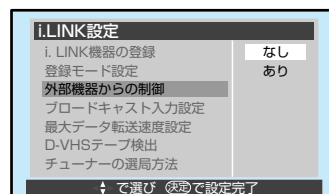
i. LINK機器の登録 / 登録モード設定 / 外部機器からの制御 / ブロードキャスト入力設定 / 最大データ転送速度設定 / D-VHSテープ検出 / チューナーの選局方法

なし / あり

で選び 決定で設定完了

設定のしかた

①カーソルボタン▲･▼で「外部機器からの制御」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲･▼で「なし」または「あり」を選び、決定ボタンを押す

3.ブロードキャスト入力設定（オン／オフ）

● ブロードキャストとは、i.LINK接続されている複数の機器に同時に信号を送り、それぞれの機器で同時にその信号を受けるようにした機能のことです。

● 本機では、ブロードキャスト入力を「オン」にすることで、他機器からのブロードキャストを受けることができます。お買上げ時は、「オフ」に設定されています。（操作方法は、→151ページ）

設定のしかた

①カーソルボタン▲･▼で「ブロードキャスト入力設定」を選び、決定ボタンを押す

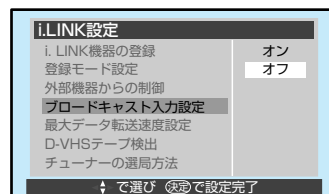
②カーソルボタン▲･▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

［次のページにつづく］

お知らせ

● 「外部機器からの制御」を「あり」設定している場合でも、「番組情報取得設定」（→182ページ）を「取得しない」に設定し、電源を待機にしたときは、i.LINK接続されている他の機器からの制御は受け付けません。

● 「外部機器からの制御」を「なし」に設定した場合は、本体の電源を「待機」や「切」にし、その後「入」にすると、他機器からの認識ができない場合があります。
「外部機器からの制御」を「なし」に設定した場合で、本機の電源を「待機」→「入」にして動作が不安定になる場合は、i.LINKケーブルを抜き差ししてください。

● 接続される機器によっては、本機で「ブロードキャスト入力設定」を「オン」に設定しても、ブロードキャストをご覧になれない場合があります。

初期設定を個別に行うとき つづき

外部機器の設定 つづき

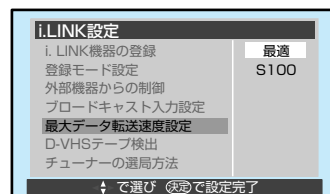
i.LINK設定 つづき

■その他の i.LINK 設定 つづき

4.最大データ転送速度設定(最適/S100)

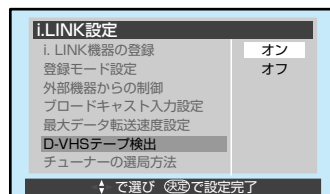
- お買上げ時は「最適」に設定されています。(通常はこの状態でご使用ください。)
  転送速度が100Mbpsのケーブルや機器を使用する場合は、「S100」に設定してください。

設定のしかた

①**カーソルボタン▲·▼で「最大データ転送速度設定」を選び、決定ボタンを押す**
②**カーソルボタン▲·▼で「最適」または「S100」を選び、決定ボタンを押す**

5.D-VHSテープ検出(オン/オフ)

- 録画予約や一発録画をデジタル録画で行う際、D-VHSテープがはいっているかを自動検出する機能です。
  お買上げ時は「オン」に設定されています。

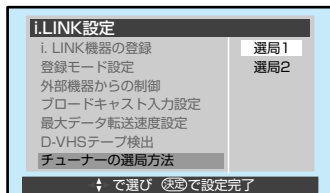
設定のしかた

①**カーソルボタン▲·▼で「D-VHSテープ検出」を選び、決定ボタンを押す**
②**カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す**
- 「オン」… 自動検出を行います。(自動検出の判定は、本機ではなくD-VHSビデオが行います。)
  デジタル録画予約や一発録画(デジタル録画の場合)で、実行時にD-VHSテープがはいっていない場合は録画を実行しません。
- 「オフ」… 本機側では自動検出を行いません。

- D-VHSテープを入れても、D-VHSテープがはいっていないというメッセージが表示される場合は、この機能を「オフ」に設定してください。これは、D-VHSビデオにD-VHSテープの自動検出機能がないためです。本機の故障ではありません。

6.チューナーの選局方法(選局1/選局2)

- デジタル放送チューナー(地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送用)を本機にi.LINKで接続して、本機からデジタル放送チューナーの選局操作をする際の選局方法を設定します。
  お買上げ時は「選局1」に設定されています。

設定のしかた

①**カーソルボタン▲·▼で「チューナーの選局方法」を選び、決定ボタンを押す**
②**カーソルボタン▲·▼で「選局1」または「選局2」を選び、決定ボタンを押す**
- 「選局1」…i.LINK操作パネルには、数字ボタン(1~12)が表示されます。
  3桁チャンネル番号で選局したり、数字ボタンに登録させたチャンネルを選局するなどの使いかたができます。(→詳しくは160ページ)
- 「選局2」…i.LINK操作パネルには、チャンネルボタン∧·∨が表示されます。
  チャンネルを順に選局することができます。(→詳しくは163ページ)

お知らせ

- 設定した内容は、次にi.LINKモードにしたときから反映されます。

3 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

ビデオの設定

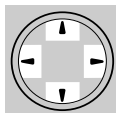
■ビデオ機種設定

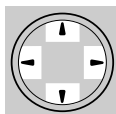
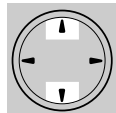
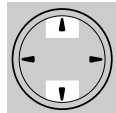
- 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、ビデオへの録画予約、一発録画を行う場合、あらかじめ、この設定をしておくことが必要です。
- この設定が終了したあとは、必ず「ビデオ動作の確認」(→261ページ)を行ってください。
  (手順7または手順8で「該当なし」に設定した場合は不要です。)
  「ビデオ動作の確認」で正しく動作しない場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約、一発録画をすることはできません。
- 手順8〜11の操作は、本体のボタンで行ってください。
- お買上げ時のビデオの機種設定は、「東芝1」に設定されています。

はじめに 付属のビデオコントロールケーブルを正しく接続、設置する(→148ページ)

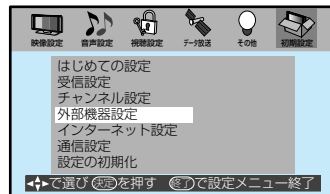
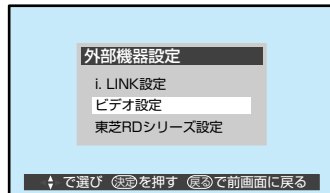
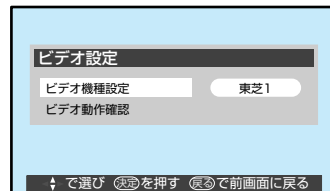
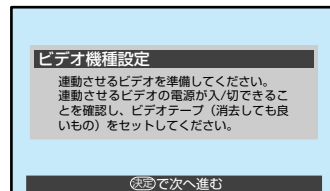
1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◀･▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲･▼で「外部機器設定」を選んで、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲･▼で「ビデオ設定」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲･▼で「ビデオ機種設定」を選び、決定ボタンを押す

6 画面の説明に従って、連動させるビデオの準備をする

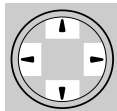
①ビデオの電源が、ビデオのリモコンで入/切(待機)できることを確認する
②消去してもよいビデオテープをビデオに入れる
③以上が終ったら、決定ボタンを押す

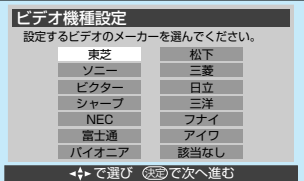
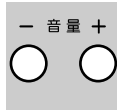
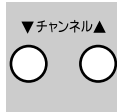
[次のページにつづく]

- 録画実行中やライブラリでのコピー実行中は、ビデオ機種設定はできません。

初期設定を個別に行うとき つづき

外部機器の設定 つづき

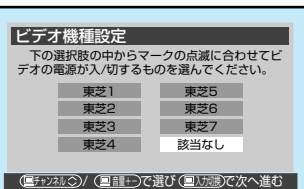
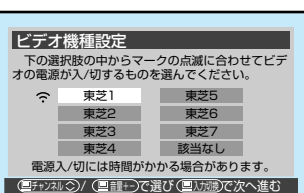
ビデオの設定 つづき

7 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で設定するビデオのメーカーを選び、決定ボタンを押す

該当するメーカーがない場合

- この場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画をすることはできません。ビデオ側で録画予約や録画の操作を行ってください。
- 「該当なし」を選んで決定ボタンを押すと、手順5に戻ります。通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。

8 本体のチャンネルボタン▲·▼または音量ボタン＋・－でリモコンの信号形式を選ぶ

- ビデオの電源が入⇔切(待機)となる信号形式を選びます。
- **選んだ信号形式によっては電源入から切(待機)までしばらく時間がかかる場合があります。**
(信号形式によっては1分ほどかかる場合もあります。)

ビデオの電源が入⇔切(待機)となるものがない場合

- この場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約、一発録画をすることはできません。ビデオ側で録画予約や録画の操作を行ってください。
- 「該当なし」を選んで本体の入力切換ボタンを押すとメッセージ画面になります。
本体の入力切換ボタンを押すと手順5に戻ります。
通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。

【上面】 (→23ページ)

9 本体の入力切換ボタンを押す

10 ビデオの電源が「入」であることを確認してから、本体の入力切換ボタンを押す

- ビデオの電源が切(待機)のときには、ビデオの電源ボタンを押して電源を入れてから、本体の入力切換ボタンを押してください。

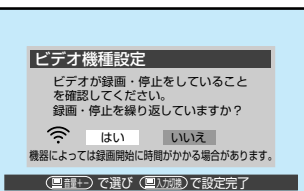
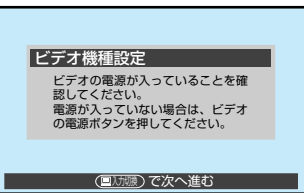
11 ビデオが録画⇔停止を繰り返しているか確認し、以下の操作をする

- **選んだ信号形式によっては録画⇔停止でしばらく時間がかかる場合があります。**
(信号形式によっては1分ほどかかる場合もあります。)

ビデオが録画⇔停止を繰り返している場合

- **本体の音量ボタン＋・－で「はい」を選び、本体の入力切換ボタンを押す**
  - 「ビデオの設定が完了しました。」のメッセージが表示されます。そのあと、手順5の画面に戻ります。手順12に進んでください。

ビデオが録画⇔停止を繰り返していない場合

- 現在選んでいる信号形式では、ビデオの録画や停止を行うことができません。
以下の操作で、別の信号形式を選んでください。
■本体の音量ボタン＋・－で「いいえ」を選び、本体の入力切換ボタンを押す
  - 手順8の画面に戻ります。別の信号形式を選んで、手順8以降の操作をもう一度行ってください。
  - どの信号形式でも、ビデオが録画⇔停止を繰り返さない場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して録画予約や一発録画をすることはできません。終了ボタンを押して、設定を中止してください。

12 「ビデオ動作の確認」（次ページ）を行う
（手順7または手順8で「該当なし」を選んだ場合は不要です。）

お知らせ

- 次の①および②の動作をしないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使って録画できません。
① 右記の手順8の操作で「ビデオの電源が入⇔切(待機)」の動作をしない
② 右記の手順11の操作で「ビデオが録画⇔停止」の動作をしない
- ビデオによっては「ビデオ1」「ビデオ2」などのように、ビデオ側でリモコンの信号形式を選べるものがあります。お使いのビデオ付属の取扱説明書でご確認ください。それらの数字(「ビデオ1」など)と手順8の画面の数字（東芝1、東芝2など）とは関連ありません。
- 「該当なし」を選んだ場合は、前にビデオの機種を設定していた場合も、その設定内容は削除されます。

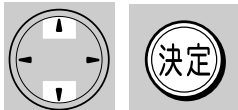
■ビデオ動作の確認

- ビデオコントロールケーブルによってビデオが正しくコントロールされているか、確認することができます。
- 手順**5**の操作は、本体のボタンで行ってください。
- 「ビデオ機種設定」で「該当なし」に設定した場合は、ビデオの動作の確認はできません。

はじめに
- 付属のビデオコントロールケーブルが正しく接続、設置されていること(→148ページ)
- 「ビデオ機種設定」(→259ページ)が完了していること

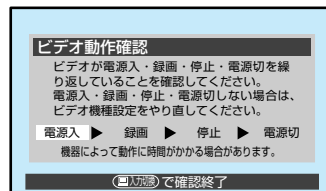
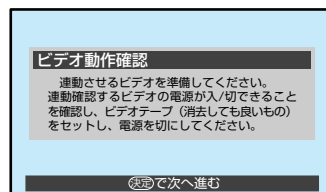
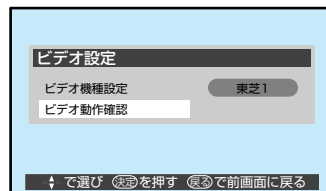
1 259ページの手順 1 ～ 4 を行う

- 「ビデオ設定」画面が表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼で「ビデオ動作確認」を選び、決定ボタンを押す

3 連動させるビデオの準備をする

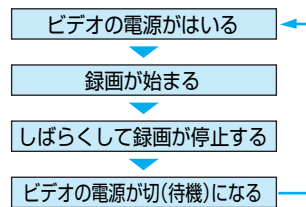
- 右の画面のメッセージが表示されます。
- 以下のように準備をしてください。
  ①消去してもよいビデオテープをビデオに入れる
  ②ビデオの電源を切(待機)にする

4 決定ボタンを押す

- ビデオコントロールケーブルからリモコン信号が送信され、ビデオが自動的に動作を開始します。
- 画面の表示に従って、右下の図のとおり動作することを確認してください。
  ビデオによっては、右下の図のそれぞれの動作にしばらく(1分ほど)時間がかかる場合があります。
- ビデオが右下の図のとおり正常に動作しない場合は、「付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた」(→148ページ)、「ビデオ機種設定」(→259ページ)を再度確認してください。

お知らせ

- ビデオによっては、右図で2回目の「ビデオの電源がはいる」のときに電源がはいらないことがあります。1回目の「ビデオの電源がはいる」から「ビデオの電源が切（待機）になる」までの動作が確認できれば問題ありませんので、手順**5**に進んでください。

【上面】 (→23ページ)

チャンネル設定 放送切換 入力切換 － 音量 ＋ ▼チャンネル▲

5 ビデオが動作していることを確認したら、本体の入力切換ボタンを押す

入力切換

- 手順**2**の画面に戻ります。
- 録画が続いている場合は、ビデオ側で停止の操作をしてください。

6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

お知らせ

- 本体上面部の入力切換ボタンとリモコンの決定ボタン、入力切換ボタンは同じ動作をします。（手順**5**については、リモコンは使わずに本体の入力切換ボタンで操作してください。）

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定

通信設定の項目

- 設定項目は以下のとおりです。
  ※双方向通信サービスについては、詳しくは62ページをご覧ください。

設定項目	内　容	ページ
電話回線設定	この設定は次の場合に必要です。 ・BSデジタル、110度CSデジタル放送での双方向通信サービスや番組購入情報の送信など。 ・地上デジタル放送での双方向通信サービスなどを電話回線端子を使用した基本通信で行う場合。	262
通信接続設定	この設定は次の場合に必要です。 ・地上デジタル放送での双方向通信サービスなどをダイヤルアップ通信やイーサネット通信を使って利用する場合。 ・サーバからのダウンロードや東芝製HDD＆DVDビデオレコーダーを接続して連動予約を行う場合。（→288、131ページ）	268
接続確認メッセージ設定	電話回線の接続や切断をする際に、確認のメッセージを表示させることができます。	274
通信エラー履歴	回線接続の際に接続エラーが生じた場合に、一番新しい接続エラーを1件だけ記録して表示します。	275

電話回線設定

- **ダイヤル方式および外線発信番号については「はじめての設定」(→209〜210ページ)がお済みの場合は、ここで設定の必要はありません。**

■電話回線設定のしかた

- 設定項目は以下のとおりです。

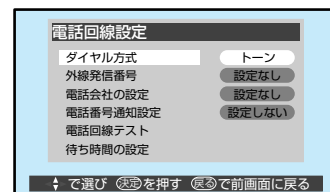
設定項目	内　容	ページ
ダイヤル方式の設定	ダイヤル方式を設定します。	262
外線発信番号の設定	外線発信時に、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合に設定します。	263
電話会社の設定	電話の発信をする際に使用する電話会社を設定します。	264
電話番号通知設定	本機から電話の発信をする際に、電話番号を発信者（センター）に通知するかどうかを設定できます。	265
電話回線テスト	電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。	265
センターと接続できることを確認する場合	センターと電話回線が正常に接続されているかを確認します。	266
ダイヤル待ち時間の設定を行う場合	各種付加番号のうしろに待機時間が必要な場合に設定します。	267

■ダイヤル方式の設定

- お買上げ時は「トーン」に設定されています。

1 **以下の操作で「電話回線設定」画面にする**

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選ぶ
④カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 **カーソルボタン▲·▼で「ダイヤル方式」を選び、決定ボタンを押す**

3 **「はじめての設定」の「電話回線設定」（→210ページ）の手順15、16を行い、次は下の手順4に進む**

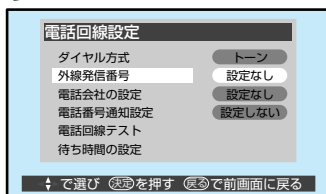
4 ［他の電話回線設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

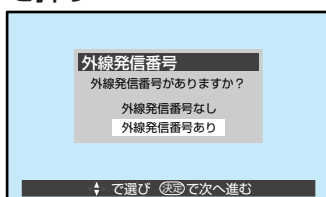
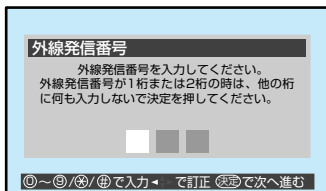
■外線発信番号の設定

- ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や#などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。また、外線発信を出したあと、何秒後に回線が外線に切り換わるのか、その切り換わりにかかる時間を外線発信後の待ち時間と呼びます。
- お買上げ時は、「外線発信番号なし」に設定されています。
- 外線発信が必要な場合は、以下の操作で設定してください。

1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

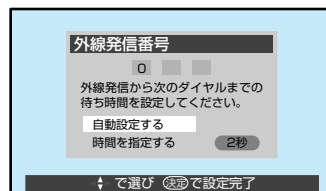
①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選ぶ
④カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「外線発信番号」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「外線発信番号あり」を選び、決定ボタンを押す

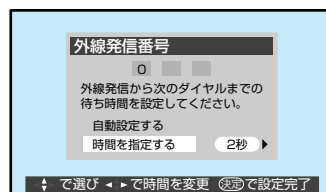
- 「外線発信番号」設定画面になります。

4 外線発信番号を入力して、決定ボタンを押す

- 数字ボタン0～9（⑪0～⑨）、#（⑫#）、⁎（⑩⁎）のボタンを押すことで設定します。（左詰めで入力してください。）
- 最大3桁までの設定ができます。
- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◄で前の桁に戻り、設定をやり直してください。
- 1桁、または2桁の設定をする場合は、左詰めで入力しほかの桁には何も入力しないで、決定ボタンを押してください。
  ※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。

5 外線発信後の待ち時間を設定する

- 通常は以下の操作で、「自動設定する」にしてください。
  ①カーソルボタン▲·▼で「自動設定する」を選ぶ
  ②決定ボタンを押す
  ・電話回線設定画面に戻ります。
  ・手順6に進んでください。

外線発信番号
0
外線発信から次のダイヤルまでの待ち時間を設定してください。
自動設定する
時間を指定する 2秒
で選び 決定で設定完了

「自動設定する」の状態で、265ページの「電話回線テスト」が失敗となる場合

- 以下の操作で、時間を設定してください。
  ①カーソルボタン▲·▼で「時間を指定する」を選ぶ
  ②カーソルボタン◄·►で時間を設定し、決定ボタンを押す
  ・設定範囲は2秒～9秒（秒単位）です。
  ・電話回線設定画面に戻ります。
  ・手順6に進んでください。

外線発信番号
0
外線発信から次のダイヤルまでの待ち時間を設定してください。
自動設定する
時間を指定する 2秒
で選び ◄·►で時間を変更 決定で設定完了

6 ［他の電話回線設定をするには］

設定する項目を選び、決定ボタンを押す

［通常画面に戻るには］

終了ボタンを押す

- 手順5で「時間を指定する」に設定した場合、ダイヤルトーン検出を行いません。
  ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、この設定にしてください。
  この場合、以下の判定方法では回線の接続と設定の確認はできません。「センターと接続できることを確認する場合」（→266ページ）で確認をしてください。
  ・「ダイヤル方式の設定」（→262ページ）の自動判定
  ・「電話回線テスト」（→265ページ）
  ・「簡易確認テスト」（→211ページ）での電話回線テスト

通信設定 つづき

電話回線設定 つづき

■電話回線設定のしかた つづき

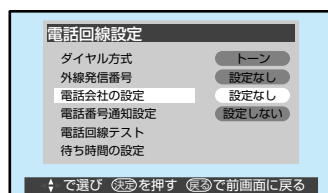
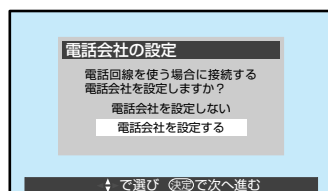
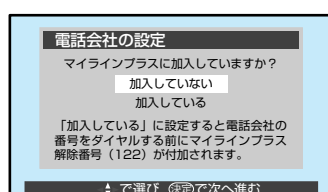
■電話会社の設定

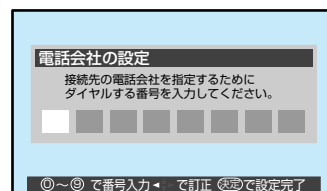
- マイラインやマイラインプラスで登録している電話会社を使用する場合は、この設定は不要です。
- 上記以外に契約されている電話会社を選んで設定できます。
- お買上げ時は「電話会社を設定しない」に設定されています。

- 電話会社の設定は、データ放送の一部では適用されない場合があります。

1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選ぶ
④カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「電話会社の設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「電話会社を設定する」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で、マイラインプラス（優先接続サービス）に「加入していない」/「加入している」を選び、決定ボタンを押す

5 電話会社番号を入力し、決定ボタンを押す

- 電話会社番号を数字ボタン0～9（⑪₀～⑨）を押して左詰めで入力し、決定ボタンを押す

・最大8桁まで設定できます。
・間違って入力した場合は、カーソルボタン◀で前の桁に戻り、設定をやり直してください。

- 手順4で「加入している」を選んだ場合は、本機からの電話発信時にマイラインプラス（優先接続サービス）解除番号（122）が自動的に付け加えられます。

6 ［他の電話回線設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■マイラインプラスに加入している場合
- 手順4で「加入している」に設定してください。手順5で設定した電話会社での回線発信ができます。
- 手順4で「加入していない」に設定すると、手順5で電話会社を設定しても回線発信ができなくなります。

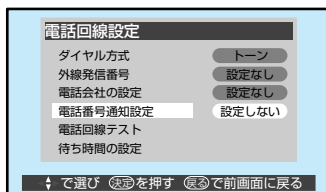
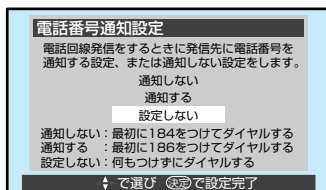
- 手順5で電話会社番号が未入力の場合は、手順3の「電話会社を設定しない」に自動的に設定されます。

■電話番号通知設定

● 本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者（センター）に通知するかどうかを設定します。
● お買上げ時は「設定しない」に設定されています。

1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀・▶で「初期設定」を選ぶ
④カーソルボタン▲・▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲・▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲・▼で「電話番号通知設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲・▼で、お好みの設定を選び、決定ボタンを押す

● 選択項目は以下のとおりです。
・通知しない：最初に「184」をつけてダイヤルする
・通知する　：最初に「186」をつけてダイヤルする
・設定しない：何もつけずにダイヤルする
● 「設定しない」のときはNTTとの「ナンバーディスプレイ」契約のとおりになります。

4 ［他の電話回線設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

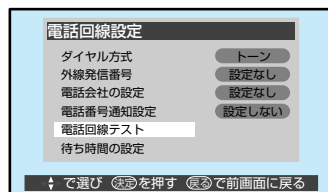
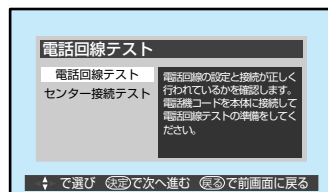
■電話回線テスト

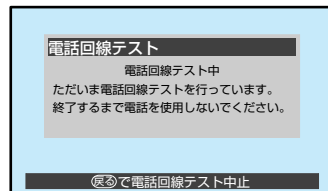
● 電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。

1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

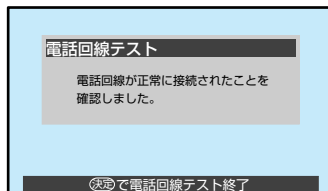
①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀・▶で「初期設定」を選ぶ
④カーソルボタン▲・▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲・▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲・▼で「電話回線テスト」を選び、決定ボタンを押す

● 電話機コードが本体に接続されていることを確認してください。

3 カーソルボタン▲・▼で「電話回線テスト」を選ぶ

4 電話回線の確認をしたら、決定ボタンを押す

● 「電話回線テスト」が開始されます。
● 電話回線テストが終了するまで、電話は使用しないでください。
● 電話回線テスト中に戻るボタンを押すと、テストを中止して前画面に戻ります。

5 電話回線テストが終了したら、決定ボタンを押す

● テスト結果については、212ページの「はじめての設定」の「電話回線テスト」をご覧ください。
● 決定ボタンを押すと、電話回線テスト画面に戻ります。

電話回線テスト
電話回線が正常に接続されたことを確認しました。
決定で電話回線テスト終了

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

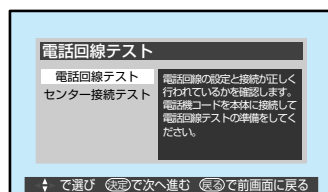
通信設定 つづき

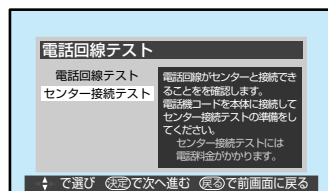
電話回線設定 つづき

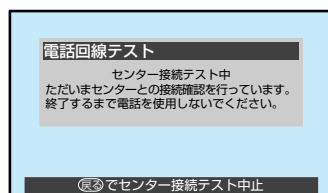
■電話回線設定のしかた つづき

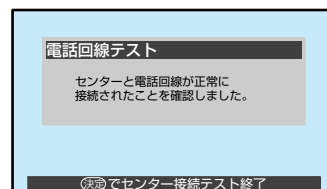
■センターと接続できることを確認する場合

● このセンター接続テストは電話料金がかかります。

1 前ページ右側の手順 3「電話回線テスト」の画面になっていることを確認する

2 カーソルボタン▲·▼で「センター接続テスト」を選ぶ

- 電話機コードが本体に接続されていることを確認してください。

3 電話回線の確認をしたら、決定ボタンを押す

- センター接続テストが開始されます。
- センター接続テストが終了するまで、電話は使用しないでください。

4 センター接続テストが終了したら、決定ボタンを押す

- テスト結果については、以下のお知らせをご覧ください。
- 決定ボタンを押すと、「電話回線テスト」画面に戻ります。

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

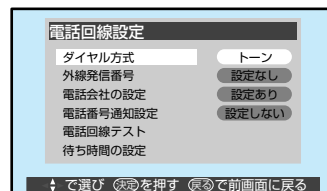
■ センター接続テストの結果

センター接続テスト結果のメッセージ表示	内容または対処のしかた
「センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」	●正しく接続されています。
「センターと通信できませんでした。」	●「電話回線の接続」（→200～202ページ）、「電話回線の設定」（→209、210、262～265、267ページ）を確認してください。
「ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません。」	●しばらくしてから、もう一度センター接続テストを行ってください。
「ただいまセンターと通信できません。」	●しばらくしてから、もう一度センター接続テストを行ってください。

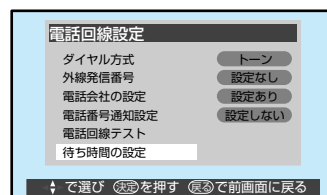
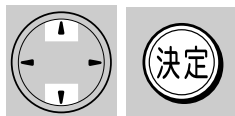
■ダイヤル待ち時間の設定を行う場合

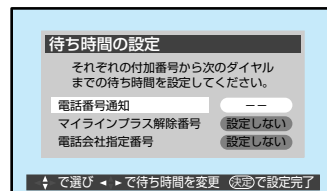
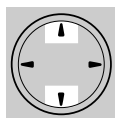
● 本機で電話回線発信のとき、電話会社番号、マイラインプラス（優先接続サービス）解除番号（122）、電話番号通知番号（184/186）のうしろにダイヤル待ち時間（ダイヤルポーズ）が必要な場合に以下の設定を行ってください。
お買上げ時は、ダイヤル待ち時間は設定されていません。

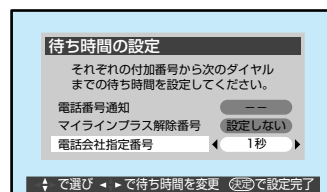
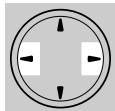
1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

①メニューボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◄·►で「初期設定」を選ぶ
④カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

（例）「電話会社の設定」が「設定あり」の場合

2 カーソルボタン▲·▼で「待ち時間の設定」を選び、決定ボタンを押す

●「待ち時間の設定」画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼を押して、設定する項目を選ぶ

待ち時間の設定
それぞれの付加番号から次のダイヤルまでの待ち時間を設定してください。
電話番号通知　－－
マイラインプラス解除番号　設定しない
電話会社指定番号　設定しない
で選び ◄ ►で待ち時間を変更 決定で設定完了

4 カーソルボタン◄·►を押して、ダイヤル待ち時間を設定する

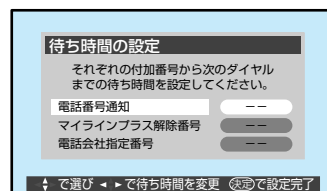
● 設定できる内容は「設定しない」、「1秒」〜「9秒」です。

他の項目も設定するときは、手順3、4を繰り返す

5 決定ボタンを押す

● 設定されて、「電話回線設定」画面に戻ります。

6

［他の電話回線設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■表示が「－－」になっている項目に対してダイヤル待ち時間は設定できません。
● 各項目で「－－」表示になる場合は以下のとおりです。
· 電話番号通知設定（→265ページ）で「設定しない」に設定した場合
· マイラインプラス（優先接続サービス）に「加入していない」に設定（→264ページ）した場合
· 電話会社の設定（→264ページ）で「電話会社を設定しない」に設定した場合

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定 つづき

通信接続設定

■通信方式について

ここでは、地上デジタル放送での双方向通信サービスなどを、イーサネット通信を使って行うための設定をします。(双方向通信サービスについては、詳しくは62ページをご覧ください。)
これらの通信を使用するにはあらかじめインターネットサービスプロバイダなどとの契約が必要です。

● **イーサネット通信(本機のEther端子を使用した通信)**

Ether端子を使った通信を「イーサネット通信」と呼びます。
この方式は高速で高容量の通信ができます。イーサネット通信にはADSLやCATVなどによる通信があります。接続については「Ether(イーサ)端子の接続」(→203ページ)をご覧ください。

● **ダイヤルアップ通信について**

本機の「電話回線(LINE)」端子を使用して電話回線に接続し、ネットワーク通信を行うものです。番組（コンテンツ）によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合に使用されます。接続については「電話回線の接続」(→200ページ)をご覧ください。（本機での設定はありません。）

■通信接続設定の設定項目について

プロバイダ契約をされますと、接続についての資料が送られてきます。「通信接続設定」では、資料の内容にあわせた値(英数字)を入力します。プロバイダによって入力が必要な項目や呼び名が異なります。詳しくは、以下をご覧ください。

ご注意

- プロバイダからの資料は、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。
- プロバイダからの資料は、あなたの個人情報です。取扱いには十分ご注意ください。

● **通信環境設定**

- 番組(コンテンツ)によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合にダイヤルアップ通信を行うようにするための設定です。

● **イーサネット設定**

- **IPアドレス**
  インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています。(例:111.112.xxx.xxx)

- **サブネットマスク**
  ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。(例:255.255.xxx.xxx)

- **デフォルトゲートウェイ**
  ネットワーク外のサーバへアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定します。IPアドレスで特定されています。(例:111.112.xxx.xxx)

- **DNSサーバ**
  ドメイン名(×××.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバで、本機では自動的に取得されます。
  自動で取得できない場合は、手動で設定します。
  プロバイダからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します。(例:111.112.xxx.xxx)
  ※お使いのプロバイダによっては、「ネームサーバ」、「DNS1/DNS2サーバ」、「ドメインサーバ」などと呼ばれます。

- **プロキシ**
  お使いのプロバイダから指定がある場合にだけ設定してください。
  HTTPプロキシサーバからファイヤーウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のブラウザにデータを送ります。データを蓄積する機能があるため高速にデータを送れます。(例:proxy.xxx.xxx.xxx)
  自動で取得できない場合は、手動で設定します。

● **その他の設定項目**

- **MACアドレス**
  MACアドレスは、イーサネット回線上につながっている機器の識別ために、各機器ごとに割り当てられています。本機の値を確認する必要がある場合は、表示することができます。

■通信接続設定のしかた

● 設定項目は以下のとおりです。

設定項目	内容	ページ
通信環境設定	イーサネット通信機能を使用するかどうかの設定をします。	269
イーサネット設定	イーサネット通信のための設定をします。	270
MACアドレス	割り当てられている機器の識別番号が確認できます。	273

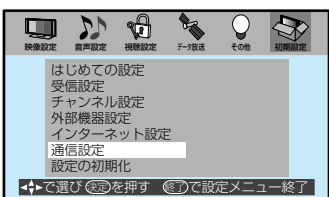
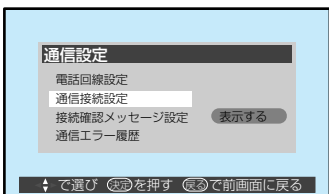
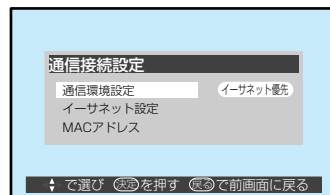
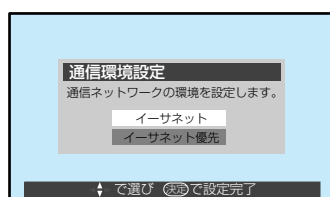
■通信環境の設定

● お買上げ時は、イーサネットの環境を「イーサネット優先」に設定されています。

1 **メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

● 設定メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選んで、決定ボタンを押す**

● 「通信設定」画面になります。

3 **カーソルボタン▲·▼で「通信接続設定」を選び、決定ボタンを押す**

4 **カーソルボタン▲·▼で「通信環境設定」を選び、決定ボタンを押す**

5 **カーソルボタン▲·▼で「イーサネット」または「イーサネット優先」を選び、決定ボタンを押す**

● イーサネット………ADSLなどブロードバンドのみで契約し、接続·設定している場合

● イーサネット優先……この設定ではイーサネットが優先されます。ただし、データ放送でダイヤルアップを指定する特殊なコンテンツの場合はダイヤルアップ接続に自動的に切り換わります。（「電話回線の接続」（→200ページ）が行われていない場合には、ダイヤルアップでの通信は行われません。）

6 [他の通信接続設定をするには]

設定する項目を選び、決定ボタンを押す

[通常画面に戻るには]

終了ボタンを押す

● 通常は、「イーサネット優先」に設定してください。
「イーサネット」に設定すると、ダイヤルアップ通信を指定しているデータ放送、ブックマーク、登録発呼などは行えません。

● 「イーサネット優先」に設定した場合、何らかの原因（たとえばADSLモデムの故障等）でイーサネット通信ができないときには、ダイヤルアップ通信もできなくなる場合があります。

● 実際に接続・設定している環境と異なる項目を選ぶと正常にはたらきません。

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定 つづき

通信接続設定 つづき

■イーサネット設定

● イーサネット設定では以下があります。

● **イーサネットの各設定を有効にするには、必ず設定の最後に本体の主電源スイッチを押して主電源を一度切り、もう一度入れ直してください。**

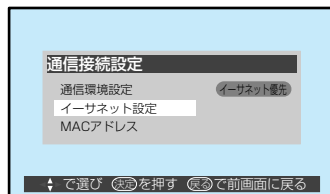
● IP アドレス設定

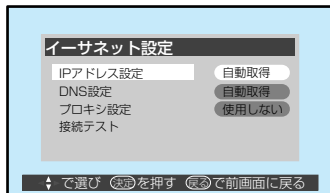
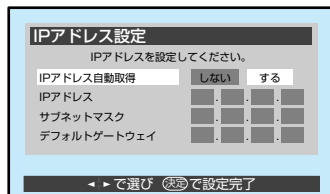
● インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

※ **以下の手順で「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNS アドレスを手動で設定してください。**(→271 ページ)

1 **269ページの手順 1 〜 3 の操作で、「通信接続設定」画面にする**

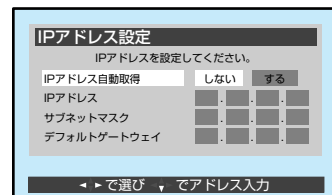
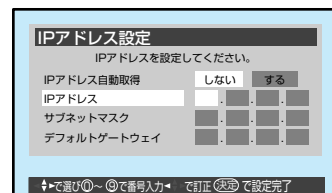
2 **カーソルボタン▲·▼で「イーサネット設定」を選び、決定ボタンを押す**

● 「イーサネット設定」画面になります。

3 **カーソルボタン▲·▼で「IPアドレス設定」を選び、決定ボタンを押す**

● 「IPアドレス設定」画面になります。

4 [自動で取得できる IP アドレスの場合]
カーソルボタン◄·►で「する」を選ぶ

● IPアドレス自動取得を「する」に設定した場合は、IPアドレスはDHCPサーバから自動的に本機に割り当てられます。次は手順5に進みます。

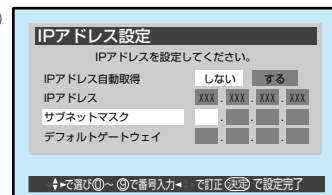
● 自動的にIPアドレスを割り当てられないネットワーク環境の場合は、右側の操作でIPアドレスを手動で設定してください。

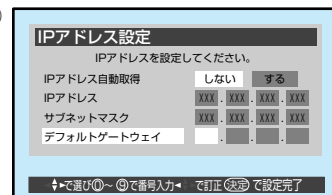
自動的にIPアドレスを取得できないネットワーク環境の場合

①カーソルボタン◄·►で「しない」を選ぶ

②カーソルボタンで▲·▼「IPアドレス」を選び、数字ボタン0〜9(⑪/0〜⑨)でIPアドレスを入力する

● 数字を入力してください。数字最大3桁をひと組として、4箇所入力してください。ひと組が2桁以下の場合は、入力後カーソルボタン►で次の組へ移動してください。間違って入力した場合は、カーソルボタン◄を押して、もう一度入力し直してください。

● 左側の1箇所目の数字は「0」は入力できません。その他の箇所に入力できる数字は「0」から「255」までです。「255」を超える数字は入力できませんので、もう一度正しく入力し直してください。

③カーソルボタン▲·▼で「サブネットマスク」を選び、数字ボタン0〜9(⑪/0〜⑨)でサブネットマスクを入力する

● 入力方法は②と同じです。

④カーソルボタン▲·▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、数字ボタン0〜9(⑪/0〜⑨)でデフォルトゲートウェイを入力する

● 入力方法は②と同じです。

5 **決定ボタンを押す**

● 設定が完了して手順3の画面に戻ります。

6 [他のイーサネット設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[設定した内容を有効にするには]
主電源を入れ直す

● 本体の主電源スイッチを押して主電源を切り、もう一度主電源を入れてください。

[次のページにつづく]

● IPアドレス設定　つづき

お知らせ　■IPアドレス設定について

- ルーターのDHCP機能 ON/OFFによって、本機での設定が以下のように異なります。
  (1) 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのとき
  ・「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。（通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です。）
  (2) ルーターのDHCP機能がOFFのとき
  ・「自動取得」を「しない」にして、手動で設定してください。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定してください。
  また、設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワーク部が同じであることを確認してください。（詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。）
  設定例）

	ルーター	本機
IPアドレス	XXX.XXX.X.1	XXX.XXX.X.11
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.0	XXX.XXX.XXX.0

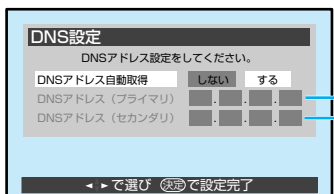
＊網掛け部分が同じ設定になっていることを確認してください。

● DNS設定

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバを設定します。

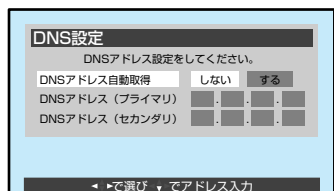
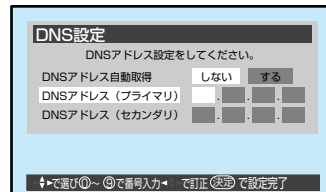
※270ページの「IPアドレス設定」で「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、以下の設定の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。「する」にできません。DNSアドレスを手動で設定してください。

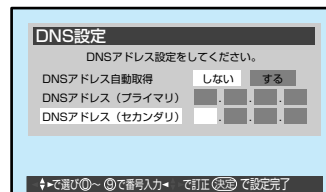
1 **270ページの手順3の画面で、「DNS設定」を選び、決定ボタンを押す**

2 ［自動で取得できるDNSサーバの場合］
カーソルボタン◄·►で「する」を選ぶ

※DNSアドレスが表示されます。

- DNSアドレス自動取得を「する」に設定した場合は、DNSアドレスがサーバから自動的に本機に割り当てられます。
  次は手順3に進みます。
- 自動的にDNSアドレスを割り当てられないネットワーク環境の場合は、以下の操作でDNSアドレスを手動で設定してください。

自動的にDNSアドレスを割り当てられないネットワーク環境の場合

①カーソルボタン◄·►で「しない」を選ぶ

②カーソルボタン▼で「DNSアドレス（プライマリ）」を選び、数字ボタン0〜9（⑪/0〜⑨）でDNSアドレス（プライマリ）を入力する

- 数字を入力してください。数字最大3桁をひと組として、4箇所入力してください。ひと組が2桁以下の場合は、入力後カーソルボタン►で次の組へ移動してください。間違って入力した場合は、カーソルボタン◄を押して、もう一度入力し直してください。
- 左側の1箇所目の数字は「0」は入力できません。その他の箇所に入力できる数字は「0」から「255」までです。「255」を超える数字は入力できませんので、ご使用のプロバイダからの資料をご確認の上、もう一度正しく入力し直してください。

③カーソルボタン▲·▼で「DNSアドレス（セカンダリ）」を選び、数字ボタン0〜9（⑪/0〜⑨）でDNSアドレス（セカンダリ）を入力する（不要な場合は、手順3に進む）

- 入力方法はDNSアドレス（プライマリ）と同様です。
- ご契約のインターネットサービスプロバイダによっては不要な場合があります。

3 **決定ボタンを押す**

- 設定が完了して「通信接続設定」画面に戻ります。

4 ［他の通信接続設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
［設定した内容を有効にするには］
主電源を入れ直す

- 本体の主電源スイッチを押して主電源を切り、もう一度主電源を入れてください。

■DNS設定について

- ルーターの機能の有無などにより、本機での設定が以下のように異なります。（ルーターに設定されているDNSサーバ、プロキシサーバの設定が正しく行われていることを前提としています。）
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのとき
  ・DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。
  （通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です。）
  ・プロキシ設定を「使用しない」（→272ページ）に設定する。
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのとき
  ・DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダから指定されたものを手動で設定してください。
  （プロバイダにより設定方法が異なります。プロバイダの契約内容に沿った設定を行ってください。）

初期設定を個別に行うとき つづき

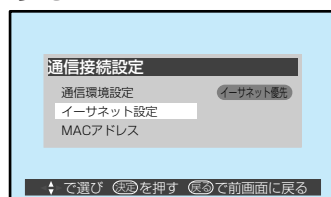
通信設定 つづき

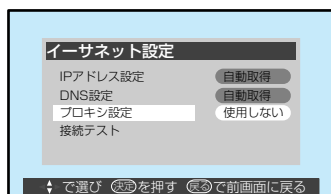
通信接続設定 つづき

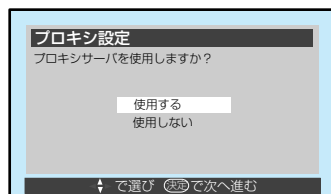
■イーサネット設定 つづき

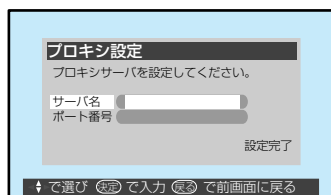
● プロキシ設定

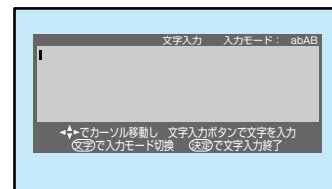
- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバを経由する場合に設定します。
- お使いのプロバイダから指定がある場合にだけ設定してください。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

1 270ページの手順 1、2 の操作で、「イーサネット設定」画面にする

2 カーソルボタン▲·▼で「プロキシ設定」を選び、決定ボタンを押す

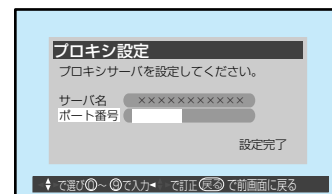
- 「プロキシ設定」画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で「使用する」を選び、決定ボタンを押す

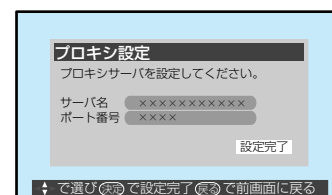
- 使用しない場合は、「使用しない」を選び決定ボタンを押してください。その後手順8に進んでください。

4 カーソルボタン▲·▼で「サーバ名」を選び、決定ボタンを押す

- 文字入力モードになります。

5 文字入力ボタンで「サーバ名」を入力する

- 文字入力のしかたは112ページをご覧ください。
- 入力可能な文字は、半角英字／半角数字で、記号は下のお知らせをご覧ください。

- 入力可能な記号は、以下のとおりです。
  ※半角記号
  !"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^{|}~?_/

6 カーソルボタン▲·▼で「ポート番号」を選び、数字ボタン０～９（⑪0～⑨）でポート番号を入力する

- 数字を入力してください。間違って入力した場合はカーソルボタン◄を押して、もう一度入力し直してください。

7 カーソルボタン▲·▼で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す

- 設定が完了して手順 2 の画面に戻ります。

8 [他のイーサネット設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[設定した内容を有効にするには]
主電源を入れ直す

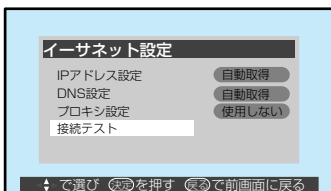
- 本体の主電源スイッチを押して主電源を切り、もう一度主電源を入れてください。

●接続テスト

- 正しくイーサネット設定されているかテストすることができます。

1 **270ページの手順1、2の操作で、「イーサネット設定」画面にする**

2 **カーソルボタン▲･▼で「接続テスト」を選ぶ**

- LANケーブルが本体に接続されていることを確認してください。

3 **接続テストを行う場合は、決定ボタンを押す**

- イーサネット設定の接続テストが開始されます。
- テスト結果については、以下のお知らせをご覧ください。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■**イーサネット設定の接続テストの結果**

接続テスト結果のメッセージ表示	内容または対処のしかた
「接続を確認しました。」	●正しく設定されています。
「接続できませんでした。通信設定をご確認ください。」	●「Ether(イーサ)端子の接続」(→203ページ)および「イーサネットの設定」(→270ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。 ●イーサネットの各設定を有効にするには、必ず設定の最後に主電源を一度切ってもう一度入れ直してください。
「接続できませんでした。LANケーブルの接続をご確認ください。」	

- **ISDNなどでは電話料金がかかる場合があります。**
- **ISDNでは接続しないでください。**

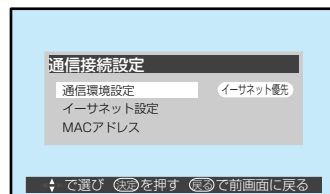
お知らせ　■**接続テストの結果、正しく通信できなかった場合**

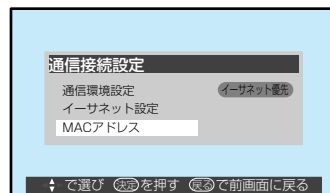
- 以下をご確認ください。
  1.「イーサネットの設定」を確認する
  - IPアドレス設定が正しく設定されているかをご確認ください。(→270ページ)
    設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください。
    (ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。)

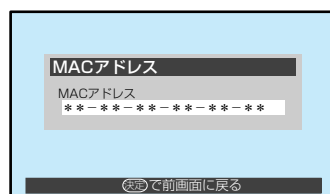
  2. ネットワーク環境の接続確認
  - 以下によって、本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットへ接続できるかを確認します。
    ① パソコンのインターネット・ブラウザ（Internet Explorerなど）を起動する
    ②URL欄に「http://www.toshiba.co.jp/」を入力し、ページが表示されることを確認する
    ・ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコン、ルーターの設定が正しく行われているかを確認してください。(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
    この場合、本機の問題ではない可能性があります。

■MACアドレス

- イーサネット回線などの配線上につながっている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。以下の方法で確認できます。

1 **269ページの手順1～3の操作で、「通信接続設定」画面にする**

2 **カーソルボタン▲･▼で「MACアドレス」を選び、決定ボタンを押す**

- 「MACアドレス」画面になります。

3 **MACアドレスを確認し、決定ボタンを押す**

- 手順**2**の画面に戻ります。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定 つづき

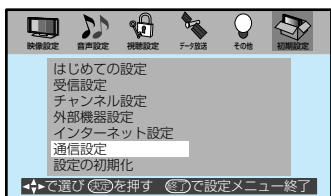
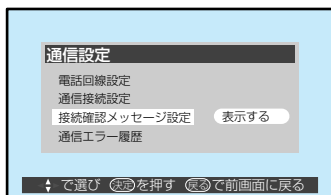
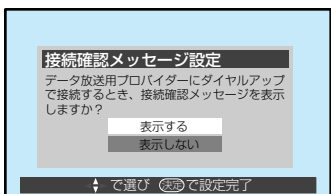
接続確認メッセージ設定

- 番組（コンテンツ）によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があります。
  ダイヤルアップ通信の接続や切断をする際に確認のメッセージを表示させることができます。
- お買上げ時は、「表示する」に設定されています。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

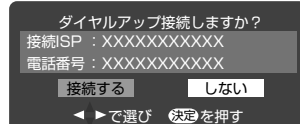
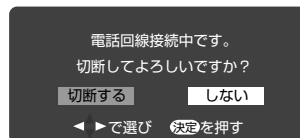
- 「設定メニュー」が表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選んで、決定ボタンを押す

- 通信設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で「接続確認メッセージ設定」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定ボタンを押す

- アクセスポイントにダイヤルアップ接続する場合やダイヤルアップ接続が切断される場合に、確認の画面を表示するかどうかが設定されます。
- 設定が完了して前画面に戻ります。

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■「接続確認メッセージ設定」を「表示する」に設定した場合

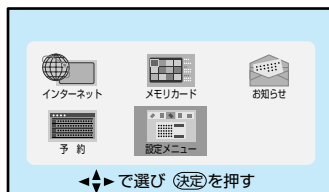
電話回線の接続や切断時にメッセージ画面が表示されます。

接続するときの画面

切断するときの画面

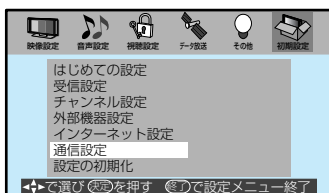
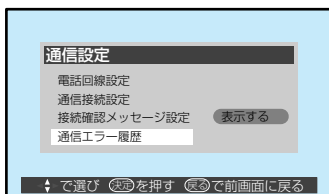
- 以下の場合は「表示する」に設定されていてもメッセージは表示されません。
  - ・番組購入情報の送信時（→121ページ）
  - ・「ブックマーク」（→65ページ）や「登録発呼」（→67ページ）が行われたとき
  - ・データ放送のダイヤルアップ以外の通信時

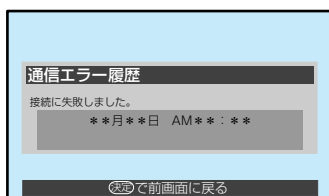
通信エラー履歴

- 通信エラー履歴は回線接続の際に接続エラーが生じた場合に、一番新しい接続エラーを1件だけ記録して表示します。
  この通信エラー履歴は、放送局へのお問い合わせの際に必要になる場合があります。

1 **メニューボタンを押し、カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

- 「設定メニュー」が表示されます。

2 **カーソルボタン◀・▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲・▼で「通信設定」を選んで、決定ボタンを押す**

- 通信設定画面になります。

3 **カーソルボタン▲・▼で「通信エラー履歴」を選び、決定ボタンを押す**

4 **内容を確認し、決定ボタンを押す**

- エラー履歴がある場合は、右のように表示されます。
- 決定ボタンを押すと手順**2**の画面に戻ります。

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- おもなエラーメッセージの対処のしかたについては「エラー表示、メッセージ表示について」の306〜311ページをご覧ください。

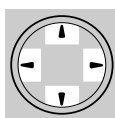
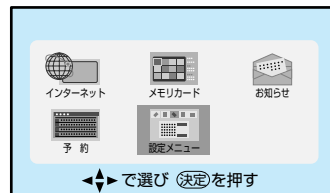
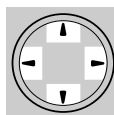
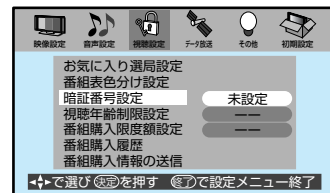
最初の設置・接続・設定

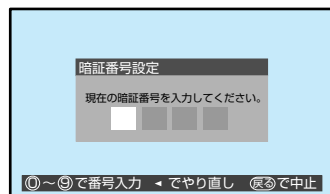
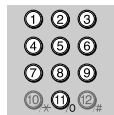
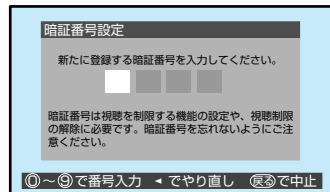
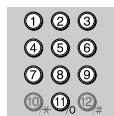
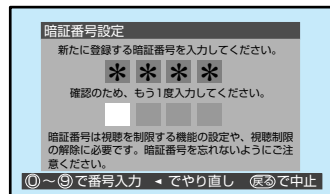
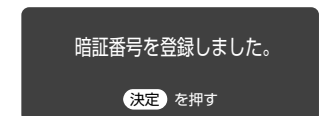
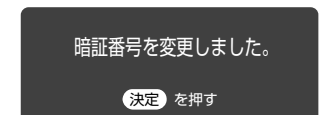
初期設定を個別に行うとき つづき

暗証番号の設定

● 暗証番号は、ペイ･パー･ビュー番組を購入する際や、視聴年齢制限が設定されている番組を見るときなどに使われます。

● 暗証番号を忘れた場合の消去は有償になりますので、暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にご連絡ください。
● 暗証番号を削除する場合は、「すべての設定内容を初期化する場合」で行ってください。その際は、285ページ冒頭の説明をよくお読みください。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀･▶で「視聴設定」を選び、カーソルボタン▲･▼で「暗証番号設定」を選んで、決定ボタンを押す

● 決定ボタンを押すと、新規登録の場合は手順4の画面に、変更の場合は手順3の画面になります。

3 ［暗証番号を変更する場合］
数字ボタン0～9（⑪₀～⑨）で変更する前の暗証番号を入力する

● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。

4 数字ボタン0～9（⑪₀～⑨）で登録したい暗証番号を入力する

● 数字ボタン0～9（⑪₀～⑨）で暗証番号（登録したい4桁の数字）を順に入力します。
● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。

5 数字ボタン0～9（⑪₀～⑨）でもう一度暗証番号を入力する

● 暗証番号が登録されます。

6 右の画面で決定ボタンを押す

（新規登録の場合）

（変更登録の場合）

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

お知らせ

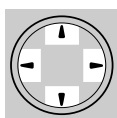
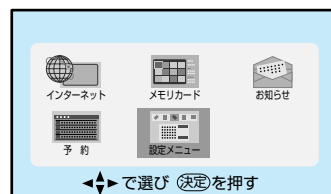
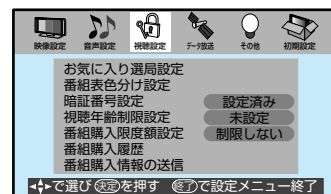
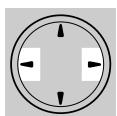
■暗証番号について
● ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

視聴年齢制限の設定

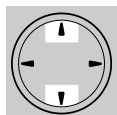
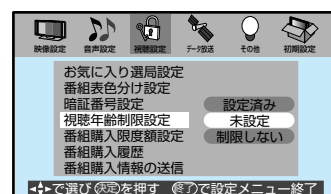
- 大人向けの番組では、番組ごとに視聴年齢が設定されているものがあります。その場合、あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないと視聴できないようにすることができます。（年齢の設定値は、4歳〜20歳です。）
- お買上げ時には、設定はされていません。この状態では視聴年齢制限付き番組は視聴できません。
- 視聴年齢制限機能を使わないときは、視聴年齢制限を「20歳（制限しない）」にしてください。
  たとえば、本機の視聴年齢制限を18歳に設定したとき
  ・視聴年齢が18歳以下の番組 .... そのまま視聴できます。
  ・視聴年齢が18歳を超えた番組 .... 視聴するには暗証番号が必要となります。

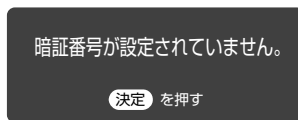
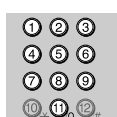
視聴年齢制限の設定

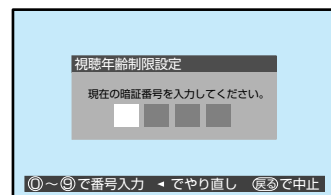
1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◄·►で「視聴設定」を選ぶ

4 カーソルボタン▲·▼で「視聴年齢制限設定」を選び、決定ボタンを押す

- 暗証番号をすでに設定しているときは、暗証番号の入力画面になります。手順5に進みます。

暗証番号が設定されていない場合

- 視聴年齢制限の設定はできません。（右のメッセージが表示されます。）視聴年齢制限設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（→276ページ）

5 数字ボタン0〜9（⑪〜⑨）で暗証番号を入力する

- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◄を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順6の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

［次のページにつづく］

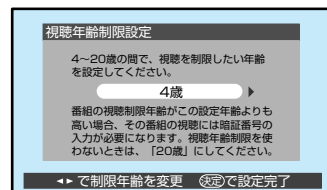
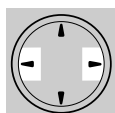
■暗証番号について
- ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

最初の設置・接続・設定

視聴年齢制限の設定 つづき

視聴年齢制限の設定 つづき

6 カーソルボタン◄·► で視聴できる年齢を設定し、決定ボタンを押す

- 視聴できる年齢は、4歳から20歳（制限しない）の間で設定できます。

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

視聴年齢制限が設定されている番組を選んだとき

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢以下のとき

- 通常どおり番組は受信できます。

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢よりも上のとき

- メッセージが表示され、番組を見ることはできません。

番組を見るためには

①決定ボタンを押す
②数字ボタン0～9（⑪0～⑨）で暗証番号を入力する
- 間違って入力した場合はカーソルボタン◄を押し、もう一度1桁目から入力してください。

■本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていないとき

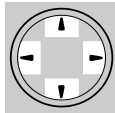
- メッセージが表示され、番組を見ることはできません。
- 決定ボタンを押すと、設定の必要な項目がメッセージ表示されます。
内容を確認したあと、それらの設定を行ってください。

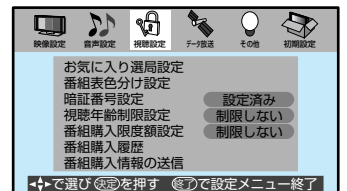
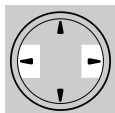
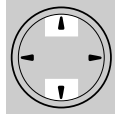
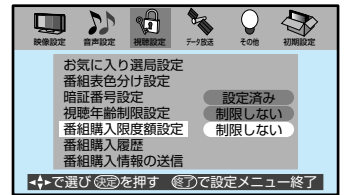
番組購入限度額の設定

- ペイ・パー・ビュー番組の１番組ごとの購入限度額を設定できます。限度額を超える番組の場合、購入するためには暗証番号の入力が必要です。
- 金額に関係なくすべてのペイ・パー・ビュー番組について、暗証番号の入力が必要となるように設定することもできます。
- お買上げ時は、すべての購入を「制限しない」に設定されています。

1 メニューボタンを押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◀・▶で「視聴設定」を選ぶ

4 カーソルボタン▲・▼で「番組購入限度額設定」を選び、決定ボタンを押す

- 暗証番号をすでに設定しているときは、暗証番号の入力画面になります。手順5に進みます。

暗証番号が設定されていない場合

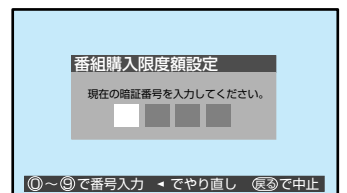
- 番組購入限度額の設定はできません。（右のメッセージが表示されます。）番組購入限度額設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（➡276ページ）

5 数字ボタン０～９（⑪～⑨）で暗証番号を入力する

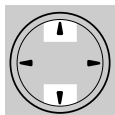
- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順6の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

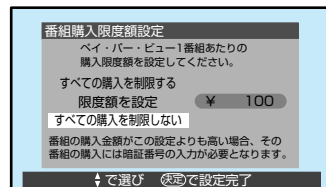
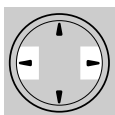
［次のページにつづく］

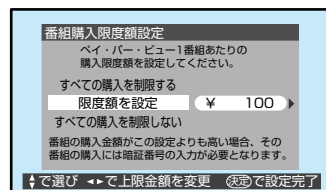
■暗証番号について

- ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。
- 番組によって視聴料金と録画料金が異なる場合は高いほうの金額で購入限度額の判定を行います。
- 複数映像、複数音声または複数データで課金対象になっている番組は、切り換えるときに購入限度額の判定を行います。

初期設定を個別に行うとき つづき

番組購入限度額の設定 つづき

6 カーソルボタン▲·▼で制限モードを選ぶ

- ●すべての購入を制限する：すべてのペイ·パー·ビュー番組について購入するためには暗証番号の入力が必要です。選択後手順**8**に進みます。
- ●限度額を設定：限度額を超える番組の場合、暗証番号の入力が必要です。手順**7**に進みます。
- ●すべての購入を制限しない：上記の制限をしません。選択後手順**8**に進みます。

番組購入限度額設定
ペイ・パー・ビュー1番組あたりの
購入限度額を設定してください。
すべての購入を制限する
限度額を設定 ￥ 100
すべての購入を制限しない
番組の購入金額がこの設定よりも高い場合、その
番組の購入には暗証番号の入力が必要となります。
で選び 決定で設定完了

7 [「限度額を設定」を選んだ場合]
カーソルボタン◀·▶で限度額を選ぶ

- 金額は
  100円 ～ 1,000円の範囲で100円単位
  1,000円 ～ 3,000円の範囲で500円単位
  3,000円 ～ 10,000円の範囲で1,000円単位
  で設定できます。
- 設定後手順**8**に進みます。

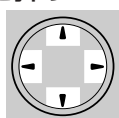
番組購入限度額設定
ペイ・パー・ビュー1番組あたりの
購入限度額を設定してください。
すべての購入を制限する
限度額を設定 ￥ 100
すべての購入を制限しない
番組の購入金額がこの設定よりも高い場合、その
番組の購入には暗証番号の入力が必要となります。
で選び で上限金額を変更 決定で設定完了

8 決定ボタンを押す

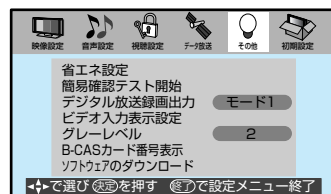
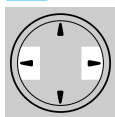
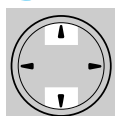
- 手順**4**の画面に戻ります。

9 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

簡易確認テスト

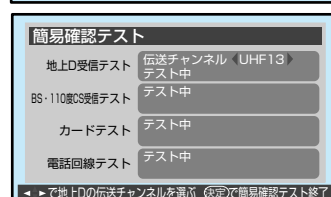
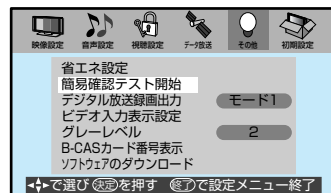
- 地上D受信テスト、BS･110度CS受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。
- 通信についてのテストは、「接続テスト」(→273ページ)を行ってください。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀･▶で「その他」を選ぶ

3 カーソルボタン▲･▼で「簡易確認テスト開始」を選び、決定ボタンを押す

- 簡易確認テストが開始されます。
- 受信テストは、BS→110度CS→地上Dの順に行われます。

地上Dを受信する場合

- 地上デジタル放送の場合、伝送チャンネルごとの受信テストを以下の操作で行います。
  ①**カーソルボタン◀･▶で伝送チャンネルを選ぶ**
  ･選んだ伝送チャンネルの受信テストを行います。
  ②**他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順①と同じ操作を行う**

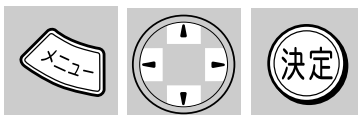
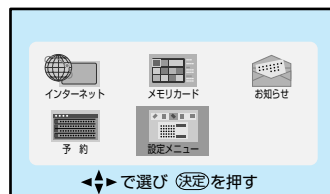
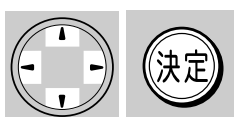
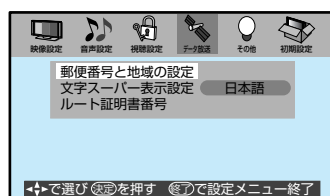
- 戻るボタンを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
- 「テスト結果」については、212ページをご覧ください。

4 [簡易確認テストが終了したら] 決定ボタンを押す

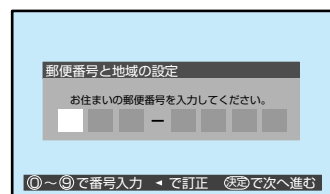
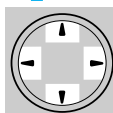
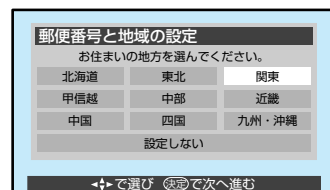
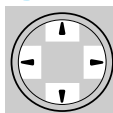
- 通常画面に戻るには、終了ボタンを押します。

データ放送設定を個別に行うとき

郵便番号と地域の設定

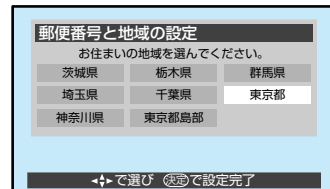
- お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報･選挙速報)や緊急警報放送を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ通信をするため、最寄りのアクセスポイントでご利用いただく設定を行います。
- **「はじめての設定」(→206ページ)がお済みの場合は、ここでの設定の必要はありません。**
（はじめての設定では、地域の設定は地上放送のチャンネル設定の中で行っています。）

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀･▶で「データ放送」を選び、カーソルボタン▲･▼で「郵便番号と地域の設定」を選んで、決定ボタンを押す

- 「郵便番号入力」画面が表示されます。

3 数字ボタン0～9（⑪0～⑨）であなたのお住まいの郵便番号を入力し、決定ボタンを押す

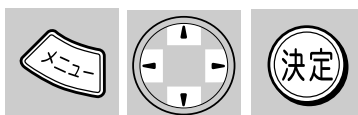
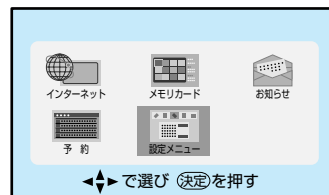
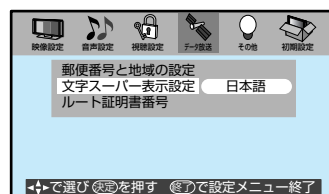
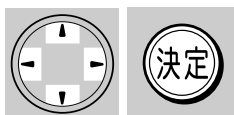
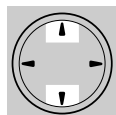
- 入力を間違えた場合は、カーソルボタン◀でカーソルを戻してからもう一度入力してください。

4 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で該当する地方を選択し、決定ボタンを押す

- 「設定しない」を選んだ場合、手順6に進みます。

5 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で該当する地域を選択し、決定ボタンを押す

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- 「はじめての設定」(→206ページ）とこのページでの地域の設定では、地方、都道府県、地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では「地上放送チャンネル設定」と同時にまとめて行っているためです。
- データ放送を受信している状態でここでの設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されていません。そのため、設定終了後、再度データ放送を選局し直してください。
- 郵便番号入力で上3桁を入力して決定ボタンを押すと残り4桁は自動的に「0」が入力されます。
- 上2桁までの入力で決定ボタンを押すと、エラーになります。決定ボタンを押してもう一度入力してください。

文字スーパー表示の設定

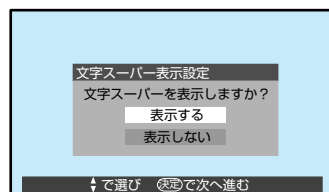
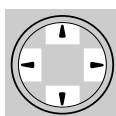
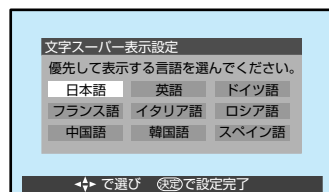
- デジタル放送は、番組によって文字スーパーを表示させるサービスがあります。複数言語の文字スーパーに対応した番組を受信した場合、本機で表示する言語を選択することができます。
- お買上げ時は、日本語を優先で表示するように設定されています。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◄·►で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◄·►で「データ放送」を選び、カーソルボタン▲·▼で「文字スーパー表示設定」を選んで、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定ボタンを押す

「表示する」を選んだ場合

- 手順**4**に進みます。

「表示しない」を選んだ場合

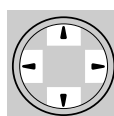
- 手順**5**に進みます。
- 文字スーパーは表示されません。

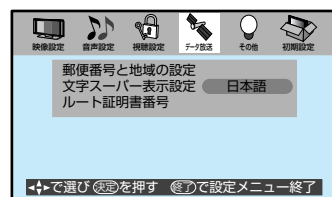
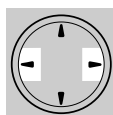
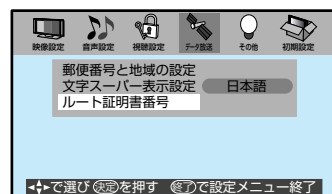
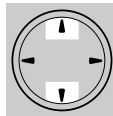
文字スーパー表示設定
文字スーパーを表示しますか？
表示する
表示しない
で選び 決定で次へ進む

4 カーソルボタン▲·▼·◄·►で言語を選び、決定ボタンを押す

- 以下の言語が選択できます。
  日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/ロシア語/中国語/韓国語/スペイン語

5 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

- 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがある場合は、その言語で表示します。受信している放送に設定した言語がない場合は、送信データに従って表示されます。

ルート証明書番号を確認する

- ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向通信サービスで、本機と接続されるサーバの認証を行う際に使用されます。
  これによって、双方向通信の安全性を高めることができます。
  ルート証明書は地上デジタル放送によって放送局から送られ、本機内に記憶されます。
  この記憶されたルート証明書の番号を以下の手順で確認することができます。

1 **メニューボタンを押し、カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**

- 設定メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン◀・▶で「データ放送」を選ぶ**

3 **カーソルボタン▲・▼で「ルート証明書番号」を選び、決定ボタンを押す**

4 **ルート証明書番号を確認したら、決定ボタンを押す**

ルート証明書番号

1	××××××
2	○○○○○○
3	△△△△△△
4	××××××
5	○○○○○○
6	△△△△△△
7	××××××
8	○○○○○○

決定で前画面に戻る

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お知らせ

- 最大8個のルート証明書番号が表示されます。ルート証明書が記憶されていない場合、「―――」と表示されます。各ルート証明書の詳しい情報については、東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。その際、ルート証明書番号をお伝えください。

お買上げ時の状態に戻すには

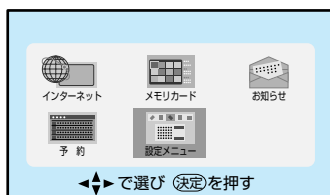
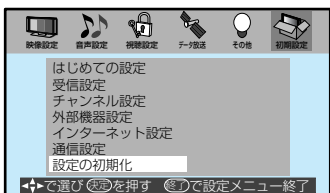
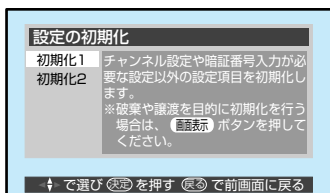
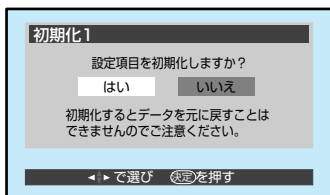
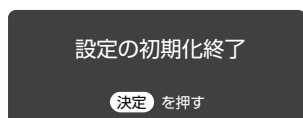
（設定内容を初期化するには）

● お買上げの状態に戻す設定内容は以下の３種類あります。目的に合わせて行ってください。
※ **初期化を行うとデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。**

設定項目	内　容	ページ
初期化1を行う場合	チャンネル設定、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定を除いた設定項目をお買上げ時の状態に戻します。お好みに設定した項目を設定し直すときに行うと便利です。	285
初期化2を行う場合	「初期化1」に加えてさらに「チャンネル設定」も初期化されます。	285
すべての設定内容を初期化する場合	本機に設定されたすべての内容をお買上げ時の状態に戻します。本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合のみ行ってください。	286

初期化1を行う場合

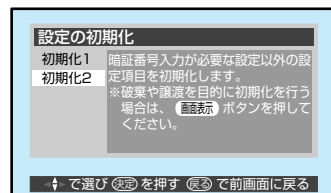
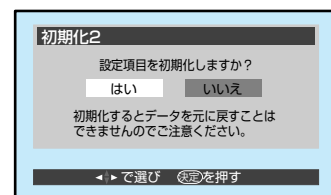
● 初期化される内容は、上の表をご覧ください。

1 **メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す**
● 設定メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン◀·▶で「初期設定」を選び、カーソルボタン▲·▼で「設定の初期化」を選んで、決定ボタンを押す**

3 **初期化する場合は、カーソルボタン▲·▼で「初期化1」を選び、決定ボタンを押す**

4 **初期化する場合は、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
● 初期化するとデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。
● 初期化される内容については287ページ「お買上げ時の状態」の表をご覧ください。

5 ［右の画面を確認して］
決定ボタンを押す
● 手順3に戻ります。

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

初期化2を行う場合

● 初期化される内容は、上の表をご覧ください。

1 **左側の手順 1 ～ 2 の操作で、「設定の初期化」画面にする**

2 **初期化する場合は、カーソルボタン▲·▼で「初期化２」を選び、決定ボタンを押す**

3 **初期化する場合は、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
● 初期化するとデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。
● 初期化される内容については287ページ「お買上げ時の状態」の表をご覧ください。

4 ［右の画面を確認して］
決定ボタンを押す
● 手順2に戻ります。

設定の初期化終了
決定 を押す

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

お買上げ時の状態に戻すには つづき

（設定内容を初期化するには）

すべての設定内容を初期化する場合

● ここでの初期化では、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、データ放送などでの個人情報（視聴ポイント数等）についても、すべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合のみ行ってください。それ以外でのご使用はご注意ください。

1 前ページ左側の手順 **1**、**2** の操作で、「設定の初期化」画面にする

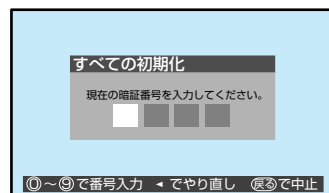
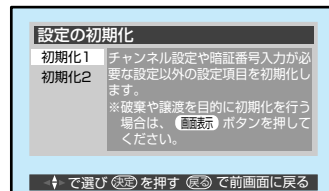
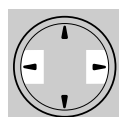
2 画面表示ボタンを押す

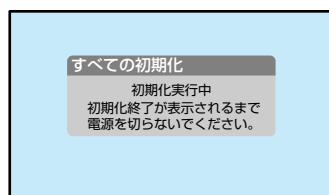
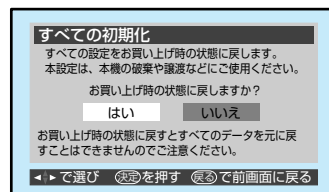
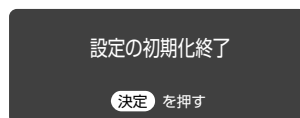
暗証番号の入力画面が表示された場合

● 数字ボタン0～9（⑪0～⑨）で暗証番号を入力する

・ 間違って入力した場合は、カーソルボタン◄を押し、1桁目からもう一度入力してください。

・ 入力した番号が正しければ手順**3**の上の画面になります。

・ 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

3 すべての設定内容を初期化する場合は、カーソルボタン◄·►で「はい」を選び、決定ボタンを押す

● 初期化するとデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。

● 消去にしばらく時間がかかる場合があります。

（消去中の画面）

4 ［右の画面を確認して］
決定ボタンを押す

設定の初期化終了

決定 を押す

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

お知らせ

■暗証番号について

● ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

■お買上げ時の状態

項目		設定内容
映像メニュー		標準
上下振幅調整		00
上下画面位置		00
バックライト		85
プログレッシブ		モード1
ファインシネマ		オート
ステレオ/モノラル		ステレオ
BBE		オ　ン
光デジタル音声出力		ＰＣＭ固定
AVアンプ電源連動		オ　ン
番組表画面でのジャンル色分け表示		赤…映画 緑…スポーツ 橙…音楽
郵便番号設定		設定なし
地域の設定		設定しない
文字スーパー表示設定		日本語
消費電力		標　準
番組情報取得設定		取得する
無操作自動電源オフ		動作しない
オンエアー無信号オフ		待機にする
外部入力無信号オフ		待機にする
i.LINK無信号オフ		待機にする
デジタル放送録画出力		モード1
BS･110度CSアンテナ電源供給		供給する
BSパススルーモード設定		設定しない
自動スキャン		自動スキャンする
デュアルポジション設定		地上A
i.LINK設定	登録モード設定	自　動
	外部機器からの制御	な　し
	ブロードキャスト入力設定	オ　フ
	最大データ転送速度設定	最　適
	D-VHSテープ検出	オ　ン
	チューナーの選局方法	選局1
ビデオ機種設定		東芝1
ビデオ入力表示設定		ビデオ1:VTR、ビデオ2:VTR ビデオ3:ゲーム、ビデオ4:VTR ビデオ5:VTR
グレーレベル		2
東芝RDシリーズ設定	識別名設定	L400VA
	ネットdeナビ制御	制御なし

項目		設定内容
ダイヤル方式		トーン
外線発信番号		外線発信番号なし
外線発信待ち時間設定		自動設定する
電話会社の設定		電話会社を設定しない
マイラインプラス加入設定		加入していない
電話番号通知設定		設定しない
ダイヤルの待ち時間設定	電話番号通知	設定しない
	マイラインプラス解除番号	設定しない
	電話会社指定番号	設定しない
通信環境設定		イーサネット優先
イーサネット設定	IPアドレス設定	自動取得する
	DNS設定	自動取得する
	プロキシ設定	使用しない
接続確認メッセージ設定		表示する
お気に入り登録		お買上げ時のお気に入り登録状態(→44ページ参照)
画面サイズ	4:3信号	スーパーライブ
	ゲームモード	ゲームフル
オフタイマー		オフ
メモリカードBGM		BGMオン
音多切換		主音声
字　幕		字幕オフ
お知らせ		なし
放送からの自動ダウンロード		ダウンロードする
放送からの任意ダウンロード予約		予約なし
サーバからのダウンロードの自動確認		確認しない
視聴予約、録画予約		なし
チャンネル設定(①～⑫ ボタン)		お買上げ時のチャンネル設定状態(→32ページお知らせ1参照)
チャンネル設定([1] ～ [12] ボタン)		お買上げ時のチャンネル設定状態(→34ページ参照)

- 「初期化1」では、チャンネル設定、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定については、初期化されません。
- 「初期化2」では、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定については、初期化されません。

バージョンアップするには

- 本機のソフトウェアを書き換えて更新することによって、機能アップや機能の改善などができます。

■バージョンアップの概要

- ソフトウェアをバージョンアップする方法としては、以下の三つがあります。
  - ・放送局がデジタル放送の電波の中にソフトウェアを入れて送信し、それをダウンロードすることによってバージョンアップする。
  - ・東芝サーバからEther(イーサ)端子を使ったイーサネット通信(→203ページ「Ether(イーサ)端子の接続」)で、ソフトウェアのダウンロードをすることによってバージョンアップする。
  - ・「スマートメディア™」を使って書き換えてバージョンアップする。(→295ページ)

■ダウンロードの概要

- ダウンロードとは、デジタル放送の放送局や東芝サーバが書き換え用のソフトウェアを送信し、テレビなどが受信してソフトウェアを書き換える方法のことです。
- ダウンロードには、下表の三つの場合があります。

放送波の中の自動ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする(→289ページ)	●あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、自動的にダウンロードさせることができます。
放送波の中の任意ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする(→290～291ページ)	●任意ダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。ダウンロードをする場合は、290ページの操作でダウンロード予約を行ってください。
サーバからソフトウェアをダウンロードする(→292～294ページ)	●あらかじめ「ダウンロードの自動確認」(→292ページ)を「確認する」に設定しておくと、東芝サーバに接続してソフトウェアのバージョンを自動的に確認することができます。サーバからダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。Ether(イーサ)端子を使ったイーサネット通信(→203ページ「Ether(イーサ)端子の接続」)によって、東芝サーバからソフトウェアのダウンロードができます。

■ダウンロードの動作について

- ダウンロードを行うにはあらかじめ、電源「入」の状態でデジタル放送を数分間受信して、ダウンロード情報を取得しておくことが必要です。
- **ダウンロードは、電源が「待機」状態のときのみ、実行されます。**
- 任意ダウンロードの場合は、本機の電源が「入」のときには、任意ダウンロード開始時刻の少し前に、リモコンの電源ボタンを押して待機状態にすることをお願いするメッセージが表示されます。

ダウンロードの実行中に、リモコンの電源ボタンが押されたとき

- 右のメッセージが表示されます。
- これ以降は、ダウンロードがすべて完了し、「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが表示されるまで、本機には触れないでください。
- 特に、電源コードを抜いたり、本体の主電源スイッチは絶対に切らないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作する場合があります。
- 「ソフトウェアを更新しました」のメッセージが表示されたら決定ボタンを押してください。
  電源が「待機」になったあと、再び「入」になります。以降は通常どおり操作できます。

「ソフトウェアを更新中です。ソフトウェアを更新中は、本機に触れないでください。主電源の切/入をしたりするとソフトウェアが正常に書き込まれません。」

お願い

- **ダウンロード中は、電源コードを抜いたり、主電源を切ったり、「スマートメディア™」を抜くなどしないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作を起こす場合があります。動作しない状態になった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。**

- **ダウンロードによって、設定内容がお買上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除される場合があります。**
- 任意ダウンロードは、録画予約した番組が時間変更となり任意ダウンロード予約と重なった場合や、悪天候の場合などには実行されません。
- ダウンロードが取り消された場合、その旨を「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。
- 一発録画中やライブラリでのコピー中(→158ページ)などに、任意ダウンロード予約の開始時刻になると任意ダウンロード予約は取り消されます。
- ネットdeナビ予約での録画実行中には、ダウンロードは実行されません。

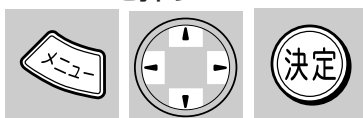
送信されてくるソフトウェアをダウンロードする

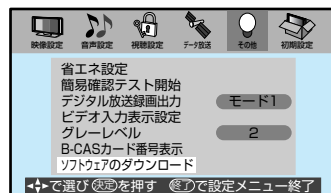
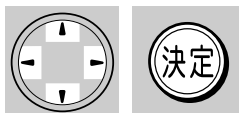
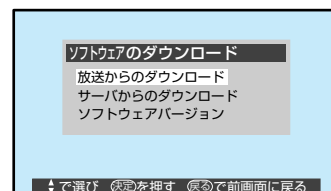
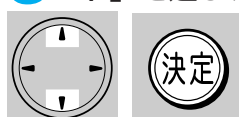
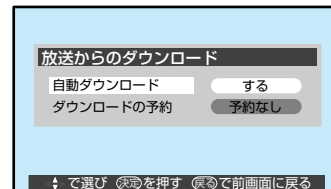
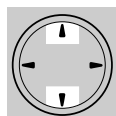
自動ダウンロードをするには

- 以下の設定をすることによって、デジタル放送の放送局から送信される自動ダウンロード用のソフトウェアを自動的にダウンロードすることができます。
- 288ページもよくお読みください。

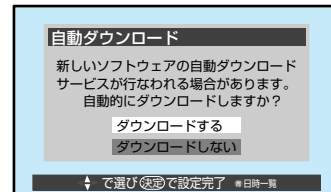
■「自動ダウンロード」の設定をする

- お買上げ時は、「ダウンロードする」に設定されています。
- 「ダウンロードしない」に設定した場合は、自動ダウンロードサービスが行われていることを「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。

1 メニューボタンを押し、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

- 設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン◀·▶で「その他」を選び、カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選んで、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「放送からのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「自動ダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲·▼で「ダウンロードする」、または「ダウンロードしない」を選び、決定ボタンを押す

自動ダウンロードの日時一覧を見るには

①青ボタンを押す
- 日時一覧が表示されます。

②カーソルボタン▲·▼で日時一覧表示を切り換える
③前画面に戻るには、戻るボタンを押す

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。

最初の設置・接続・設定

バージョンアップするには つづき

送信されてくるソフトウェアをダウンロードする つづき

任意ダウンロードをするには

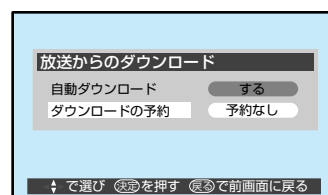
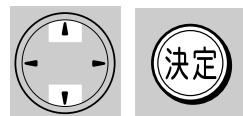
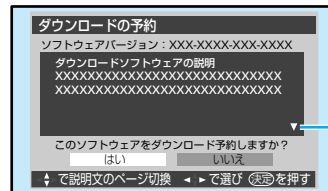
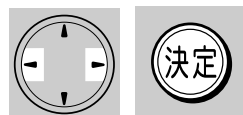
- 288ページもよくお読みください。

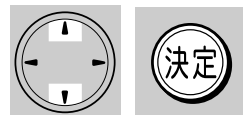
■任意ダウンロードを予約する

はじめに

- 任意ダウンロードについての情報があるときには、「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。
- ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロード予約を行ってください。

1 289ページの手順 1 ～ 3 を行い、「放送からのダウンロード」画面にする

2 カーソルボタン▲·▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定ボタンを押す

3 表示されている説明を読み、ダウンロード予約をする場合は、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

説明文の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼でページを切り換えることができます。

4 カーソルボタン▲·▼で予約する時間を選び、決定ボタンを押す

- ダウンロードが予約されます。
- 設定できるダウンロード予約は一つです。

ダウンロードの予約
ダウンロード予約の日時を選んでください。

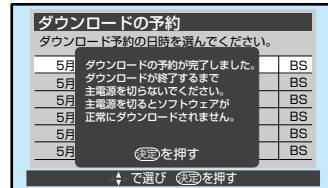
5月16日（金）	AM0:00~AM0:30	BS
5月16日（金）	AM1:00~AM1:30	BS
5月16日（金）	AM2:00~AM2:30	BS
5月16日（金）	AM3:00~AM3:30	BS
5月16日（金）	AM4:00~AM4:30	BS
5月16日（金）	AM5:00~AM5:30	BS

で選び 決定を押す

予約と時間が重なっている場合

- 録画予約や視聴予約と重なっている場合は、右のメッセージが表示されます。
  決定ボタンを押すと前画面に戻ります。
  ダウンロードの予約日時を変えるか、または終了ボタンを押したあと、予約を取り消してください。
  (→291ページ)

「番組予約と時間が重なっています。」

5 表示されるメッセージを読んだあと、決定ボタンを押す

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

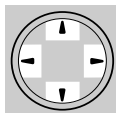
7 予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンで電源待機状態にする

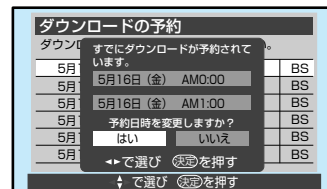
- ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。

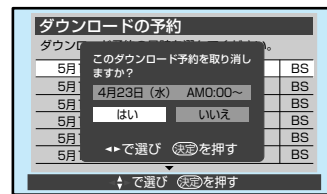
■任意ダウンロード予約の日時を変更したり、予約を取り消すには

● 288ページもよくお読みください。

1 前ページの手順 **1** ～ **3** の操作でダウンロード予約画面にする

2 以下を行う

ダウンロード予約の日時を変更する場合

①カーソルボタン▲･▼で変更する日時を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン◄･►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
● 選んだ日時にダウンロード予約が変更されます。
③表示されるメッセージを読んだ後、決定ボタンを押す
④通常画面に戻るには、終了ボタンを押す
⑤予約開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンを押して電源待機状態にする
● ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。

ダウンロード予約を取り消す場合

①カーソルボタン▲･▼で予約されているダウンロードの日時を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン◄･►で「はい」を選び、決定ボタンを押す
● ダウンロード予約が取り消されます。
③通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

バージョンアップするには つづき

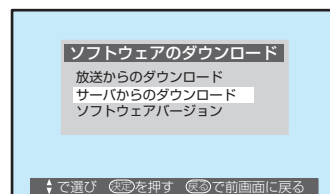
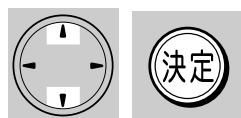
サーバからダウンロードする

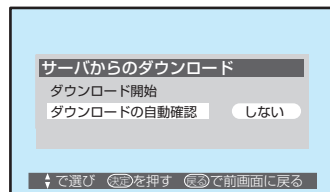
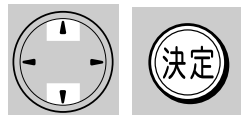
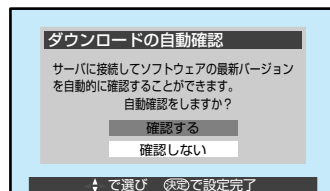
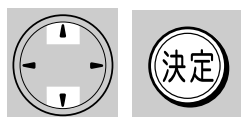
ダウンロードの自動確認を設定する

- 東芝サーバに接続してソフトウェアのバージョンを自動的に確認することができます。サーバからダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。
- お買上げ時は、「確認しない」に設定されています。
- 288ページもよくお読みください。

1 289ページの手順 **1**、**2** を行い、「ソフトウェアのダウンロード」画面にする

2 カーソルボタン▲·▼で「サーバからのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

ソフトウェアのダウンロード
放送からのダウンロード
サーバからのダウンロード
ソフトウェアバージョン
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

3 カーソルボタン▲·▼で「ダウンロードの自動確認」を選び、決定ボタンを押す

サーバからのダウンロード
ダウンロード開始
ダウンロードの自動確認 しない
で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

4 カーソルボタン▲·▼で「確認する」または「確認しない」を選び、決定ボタンを押す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

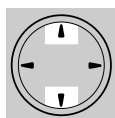
ダウンロードを開始する

- Ether(イーサ)端子を使ったイーサネット通信によって、東芝サーバからソフトウェアのダウンロードができます。
- 288ページもよくお読みください。

はじめに

- 「Ether(イーサ)端子の接続」(→203ページ)を行う
- 「ダウンロードの自動確認」(→292ページ)を「確認する」に設定する
  (お買上げ時は、「確認しない」に設定されています。)
- サーバからダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」(→111ページ)でご連絡します。

1 289ページの手順 1、2 を行い、「ソフトウェアのダウンロード」画面にする

2 以下を行う

① カーソルボタン▲·▼で「サーバからのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

② カーソルボタン▲·▼で「ダウンロード開始」を選び、決定ボタンを押す

- 通信を開始し、本機の現在のバージョンを確認します。

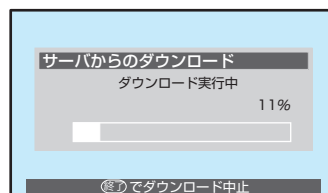
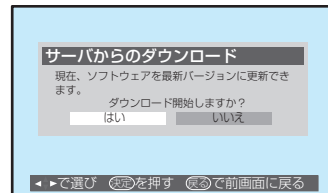
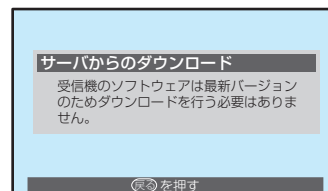
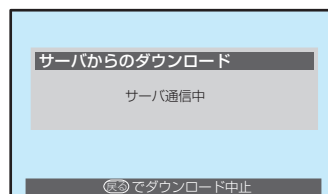
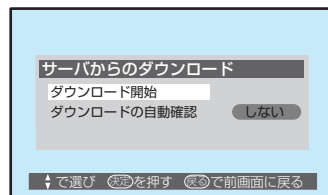
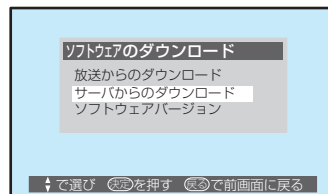
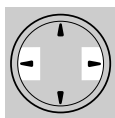
サーバからのダウンロード
サーバ通信中
戻るでダウンロード中止

通信エラーが表示された場合

- **決定ボタンを押す**
  - イーサ端子の接続や設定が正しく行われているか、もう一度ご確認ください。(→203ページ「Ether(イーサ)端子の接続」)

本機の現在のバージョンが最新の場合

- 右の画面になります。ダウンロードの必要はありません。
- **決定ボタンを押す**

サーバからのダウンロード
受信機のソフトウェアは最新バージョンのためダウンロードを行う必要はありません。
戻るを押す

3 カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- サーバからのソフトウェアをダウンロード開始します。
- ダウンロードをしない場合は、「いいえ」を選んでください。手順2の一番上の画面に戻ります。
- ダウンロードが終わると手順4の画面になります。

サーバからのダウンロード
現在、ソフトウェアを最新バージョンに更新できます。
ダウンロード開始しますか?
はい いいえ
◀ ▶で選び 決定を押す 戻るで前画面に戻る

ソフトウェアのバージョンアップを中止する場合

- **終了ボタンを押す**
  - ダウンロードを中止して、通常画面に戻ります。

「通信エラー」が表示された場合

- **決定ボタンを押す**
  - 通常画面に戻ります。Ether(イーサ)端子の接続や設定が正しく行われているか、もう一度ご確認ください。(→203ページ「Ether(イーサ)端子の接続」)

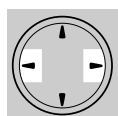
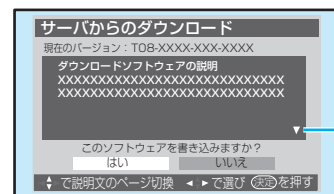
お知らせ

- 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできない場合があります。
  - 「通信エラー」が表示された場合、サーバが一時的に停止していることもありますので、Ether(イーサ)端子の接続や設定に問題がない場合は、数時間後にもう一度ダウンロードを行ってください。

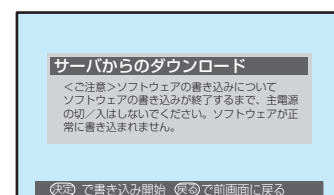
バージョンアップするには つづき

サーバからダウンロードする つづき

ダウンロードを開始する つづき

4 最新のバージョンの説明文を読み、カーソルボタン◀·▶で「はい」または「いいえ」を選んで、決定ボタンを押す

- 「はい」を選んだ場合は、手順5に進みます。
- やめたい場合は、「いいえ」を選んでください。通常画面に戻ります。

説明文の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼でページを切り換えることができます。

5 表示されるメッセージを読んだあと、決定ボタンを押す

- 書き込みが終了するまでしばらく時間がかかります。

ソフトウェアのバージョンアップを中止する場合

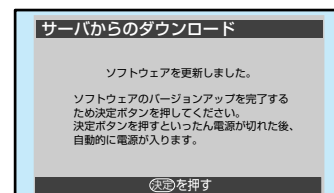
①終了(または戻る)ボタンを押す
- 「ソフトウェアのバージョンアップを中止しますか？」が表示されます。

②カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す
- 手順2の一番上の画面に戻ります。

「ソフトウェア書き込み中にエラーが発生しました。」が表示された場合

- **決定ボタンを押す**
  - ・バージョンアップを中止して、通常画面に戻ります。もう一度手順1からやり直してください。

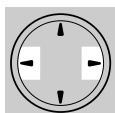
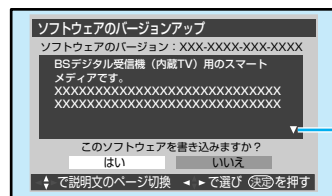
6 表示されるメッセージを読んだあと、決定ボタンを押す

- 電源が「待機」になった後、再び「入」になります。これでソフトウェアのバージョンアップは完了です。

「スマートメディア™」のソフトウェアを書き込む

- 当社からソフトウェアがスマートメディアで送付された場合は、以下の手順でバージョンアップしてください。
- 288ページもよくお読みください。

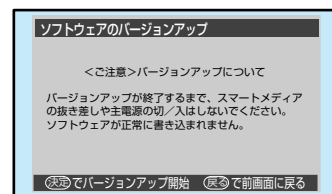
1 「スマートメディア ™」を本体に差し込む

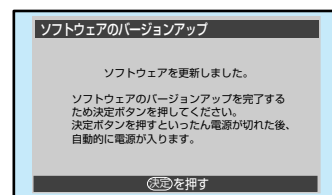
- 差し込みかたなど詳しくは、80ページをご覧ください。
- 正しく差し込まれると、自動的にソフトウェアの説明画面になります。

2 画面の説明を読み、ダウンロードする場合はカーソルボタン ◀･▶ で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- バージョンアップについてのご注意が表示されます。
- 説明文の上、下に▲･▼ マークがある場合は、カーソルボタン▲･▼ でページを切り換えることができます。

3 画面の説明を読んでから、決定ボタンを押す

- ダウンロードが始まります。

以下のメッセージが表示された場合

- 以下のメッセージが表示された場合は、ダウンロードできません。終了ボタンを押して、中止してください。
  ・「このソフトウェアでは書き換えできません」
  ・「バージョンアップ中にエラーが発生しました」

4 右のメッセージが表示されたら、決定ボタンを押す

- 電源が「待機」になったあと、再び「入」になります。
  以降、通常どおり操作できます。

5 「スマートメディア ™」を本体から抜く

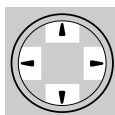
ソフトウェアのバージョンを確認するには

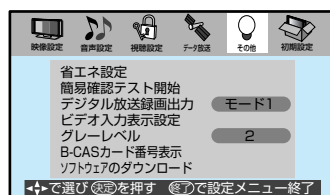
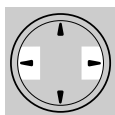
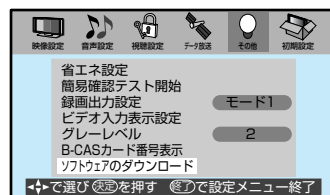
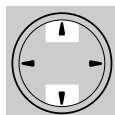
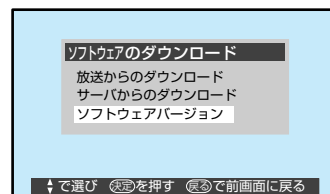
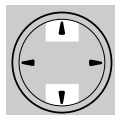
ソフトウェアのバージョンを確認するには

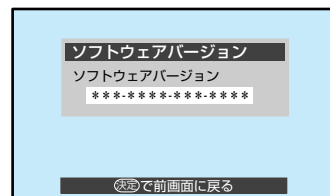
● 現在の本機のソフトウェアのバージョンが確認できます。

1 メニューボタンを押す

● メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「設定メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン◀・▶で「その他」を選ぶ

4 カーソルボタン▲・▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲・▼で「ソフトウェアバージョン」を選び、決定ボタンを押す

6 ソフトウェアバージョンを確認後、決定ボタンを押す

● 決定ボタンを押すと前画面に戻ります。

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

第6章 その他

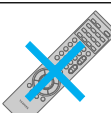
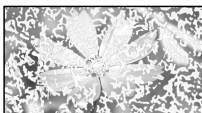
アイコン一覧

■番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	二重音声	二重音声放送
ラジオ	ラジオ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
データ	データ放送	SD	デジタル標準テレビ放送
d	番組連動データ放送がある場合	字幕	字幕放送
16:9	画面の横と縦の比が16：9の信号	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
4:3	画面の横と縦の比が4：3の信号	ペイ・パー・ビュー	ペイ・パー・ビュー番組
ステレオ	ステレオ音声放送	年令	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

■お知らせ、予約、録画、ライブラリ、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	未読の「お知らせ」	¥コピー	録画購入すれば光デジタル録音できます
	既読の「お知らせ」	×コピー	光デジタル録音できません
	予約		予約一覧（→97ページ）で録画機器がビデオ（連動）の場合
重複	予約が重なっています		予約一覧（→97ページ）で録画機器がビデオ（非連動）の場合
コピー	アナログ録画できます	i	予約一覧（→97ページ）で録画機器がi.LINK機器の場合
¥コピー	録画購入すればアナログ録画できます		予約一覧（→97ページ）で録画機器がビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の場合
×コピー	アナログ録画できません		ライブラリの番組にロックをかけた場合
Dコピー	デジタル録画できます		地上デジタル放送選局時または画面表示ボタンを押したときで再スキャン操作をおすすめする場合（→49、51ページ）
D¥コピー	録画購入すればデジタル録画できます		非リンク型サービス（通信番組）（→64ページ）
D1コピー	1回のみデジタル録画できます		SSLなどの暗号通信をしている場合（→64ページ）
D×コピー	デジタル録画できません		登録発呼の予約設定時（→67ページ）
コピー	光デジタル録音できます		登録発呼の予約設定して3回接続に失敗した場合（→67ページ）

修理を依頼される前にお調べください

⚠ 警告	■ 修理・改造・分解はしないこと 内部には電圧の高い部分があり感電・火災の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

● 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があると本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に下記のことをお調べください。

■全般

このようなとき	ここをお調べください
電源がはいらない	(1) 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
映像や音声が出ない	(1) アンテナ線がはずれていませんか。 (2) アンテナ線の心線と網線がショートしていませんか。（→192～196ページ） (3) アンテナの向きは正しく合っていますか。 (4) 音量が最小になっていませんか、または消音ボタンが押されていませんか。
色や色あいが悪い	(1) 映像調整がズレていませんか。（→169～171ページ）
すべての操作ボタンを受け付けない	(1)「バージョンアップをするには」（→288ページ）でソフトウェアのダウンロードを行っている場合は、終了するまで操作ボタン（電源ボタン、主電源スイッチ以外のボタン）は受け付けません。**ソフトウェアのダウンロード中は、絶対に電源コードを抜いたり、主電源スイッチを切らないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、誤動作する場合があります。** (2) 上記以外の場合は、本体の主電源スイッチを確実に押し上げてから指を離して主電源を切り、もう一度押して主電源を入れてください。
リモコンが働かない	(1) リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。（→22、25ページ） (2) リモコンの乾電池が消耗していませんか。 (3) リモコンの乾電池が逆向きに入っていませんか。
映像が二重、三重になる	(1) ビルなどからの反射電波が考えられます。 →アンテナの位置、高さ、向きを調整する。
雪が降ったような画面になる	(1) アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。 (2) アンテナの向きがズレていませんか。 →別売りのアンテナブースターを使うと良くなることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
画面にはん点が出る	(1) 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、電気掃除機、ヘアードライヤーなどからの妨害がはいっています。 →アンテナの位置を原因から離す。アンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。
画面にしま模様が出る	(1) 他のテレビやパソコン、テレビゲームビデオ、オーディオ機器などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 →アンテナの位置、高さ、向きを調整する。

修理を依頼される前にお調べください つづき

■デジタル放送関係

●デジタル放送全般

このようなとき	ここをお調べください
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	(1) 多少の時間がかかる場合があります。特に、主電源を「切」→「入」にしたときには、しばらく時間がかかります。
デジタル放送だけが映らない／映りが悪い ?	(1) 電波の種類（BS、110度CS、地上デジタル）に適合したアンテナを使用していますか。 (2) 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。 (3) アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 (4) BS、110度CS放送の場合、アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。 (5) アンテナ線がはずれていませんか。 (6) アンテナの向きがズレていませんか。 (7) B-CASカードが正しく装着されていますか。 (8) 積雪や豪雨、雷などで電波が弱くなっていませんか。 ※降雨対応放送の場合、映像の品位は通常の場合に比べて悪くなります。
デジタル放送のチャンネルが変えられない	(1) 録画予約や一発録画が実行中ではありませんか。
ビデオコントロールケーブルを使ってデジタル放送の予約録画ができない	(1) ビデオの入力切換を正しく設定しましたか。 (2) ビデオの電源を「切（待機）」にしていましたか。 (3) ビデオ本体での予約設定が行われていて、予約待機状態になっていたり、予約が実行されていませんでしたか。 (4) ビデオ機種設定が正しく行われていますか。（→259ページ） (5) ビデオコントロールケーブルの接続と設置が正しく行われていますか。（→148ページ） (6) ビデオによっては、電源がはいってから録画が開始されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。 (7) ビデオテープの録画防止用のツメは折れていませんか。
未読の「お知らせ」がなくなっている	(1) 「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は削除されることがあります。（詳しくは111ページのお知らせをご覧ください。） (2) 「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。 (3) 「設定の初期化」をしませんでしたか。（→285ページ）
光デジタル音声が出ない	(1) 「光デジタル音声出力の設定」は接続する機器に合わせて正しく設定されてますか。（→178ページ）
有料放送が視聴できない	(1) B-CASカードは正しく挿入されていますか。（→190ページ） (2) 有料放送を視聴するための手続きはされていますか。 (3) 電話回線の接続や設定は正しいですか。（→200、262ページ）
「放送局からのお知らせ」が見られない	(1) B-CASカードは正しく挿入されていますか。（→190ページ）
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	(1) アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルなどを使用していませんか。 (2) 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。デジタル放送に対応したケーブルなどをご使用ください。（→194～196ページ）
引越しをしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	(1) データ放送用の地域設定は正しいですか？ →「郵便番号と地域の設定」（→282ページ）を行ってください。

●デジタル放送全般　つづき

このようなとき	ここをお調べください
再生中に、不自然なブロックノイズ(映像が小さなブロックの集まりで表示される)が見えるときがある	(1) 以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 ・元の画像にブロックノイズがすでにある場合 ・降雨対応放送の映像の場合 ・天候などで、受信状態が悪化した場合 ・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合 ・i.LINKで対応していない信号の入力があった場合

●地上デジタル放送の受信や予約など

このようなとき	ここをお調べください
地上デジタル放送がまったく受信できない ※以下も含みます。 ・地上デジタルの番組表、チャンネル一覧などが表示されない ・本体の放送切り換えボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	(1) 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続はされていますか？(→192～195ページ) (2) アンテナの方向は正しいですか？ アンテナレベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください。(→197ページ) (3) B-CASカードは正しく挿入されていますか？(→190ページ) (4) 初期スキャンを行いましたか？(→207、217ページ) (受信できたチャンネルについては、「チャンネル一覧」(→48ページ)でご確認ください。) (5) 放送は行われていますか？ 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。 また、ホームページ（以下のアドレス参照）から確認することもできます。 **http://www.toshiba.co.jp/product/tv/naruhodo/** (6) 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタル放送に対応(パススルー方式)になっていますか？ →CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	(1) 放送は行われていますか？ →上の(5)をご確認ください。
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	(1) 県外に引っ越した場合は、「初期スキャン」(→207、217ページ)を行ってください。 (2) 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」(→220ページ)を行ってください。 (3) 上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の(1)(2)(3)(5)(6)をご確認ください。
複数台のテレビで、ダイレクト選局ボタン(または地上専用ダイレクト選局ボタン)のチャンネルが異なっている	(1) 初期スキャンなどを異なる時間に行った場合は、同じにならない場合があります。 (2) どちらも東芝製テレビの場合は、同時に「初期スキャン」(→207、217ページ)を行ってください。 (3) 異なるメーカーのテレビの場合は、同じにならない場合があります。
複数台のテレビで、枝番(→35ページ)が異なっている	(1) 初期スキャンなどを異なる時間に行った場合は、同じにならない場合があります。 (2) どちらも東芝製テレビの場合は、同時に「初期スキャン」(→207、217ページ)を行ってください。 (3) 異なるメーカーのテレビの場合は、同じにならない場合があります。
地上Dアンテナレベル画面では受信できるチャンネルがそれ以外のときには受信できない	(1) 再スキャンを行ってください。(→220ページ)
地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)で地上デジタル放送が受信できない (他の選局方法では受信できる)	(1) 「デュアルポジション設定」(→246ページ)を「地上D」に設定してください。

■デジタル放送関係 つづき

●地上デジタル放送の受信や予約など つづき

このようなとき	ここをお調べください
地上専用ダイレクト選局ボタン(①～⑫)で地上アナログ放送が受信できない(他の選局方法では受信できる)	(1) 「デュアルポジション設定」(→246ページ)を「地上A」に設定してください。
ダイレクト選局ボタン(または地上専用ダイレクト選局ボタン)に設定してあった放送局が別の放送局に変わっている ※以下も含みます。 ・以前選局できた放送がなくなっている	(1) 放送変更があった場合、放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。 →「本機に関するお知らせ」(→111ページ)をご確認ください。
受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	(1) 初期スキャンを行ってください。(→207、217ページ)
チャンネルボタン▲·▼での選局時に同じ3桁チャンネル番号のチャンネルが複数選局される	(1) 枝番(→35ページ)で区別されているチャンネルではありませんか？ →「チャンネル一覧」(→48ページ)で枝番の有無をご確認ください。 枝番があれば正常な動作です。
お気に入り選局での設定時に、同じ3桁チャンネル番号が複数表示される	(1) 枝番(→35ページ)で区別されているチャンネルではありませんか？ →「チャンネル一覧」(→48ページ)で枝番の有無をご確認ください。 枝番があれば正常な動作です。
地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている	(1) 「初期スキャン」(→207、217ページ)を行いませんでしたか？ (2) 「再スキャン」(→220ページ)で「設定内容をリセットする」を選択しませんでしたか？
番組表などを表示させても番組名などが表示されなかったり、実際の内容と合っていない場合が多い	(1) 毎日2時間以上は本機の電源を待機状態にしてください。(→詳しくは16ページ) (2) 黄ボタンを押して、情報を取得してください。 情報取得には、時間がかかる場合があります。 詳しくは、(→38ページの手順**2**、42ページの手順**4**)
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間変更」を「連動する」に設定していたのに、連動して予約が行われなかった	(1) 本機は放送時間の繰上げには、対応していません。

●通信・双方向通信・通信設定など

このようなとき	ここをお調べください
イーサネット通信ができない （Ether(イーサ)端子を使った双方向サービスができない）	(1) Ether(イーサ)端子は正しく接続されていますか？(→203、204ページ) (2)「イーサネット設定」は正しく行われていますか？(→270ページ) (3)「接続テスト」(→273ページ)で、正しく通信できましたか？
ダイヤルアップ通信ができない	(1) 電話回線は正しく接続されていますか？ (2)「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定していますか？(→269ページ)
通信速度が遅い、不安定	(1) 接続ケーブルが長すぎる場合、通信速度が遅くなる場合があります。 (2) 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。（データ量が多い場合など） (3) イーサネット通信の場合、通信環境によるもの（ADSLの場合、局から遠いなど）ではありませんか？ (4) 回線が混んでいるためではありませんか？
通信が勝手に切れてしまう	(1)「接続確認メッセージ設定」(→274ページ)を行うと、通信切断前に確認画面を表示させることができます。

修理を依頼される前にお調べください つづき

■デジタル放送関係 つづき

●東芝製HDD&DVDビデオレコーダー（以下「ビデオレコーダー」と記載）との連動予約（テレビdeナビ予約、ネットdeナビ予約）を使用した録画関連

このようなとき	ここをお調べください
本機とビデオレコーダーで、テレビdeナビ予約、ネットdeナビ予約ができない	(1)「東芝製HDD&DVDビデオとつなぐとき」に従って、接続、設定を行いましたか？（→131ページ） (2) ネットdeナビ予約の場合、「接続テスト」（→273ページ）で、正しく通信できましたか？ (3) ネットdeナビ予約の場合、本機の状態によっては、予約ができない場合があります。140ページの「ご注意」をご確認ください。 ※上記の内容も含めて、131～140ページで動作や注意事項についてご確認ください。 (4) テレビdeナビ予約の場合、「テレビdeナビ予約についての注意事項」（→101ページ）で、注意事項をご確認ください。
設定した録画開始時刻に録画が始まらない	(1) ビデオレコーダーの時刻設定は正しいですか？（→ビデオレコーダーの取扱説明書を参照） (2) 本機とビデオレコーダーの録画開始処理の誤差のために、正確な時刻どおりには録画開始されないことがあります。
テレビdeナビ予約やネットdeナビ予約で録画中に、ビデオレコーダー側で録画を中止したが、本機でチャンネルを切り換えることができない	(1) 本機のリモコンの終了ボタンを2回押してください。 （ビデオレコーダーで録画を中止したときは、本機で録画中止の操作をしないとチャンネルが切り換えられません。本機のリモコンの終了ボタンを2回押すと本機側が録画中止となります。）
テレビdeナビ予約やネットdeナビ予約で録画中に、本機側で録画を中止しても、ビデオレコーダーの録画が中止されない	(1) ビデオレコーダー本体の停止ボタンを2回押してください。録画中止となります。 （本機で録画中止の操作をしても、ビデオレコーダーの録画は中止されません。ビデオレコーダー本体の停止ボタンを2回押すと、録画中止となります。）

■このようなときは故障ではありません

■アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 積雪や豪雨で電波が弱くなったとき。
- 春分、秋分、日食など太陽と衛星の方向が一致する食のとき。（衛星の太陽電池が地球や月の影になり、一時的に働かなくなるためです。）

■キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。
  画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

■蛍光管について

- 本機内部に使用している蛍光管には寿命があります。
  画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい蛍光管ユニットに取り換える必要があります。
  交換のときは、東芝家電修理ご相談センター（→裏表紙参照）にお問い合わせください。
- お買上げ時、蛍光管の特性上、画面にちらつきが出ることがあります。
  この場合、主電源をいったん「切」にして、もう一度電源を入れ直して確認してください。

エラー表示、メッセージ表示について

■全般

●代表的なエラー表示、メッセージ表示を説明します。**(静止画などの場合は一部省略される場合があります。)**

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「受信できません。コード:E202」	●適合したアンテナでないため。 ●雨や雷などの気象条件によって一時的に受信できない。 ●アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 ●アンテナの設定値が合ってない。 ●アンテナの方向ずれや故障。	●放送に適合したデジタル放送用アンテナであることをご確認ください。 ●アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。(→192〜199ページ) ●アンテナ線をご確認ください。 ●アンテナの方向をご確認ください。 ※ 選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
●「このチャンネルはご覧になれません。コード:E210」	●部分受信サービスを選局したため。	●本機は対応していないので受信できません。
●「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード:E201」	●気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	●降雨対応放送に切り換えることができます。(→75ページ)
●「現在放送されていません。コード:E203」	●選局したチャンネルでの放送が休止中。 ●放送時間が終了している。	●番組表などで放送時間をご確認ください。 ●放送中のチャンネルを選局してください。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって、一時的に受信できない場合も表示することがあります。
●「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード:E200」	●通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 ●ホテル客など特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	●通常の放送チャンネルを選局してください。
●「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	●選局した有料の放送事業者またはチャンネルが未契約の場合。	●選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
●「表示するチャンネルがありません。」	●番組表または番組チェックで、表示するチャンネルがまったくないため。	●放送切換ボタンやメディアボタンで表示できるチャンネルを選んでください。
●「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	●B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	●カードを抜き差ししてみてください。 ●B-CASカードの装着をご確認ください。(→190ページ)
●「B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード:6400または6581」	●B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	●カードを抜き差ししてみてください。 ●それでも正常にならない場合は、B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
●「このB-CASカードはご使用になれません。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード:A104またはA105またはA106またはA107」	●B-CASカードが登録されていない。	●B-CASカードの登録を行ってください。B-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
●「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	●付属のB-CASカード以外のカードを挿入している。	●付属のB-CAS カードを挿入してください。

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「このICカードはご使用になれません。使用可能なカードを挿入してください。コード:EC01」	●このICカードは無効です。	●付属のB-CAS カードを挿入してください。
●「このB-CASカードはご使用になれません。コード:A1FFまたはA102」	●使用できないB-CASカードを挿入している。	●付属のB-CASカードを挿入してください。
●「B-CASカードが故障しています。」	●B-CASカードの故障、または交換が必要な場合。	●B- CASカードの交換には、B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。
●「この番組には視聴制限があります。」	●設定されている視聴年齢を超えた番組を選局した。 ●設定した購入限度額よりも高い料金の番組を選局した。	●ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。(→278ページ)
●「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード:8903または8503または8303」	●選んだチャンネル(番組)の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	●詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
●「番組購入情報がいっぱいのため、新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、カスタマーセンターへご連絡ください。コード:8109」	●B-CASカード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリがいっぱいになっている。	●「番組購入情報の送信」を行ってください。(→121ページ)
●「購入受付時刻を過ぎたためご覧になれません。コード:8108」	●ペイ・パー・ビューの購入可能時間が終了したため。	●番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。その場合は、それ以降は購入できませんのでご注意ください。 ●別の時間帯でも放送していて購入できる場合があります。詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご確認ください。
●「データが受信できません。コード:E400」	●データ放送の情報が取得できない場合。	●選局し直してください。
●「データを表示できません。コード:E401」	●本機では対応していないデータ放送の場合。	●このデータは受信できません。

エラー表示、メッセージ表示についてつづき

■全般 つづき

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「データの表示に失敗しました。コード:E402」	●データ放送を表示中に何らかのエラーが生じた場合。	●選局し直してください。
●「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかをご確認ください 。」	●ダイヤルトーンの検出ができなかったため。	●「電話回線の接続」(→200ページ)および「電話回線設定」(→262ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。
●「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。」	●電話回線を使用した通信ができなかったため。	●「電話回線の接続」(→200ページ)および「電話回線設定」(→262ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。
●「サーバと通信できませんでした。」	●サーバからのダウンロードに失敗したため。	●回線が混みあっているなどの場合も考えられますので、時間帯を変えて、もう一度接続してください。 ●イーサネット設定(→270ページ)で接続・設定の確認をしてください。
●「ファンが故障・停止しました」 ※このメッセージは、26L400Vにだけ、表示されることがあります。	●冷却ファンが停止したため。	(左記の画面表示がされてから、約30秒後に電源が切れて「電源入一青／待機一赤」表示が点滅します。) ●主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

■デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合
- メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示ボタンを数秒間押し続けることで、メッセージ表示を消すことができます。
- 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。（メッセージの他の部分は表示されたままです）
  この文章が消えたあとも同様に、画面表示ボタンを数秒間押し続けることで、メッセージ表示を消すことができます。

■ i.LINK に関するエラー表示（代表的なもの）

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「選ばれた機器はi.LINK接続されていません。」	●一度i.LINK 登録された機器が切断されたため。（実際にi.LINKケーブルがはずれている。）	●i.LINK接続の状態を確認してください。
●「選ばれた機器にi.LINK接続できません。」	●i.LINK操作パネルの機器リストで選んだ機器への接続に失敗した。 ●i.LINK操作中に接続変更があり、その接続処理に失敗した。	●i.LINK機器の接続を確認してください。 ●もう一度操作パネルでこの機器を選び直してください。 ●相手機器の電源を入れ直してください。 ●相手機器のi.LINK設定をご確認ください。
●「i.LINK機器が登録されていません。」	●i.LINK機器が登録されていません。	●i.LINK接続、設定を行ってください。（→149、253ページ）
●「ブロードキャスト出力機器はありません。」	●ブロードキャスト出力している機器がない。	●i.LINK接続機器をご確認ください。
●「現在入力されているブロードキャスト信号には対応していません。」	●対応されていないブロードキャスト信号を入力したため。	●この機器から出力されている信号は本機では受信できません。 ●本機が対応する信号を出力するi.LINK機器を接続してください。
●「i.LINK機器の接続に変更がありました。接続状態を確認しています。」	●i.LINK接続ケーブルがはずれている、または接続が不十分。 ●i.LINK接続に変更があった。	●接続状態を確認中です。1分たっても終了しない場合は、決定ボタンで中止し、i.LINK機器の接続、設定を確認ください。（→149、253ページ）
●「i.LINK機器の接続を確認してください。」	●i.LINK機器との接続が正しくない。	●i.LINK機器はループ状態に接続できません。正しく接続してください。（→164ページ）
	●i.LINK機器を64台以上接続している。	●64台以上のi.LINK機器接続はできません。本機を含めて63台以下にしてください。
●「外部機器から接続されています。」	●外部のi.LINK機器から接続されているため、i.LINK操作ができません。	●i.LINK機器を操作するには、外部機器から本機へのi.LINK接続を終了させてください。
●「使用可能な帯域を超えているため操作できません。他の機器の接続をはずしてご使用ください。」	●使用する帯域が確保できないため信号の通信ができません。	●使用していないi.LINK機器でブロードキャスト出力設定されている場合は、ブロードキャスト出力を「切」にしてください。 ●同時使用する機器の数を少なくしてください。 ●接続機器の電源プラグを抜き差ししてください。
●「対応したデジタル信号が入力されていません。」	●DV機器などフォーマットの異なる機器をつないだため。	●DV機器などフォーマットの異なる機器は、接続してもデータのやりとりなどはできません。
●「i.LINK制御機能が正しく動作していません。番組を正常に送受信できない場合があります。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	●i.LINK処理に用いる内部情報が壊れているため。	●お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。
●「i.LINKモードでは切り換えられません。」	●静止画や番組表、選局プラス、二画面などのリモコン操作をしたため。	●i.LINKモードを終了してから、選局等の操作をしてください。

エラー表示、メッセージ表示についてつづき

■i.LINK に関するエラー表示（代表的なもの）つづき

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「録画機器が操作を受け付けません。録画機器を確認してください。」	●録画機器の制御ができないため。	●録画機器側が外部制御できない設定になっていないか確認してください。録画機器の取扱説明書を確認してください。
●「接続機器の電源を入れてください。」	●接続機器の電源の制御ができないため。	●接続機器本体の操作で電源を入れてください。

■通信（電話回線やイーサ端子を使った通信）に関するエラー表示（代表的なもの）

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバに接続できません。」	●本機にルート証明書が設定されていない。	●ルート証明書が設定されているか確認してください。(→284ページ) 設定されている場合は、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター(裏表紙参照)へお問い合わせください。 ルート証明書が設定されていない場合、一定時間経過後にもう一度、ルート証明書の確認を行ってください。それでも設定されない場合は、東芝家電ご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。
●「現在設定されているルート証明書ではサーバの安全性を確認できないため、接続できません。」	●ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバ証明書との検証が取れない。	●ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。(→284ページ)
●「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバに接続できません。」	●ルート証明書の有効期限が切れている。	●ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。(→284ページ)
●「サーバの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	●接続先の証明書が有効期限切れになっている。	●接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。(本機の動作は正常です。)
●「サーバの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	●サーバ証明書に表示しようとしているページの名前がない。	●接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。(本機の動作は正常です。)
●「サーバの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	●接続先の証明書が改ざんされている。	●接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。(本機の動作は正常です。)
●「サーバの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	●認証エラーが発生した。	●接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。(本機の動作は正常です。)
●「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	●本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	●本機の通信環境設定を正しく設定し直してください。(→269ページ)

用語について（索引）

タ行 ページ

ナ行 ページ

ハ行 ページ

用語について（索引）つづき

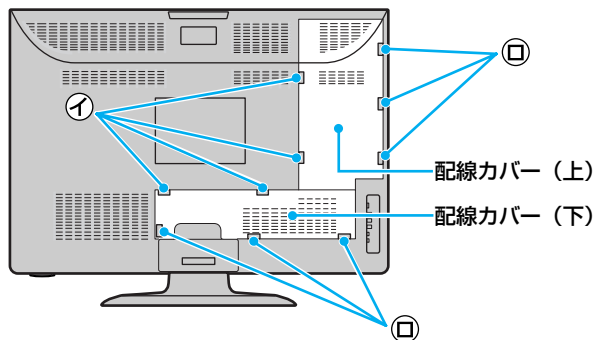
配線カバーの取り付け、取りはずしと配線処理のしかた

● 配線カバーの（上）、（下）２枚の取り付け、取りはずしは以下の順序で行ってください。

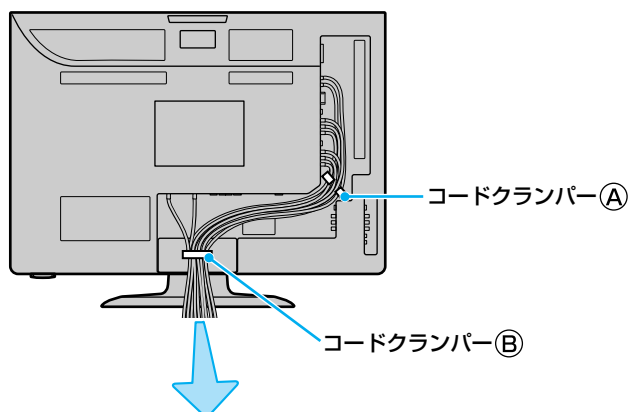
● 配線カバーの（上）、（下）を取りはずした状態で、コードクランパーⒶ、Ⓑを利用し配線処理を行えば、配線が整理されます。

■取りはずすとき（配線カバー（下）で説明）

①配線カバー(下)の㋑部のフック2カ所を下側に押しながら、手前に引いてロックをはずします。
②配線カバー(下)を上に静かに持ち上げながら、カバー㋺部の爪3カ所を本機の穴からはずします。
③配線カバーを取りはずします。

(配線カバーが取り付けられている状態)

■取り付けるとき（配線カバー（下）で説明）

①配線カバー(下)の㋺部の爪3カ所を、本機の穴に差し込みます。
②配線カバー(下)の㋑部のフック2カ所を下側に押しながら本機側にたおしてゆき、本機が｢パチン｣という音がするまで押し込みます。

(配線カバーを取りはずした状態)

配線処理方向（配線の一例）

■配線処理のしかた

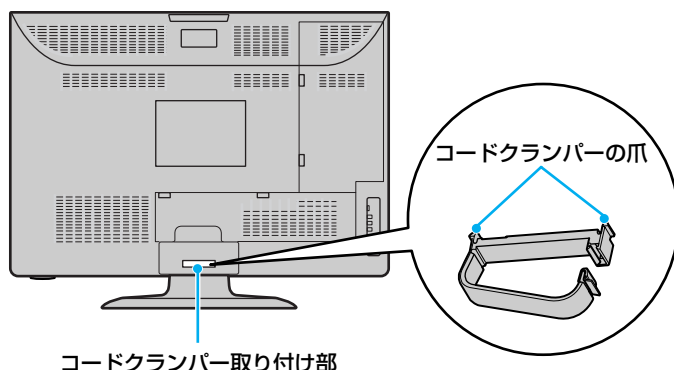
①配線カバー(上)、(下)を取りはずした状態にします。
②コードクランパーⒶ、Ⓑを利用し、配線を処理します。
（右図をご参照ください。）

コードクランパー（付属品）の取り付けかた

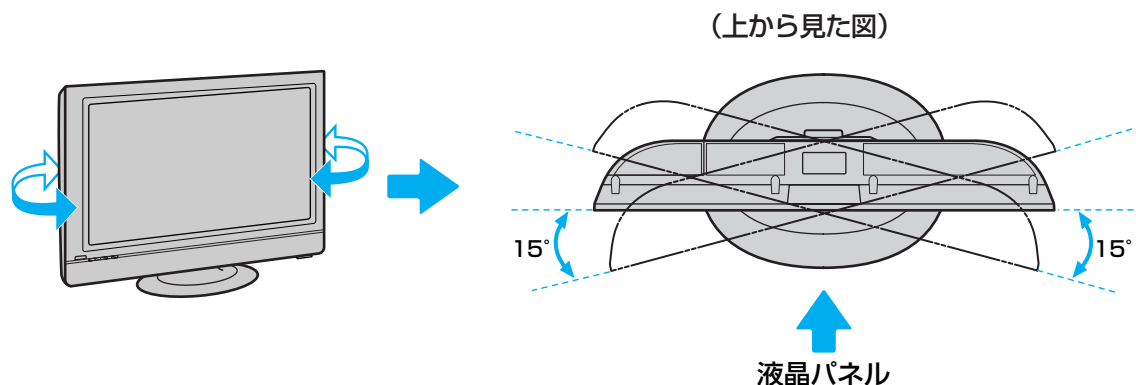
⚠ 注意	■コードクランパーは手かけとして使用しない ● スタンド部を取りはずす場合は、テレビ本体を立てたまま行ってください。 ● コードクランパーを、手かけとして使用すると、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。

● コードクランパーの取り付けは以下の順序で行ってください。

■取り付けるとき

①本機背面のコードクランパー取り付け部の穴2カ所に、コードクランパーの爪2カ所を押し込みます。
②コードクランパーが取り付けられます。

スタンドの使いかた

■設置するときは

- スタンドは、左右方向に 15゜回転します。（上下方向には、可動しません。）
- 見やすい角度に調整してお使いください。

設置スタンド（別売）

- 設置スタンドには本機取り付けずみスタンド以外に、以下の３種類があります。（別売）

	26L400V用 形名	32L400V用 形名
■東芝液晶テレビ壁取り付け金具/固定式	FPT-WA5	FPT-WA5
/チルト式	FPT-TA6	FPT-TA6
■東芝液晶テレビ用フロアスタンド	FPT-26FS6	FPT-32FS6

- 設置スタンドは、東芝設置スタンドのご使用をおすすめします。
- 設置のしかたは、それぞれの設置スタンドの取扱説明書をお読みください。

■壁にかけて使うには

- 壁掛け工事は、性能・安全確保のため、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 取りはずした部品類は、もとに戻される場合に必要となりますので大切に保存してください。

仕様

項目		テレビ本体 26L400V	テレビ本体 32L400V	リモコン
種類		地上・ＢＳ・110度ＣＳデジタルハイビジョン液晶テレビ		
		テレビ本体		リモコン
形名		26L400V	32L400V	CT-90204
電源		AC 100V 50/60Hz共用		DC3V（単四形、2個）
消費電力	電源「入」時	158W	194W	――
	電源「待機」時	0.60W ただし、以下の設定や動作をしているときは、33W （i.LINK設定「制御あり」時、ネットdeナビ制御「制御あり」時、デジタル放送録画時、番組情報取得などの動作中）		
	主電源「切」時	0W	0W	
年間消費電力量		179kWh/年	212kWh/年	
スタンド装着時外形寸法（ ）は本体のみ	幅	69.0cm（69.0cm）	81.9cm（81.9cm）	
	高さ	58.0cm（51.5cm）※1	64.5cm（57.3cm）※1	
	奥行	30.8cm（12.6cm）※2	30.8cm（12.6cm）※2	
スタンド装着時質量（ ）は本体のみ		23.9kg（19.4kg）	28.4kg（23.9kg）	
液晶画面	画面サイズ	26V型　横564.8mm×縦317.6mm	32V型　横697.3mm×縦392.1mm	
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス		
	画素数	水平1366　×　垂直768	水平1366　×　垂直768	
受信チャンネル		地上アナログ：VHF（1〜12）、UHF（13〜62）、CATV（C13〜C38） 地上デジタル：VHF（1〜12）、UHF（13〜62）、CATV（C13〜C63） BSデジタル：BS000〜BS999、110度CSデジタル：CS000〜CS999		
スピーカー		6cm×12cm 2個	6cm×12cm 2個	
音声出力		26L400V：実用最大出力 10W＋10W（総合音声出力 20W）（JEITA） 32L400V：実用最大出力 10W＋10W（総合音声出力 20W）（JEITA）		
入力・出力端子	ビデオ入力（入力1、2、3/ゲーム、4、5）	S2映像：Y入力：1V（p-p）、75Ω、同期負、C入力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：150mV（rms）、22kΩ以上（ピンジャック）		
	オーディオ出力（固定）	音声：150mV（rms）、2.2kΩ以下（ピンジャック）		
	デジタル放送録画出力	S1映像：Y出力：1V（p-p）、75Ω、同期負、C出力：0.286V（p-p）（バースト信号）、75Ω 映像：1V（p-p）、75Ω、同期負（ピンジャック）、音声：250mV（rms）、2.2kΩ以下（ピンジャック）		
	D4映像（ビデオ1、4）	14ピン、2列、1.27mmピッチ Y：1V（p-p）、PB/CB、PR/CR：0.7V（p-p）		
	i.LINK（TS）	IEEE1394　4pin type、S400対応、MPEG-TS信号		
	光デジタル音声出力	トスリンク		
	RIオーディオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック		
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式		
	Ether（イーサ）端子	RJ-45		
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオジャック、適合インピーダンス8Ω〜32Ω		
	イヤホーン（副画面）端子	口径3.5mmイヤホーンジャック		
	ビデオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック		
	メモリカード挿入口1「SDメモリカード」	8/16/32/64/128/256/512MBに対応		
	メモリカード挿入口1「MMC」	16/32/64/128MBに対応		
	メモリカード挿入口1「メモリースティック」	16/32/64/128MBに対応		
	メモリカード挿入口2「スマートメディア™」	3.3V　2/4/8/16/32/64/128MBに対応		
使用条件		使用周囲温度：0℃〜35℃、使用周囲湿度：20%〜80%（結露のないこと）		
意匠	キャビネット材質	ポリスチレン樹脂（PS）		
角度調整範囲（テレビスタンド）		約15°（左右） 上下方向可動不可		
主な付属品		取扱説明書　本編（本書）×1部 取扱説明書　インターネット編（別冊）×1部 リモコン（CT-90204）×1個 単四形乾電池（R03）×2個 同軸ケーブル×1本 BS・110度CSデジタル放送受信契約申込書×1式	電話機コード×1本 モジュラー分配器×1個 ビデオコントロールケーブル×1本 B-CASカード（IDラベル付き）×1枚 コードクランパー×1個	

※1　主電源スイッチ（2 mm）を除く　　※2　突起部（3 mm）を除く

仕様 つづき

- 意匠･仕様･ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- テレビのＶ型（32 Ｖ型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで､外国では放送方式､電源電圧が異なりますので使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は､ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電､火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト､画面表示などは､見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 年間消費電力量：年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて､型サイズや受信機の種類別の算定式により､一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した､一年間に使用する電力量です。
- リモコンで電源を切ってもテレビにわずかな電流が流れています。長時間テレビを見ないときは主電源スイッチを切ってください。ただし､主電源スイッチで電源を｢切｣にしている間は､番組情報の取得やソフトウェアの自動ダウンロードなどは行われません。
- ｢高調波ガイドライン｣適合品－高調波ガイドライン適合品とは､経済産業省･資源エネルギー庁の定めた｢家電･汎用品高調波抑制対策ガイドライン｣に基づき､商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計･製造した商品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99．99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に画素が光らなかったり、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

※本製品は､マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は､マクロヴィジョン社の許可が必要で､また､マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり､改造することも禁じられています。

※この製品に含まれているソフトウェアをリバース･エンジニアリング､逆アセンブル､逆コンパイル､分解またはその他の方法で解析､及び変更することは禁止されています。

※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。

(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

B-CAS カード ID 番号記入欄

- 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。
  ・お問い合わせの際に役立ちます。

もくじ

■この取扱説明書は26L400Vと32L400Vとの共用です。
使用イラストは 32L400V です。
26L400V は多少異なります。

別売品

- 設置スタンドは、東芝設置スタンドのご使用をおすすめいたします。
- 別売アクセサリーは、システムアップの組み合わせによってお選びください。
- ここにあげたアクセサリーは一部です。詳しくは東芝総合カタログまたは、販売店にご相談ください。

設置スタンド

	26L400V用 形名	32L400V用 形名
東芝液晶テレビ壁取り付け金具/固定式	FPT-WA5	FPT-WA5
/チルト式	FPT-TA6	FPT-TA6
東芝液晶テレビ用フロアスタンド	FPT-26FS6	FPT-32FS6

その他